

# MFJ

ライディング 臨時増刊

1993 MFJ MOTORCYCLE SPORTS RULES

# 国内競技規則書

## 1993年版

財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会



# HUNGARIAN GRAND PRIX HUNGARORING



## 新しい夢へ。

世界選手権第9戦ハンガリーGP。  
一台のイタリアンレッドのマシンが誰よりも速くチェッカーフラッグを受けた。  
その日はエディとカシバにとって記念すべき一日となった。  
勝利は、幸運の女神がくれたわけではない。  
勝つためのセオリーと不断の意志を貫き通した者達が自ら手に入れたのだ。  
ダンロップもその一員であることを飲みたい。  
目ざすものがあるからこそ昂ぶる。可能性があるから挑み続ける。  
新しい夢へ、ダンロップ。

### GPR-30

プロダクションレースで  
頂点をめざす  
鮮烈のクリップ・パワー

### GPR-60/60Z

先進のJL日構造を搭載  
ストリートで気をはく  
ワイド・パフォーマンス

*Rideen*



新製品



# 洗濯機仕様。

洗える・着替える。

ツーリング後の汗だらけの内装、いつまでも残る鼻をつく臭いとは、もうおさらば。そういえば、身に着けるもので、洗えないもの着替えられないものは、ヘルメットだけでした。

〈アストロ-FS〉の内装は、いわばヘルメットの肌着。

手軽に洗えて、すぐ乾く。取り付けも簡単。新しいものにも交換できます。

洗いたてのTシャツのような清潔感が、ヘルメットをかぶる度に得られるのです。

システム内装は、システムヘッドや丸洗い内装を考案してきたアライの集大成ともいえるもの。もう汗臭さは、永遠にヘルメットからなくなりました。強く精悍なアストロは、内側から大きく進化します。

洗濯機で洗う時は、洗濯ネットに入れて洗い、クレードルパッドは、乾燥だけを外して洗ってください。

## CRADLE-PAD

### ●クレードルパッド

耳の位置を光明に調査し、耳たぶを押さえずに解放感をもたせる。そして、耳の上部、下部までも一体にホルドさせることにより、ヘルメット下側のフィット感をより安定させ、今まで以上の新感覚のかぶり心地をもたらす。それがクレードルパッド。もちろん糸地が外せるので、洗濯機で簡単に洗うこともできる。



※新しい内装は原裝もかけても顔を圧迫しない。

## INNER-PAD

### ●システム内装

サイドクッション、天上下パッドだけでなく、ネックパッドまでもが簡単に外したり付けたりできるようになった。手洗いも容易で、汚れたなどと思ったらすぐジャブジャブ洗えるのがいい。もちろんすぐ乾き、交換用の内装セットで着替えることもできる。



### ●エアロフラップ

よりワイドになったエアロフラップ。アゴ下からの冷たい巻き込み風をシャットアウトする機能が進歩した。



### ●二段階ニューマウスシャッター

エア流入量を大幅に増し、息苦しさやシールド裏面の曇りを防ぐ二段階のシャッターで、エアの調節ができる。また、新しいソーズディフューザーはエアの流れを整える働きがある。



### ●スーパーアドシス

ヘルメットをかぶったままで、ホルダーを外さずにシールドが交換できるスーパーアドシス。スピーディなワンタッチでシールドの水洗いや、クリアー、スモークの交換も楽に行える。



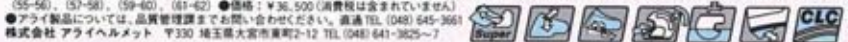
### ●デミストポジション付きシールドロック機構

シールド内に微量の空気を流すことにより、曇りを防ぐデミストポジションを備えたシールドロック機構。



# Astro FS

●機種名: アストロ-FS ●規格: c/c (コンプレックス・ラミネート・コンストラクション) ●規格: スズカ1990、JIS C種 ●内装: システム内装、クレードルパッド (替パッド調整可能・特許出願中) ●シールド: スーパーアドシス標準装備 (特許出願中) ●色: 白、黒、Vメタリック、キャンディ・レッド、キャンディ・ブルー ●サイズ: (S)-54、(SS)-50、(M)-58、(L)-60、(LL)-62 ●価格: ¥36,500 (消費税は含まれていません) ●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。 直営TEL: (048) 645-3661 株式会社 アライヘルメット 〒330 埼玉県大宮市南町2-12 TEL: (048) 641-3625



**Arai**  
Racing Specialties

# スペックの厚みが、新しい戦 登場、'93TZR250R SPバージョン

熱狂的なメインスタンド前。カラフルなマシン  
の団がテール・トゥ・ノーズのままフル  
スロットルで飛びこんでくる。応援合戦で大  
騒ぎの観衆たちに、熱い風の衝撃波を叩き  
つけて、瞬間に駆け抜けていく。強い日差  
しを浴びたサーキットに、オイルの焼けた匂  
いと甲高い2ストロークのエキゾーストノ  
ートの軌跡を残して。そんな白熱するSP250  
レースで、毎年、憧れにも似たまなざしが注  
がれているマシンがある。"YAMAHA  
TZR250R SP VERSION"。跨った  
瞬間から全身を貫くレーサーフィール。黙に  
襲いかかるような、戦闘的なフォルムとポジ  
ション。つねに頂点の走りを追求する、その  
コンセプトに妥協はない。SP250シーンを  
震撼し続けるきわめて刺激的な存在のマ  
シンはいま、「走り」というモーターサイクル  
の本質を純粋に追求することに、ある種の  
ロマンを感じる仲間との、熱いエンターテイ

数のレーシングテクノロジーを移植してい  
る。すなわち、クラス最軽量の乾燥重量と高  
次元のコントロールビリティを誇るボディ  
・ポテンシャルを武器に、パワーユニットの高  
速域でのさらなるパフォーマンス・アップ、  
オーバーレブ特性の飛躍的な向上を探究  
した。2ストローク・スポーツが抱く、よりレ  
ーシーでよりコンペティティブな魅力・特性  
をフィーチャーしたゆえに、その戦闘力の真  
髓を味わうにはライダーにかなりのキャリア  
と技量を要求する、挑戦的なマシンに仕上  
がっている。

**新しいヒーローは、  
ピークを超えても咆哮し続ける。**

'93TZR250R SP VERSIONのパワ  
ーユニットは、水冷2サイクル90°一軸式V  
型2気筒エンジン。しかし、そのエンジン特  
性は、TZ250のレーシングテクノロジーの  
投入で、まさに約変した。2ストロークの  
本質を最新のテクノロジーでさらに究めた、  
低中速域での2次曲線的な加速フィーリン  
グ。さらにピークパワーの回転域を超えて

# '93TZR250R SP

## VERSION

- 3XV ● Engine Type: Water-cooled, 2-stroke, crankcase reed valve 90° V-twin
- Displacement: 249cc
- Max. Power: 40PS / 9,000rpm
- Max. Torque: 3.5kg-m / 7,500rpm
- Dry Weight: 128kg
- Coloring: Bluish White Cocktail 1

¥890,000

予約受付中  
限定500台  
12月15日発売

メントのひとコマを割りあげている。  
**YAMAHA SPORTSの、  
よりコンペティティブな意志表示。**  
SP250クラスはレギュレーションが厳しく、  
エンジンのチューンは吸・排気系だけに  
限られている。それだけに、レースではライ  
ダーのテクニックと、マシンの潜在的なト  
ータル・ポテンシャルがコマ1秒の熾烈な勝  
負の世界を決定する。'93TZR250R SP  
VERSIONは、YAMAHA SPORTS  
が標榜する新たな意思表示として、TZ  
250でその圧倒的な戦闘力を実証した数

も、なお回り続ける驚異のオーバーレブ特性  
を達成。よりレーシーなエンジン特性を得る  
ために'93SP VERSIONでは、TZ250  
からシリンダーとフラットタイプYPVSを  
そのまま移植した。シリンダーヘッド部の燃  
焼室形状を改良したニューシリンダーは、冷  
却性に優れ、高い燃焼効率を実現する。また  
排気ポート形状を変更し、より充填効率を高  
めている。そして、2ストローク・エンジ  
ンの性能に大きな影響を与えるのが、排気タ  
イミングをエンジン回転数に応じて最適状  
態にコントロールし、燃焼効率を大幅に向  
上させるヤマハ独創のYPVSだ。'93SP

● TZR250R SPバージョンの資料請求に関するお問い合わせは、フリーダイヤル ☎ 0120-319-819 へどうぞ。 ● 価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄県および一部離島を除く) ● 価格は参考価格です

見る・見られる・いい運転。

● バイクは目黒区目黒1-10-1  
● カフェ・安楽点では、スローインテグレーション

バイクゆとりびと  
二輪余裕人



人とバイクの友好生活

# 闘力の凄さだ。 ヨン。

VERSIONでは、このYPVSを従来からのつつみ型からフラットタイプに変更した。これは、シリンダーの排気ポート部に板状の排気バルブ(フラットバルブ)を設置し、これを燃料タンク下部に装着したサーボモーターにより、駆動ワイヤを介して作動させるもの。サーボモーターの作動は、CDIからのエンジン回転数パルス信号をマイクロコンピュータにてサーボモーターの作動信号に変換して制御する。スロットル開度、車速、エンジン回転数などにより、板状のフラットバルブを適時に開閉して、排気タイミングを最適な状態に保つフラットタイプYPVS。これにより、そのエンジン特性はピークパワーを超えた12,000rpm以上のオーバーレブ域においても、パワーの落ちが極めて少ない。そのため、台形パワーカーブの頂上にはさらに高回転域まで伸び、より幅広い回転域で最高出力を発生する、パワーバンドの広い出力特性を獲得することに成功した。どこまでも吹けあがるような、かつてない高遠域での加速フィーリングが、TZRライダーの新しい武器、新しい戦闘力になるに違いない。

## YZRの血を受け継ぐ、

### 潜在力の高いエンジン・コンセプト。

'93SP VERSIONのこうした劇的なエンジン性能は、ファクトリーマシンYZRのコンセプトとテクノロジーを注ぎ込んだ90°一軸式V型2気筒2サイクル・クランク室ケースリッドバルブエンジンの潜在力の深さをあらためて示した。上下気筒への吸気経路をそれぞれ独立させ、充填効率が最適となる吸気通路のキャブレリアウトの採用をはじめ、YZRと同タイプの大型リッドバルブやセンタープラグ方式、デジタル制御DC・CDI点火システムなどを採用し、上下気筒のバランスがとれたきわめて安定した性能を獲得。キャブレターは'93SPレギュレーションの変更にもない口径φ32mmのTM32SSキャブレターを搭載した。さらに小径φ106mmフライホイールマグネットの採用をはじめ、低いクランク・タルマスにより、良好なレスポンスを実現。また強度と耐久性を確保するとともに往復重量を低減させるフラットヘッドピストンや、1次圧縮比のアップと剛性、耐久性の向上をはかるキリ穴クランクを採用。ラジエターには、放熱量2万カロリー以上にも及ぶ大容量ダブルコアタイプを装備している。高い排気効率を獲得する真円断面マフラーは、サイレンサーを3部屋構造と

して優れた静音性をはかるとともに、SP VERSIONにふさわしい胸の踊るエキゾーストサウンドを響かせる。

## さらなるタイムアップ、 コーナーの限界まで攻めていける。

現在のSPレースシーンは、タイヤのポテンシャルを抜きに語ることはできない。コマ1秒のタイムアップをめざして、タイヤのグリップ性能の向上、ロープロファイル化による運動性能の進化が目覚ましい勢いで進められている。これまで車体ポテンシャルにおいて大いなるアドバンテージを持つTZRは、さらなる足回りの進化と熟成により、レース時の最先端ワイドリム&ロープロファイルラジアルタイヤに対応。その性能をフルに活かしかける限界特性を、さらに高次元へと引き上げた。ステアリングを握るライダーにとって、路面からのわずかな衝撃、不安定なマシン挙動は大きなストレスになる。'93SP VERSIONでは、高剛性によるフロント回りの安定性向上に大きく寄与するTZR定評のφ41mmの倒立フロントフォークを、さらに細部にわたってチューン。減衰特性の徹底的な見直し、初期作動性の向上、フリクションロスの低減を一段と追求した。ブラウン・アルマイトを施したアウターチューブの精神的なアピアランスは、その高められた戦闘力の存在の証し。コーナリング中、フロントタイヤの接地感をつかみながら限界を確認する過程でも、きわめて安定したマシン挙動を示し、さらなるタイムアップをめざして、果敢な走りへのより一層のチャレンジをサポートする。

### ハイレベルのコントローラビリティを 武器にする、車体コンセプト。

エンジン同様、YZRのテクノロジーが投入された車体系は、レーサーと同じディメンションや3点理論<sup>※</sup>の導入で、高い運動性と幅広い対応力を達成している。軽量アルミ製ボックス型断面フレームをデルタ型に構成したアルミ・デルタボックスフレームは、ヘッドパイプ、タンクレール部をTZと同仕様としたきわめて剛性の高いもの。また、電子部品などのパーツを1カ所にまとめ、ステーを極力少なくすることで、一層の軽量化を果たしている。倒立フロントフォーク、ビギンバック・リアサスペンションとともに、減衰力調整機構(フロント:伸側10段/圧側10段、リア:伸側20段/圧側25段)を装備している。踏んばりの効くサス、よく効くサスといったライダーの嗜好や、ライディングスタイル、ライダーのウエイト、走行シーンに合わせたパネレート減衰特性を

実現できる。またブレーキはフロントに、異径4ポットキャリパー装着のフローティング・ダブルディスク、リアは対抗ピストンキャリパーを装着。操作性の高いショートブレーキレバーの新採用とあわせて、きわめてハイレベルなコントロール性と制動フィーリングを両立させている。※ドライブシャフト軸とピストン、リアホイール軸の3点も、最も有効なトラクションが得られるよう最適配置する理論。

## ウイニングランへ、

### ディテールに至るまでSP仕様が目立つ。

瞬発力に満ちた走りや、自在な運動性能のベースになるのが、車体の軽量化。TZRでは一軸バランスの採用により、エンジン振動を大幅に低減。振動対策のための補強材をなくするとともに、カウリングの薄肉化を達成して、クラス最軽量の乾燥重量128kgを実現している。車体の軽量化は、タイムアップをはかる上で強力な武器になる。同じパワーでも、軽いマシンは加速、減速、S字やシケインでの切返し、コーナーの立ち上がりなどで、抜群の運動性を発揮するからだ。優れたCdA値とともに、サーキットではTZRのウイニングランへの大いなるアドバンテージの一つといえる。またレース走行を標準にしたそのSP仕様は、細部のイクイップメントにまで及ぶ。シャープなクラッチの切れとロス馬力の低減をはかる乾式クラッチ。1速から3速までをよりクロスレシオ化したカセットミッション。短時間のタイヤ交換が可能なカラー圧入タイプホイール。メンテナンス性の向上をはかったワンタッチチェーンブラー装着のリアアームや、クイックファスナー式アンダーカウル。さらに、これまでのイメージにとらわれず、実質性能を追求したニューレーサータイプのバイラルグリップを新採用。優れたフィット感と機能性が、ライダーのシビアなスロットル操作をマシンに伝達する。

●  
YAMAHA SPORTSが志す究極のスポーツバイクとは、純粋に走りを目指すなかで、ライダーの感性や意志にハイレベルで応えるマシンとは。そんなテーマへのコンペティティブな意志表示が、こうした劇的なスペックやテクニカル・フィーチャーの膨大な蓄積になり、'93TZR250 SP VERSIONへと到達した。ある晴れた日曜日の、どこかのサーキットで、このマシンでしか味わえない厳しさや正直さと限りない可能性に向き合っている。レーシングスーツ姿のあなたの真摯な笑顔に出会えることを楽しみに。  
Have a Nice Ride!

価格には保険料・税金(登録・消費税)・登録などの費用等は含まれていません。●消費税は別添計算書のみ表示されます。●詳しくは販売店にお問い合わせください。●メーカーオプションで過度警告灯標準車(¥10,000税別)があります。

# RSS

**Racing  
Service  
Shop**

コンペモデル(レース専用車)

[[SUICO]]のキットパーツ

は、RSSで扱っています。



コンペモデルに関する御相談は技術と信頼のRSSをおすすめします。お近くのRSSに御相談下さい。

TZ250



※実車は白です。  
(写真は参考のためにカラーリングされたものです。)

## トップの走りが、力が

改良の為、製品の仕様は予期なく変更する場合がありますのでご了承下さい。台数に限りがありますのでRSSにお早目にお申し込み下さい。

見る・見られる・いい運転。

●バイクは昼間もライトオン/  
●カーブ・交差点では、スローインクダウン!

バイクゆとりびと  
二輪余裕人



YUTORI

人とバイクの友好生活

YZ80



YZ125



YZ250



TY250Z



技術が、見えてきた。

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。

●YZ250、YZ250Z、YZ125、YZ80、TY250Zは運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。●YZ250、YZ250Z、YZ125、YZ80、TY250Zは道路を走行できません。道路を走行すると、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。●私道、社寺の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道などいわゆる道路の形態を整えていないところでも人や車が自由に入出りできるところは、道路とみなされます。走行場所には十分注意してください。

**YAMAHA**

ヤマハ発動機株式会社

## 北海道地区

YSP 帯広	RR	YSP 石巻	TR	カシマレーシング	RR	YOU SHOP KAME	MX	大洋モーターズ	MX	YSP 鹿児島	RR-MX
YSP 札幌南	RR	YSP 名取	MX	オートショップ坂	MX-TR	ビツクルー	RR-MX	もとしよっぷ神楽坂	MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 札幌東	RR	YSP 八雲	MX	春モトショップタカハシ	RR	YSP 興隆	MX	YSP 谷原	RR	YSP ツツミモーターズ	RR
YOU SHOP サイクロン	MX	YSP 釧路	MX	COMプロダクト	RR	バイクショップ竹沢	MX	越川モーターズ10号店	RR	モトハス	RR-MX
YOU SHOP SHIMA	MX	小野モーターズ	MX	YSP 氣仙沼	MX-TR	街小島屋三商店	RR	YSP 千葉北	RR	YSP 上板橋	RR
YSP 札幌西	RR	YSP 函館マシマ	RR	YSP 秋田	RR-MX-TR	YSP 前橋	RR-MX-TR	オートショップクラウド	RR-MX	街モトサロン	RR
YOU SHOP 平岸	RR	YOU SHOP ライティングSP	MX	競車モーターズ	RR-MX-TR	秋スーパーバイク渡夢	TR	CCOヨハマ	RR-MX	八ヶ谷システム	RR
青ミカホ スポーツ	MX	スナダオート	MX	YSP 山形	RR-MX	YSP 前橋	MX	スガヤオートサービス	RR	YSP 目黒中央	RR
YSP 札幌中央	RR-MX-TR	YOU SHOP 山本	MX	YOU SHOP テラオ	RR-MX	ARSオカダ	RR	オートショップ舞台	RR-MX	スポーツブラザ忠男	RR

## 東北地区

YOU SHOP トヨキ	MX	YOU SHOP フジオート	MX	YSP 山形西	RR-MX	YSP 山形	RR-MX	YSP 酒田	MX	YSP 鹿島北	RR-MX
天内モーターズスポーツ	RR	モーターファン小田切	MX	バイクショップ ワンバイン	MX	YSP 酒田	MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
ぱくはなず サラダ	MX	YOU SHOP HOT-STAFF 仙台	MX	YSP 酒田	MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
YOU SHOP 船木	MX	ビッグボックス くらと	MX-TR	YSP 鹿島中央	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
北広オート 村松商会	RR	花巻オート	RR	YSP 福島南	RR	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
オートフレンド北海道	RR	YOU SHOP アサヒ	MX	YSP 福島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
YSP 小樽	RR-MX	岩崎モーターズ	MX	YSP 岩手	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
軽カムス SAPPHORO	RR	YSP 仙台	RR	YSP 仙台	RR	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
藤沢オートサイクル	RR	YSP 仙台	RR	YSP 仙台	RR	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
YSP 道央	MX	YSP 仙台	RR	YSP 仙台	RR	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
ガレージ ワークス	TR	YSP 仙台	RR	YSP 仙台	RR	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
野村商会	MX	YSP 仙台	RR	YSP 仙台	RR	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
競オートランド 厚田	RR-MX-TR	YSP 仙台	RR	YSP 仙台	RR	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX
YSP 旭川	MX	YSP 仙台	RR	YSP 仙台	RR	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX	YSP 鹿島北	RR-MX

## 関東地区

YOU SHOP 世紀屋	RR	YOU SHOP ヨコヤマハ	RR	YSP 東京	MX-TR	YSP 東京	MX-TR	YSP 東京	MX-TR	YSP 東京	MX-TR
バイク屋 じゃらめ	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR
MCショップZIP	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR
R'Pit オツキ	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR
新天竺ワークス	RR-MX	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR
YOU SHOP キノシタ	MX	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR
YOU SHOP ぽんけんしゃ	MX	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR
YOU SHOP オカジマSS	MX	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR	YSP 東京	RR

YSP 横浜南	RR-MX	YSP 谷原	RR	YSP 川崎中央	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜西	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜東	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX



YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX
YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX	YSP 横浜南	RR-MX

※各ショップの得意部門を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)の記号でショップ名の右側に表示して  
※ここに掲載してある店名は'92年11月現在に登録されているRSSです。





**YOU SHOP ばらあふ** MX  
山形県新庄市 023-24-2819

**YSP 中巨摩** RA  
山形県中巨摩町 023-22-6640

**YSP 長野南** RA-MX  
長野県長野市 026-250-1333

**YSP 長野中央** MX  
長野県長野市 026-250-1311

**YSP 安曇野** RA  
長野県安曇野市 026-234-2234

**YSP 松本** RA-MX  
長野県松本市 026-250-2780

**三沢モーターズ** RA-MX  
長野県松本市 026-250-4731

**赤穂武** RA-MX  
長野県赤穂市 026-250-1151

**オートショップモモセ** RA-MX  
長野県松本市 026-250-4238

**YSP 伊都** MX  
長野県伊都町 026-238-72

**バイクショップヒロ** MX  
長野県松本市 026-250-4538

**テクニカルショップQ** MX  
長野県松本市 026-250-2288

**YSP 小諸** MX  
長野県小諸市 026-227-0640

**北沢モーターズ** RA  
長野県小諸市 026-226-2034

**ポイントM** MX-TR  
長野県小諸市 026-226-4115

**YSP 佐久** RA-MX  
長野県佐久市 026-220-3200

**YOU SHOP 清水** MX  
長野県上田市 026-220-1206

**YSP 上田** RA-TR  
長野県上田市 026-220-2750

**レーシングショップTD** RA  
新潟県新潟市 025-220-1132

**機ブライト** RA-MX  
新潟県新潟市 025-261-4710

**YOU SHOP さいとう** MX  
新潟県新潟市 025-261-3917

**YSP 新潟中央** RA  
新潟県新潟市 025-261-4602

**RSS 高麗屋** RA-MX  
新潟県新潟市 025-261-2403

**小林ヤマハ** MX  
新潟県新潟市 025-261-2428

**新テクニカルバイク** RA-MX  
新潟県新潟市 025-261-1627

**YSP 長岡東** MX  
新潟県長岡市 025-226-1267

**BGM** MX  
新潟県新潟市 025-240-0200

**中島技術開発研究所** RA  
新潟県新潟市 025-240-0617

**石田オートサロン** MX  
新潟県新潟市 025-240-4115

**バイクショップ錦里** RA-MX  
新潟県新潟市 025-240-0144

**川島モーターズ** MX  
新潟県新潟市 025-240-2543

**YSP 浜松北** RA-MX  
新潟県新潟市 025-240-4127

**タイラレーシング機** RA  
新潟県新潟市 025-240-2125

**スピアン** TR  
新潟県新潟市 025-240-5048

**YSP 浜北大橋** MX  
新潟県新潟市 025-240-6712

**YSP 袋井** MX  
新潟県新潟市 025-240-4146

**モトスポーツバ** RA-MX  
新潟県新潟市 025-240-3833

**YOU SHOP モトバ** MX  
新潟県新潟市 025-240-4025

**YSP 新潟** MX  
新潟県新潟市 025-240-5158

**レーシングスポーツ** RA  
新潟県新潟市 025-240-1211

**YSP 浜松** MX  
新潟県新潟市 025-240-4545

**グリーンサイクル** TR  
新潟県新潟市 025-240-1114

**ガレージTT** MX  
新潟県新潟市 025-240-4452

**YSP 金沢西** MX  
新潟県金沢市 025-262-1313

**YSP 金沢中央** MX  
新潟県金沢市 025-262-2278

**新バイパスオート** MX  
新潟県金沢市 025-261-4141

**バイクハウスマックス** MX  
新潟県金沢市 025-261-9518

**YSP 富山東** RA-MX  
富山県富山県 076-240-1025

**YSP 富山北** RA-MX  
富山県富山県 076-240-1025

**YSP 高岡** RA-MX  
富山県高岡市 076-240-2300

**オートショップ 富山** TR  
富山県富山県 076-240-1115

**YSP 富山中央** RA-MX  
富山県富山県 076-240-1115

**サイクルショップ伊勢** MX  
富山県富山県 076-240-2171

**堤場サイクル** MX  
富山県富山県 076-240-1115

**ヤマハオートセンター** MX  
富山県富山県 076-240-1115

**YSP 岡崎中央** RA  
富山県岡崎町 076-240-2171

**新ナリテオートセンター** MX  
愛知県新城市 052-851-1511

**オートショップトヨタ** MX  
愛知県豊田市 0565-21-0111

**セフティモーター大進** RA  
愛知県豊田市 0565-21-0111

**東海オートレーシング** MX  
愛知県豊田市 0565-21-0111

**協和自動車整備機** MX  
愛知県豊田市 0565-21-0111

**モト・スイング** TR  
愛知県豊田市 0565-21-0111

**美トモハウス21** RA  
愛知県豊田市 0565-21-0111

**オートセンターヤマダ** MX  
愛知県豊田市 0565-21-0111

**ライダーズジェントオカ** RA  
愛知県豊田市 0565-21-0111

**モト・キッズ** RA  
愛知県豊田市 0565-21-0111

**YSP 豊川中央** RA  
愛知県豊川市 0567-87-3134

**稲スポーツレジャーショップ** TR  
愛知県豊川市 0567-87-3134

**モーニングバイク** MX  
愛知県豊川市 0567-87-3134

**小野ホンダオート** TR  
愛知県豊川市 0567-87-3134

**YSP 刈谷** RA-MX  
愛知県刈谷市 0564-21-2947

**新YDSヨウ** RA-MX  
愛知県刈谷市 0564-21-2947

**YOU SHOP せよだ** RA-MX  
愛知県刈谷市 0564-21-2947

**バイク&バイク** RA-MX  
愛知県刈谷市 0564-21-2947

**モトバーベキュー** MX-TR  
愛知県刈谷市 0564-21-2947

**YOU SHOP 栗木** MX  
愛知県刈谷市 0564-21-2947

**YSP 名古屋北** MX  
愛知県名古屋市 052-832-2762

**YSP 名古屋東** RA-MX  
愛知県名古屋市 052-832-2762

**バイクショップカツラガ** RA  
愛知県名古屋市 052-832-2762

**レーシングプロジェクト** MX  
愛知県名古屋市 052-832-2762

**YSP 名古屋** MX  
愛知県名古屋市 052-832-2762

**びくわくモリス** RA  
愛知県名古屋市 052-832-2762

**二輪倶楽部** MX  
愛知県名古屋市 052-832-2762

**バイクショップクワカ** RA-TR  
愛知県名古屋市 052-832-2762

**YSP 一宮中央** MX  
愛知県一宮市 0566-44-2323

**イトウモーターズ** RA-MX  
愛知県岡崎市 0562-36-3894

**YSP 岐阜西** MX  
岐阜県岐阜市 058-252-2780

**YSP 各務原東** RA  
岐阜県各務原市 057-40-4207

**新今西モーターズ** RA-MX  
岐阜県各務原市 057-40-4207

**岡本ヤマハ商会** RA-MX  
岐阜県岐阜市 058-23-2071

**モトスペース** RA-MX  
岐阜県岐阜市 058-23-2071

**YOU SHOP 37** RA-MX-TR  
岐阜県岐阜市 058-23-2071

**モトガレージイトウ** RA-MX  
岐阜県岐阜市 058-23-2071

**三音モーターズ** TR  
岐阜県岐阜市 058-23-2071

**YSP 四日市** RA-MX-TR  
岐阜県四日市市 057-42-1100

**三谷モーターズ** TR  
岐阜県三谷町 057-33-2222

**B2マツモト** MX  
岐阜県岐阜市 058-23-2071

**バイクショップハヤシ** RA  
岐阜県岐阜市 058-23-2071

**YOU SHOP サンビシ** MX  
岐阜県岐阜市 058-23-2071

**オートプラザ テラガワ** RA  
大府市 057-74-8818

**YOU SHOP エル** MX  
大府市 057-74-8818

**YOU SHOP クボ** MX  
大府市 057-74-8818

**バイクナッツ** RA-MX  
大府市 057-74-8818

**YSP 大阪狭山** MX  
大阪府大阪狭山市 072-517-1110

**YOU SHOP オモダ** RA-MX  
大阪府大阪狭山市 072-517-1110

**YOU SHOP 2&4** RA-MX-TR  
大阪府大阪狭山市 072-517-1110

**クレーンモーターズ** RA-MX  
大阪府大阪狭山市 072-517-1110

**YSP 飛鳥** RA  
大阪府飛鳥市 072-517-1110

**オートショップ イムラ** RA-MX  
大阪府吹田市 072-517-1110

**YOU SHOP TAKAI** RA  
大阪府吹田市 072-517-1110

**YOU SHOP MOTO1** MX  
大阪府吹田市 072-517-1110

**モトスポーツ マルタ** RA  
大阪府吹田市 072-517-1110

**YSP 和歌山** RA-TR  
和歌山県和歌山市 074-24-0267

**YSP 神戸東** RA-MX  
兵庫県神戸市 078-643-2147

**バイクウズ キシタ** RA-MX  
兵庫県神戸市 078-643-2147

**YSP 西神戸** RA-MX  
兵庫県神戸市 078-643-2147

**インイ モーターサイクル** RA-MX  
兵庫県神戸市 078-643-2147

**MOTO SHOP ルーベ** MX-TR  
兵庫県神戸市 078-643-2147

**パルズ** MX  
兵庫県神戸市 078-643-2147

**新タチ カワサキ** MX-TR  
兵庫県神戸市 078-643-2147

**YSP 甲子園** RA  
兵庫県甲子園町 078-643-2147

**オートスポーツ 松川** MX-TR  
兵庫県甲子園町 078-643-2147

**YOU SHOP RPS直敷** MX  
岡山県岡山市 086-220-1110

**YSP 津山** RA  
岡山県津山市 086-220-1110

**YSP 安芸** RA-MX  
岡山県安芸市 086-220-1110

**YOU SHOP SP 忠勇広島** RA  
岡山県岡山市 086-220-1110

**YSP 五日市** RA  
岡山県五日市町 086-220-1110

**YSP 広島南** RA  
岡山県広島市 086-220-1110

**YSP 呉** MX  
岡山県呉市 086-220-1110

**YOU SHOP ハリケーン** RA-MX  
岡山県岡山市 086-220-1110

**木下オート** MX  
岡山県岡山市 086-220-1110

**正和輪業** RA-MX  
岡山県岡山市 086-220-1110

**ライダーズショップ** RA-MX  
岡山県岡山市 086-220-1110

**ワープ田中オート** MX  
岡山県岡山市 086-220-1110

**アトオフワカド** MX-TR  
福岡県福岡市 092-230-1110

**YSP 大塚** RA  
福岡県福岡市 092-230-1110

**YSP 博多** RA-MX  
福岡県福岡市 092-230-1110

**B・FIELD** MX  
福岡県福岡市 092-230-1110

**ライダーズショップWIN** RA  
福岡県福岡市 092-230-1110

**山口モーターズ** RA  
福岡県山口市 093-230-1110

**YSP 南久留米** RA-MX  
福岡県南久留米市 093-230-1110

**YSP 筑後** RA-MX  
福岡県筑後市 093-230-1110

**モト・ボーイ** MX  
福岡県福岡市 092-230-1110

**REIRA SPORTS** RA  
福岡県福岡市 092-230-1110

**オートショップアークス** RA  
福岡県福岡市 092-230-1110

**モーターランドフジモト** RA  
福岡県福岡市 092-230-1110

**YSP 行橋** TR  
福岡県行橋市 093-230-1110

**YSP 小倉北** RA  
福岡県小倉市 093-230-1110

**YSP 大分中央** RA-MX  
大分県大分市 097-230-1110

**YSP 大分東** RA-MX  
大分県大分市 097-230-1110

**土屋オート** RA-MX  
大分県大分市 097-230-1110

**YSP 大分大** RA-MX  
大分県大分市 097-230-1110

**YSP 佐美** RA-TR  
大分県佐美市 097-230-1110

**ライティングスポットタテマ** RA  
大分県佐美市 097-230-1110

**YSP 熊本南** MX  
熊本県熊本市 096-230-1110

**アバンテージュ** MX  
熊本県熊本市 096-230-1110

**プラスワン** MX  
熊本県熊本市 096-230-1110

**YSP 薩台** MX  
熊本県熊本市 096-230-1110

**YSP 熊本東** MX  
熊本県熊本市 096-230-1110

**YSP 延岡** RA  
熊本県延岡市 096-230-1110

**YSP 平島** RA-MX-TR  
熊本県平島市 096-230-1110

**ヨコヤマモーターズ** MX  
熊本県熊本市 096-230-1110

**YSP 鹿児島** RA-MX  
鹿児島県鹿児島市 099-230-1110

**YSP 国分** MX  
鹿児島県国分市 099-230-1110

**オートハウス アツ** RA  
鹿児島県鹿児島市 099-230-1110

**バイクショップHÖZÖZI** TR  
鹿児島県鹿児島市 099-230-1110

**沖崎ヤマハ** RA-MX-TR  
鹿児島県鹿児島市 099-230-1110

関西地区

四国地区

中国地区

九州地区

あります。





●型式SJ13A ●2ストローク・単気筒・水冷・クランクケースリッドバルブ・249cc ●最高出力40ps / 8,000rpm ●最大トルク  
3.8kg-m / 6,500rpm ●乾燥重量113kg ●乗車定員1人 ●ボディカラー：サイエンスイエロー、ダイナミックブルー ¥459,000

カタログご希望の方は、雑誌名を明記し、切手175円分を同封のうえ、〒432-91 浜松市高塚町300スズキ株式会社スズキインフォメーションセンター・RMX250S係へ。

見る・見られる・いい運転。

●バイクは昼間もライトオン  
●カーブ・交差点では、スローインクダウン

バイクゆとりびと YUTORI  
二輪余裕人

人とバイクの友好生活



本誌・雑誌・公刊誌は本誌の編集方針により、  
著作権・発行権は本誌にあり、  
本誌の責任で発行いたします。

# RMX 250S

AGGRESSIVE ENDURO



誰も僕を追い越せない。

欲しかったのは、生粋のエンデューロマシン。

RM直系のエンデューロレーサー、RMX250の野性を受け継ぎながら、グッドハンドリングも、長大なホイールトラベルをもつサスペンションも、

低中速域から高速域まで滑らかに伸びるエンジンも、

ライダーズ・フィールと鮮やかにシンクロする。だから、ハイベース・ランでも感じるのは、緊張ではなくむしろときめき。限界まではんの少し、勇気の扉を開くだけでいい。

ボーン・トゥ・エンデューロ、RMX250S。

YELLOW  
RACING



サイエンスイエロー



ダイナミックブルー

●価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄および一部離島を除く)●価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は、含まれていません。●消費税額は、別途計算の上、申し受けず。●価格は参考価格です。詳しくは販売店にお問い合わせください。●速度警告灯装着車もタイプ設定してあります。(10,000円未満)●写真はクロードコースにおけるプロライダーによる先行を模したものです。一般公道では無理をせず安全運転をしましょう。

もっと個性的に、もっとあなたらしく  
Personal Best  SUZUKI



BIKE NATURALIST

次期、最新、自然には負けない乗り方があります。  
走行態勢、走行方法には  
十分なサポートをいたします。

# 闘う、針。



「ARK」はカワサキの  
正規販売店。

マシンはもちろん、純正パーツ・用品、そして  
セーフティアドバイスから“遊び”のご相談まで、  
このマークのある確かな技術と信頼の  
カワサキ正規販売店「アーク」へどうぞ。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは自然もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローインクダウン!

バイクゆとりびと  
二輪 余裕人



人とバイクの友好生活

コンペティション・シーンに、4ストサウンドが響きだす。ハイパー・オフロードレーサー、KLX250R、誕生。

強烈なパワーとトラクションを誇り、低速から高速までストレスなく吹け上がる新設計水冷4ストローク250cm<sup>3</sup>エンジン。

KXゆずりの高剛性で定評のあるペリメーターフレームを採用。軽量・スリム・コンパクトをかなえたスタイリングに、倒立フロントフォークやユニ・トラックススペンションを備えるなど、メカニズムのすべてがハイレベルな戦闘力につながっている。4ストで闘う。それが合言葉だ。

## 4 Stroke Hyper Off-road Racer KLX250R誕生。

KLX250R ● 水冷4ストローク単気筒/DOHC4バルブ・249cm<sup>3</sup> ● 最高出力:32ps/8,500rpm

● 最大トルク:2.7kg-m/7,500rpm ● 乾燥重量:104kg ● カラー:ライムグリーン ● ¥459,000

- 表記価格は北海道および沖縄を除くメーカー希望小売価格です。● “メーカー希望小売価格”は、参考価格ですので、詳しくはARKにお問い合わせください。
- 表記価格には保険料、税金(消費税など)、登録などに伴う諸費用は含まれません。消費税額は別途計算のうえ申し受けます。● 改良のため仕様および諸元は予告なく変更することがあります。
- 公道および一般交通の用に供する場所では一切走行できません。● 車体カラーは印刷や撮影条件などから、実際の色と多少異なる場合があります。
- カタログご希望の方は、車種名と雑誌名を明記し、175円切手を同封のうえ、〒673 明石市川崎町1-1 株式会社 カワサキモータース ジャパンのカタログ係まで。



カワサキオートバイ販売株式会社は、平成5年1月1日より  
株式会社 カワサキモータース ジャパンに社名を  
変更いたしました。これからもよろしくお願いいたします。

### KAZE メンバー募集中。

バイクを持っている方も、持っていない方も——バイクに興味のある方なら、カワサキライダーズクラブ「KAZE」に入会ください。毎月の機関紙のお届けや割引の特典など入会メリットがいっぱい。ご入会のお申し込み・お問い合わせは「ARK」&「KAZE」事務局（フリーダイヤル0120-100819）へどうぞ。

### 「KDX250SR TECH SPIRIT VOL.2」掲載誌発売中!

KDX250SRエンジン・4バルブDOHCエンジン、27000rpmのクランクシャフト、4バルブDOHCエンジン、TECH SPIRIT VOL.2 掲載誌(92ページ)定価500円(税込) ● 送料別売 ● TECH SPIRIT VOL.2 がお持ちでない方はVOL.2 (定価2,000円(税込)) が必要です。お問い合わせ先 〒673 明石市川崎町1-1 株式会社カワサキモータースジャパン 078-926-0239

### 人とバイクと、そして「遊びのいい関係」

Let the Good Times Roll!

このキヤムに笑顔を、賞賛、ご意見をお送りください。お気軽にメールでお問い合わせください。

お名前 郵便番号

●東京店(03)5269-2755 ●名古屋店(078)926-2003

**Kawasaki**  
株式会社 カワサキモータース ジャパン

Come ride with us.  HONDA

エモーショナルなフォルム。豪快なパワーフィール。圧倒的な量感。  
リッターマシンのもつ妖しいまでの魅力をストレートに表現する、  
CB1000スーパーフォー。大きく、強く、美しい。  
唯一無二。ビッグワンであることの誇りに満ちている。

新 登 場

# CB1000

## SUPER FOUR

●型式SC30 ●水冷4サイクルDOHC4バルブ4気筒・998cc ●最高出力33PS/6,500rpm ●最大トルク8.6kgm/6,000rpm ●乾燥重量235kg ●車体色：パールフェイtlレスホワイト×キャンディレインシグレット、  
メーカー希望小売価格 ¥920,000 (税込) ※価格には保険料・税金・消費税を含む。登録などに伴う諸費用は含まれていません。※価格は参考価格です。詳しくは販売店にお尋ねください。※遠慮なくお問い合わせください。

バイクが好きだから、セーフティライド。

CB1000 SUPER FOUR Special Catalog

最新までこだわりを持って造り込んだCB1000 SUPER FOURの魅力を、迫力ある写真で紹介する大判ビジュアルカタログ(83頁×2,044頁×4)を制作しました。ご希望の方は、切手500円を同封し、住所・氏名・年齢・職業を明記の上〒150-8585 東京都渋谷区東三軒五郎 本田技研工業株式会社まで、お届先に送付ください。

カタログご希望の方は、カタログ請求券と切手175円を同封し、機種名と住所・氏名・年齢・職業を明記の上、〒150-8585 東京都渋谷区東三軒五郎 本田技研工業株式会社まで。

カタログ請求券  
CB1000 SUPER FOUR  
MFJ

ビッグワンであること。

ブラック×ヘビーグレーメタリック  
標準タイヤ設定してあります。(10,000円未満)

見る・見られる・いい運転。

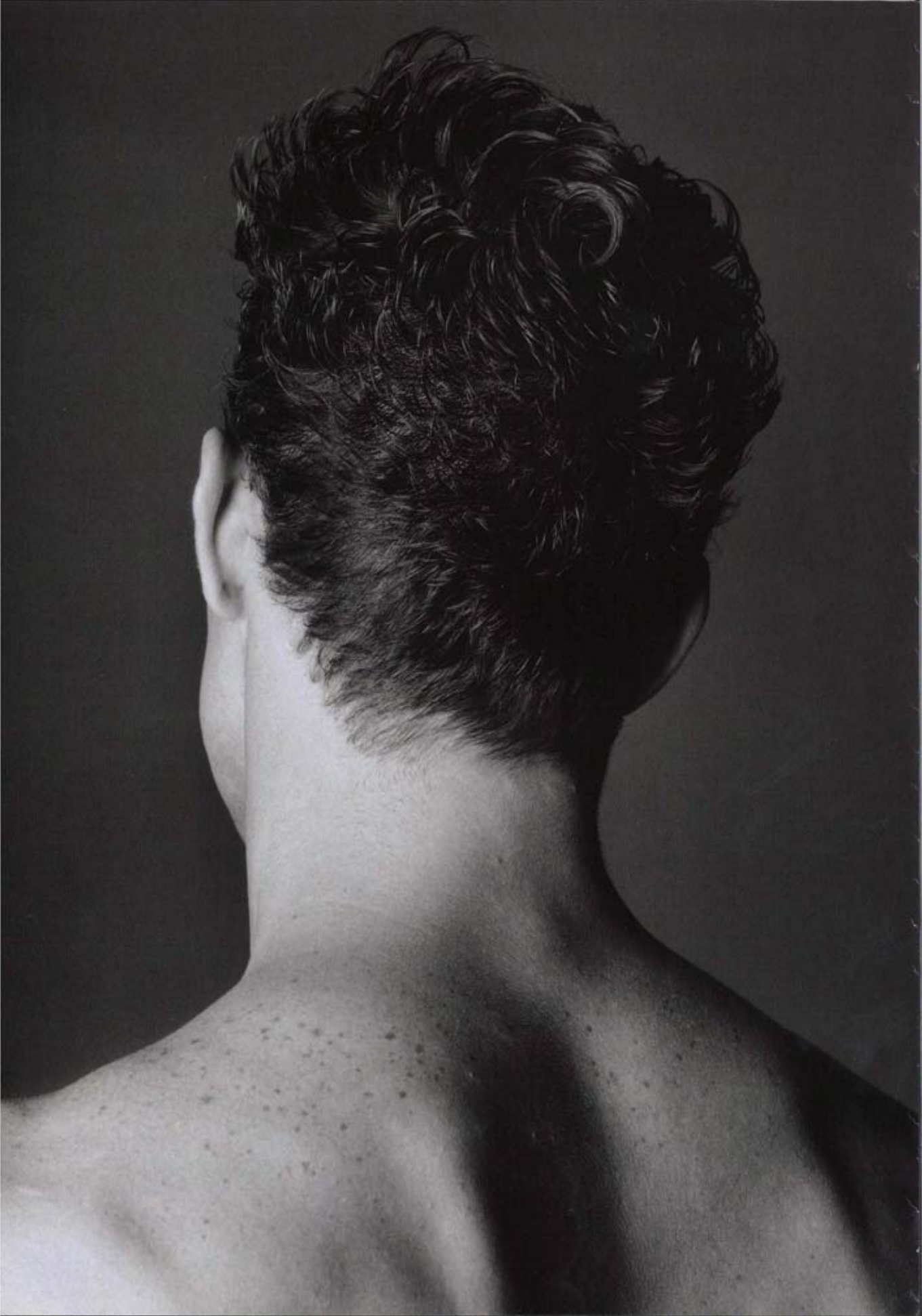
- バイクは昼間もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローインクダウ!

バイクゆとりびと  
二輪余裕人



YUTORI

人とバイクの友好生活





## 判断力は鈍っていないか。

人間は呼吸する。口はもちろん、皮膚でも呼吸する。そして、十分に空気が行き渡らないと、息苦しくなる。眩暈がする。気分が悪くなる。ライダーたちは、長時間ヘルメットを被り、頭皮を圧迫する。当然、頭皮は十分に呼吸できない。集中力は低下し、正常な判断力は失われていく。私たちは、ライダーの方々にはベストコンディションでバイクに乗ってもらいたい。ヘルメットの役割が事故からライダーを守ることならば、集中力を持続させ、事故の可能性を少しでも減らすことも私たちの役割だと考えるからです。そこで評価の高いX-8をベースに開発したのが、DLVシステム採用の新製品X-8SPです。皮膚呼吸を容易にし、頭部を常に快適に保つこのシステムは、硬軟二層になっている衝撃吸収ライナーの間にエアルトを設定。そこから頭部全体に新鮮な空気を供給するとともに、ヘルメット内の湿気・熱気をトップアウトレットから吸い出します。もちろん、耳障りな風きり音を抑えるシールドのカバーレス設計「ビルトイン・メカシールド」や、'77年世界で初めてカーボンファイバーを採用したSHOEIの軽量化技術も投入。その快適性は'92年

8時間耐久レースで優勝するなど、トップライダーたちによって証明されています。ここで私たちが目指したのは、万一の際にライダーの被害を抑えるパッシブセーフティとともに、危険を未然に防ぐアクティブセーフティ。だからこそ、徹底的に「頭の呼吸」にこだわりました。判断力を持続できる快適性こそ、これからのヘルメットに求められる資質なのです。

●硬軟二層の衝撃吸収ライナーの間にエアルトを設定したDLVシステム(デュアルライナー ベンチレーションシステム) ●シールドの曇りをより効果的に除去・防止する、サイトレーションシステム ●必要最小限の開きでシールドの曇りを除去・防止するプリセットオープンナー ●ホールド性を高めながら通気性・吸汗性を高めた新内装構造 & 新内装布地 ●前方・左右視界を拡大し、振り向きざまの視界を向上させた新設計の開口部 ●風切り音の減少、シールドのすばやい脱着を可能にしたビルトイン・メカシールド



DLVシステム  
(デュアルライナー ベンチレーションシステム) トップアウトレット



デュアルライナー ベンチレーションシステム

**X-8 SP**  
AERO-SILENCE

¥45,000










●規格: スネルM90/JIS規格C種(MFJ公認) ●カラー: ホワイト、ブラック ●サイズ: XS, S, M, L, XL ●構造/カーボン&ファイバーグラスH.L.構造、デュアルライナーシステム※シールド(CX-1)は標準装備のソフトスモークと、別売のクリアー、スモーク、アンバーの4種類、各¥3,800です。※特許出願中

## アタマの呼吸が大切だ。

# SIGNAL FLAGS

## 信号旗 (合図旗および合図)

競技中、競技役員が次の信号旗(フラッグ)を示した場合は、各ライダーはこの旗の指示に従わなければならない。

旗の種類	旗の意味		旗の種類	旗の意味	
	ロードレース	モトクロス/スノーモビル		ロードレース	モトクロス/スノーモビル
 国旗	レーススタート (通常緑シグナルで示す)	レーススタート (スターティングマシン) で行なう場合もある。	 赤旗	レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。サーキットを閉鎖する場合にも用いる。	全ライダー停止
 黄旗	静止 危険予告・ 追い越し禁止	危険予告・減速	 黒旗	白ナンバーを付けた黒ボードを併用する。 示されたナンバーを付けているライダーは次のラップでピット停止。	ナンバーを示したボードと併用。指示されたライダーは走行中止。
	振動 コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。 減速・停止準備・追越禁止	危険予告・徐行・停止準備・安全確認・追い越し禁止		静止 追越しシグナル、1台またはそれ以上のスピードの速いマシンが追い越そうとしている。	 青旗
 白旗	静止 1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり	コース上にサービス車両(救急車等)あり	 チェッカー旗	レース終了	
	振動 直前に徐行中の介入車両あり				
 赤ストライプ付黄旗	コース表面が滑りやすい状態				
 緑旗	先に出した合図の解除 (コースクリアー)	先に出した合図の解除	<b>レースナンバープレート ライセンス識別カラー</b>		

### ロードレース 国際A級対象種目は、125cc、250cc、500cc、SS、F1、SB、耐久

 国際A級(125cc)(前面) <small>(1ゼッケン番号に同色)</small>	 国際A級(250cc)(側面) <small>(1ゼッケン番号に同色)</small>	 国際A級(500cc)(側面)
 SS(前面)	 F1/SB(側面)	 耐久(側面)
 国内B・C級SP(側面)		

注：タテ×ヨコの数字は、ナンバープレートの寸法  
数字の書体は、FIMの指定に基づくMFJの正規のものである。

### ヘルメットのMFJ公認マーク



※MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークの貼付されていないヘルメットは、特別検査料(1000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。

### レーシングスーツのMFJ公認マーク



※使用するレーシングスーツには、MFJ公認マークが付いていなければならない。

### モトクロス タテ235×ヨコ285mm

 ジュニア	 国内B級	 国内A級
 国際A級(125cc)	 国際A級(250cc)	 国際B級

### トライアル タテ150以上×ヨコ175mm以上

 ジュニア	 国内B級	 国内A級
 国際B級	 国際A級	

### スノーモビル

 S1クラス	 S4クラス	 S3クラス
 S2クラス	 S1クラス	

# MFJ

# 国内競技規則書

## 1993年版

### CONTENTS

信号旗/レースナンバープレート・ライセンス識別カラー	18
MFJ国内競技規則	20

#### ROAD RACE

細則 1	ロードレース競技規則	43
細則 2	'93全日本選手権大会特別規則	58
細則 3	'93スーパーカップ選手権大会特別細則	62

#### MOTOCROSS

細則 4	モトクロス競技細則	75
細則 5	'93全日本選手権大会特別規則	83

#### TRIAL

細則 6	トライアル競技細則	99
細則 7	'93全日本選手権大会特別規則	109
細則 8	'93スタジアムトライアル全日本選手権特別規則	114

#### SNOWMOBILE

細則 9	スノーモビル競技細則	119
細則 10	'93全日本選手権大会特別規則	128

#### TECHNICAL RULES

MFJ技術規則	131
基本仕様<ロードレース>	136
基本仕様<モトクロス>	141
基本仕様<トライアル>	144
SPクラスの車両規則	148
SSクラスの車両規則	152
耐久レースの追加仕様	156
国内GPクラス	157
国内モトクロス	160
国内トライアル	163
FIM技術仕様	165
スノーモビル車両仕様	171
ドラッグレースの仕様	173
ロードレースジュニアクラスの仕様	178
ミニバイクの車両規則	181

#### SUPPLEMENT

ドラッグレース競技細則	184
MFJライセンス昇格・降格に関する規則	191
MFJ共済会制度	195
MFJ公認車両・部品・用品	196
全国公認サーキット	211
歴代チャンピオンリスト	214

1993年1月1日発行  
ライディング臨時増刊・通巻281号

財団法人

**日本モーターサイクルスポーツ協会**

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441

■発行所：財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会

■編集：AGEN co.,Ltd. ■印刷所：樹三秀堂

国内競技規則

ロードレース

モトクロス

トライアル

スノーモビル

総合仕様規則

付録

# 1993

## MFJ国内競技規則

### ■第1章 総 則

- 1. モーターサイクル・スポーツの国内的統括 .....21
- 2. 公認競技会、承認競技会の格式および種目 .....21
- 3. 大会特別規則ならびに公式通知 .....22

### ■第2章 ライセンス

- 4. 競技ライセンスとその種目 .....23
- 5. 競技ライセンスの取得資格 .....24
- 6. 競技ライセンスの有効期間 .....25
- 7. 競技ライセンスの効力の失効等 .....25
- 8. 競技ライセンス資格の昇格および降格 .....25

### ■第3章 競技会

- 9. 競技参加者 .....26
- 10. 競技参加者の遵守事項 .....26
- 11. ライダーの装備 .....27
- 12. 出場車両 .....28

- 13. MFJ公認車両および公認部品・用品 .....28
- 14. 燃料およびオイル .....28
- 15. 競技出場の申し込み .....29
- 16. 出場料およびMFJ共済会掛金 .....29
- 17. ライダーおよび車両の変更 .....29
- 18. 車両検査 .....30
- 19. 競 技 .....30
- 20. 優勝者等の決定 .....30
- 21. 入 賞 .....30
- 22. 入賞者の車両検査 .....31
- 23. 競技結果および記録の公表 .....31
- 24. 公式得点 .....31
- 25. 競技会の延期および中止等 .....31
- 26. 損害に対する責任 .....32
- 27. 抗 議 .....32
- 28. 違反行為に対する罰則 .....33
- 29. 大会審査委員会の権限 .....33

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motocycliste: 略称FIM)の国際スポーツ憲章、FIM競技規則に基づいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。

# 第1章

## 総則

### 1 モーターサイクルスポーツの国内的統括

- この規則は、わが国のモーターサイクル・スポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正および秩序を保持することを目的とする。
- 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste以下「FIM」という）の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- モーターサイクル・スポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、本国内競技規則ならびに特別規則等を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- この規則は、MFJの主催またはMFJの公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会（以下「承認競技会」という）についても適用される。
- 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該競技審査委員会が行い、これを最終的なものとする。

また競技会において疑義が生じた場合、本規則に規定されていない事項はFIM国際スポーツ憲章、FIM競技規則およびその趣旨により判定する。

### 2 公認競技会、承認競技会の格式および種目

#### 1) 公認競技会の格式

##### (1) 国内格式競技会

国内格式競技会は、MFJライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営にはMFJ国内競技規則が適用される。

##### (2) 国際格式競技会

国際格式競技会は、各国モーターサイクル協会（以下「FMN」という）が発行するFIMインターナショナルライセンスを所持する複数のFMNのライダーが参加することができ、この競技会はFIM競技規則が適用される。

#### 2) 格式の内わけおよびその優先順位は、下記のとおりとする。

国際格式		国内格式	
優先順位	国際格式	優先順位	国内格式
1	世界選手権競技会（FIMカップ含む）	6	全日本選手権
2	国際選手権競技会 （パンパシフィック選手権含む）	7	スーパーカップ選手権
3	日本（MFJ）グランプリ	8	特別競技会
4	全日本選手権	9	地方選手権競技会
5	国際競技会	10	県選手権競技会
		11	その他公認競技会
		12	承認競技会

3) 公認競技会の種目

公認競技会の種目は次のとおりとする。

- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| (1) ロードレース | (5) ドラッグレース             |
| (2) モトクロス  | (6) エンデューロ              |
| (3) トライアル  | (7) その他MFJスポーツ委員会で認める競技 |
| (4) スノーモビル |                         |

4) 承認競技会の種目は、競技会の格式が銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。

- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| (1) ロードレース | (5) エンデューロ              |
| (2) モトクロス  | (6) ミニバイクレース            |
| (3) トライアル  | (7) その他MFJスポーツ委員会で認める競技 |
| (4) スノーモビル |                         |

### 3 大会特別規則ならびに公式通知

1) 競技会は、この規則および各種目別細則に基づいて行われるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの特別規則、公示または公式通知によって行われる。

2) 大会特別規則および公式通知は、競技会主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。

(1) 大会特別規則には次の各項が示される。

- ① 競技会の名称・格式
- ② 競技会の組織
- ③ 主催者の名称、所在地および連絡先
- ④ 開催日時・場所
- ⑤ 競技の種目および内容
- ⑥ 参加資格
- ⑦ 出場申し込み受け場所
- ⑧ 出場申し込み期間
- ⑨ 出場料とMFJ共済会掛金
- ⑩ 出走者の定員
- ⑪ 賞およびその詳細
- ⑫ その他

3) 公式通知には大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および大会特別規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができる。

ただし、その内容は大会特別規則およびMFJ国内競技規則に反するものであってはならない。



# 第2章

# ライセンス

## 4 競技ライセンスとその種目

1) ライセンスには、競技ライセンス、Lライセンスおよびピットクルーライセンスとがあり、競技ライセンスは公認競技会に、Lライセンスは承認競技会に参加するために必要な証書である。

また、ライセンスを受けた者は、自動的にその住所を管轄するMFJ公認都・道・府・県協会（以下「県協会」という）に所属する。

2) 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は、次のとおりとする。

### ●競技ライセンス別の種目

種目 クラス	ロードレース	モトクロス	トライアル
国際A級	○	○	○
国際B級	-	○	○
国内A級	○	○	○
国内B級	○	○	○
国内C級	○	-	-
ジュニア	○	○	○

### ●スノーモビルの競技ライセンス

スノーモビル	
クラス	A 級
	B 級
	ジュニア

### ●ドラッグレースの競技ライセンス

ドラッグレース	
クラス	A 級
	B 級

### ●競技ライセンス別の参加できる競技会・種目

参加できる種目	取得しているライセンス	競技ライセンス						Lライセンス
		ロードレースライセンス	モトクロスライセンス	トライアルライセンス	スノーモビルライセンス	ドラッグレースライセンス	エンデューロライセンス	
公認競技会	ロードレース	○	-	-	-	-	-	-
	モトクロス	-	○	-	-	-	-	-
	トライアル	-	-	○	-	-	-	-
	スノーモビル	-	-	-	○	-	-	-
	ドラッグレース	-	-	-	-	○	-	-
	エンデューロ	-	-	-	-	-	○	-
承認競技会	ロードレース	○	-	-	-	-	-	-
	モトクロス	○	○	○	○	○	○	○
	トライアル	○	○	○	○	○	○	○
	エンデューロ	○	○	○	○	○	○	○
	ミニバイク	○	○	○	○	○	○	○
	スノーモビル	○	○	○	○	○	○	○
その他 MFJ スポーツ委員会が認める競技会	○	○	○	○	○	○	○	

※運転免許を受けているものに限る。ピットクルーライセンスでライダーとして承認競技会に参加できる（Lライセンスと同じ）

## 3) FIMライセンス (MFJを経由して取得することができる)

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することのできるライセンスの区分は、次のとおりである。

種目	競技ライセンス区分	取得資格
ロードレース	① 大会のみ有効なライセンス 国内における世界選手権競技会に使用できる	当該種目の国際B級以上のライセンス所有者
モトクロス トライアル	② 年間ライセンス 国内・国外で行われる世界選手権、国際競技会に使用できる	当該種目の国際A級ライセンス所有者

## 5 競技ライセンスの取得資格

## 1) 競技ライセンス取得申請を行う者は、次の要件をみたしていなければならない。

- (1) 日本にスポーツ国籍を有すること。
- (2) 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に3ヶ月以上継続的に居住した外国国籍の者が、その期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ本人が所属する国のFMNの承諾書を受けていること。ただし、本人が所属する国のFMNからFIMインターナショナルライセンスの発給を受けており、かつFMNからの移籍許可を得て、MFJスポーツ委員会が認めた場合は、3ヶ月の居住証明は不要とする。

移籍した者は、当該年度は再移籍が認められない。

- (3) 過去6ヶ月以内に重大な刑法上の犯罪により処罰された者でないこと。  
当該年度にMFJから他国協会 (FMN) に移籍した者は、当該年度内はMFJライセンスの再取得はできない。

## (4) 種目による条件

- ① モトクロス、トライアル、スノーモビル、エンデューロ、Lライセンス
  - Ⓐ 運転免許 (小型特殊免許を除く・以下同じ) を受けていること。
  - Ⓑ 運転免許を受けていない9歳以上の者は競技ライセンス講習会の修了証 (発行後6ヶ月以内のものに限る・以下同じ) を受けていること。
  - Ⓒ 運転免許を受けることのできる身体的要件を備えていること。





## ② ロードレース

⑧ 運転免許を受けており、下記の要件を満たしていること。

## ア. 国内B級ライセンス

MFJの公認するロードレース・国内B級ライセンス講習会の修了証を受けていること。またはMFJの公認するサーキットにおける3時間走行証明書を受けていること（走行券やカードは不可）。または国内C級ライセンスにて、公・承認ロードレース大会に2回以上の出走実績があること。または、公認・承認ロードレース競技会において、予選出走台数20台以上のレースで10台以内、10台以上のレースで6位以内に入賞実績のあること（どちらか1回で可）。なお、有効実績は前々年度（'91.1.1～）の大会からとする（MFJ指定の用紙で申請すること）。

## イ. 国内C級ライセンス

MFJの公認するサーキットのライセンス講習会の修了証を受けていること。サーキットライセンスを取得していること。

## ウ. ジュニアライセンス

満12歳以上の者、又は16歳以上で免許証を有しない者は、MFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し終了証を受けていること。

## ③ ドラッグレース

運転免許を受けており、下記いずれかの要件を満たしていること。

ドラッグレース講習会の終了証を受けていること。

## ④ ビットクルー

16歳以上であること。

※本規則でいう「スポーツ国籍」とは競技参加者が最後にライセンスを交付されたFIM加盟の各国モーターサイクル協会「FMN」の国籍とする。

## 6 競技ライセンスの有効期間

1. MFJの発行するライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。

## 7 競技ライセンスの効力の失効等

- 1) 次の者のライセンスの効力は失効し、または停止される。
  - (1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
  - (2) 運転免許の効力を失った者、または停止されている者。
  - (3) 氏名・年齢等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
  - (4) MFJの認めないモーターサイクル競技会に出場した者。
  - (5) 前条の有効期限を超過し、継続申請をしなかった者。
  - (6) MFJスポーツ委員会の裁定により、停止処分を受けた者（スポーツ委員会の定める期間）。

## 8 競技ライセンス資格の昇格および降格

- 1) 競技ライセンスの昇格および降格については、別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による（193頁参照）。

## 競技会

### 9 競技参加者

- 1) MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。
  - (1) ライダー
    - ① 当該競技に必要なMFJ競技ライセンスを受け、参加申請した者。(効力の停止中の者を除く)。
    - ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行っているもの。
    - ③ 満20歳未満の者は、親権者の承諾書を提出したもの。
    - ④ 負傷しているライダーは、主催者の指定する医師の競技参加の承諾を得ているもの。
  - (2) ピットクルー
    - ① 当該競技に必要なMFJピットクルーライセンスを受けて参加申請をした者。
    - ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行っているもの。
  - (3) エントラント  
ここで規定するエントラントとは下記の者で競技参加申請を行った団体または個人を言う。
    - ① MFJ公認クラブまたはMFJライセンス取得者
    - ② MFJメーカーライセンスを所有している車両メーカー
    - ③ MFJ賛助会員ライセンスを所有しているコンストラクター、部品関連メーカー

※ エントラント資格を有し、エントリー用紙に参加申請をすることによりMFJ国内競技規則に定められている抗議者の資格が得られる。
- 2) 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの提示を求めることにより、ライダーおよびピットクルーの資格要件を確かめることができ、もし本規則に違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

### 10 競技参加者の遵守事項

- 1) 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。
  - (1) 競技会中は、MFJ国内競技規則に従って行動し、参加者は、すべての行動に対して責任を持たなければならない。
  - (2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では交通規則を守らなければならない。

- (3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品でいやしい言葉や言動は厳に慎まなければならない。
  - (4) 競技に関する業務についているときは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
  - (5) 競技会中は、参加するためのライセンスを必ず携帯していなければならない。
  - (6) 競技会に参加することが認められた者が出場しない場合（競技現場での不参加を含む）は、正当な理由をもって、その旨主催者に通告しなければならない。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、主催者は速やかにMFJスポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
  - (7) ライダーまたはエントラントが集団で競技または予選を欠場した場合、または、そのような働きかけをした場合、主催者は速やかにMFJスポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
- 2) 特にライダーは、上記のほか次の事項を守らなければならない。
- (1) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
  - (2) 故意に他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
  - (3) 競技中（公式練習も含む）は、他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
  - (4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
  - (5) 他の者の援助を一切受けてはならない。  
他の者による援助とは、そのレースに参加しているライダー、決められた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の競技役員以外の者が車両に触れることをいう。  
なお、援助に関する細部については、別に定める競技種目細則による。
  - (6) 競技中の車両には、いかなる者も同乗させてはならない。
  - (7) ライダーは競技中、アルコール類、または薬品等（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。

## 11 ライダーの装備

- 1) ライダーの装備は、次のとおりとする。
  - (1) ヘルメット
    - ① ライダーは、コース（ラン・オフ・エリアを含む）にある間は、MFJが公認したヘルメットを装着しなければならない。
    - ② MFJ公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていなければならない。
    - ③ MFJが公認するヘルメットの規格については、各競技種目別細則により定める。  
なお、国際競技会においてはFIMで認められた各FMN規格のマークが前項のマークとみなされる。
    - ④ 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査が行われ、MFJが公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ライダーの安全上からその使用を禁止する。
    - ⑤ MFJ公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。

この場合は、別に定める特別検査料（各競技種目別細則による）を支払わなければならない。

## (2) 服装

- ① ロードレースのレーシングスーツについては、MFJ公認のものでなければならない。
- ② ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであってはならない。
- ③ その他細部については、各競技種目別細則により定める。

## 12 出場車両

- 1) 競技に出場する車両のクラス区分等は、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 2) 車両は細則に示す「出場車両」と「基本仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
- 3) 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。

## 13 MFJ公認車両および公認部品・用品

- 1) MFJ公認車両および公認部品・用品については、「MFJ車両・部品公認ならびに承認に関する規則」の定めるところによる。  
なお、公認された車両および部品・用品については、MFJの発行する月刊「ライディング」誌、その他により公示される。
- 2) 公認の発効は、車両、タイヤ、部品についてはMFJ技術委員会において審査し、公認された日の翌月の対応日（対応日がない場合は前日）または、発売日の翌月（ロードレースの一般市販車は2ヵ月後）の対応日としヘルメット、レーシングスーツは、公認された日からとする。
- 3) 車両は、当該競技会公式車検日時点で公認が発効されている車両でなければ出場申し込みをすることができない。

## 14 燃料およびオイル

- 1) 競技に使用する燃料は、一般市販ガソリン（民間航空機用の市販ガソリンでも可）でなければならない。供給ガソリンの製造メーカーおよびその他の詳細は公式通知に示される。なお、ロードレースに使用するガソリンについては、ロードレース競技細則の定めるところによる。
- 2) オイルの製造メーカーは指定しない。
- 3) その他燃料については、次のとおりとする。
  - (1) ガソリンおよびオイルには、オクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。
  - (2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。また主催者より作業場所の指定がある場合は、必ずその指示に従わなければならない。
  - (3) ガソリンおよびオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法により定められているところによる。
- 4) 世界選手権に関してはFIM規則が優先される。

## 15 競技出場申し込み

- 1) 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
  - (1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない(エントリー時で当該ライセンスを取得していること)。
    - ① 車両の登録はエントリー用紙に下記事項を記入すること。参加受理書発送後記入事項に変更がある場合は、選手受付時に車両変更手続きを行わなければならない。
      - ㉑ 銘柄
      - ㉒ 車名
      - ㉓ 年式
      - ㉔ フレーム打刻型式頭番号
      - ㉕ エンジン打刻型式頭番号
  - (2) 主催者は、エントラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。
  - (3) 申し込み期間、申し込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
- 2) 競技出走者数または出場申し込み者数の定員は、大会特別規則に示される。  
 なお、出場申し込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスの競技会を中止することがある。

## 16 出場料およびMFJ共済会掛金

- 1) エントラントまたはライダーは、出場申し込みのとき、大会特別規則に明示する出場料を支払わなければならない。
- 2) ライダーは、出場申し込みのときMFJ共済会掛金を主催者に支払わなければならない。MFJ共済会については、別に定める規則による。
- 3) いったん主催者に受理された出場料および共済会掛金は、競技会の延期および中止等に合致する以外は払い戻しされない。

## 17 ライダーおよび車両の変更

- 1) エントリーされたライダーの変更は認められない。
- 2) 登録された車両の変更は、原則として認められない。変更する必要がある場合は、所定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。  
 車両変更手数料は5,000円とする。
  - (1) 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびクランクケースなどを交換する必要がある場合は、競技監督に申告し、元の部品を提示して、許可を受けなければならない。
  - (2) 公式車検終了後ライダー間でマシンを交換することは禁止される。
  - (3) 紛争に際して製造メーカーについての立証の責任は、参加者側にあるものとする。

## 18 車両検査

- 1) 競技車両は、本規則および各競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
- 2) 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない（スタート前チェック）。チェックの時刻およびチェックの場所は、公式通知により示される。
- 3) ライダーが車両仕様申告を行う場合は、車両検査時に大会事務局より配布された車両仕様書をもって申請することができる。

## 19 競技

- 1) 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝競技出場者を決定することがある。その詳細については、各競技種目別細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 2) スタートの方法はそれぞれの種目の細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 3) 競技中競技役員が合図旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
- 4) 合図旗とその意味については、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 5) 停止
  - (1) 競技中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないよう十分注意しなければならない。
  - (2) 競技中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
  - (3) 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ（中途退場）する場合は、その地点からもっとも近い競技役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイヤ届けを提出しなければならない。
  - (4) ライダーは、リタイヤ届けを提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
  - (5) ライダーは、停止車両をその競技が終了するまで、競技役員の管理下におかななければならない。  
ただし、その競技に支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員（コース審判）から指示された場合には、これに従わなければならない。
- 6) ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
- 7) 競技の終了  
競技の終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会特別規則に示す時間を経過した時点である。

## 20 優勝者等の決定

優勝者、入賞者および完走者の定義については、それぞれの種目の細則の定めるところによる。

## 21 入賞

入賞者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。また賞は主催者（大会事務局）から交付されるが、これの交付時間等詳細は大会特別

規則により示される。

## 22 入賞者の車両検査

- 1) 競技終了後、原則として1位から6位までの車両は、レース終了後、ただちに車両両保管区域に確保され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 保管車両は、必要に応じて検査される。
- 3) その他、種目別細則ならびに大会特別規則による。

## 23 競技結果および記録の公表

- 1) 競技終了後、暫定結果の公表を行う。
- 2) 競技の正式結果は、暫定結果発表後3時間以内に公表される。
- 3) 参加者は、公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

## 24 公式得点

- 1) 公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点は、下記のとおりとし、この詳細は、別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」による。

### ① 全日本選手権および地方選手権競技会

順位	台数 25 以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									

### (2) その他の公認競技会(トライアルは除く)

順位	台数	12以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	10	不成立
2位	8	8	8	8	8	8	
3位	6	6	6	6	6		
4位	5	5	5				
5位	4	4					
6位	3						

## 25 競技会の延期および中止等

- 1) 競技は、天候・異変その他安全確保に支障をきたすおそれがある等、特別の理由がある場合にかぎり、競技の一部を打ち切りまたは中止することができる。
- 2) 前項の判断決定は、大会審査委員会が行う。
- 3) すべての関係者は、大会審査委員会の決定した競技の一部打ち切りまたは中止に従わなければならない。
- 4) レースの短縮及び打ち切り

## (1) 出走前の短縮

① 出走前にレース周回数・時間を短縮する場合は、原則として本来のレースの75%以内とする。

② 参加者にこのことが速やかに通知されなければならない。

## (2) 出走後の短縮・打ち切り

特にやむを得ない理由によって、トップ走者が、その競技に決められた周回数（または時間）の75%を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効とする。

※ 全日本ロードレース選手権は、細則3の〔㉔レースの停止〕(53頁)の定めるところによる。

5) トップ走者が決められた周回数（または時間）の75%以上を完走して競技を打ち切った場合は、大会審査委員会は、その競技の判定結果にその理由を付して発表するものとする。

※ 全日本ロードレース選手権は、細則3の〔㉔レースの停止と再スタート〕の定めるところによる。

6) 競技の中止と出場料等の返却は、下記表のとおりとする。参加者は、その他いっさいの損害賠償を主催者に請求することはできない。

競技会の不成立	区分	出場料 MFJ共済会掛金	返却・不返却	備 考
完 全 不成立	出 場 料		○	出走不可能
	掛 金		○	
条件付 成 立	出 場 料		×	決勝において、所定の75%以上経過して中止
	掛 金		×	
決 勝 不成立	出 場 料		決勝進出者のみ○	決勝時に出走不可能
	掛 金		×	

注1. ○は返却する、×は返却しない。

2. 競技の成立・不成立の、クラス単位に判断する。

7) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、何人も抗議することはできない。

## 26 損害に対する責任

1) 競技中、車両およびその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。

車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額として、その所有者に補償する。

2) 競技会開催期間中、またはその前後に起こされた傷害は、参加者自ら責任を負うものとする。

3) 競技役員は、その職務に最善をつくすが、仮に競技役員の行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいっさいの責任を負わない。

## 27 抗議

1) 抗議は、暫定結果発表後30分以内にライダー及びエントラントだけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。

(1) 大会事務局を備えつけられた抗議申し立て書に記載し、1項ごとに抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。

(2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受付られ、大会審査委



員会において審議裁定される。

- (3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定を下すものとする。
- (4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
- (5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。  
抗議保証金は、1項目につき10,000円とする。

## 28 違反行為に対する罰則

1) 大会中（競技中も含む）における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で下記の罰則を科することができる。

- (1) 注意処分（口頭による注意または文書による注意）
- (2) 嚴重戒告（戒告通知を受けたものは始末書提出）
- (3) 罰金（10,000円以上50,000円以下）
- (4) 競技結果に対する1分以内の加算
- (5) 競技結果に対する1分以上の加算、または1周以上の減算
- (6) 退場
- (7) 失格

違反の事実認定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑ならびに適用は、大会審査委員会の決定によるものとする。

2) ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、MFJスポーツ委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止までおよびかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

## 29 大会審査委員会の権限

大会審査委員会は、本規則ならびにその細則に基づき、当該競技会において最終的な権限を行使することができる。

# 附 則

1. 本規則は、1993年1月1日から施行する。



# RIDER'Sビッグ保障プラン

## 1 無配当新定期保険(災害入院特約・疾病入院・手術特約付) 万一の死亡はもとより、入院・手術まで保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日額×(入院日数-4日)) (入院 120分程度)	災害で入院を開始し5日以上の継続入院のとき	日額 5,000円
	病気で5日以上の継続入院のとき	
手術給付金 (手術に要する入院日額の50-30-15倍)	病気で災害で所定の手術を受けた場合	種類により 25・15・7.5万円
死亡保険金	災害で死亡された場合	500万円
	病気で死亡された場合	

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	2,495円	2,180円
30才	2,850円	2,440円
40才	3,540円	3,005円

- 契約年齢は5歳～60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳きざみで異なります。

## 2 医療保険(無配当・ガン倍額支払特約付) 入院・看護・手術まで医療重点の幅広い保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日額×入院日数) (入院 120分程度)	災害で5日以上入院・病気で継続して8日以上入院された場合	日額 5,000円
	ガンと診断され継続して8日以上入院された場合	日額 10,000円
手術給付金 (手術に要する入院日額の50-30-15倍)	病気で災害で所定の手術を受けた場合	種類により 25・15・7.5万円
看護給付金 (入院日額×看護日数) (1看護 120分程度)	病気で災害で入院中、継続して8日以上所定の付添看護を受けたとき	日額 5,000円
死亡保険金	病気で死亡された場合	50万円
	災害・ガンで死亡された場合	100万円

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	1,765円	1,735円
30才	1,980円	1,960円
40才	2,435円	2,375円

- 契約年齢は5歳～60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳きざみで異なります。

RIDERSビッグ保障プランは、ほとんどすべての不慮の事故・病気を安い保険料で幅広く保障いたします。

## RIDER'Sビッグ・保障プラン Q&A

### Q.1 趣味としてモーターサイクル・スポーツを楽しんでいます。万一の場合の保障は?

この保険はロードレース・モトクロス・トライアル・スノーモビルなど、趣味で楽しむモーターサイクル・スポーツ中(練習中や予選・決勝も対象)はもちろ、一般的な交通事故・傷害/災害事故・仕事上の労災事故、また病気やガンまでオールマイティーに保障いたします。

保障内容は、死亡の場合は【死亡保険金】、入院された場合は【入院給付金】、手術された場合は【手術給付金】をお支払いします。さらに医療保険には【看護給付金】もお支払いします。詳しくは資料・パンフレットをご参照ください。

※参考まで、一般の傷害保険(損害保険会社が取扱う交通事故傷害保険・普通傷害保険などは「危険なスポーツでの傷害事故は免責(適用除外)」と約款(契約上の取り決め)で定められていて全く保障されません。ご注意ください。

### Q.2 通院や自宅療養のときは保障してくれますか?

残念ながら、通院や自宅療養は保障の対象ではありません。人間ドック等、検査を目的とする入院も保障の対象外です。このプランは、オールマイティー(広範囲な保障)と加入しやすい(割安な保険料)というニーズを優先し、最低限必要なものだけにスポットをあて、保障を設定いたしましたので、あしからず、まさにMFJメンバーへの為の保険です。

### Q.3 現在、ケガで通院しています。加入出来ますか?

残念ながら、契約できません。契約する時点で「健康な方」という条件がありますので、しっかりとケガを出したあとにお申し込みください。

なお、医師(はり・整骨医等)の指導や指示を受け服薬中の方、リハビリ中の方、障害などで定期検査を指示されている方、また妊娠中の女性の方も同様に契約出来ません。また、ご職業・既往症などによっても契約が出来ない場合もありますので、お問合せください。

「備えあれば、憂いなし」ということわざがありますが、ぜひ保険もパーツの1つと考え、健康なときに加入する事をおすすめします。

### Q.4 入院した場合の保障期間と給付金は?

1事故ないし1入院のケガ・病気に対する給付金のお支払い対象期間120日間。通算してそれぞれ700日間。つまりケガ・病気を合計して1400日間(10年の保険期間中)も保障します。なお、保険種類によって算出方法が異なります。

#### 無配当新定期保険

お支払い給付金=5,000円×(入院日数-4日)

#### 医療保険

お支払い給付金=5,000円×入院日数  
(ただし、ケガは5日、病気8日以上継続入院です。)

### Q.5 申込締切日と保障開始日? 保険料とその払込方法は?

締切日は毎月1日。保障の開始日は翌々月の1日。保険料は契約時の年齢別保険料が10年間(保険期間)にわたり適用となります。保険料のお支払いは第1回目から安心確実な銀行自動振替です。つまり、正式申込みから契約、保険料が振替・保障開始となるまで約3カ月の手続期間を必要としますので計画的にお申し込みください。なお、年齢が若ければ保険料が割安です。早目に資料を請求ください。

### Q.6 ライセンスを継続しないその後の事。また保険の請求方法は?

このプランは、日本モーターサイクル協会に登録された皆様に、一般に契約するよりも割安な集団割引保険料。そして幅広い保障の保険をおとどける任意保険制度です。ライセンス未継続のOBの方もメンバーズ・サービスとして、そのまま自動継続(10年単位で自動更新)いたしますので安心ください。保険料も同様に口座自動振替と変わりありません。

なお、保険金・給付金の請求のほか、住所・銀行口座の変更、解約などの手続きは、MFJ保険事務局または最寄りの日本団体生命保険の本店・各営業所までご連絡ください。所定の手続きの方法をご案内します。

## お問い合わせ・資料請求について

お問い合わせ・資料請求は下記のテレフォンセンターまたはおハガキでどうぞ。

詳しい案内書・申込書をお送りいたします。  
受付時間 AM9:00～PM5:00(月～金)

☎03(3865)8426 保険事務局直通

☎03(3407)6211 日本団体生命保険株式会社

※日本モーターサイクルスポーツ協会担当へお問い合わせ下さい。

① 書類の準備  
② 住所・フリガナ  
③ 生年月日  
④ 性別  
⑤ 職業  
⑥ 既往症  
⑦ 電話番号

41 東京都中央区  
東日本橋二丁目十六番七  
第二オカビル7F  
MFJ内  
保険事務局

- ①無配当新定期保険②医療保険のいずれか一方をお選びください。
- ②契約の際には「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
- ③ご職業、既往症などによっては契約が出来ない場合があります。
- このプランは満期金や配当金がない掛け捨て型の生命保険です。

引受保険会社 日本団体生命保険株式会社

# DUCATI



## スーパーバイク世界選手権 ドゥカティ3年連続制覇。

'92SBK世界選手権最終戦(10/25ニュージーランド)でチームボリスDUCATIライダー、ダグ・ポーレンは第1ヒートで2位以下を大きく引き離して2年連続のシリーズチャンピオンに輝きました。DUCATIは年間ポイントランキングでもTOP10のうち6台を占め、圧倒的な強さを発揮。シリーズチャンピオンと同時にコンストラクターズタイトルをも獲得し、技術力の高さを証明しました。最も市販車に近いレギュレーションで争われるSBK世界選手権——その過酷な走りの中から得たメカニズムやマテリアルに対する新たなノウハウはDUCATIの全てのストリートモデルに反映され、性能と信頼性を磨きあげてゆきます。モータースポーツと共に前進するDUCATIにこれからもご期待ください。熱いエールをありがとうございます。



### 900 SS

■エンジン:デスモドミック2バルブ・L型2気筒空油冷 ■排気量:904cc ■最大出力:73Ps/7000rpm(後輪) ■トランスミッション:6速  
■フレーム:クロモリ トレスタイプ ■ドライブレイト:183kg ■カラー:レッド ■価格:フルカウル¥1,710,000/ハーフカウル¥1,670,000  
(東京店頭渡し標準現金価格・消費税、諸費用等は含まれていません。また為替変動等により、予告なく変更する場合があります。)



## もう迷うことはありません。

先進の空油冷システムを採用した900SSをはじめとする新世代DUCATIスポーツモデルが待ち望んだ専用エンジンオイル、登場。AGIPとDUCATIが共同で研究・開発を行い、潤滑・冷却・密封・洗浄・防錆の5つの機能を高次元で結実した高性能オイルです。ドゥカティオーナーが要求する信頼性、ポテンシャルをここまで満足できるのはAGIP 4T DUCATIだけ。迷わずご指定ください。

**4T MOTOR OIL**  
SPECIAL BLENDED FOR  
**DUCATI**

[適合車種]  
400/750/900SS. 900SL. 851/888('89-91). 907IE ■'92 851/888にはAGIP RACING10W/60をご使用下さい。  
AGIP 4T DUCATI: 化学合成系マルチグレードSAE 10W/40, API SG, CCMC G4 価格12 ¥2,200 (税別)  
AGIP 4T DUCATIは正規DUCATI販売店でお求めください。(詳しくは正規販売店、又は弊社までお問い合わせ下さい)



ドゥカティ輸入総代理店

**村山モータース**

本社 ● 渋谷区笹塚2-7-8 ☎03-3378-0181  
八王子 ● 八王子市宇津木町728-1 ☎0426-91-6511  
横浜 ● 横浜市港南区日野8-1-2 ☎045-841-0181  
(定休日: 毎週金曜日・第2、第4土曜・祝祭日)

# \*\*\*\*\*ベストライダーの皆さまへ\*\*\*\*\*

ベストライダーに欠かせない

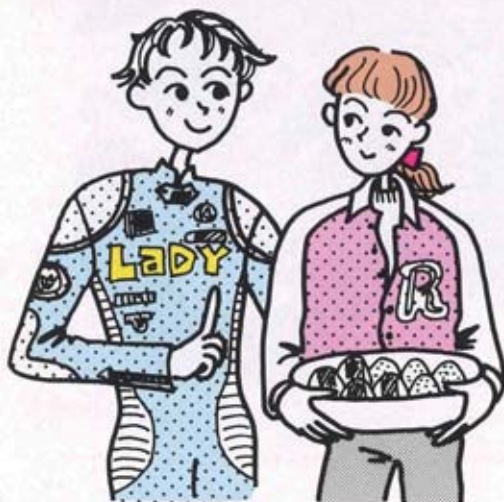
## バイクの《自賠責保険》

★法律によって加入が義務づけられている保険です。

大きな安心、  
おとどけします

自賠責保険をつ  
けずにバイクを  
運転すると

- ◎6ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
- ◎6点の減点
- ◎30日の免許停止処分



### バイクの自賠責保険料

	原付自転車 (125cc以下の2輪)	軽二輪自動車 (125cc超 250cc以下)
3年	12,300円	35,600円
2年	10,150円	25,800円
1年	7,850円	15,400円

損害保険代理店

# ホンダ開発株式会社

本 社 〒107 東京都港区南青山2丁目1番1号(ホンダ青山ビル) ☎03-3423-2311

事業所

- |               |                     |               |
|---------------|---------------------|---------------|
| 和光事業部 〒351-01 | 埼玉県和光市本町9番1号        | ☎0484-61-0843 |
| 狭山事業部 〒350-13 | 埼玉県狭山市新狭山3丁目9番2号    | ☎0429-53-7351 |
| 浜松事業部 〒433    | 静岡県浜松市英東1丁目13番2号    | ☎053-436-2241 |
| 鈴鹿事業部 〒513    | 三重県鈴鹿市大池3丁目13番20号   | ☎0593-79-5414 |
| 熊本事業部 〒869-12 | 熊本県菊池郡大津町大字平川1500番地 | ☎096-293-6222 |
| 栃木事業部 〒321-33 | 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56番地2   | ☎0286-77-3108 |

# CYCLE SOUNDS

サイクルサウンズ

ロードスポーツマガジン

SINCE  
1982

ロードレースを愛するすべての人へ

サイクルサウンズは国内唯一のロードスポーツ専門誌です

世界グランプリから地方選手権まで  
全レースをレポートしています

発行/株山海堂

〒113東京都文京区湯島2-9-14  
TEL 03-38461967

毎月1日発売 定価 580円

●全国書店・コンビニエンスストアでお求め下さい

雑誌

CYCLE  
SOUNDS

発行・発売

株山海堂

書店印・粘合

雑誌コード04197

定価580円(本体563円)

月号より〔 〕冊定期購読を申込みます

お名前

TEL

ご住所 〒

定期購読申込書

確実に入手  
するために  
定期購読のおすすめ

定期購読をご希望の方は、右の申込書に必要事項を記入の上、書店様へお申し込み下さい。

▶バックナンバーご希望の方は、上の申込書を書店様へお渡しの際、バックナンバーも同時にお申込み下さい。

"AT THE END OF THE DAY,  
YOU'LL KNOW IT IS SMART!,"

# MOTORLIFE COLLECTION



### BLACK STAR (A)

●ブラックスター(A) ●№1234 ●¥98,000(消費税  
¥2,840) ●サイズS~LL ●カラーブラック ●クオ  
リティ革/オイルカウ、黒/マーバメッシュ



### STURGIS W

●スタルジスW ●№1235 ●¥98,000(消費税¥2,840) ●サイズ  
M~LL ●カラーブラック ●クオリティ革/アモルコンカウ、  
黒/ナイロンメッシュ(国内仕様、511-11)



### SWISS ARMY TYPE

●スイスアーミータイプ ●№1315 ●¥98,000(消費税¥1,800) ●サイズM  
~LL ●カラーブラック ●クオリティ革/ゴードスキン、黒/ブラックツウ  
ール



### BRIGHTON W (A)

●フライトンW(A) ●№1331 ●¥98,000(消費税¥2,840) ●サイズS  
~LL ●カラーアンチックブラック ●クオリティ革/ゴッドヘビメッシュ、  
黒/コットンワイル



### POWERED-RJ (A)

●POWERED-RJ(A) ●№1115 ●¥94,000(消費税¥1,800) ●サイ  
ズS~LL ●カラーブラック、キヤメル ●クオリティ革/ジュリックカウ、  
黒/ナイロンメッシュ(国内仕様ベストアイテムライナー付)



### NORMANDY BOMBER

●ノルマンディーボンバー ●№1523 ●¥78,000(消費税¥2,280) ●サイズM  
~LL ●カラーブラック ●クオリティ革/カンパアゴード、黒/ナイロンメッ  
シュ(国内仕様ベストアイテムライナー付)



### POWERED-RJW (A)

●POWERED-RJW(A) ●№1125 ●¥105,000(消費税¥3,150) ●サイ  
ズS~LL ●カラーブラック ●クオリティ革/オイルカウ、黒/マーバメ  
ッシュ

# KADOYA

RACING SPIRIT AND CRAFTSMANSHIP  
SINCE 1955

株式会社 カドヤ 〒111 東京都台東区西浅草3-29-21 TEL.03(3843)2000  
東浅草ハウス 〒110 東京都台東区下谷3-17-12 TEL.03(3871)1700  
仙台店 〒980 宮城県仙台市青葉区北根2-6-15 TEL.022(233)8000  
栃木店 〒326 栃木県足利市大前町688-2 TEL.0284(63)0769

●営業時間/AM10:00~PM7:00 ●定休日/毎週水曜日

## MAIL ORDER 全国どこでも、通販OK!!

カドヤの全商品は通信販売でお求めいただけます。カドヤ本社通販係へTELで希望商品の在庫をご確認のうえ、現金書留でお申込みください。その際、下の三角券を同封し、商品名、ご住所、お名前、電話番号を必ずご記入ください。

- 詳細カタログご希望のかたは下の三角券と¥600円分の切手を同封の上、カドヤ本社通販係までお気軽にご請求ください。カドヤ本社通販係 TEL.03(3842)2000 〒111 東京都台東区西浅草3-29-21
- 掲載製品の色調は、撮影の条件及び印刷インクの関係で実際のものと多少異なって見えることがあります。
- この広告の掲載製品及び価格は平成4年10月1日現在のものです。取扱製品・仕様・価格は改良のため予告なく変更する場合があります。

# モータースポーツへの挑戦 それはMFJライセンスから

# MFJライセンスの取得方法

※下記の(注意事項)をよく読んで記入もれのないように申請して下さい。

## 1 取りたいライセンスの種類を決める

ライセンスは種目ごとに取得します。自分がチャレンジする種目を選びましょう。

## 2 申込書に書き入れる

記入もれのないように注意してください。ライセンスの取得条件を参照の上、記入して下さい。(ロードレース及び免許証のない方は講習会受講)

## 3 顔写真を用意する



## 4 申込書・ライセンス料金・顔写真を添えて郵送する

MFJ本部事務局まで現金書留か、または郵便振替で郵送して下さい。(郵便振替の場合は必ず受領書を同封して下さい)

## 5 ライセンスが送られてくる

申込書がMFJ本部事務局に届いてから、約15日程でお手元に憧れのライセンスが届きます。さあ、これであなただもMFJライダーとしてスタートできます。

## 記入例

ロードレース国内B級及びビクトルライセンス取得の場合(ライセンス料10,500円) ※赤色文字を参照

式 様 16 M.F.J. 競技ライセンス申込書

本枠内はすべて記入して下さい。(初めての方・個人用)

※申込書は必ずMFJ本部事務局に提出するものと記入して下さい。

※申込書に提出された方のライセンスは発行日に送られます。

氏名: 氏名(姓) **日 本 猛 太** 1. 姓 **日 本** 2. 名 **猛 太**

住所: 〒103 東京都中央区東日本橋 2-16-7 第2オカビル7F

TEL: TEL: 03 (3865) 8447 FAX: 03 (3865) 8447

生 年 月 日: 40 年 1 月 1 日

性別: 男

身長: 175cm

体重: 65kg

血液型: O

免許: 普通自動車免許

競技歴: 10年

競技種目: ①ロードレース ②モトクロス ③トライアル ④スノーモビル ⑤ドラッグレース

取得したいライセンス: ①国内B級 ②国内C級 ③国内A級 ④国内B級 ⑤国内C級 ⑥国内A級 ⑦国内B級 ⑧国内C級 ⑨国内A級 ⑩国内B級 ⑪国内C級 ⑫国内A級 ⑬国内B級 ⑭国内C級 ⑮国内A級 ⑯国内B級 ⑰国内C級 ⑱国内A級 ⑲国内B級 ⑳国内C級

申込料: ①国内B級 ②国内C級 ③国内A級 ④国内B級 ⑤国内C級 ⑥国内A級 ⑦国内B級 ⑧国内C級 ⑨国内A級 ⑩国内B級 ⑪国内C級 ⑫国内A級 ⑬国内B級 ⑭国内C級 ⑮国内A級 ⑯国内B級 ⑰国内C級 ⑱国内A級 ⑲国内B級 ⑳国内C級

申込料合計: 10,500円

申込書: 1冊

顔写真: 3枚

MFJ-GCカード: 3 5 8 2 1 9

MFJ-GC会員名: 日 本 猛 太

MFJ本部事務局宛に郵送して下さい

MFJ本部事務局 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカビル7F

TEL: 03-3865-9441 郵便振替口座: 東京 00-250007

★'93年度MFJライセンスは平成4年10月1日より受付開始!

'93年度ライセンス料金		ライセンスの取得条件と料金表(消費税込)		
種目	クラス	ライセンス取得条件①か②のいずれか1つで可	ライセンス料金	追加する種目のライセンス料金
		①		
ロードレース	国内B級 プロダクション、レーサー250ccまで、SP400以下、シングルツインエンジン他	公道サーキットでの3時間以上走行証明(走行券不可)を受けた方(サーキットライセンスが必要)	9,500円	3,000円
	国内C級 プロダクションSP250F以下、シングルツインエンジン他	公道サーキットライセンス講習会を受講し、サーキットライセンスを取得した方	8,000円	1,500円
モトクロス	国内B級	公道ロードレース、国内B級ライセンス講習会を受講された方	9,500円	3,000円
	ジュニア 9才-15才まで(80ccまで)			
トライアル	国内B級	公道ロードレース、国内C級ライセンス講習会を受講された方	9,500円	3,000円
	ジュニア 9才-15才まで			
スノーモビル	B級	公道トライアル、スノーモビルライセンス講習会を受講された方	9,500円	3,000円
	ジュニア 9才-15才まで			
ドラッグレース	B級	公道ドラッグレースライセンス講習会を受講された方	8,000円	1,500円
エンデューロ	エンデューロ	公道エンデューロライセンス講習会を受講された方	3,000円	—
	L			
ビクトル	ビクトル	16才以上	7,500円	1,000円

## 《注意事項》

- ライセンス料金は間違えないようにご注意ください。不足分がありますとライセンスの発行が遅れます。
- 追加する種目のライセンス料とは—すでにライセンスを取得している方がライセンスを追加して取る場合の料金です。たとえば、ロードレースの国内B級を取得している方がビクトルを追加する場合は、1,000円がかかります。  
【例】  
ロードレース国内B級 + ビクトル = 10,500円  
(9,500円) (1,000円)
- '92年11月30日迄に申し込まれた方はライセンス料金が、1,000円割引になります。  
【例】  
トライアル国内B級 '92年11月30日まで  
(9,500円) 1,000円割引 → 8,500円
- エンデューロ、またはライセンスを取得している方が、他の競技ライセンス、ビクトルライセンスを取得する場合、正規のライセンス料金が必要となります。  
【例】  
エンデューロ + モトクロス国内B級 = 12,500円  
(3,000円) (9,500円)
- ビクトルライセンスはメカニック、サインマン、ヘルパーが必要とするライセンスです。
- ライセンス、またはビクトル取得者で運転免許証を受けている方は、承認競技会(ロードレースは除く)にライダーとして参加できます。(要免許証No.)
- ジュニアライセンスは9才-15才までのライセンスです。(要講習会受講)
- ライセンス講習会を受講した方は、必ずライセンス申込み用紙に講習会修了証を添付して下さい。なお、講習会の開催日程等はMFJまでお問合せ下さい。

※'92年11月30日迄(消印有効)に申し込まれた方はライセンス料が1,000円割引になります。ただし、追加種目のライセンス料金は割引がありません。



様式 16

## M.F.J. 競技ライセンス申込書

(初めての方・個人用)

※クラブに入る方は必ずコードNoを記入する。

太枠内はすべて記入して下さい。

※過去又は現在MFJライセンスを持っている方は必ずライセンスNoを記入する。

MFJ-L/競技ライセンスNo	フリガナ (必ず記入)	クラブ名 ※クラブに登録された方のライセンスは責任者に送られます。
	氏名	
1. 男	大正・昭和 年 月 日生	都 道 市 区 郡
2. 女	自宅 TELNo ( )	府 県 部
初め	勤務先及び連絡先TELNo ( )	様方
継続(以前持っていた)	※昼間連絡のとれる場所を記入して下さい。	(アパート・マンション名・部屋番号も必ず記入のこと)
クラブ員追加		住所コード
ライセンス追加		
再発行(紛失)		
住所変更		

○で囲む(初めての方は国内C級、国内B級からです)

いずれの種目にも運転免許が必要です。受けていない人は、講習会修了証を添付して下さい。	種目/ライセンス区分	①ロードレース	国内C級	サーキット名 ( )	走行証明
		②国内C級	国内C級	サーキットライセンスNo ( )	
①原付 ②自二 ③普通 ④講習会修了証		③国内B級	国内B級	公認サーキットで右欄に3時間以上走行の証明印を押しもらって下さい。又は国内B級ライセンス講習会修了証を添付して下さい。	※走行券、カード不可 ※有効期限 1年
運転免許証No		④国内A級	国内B級		
		⑤国際A級			

○で囲む(初めての方はジュニア(9歳~15歳)、国内B級からです)

種目/ライセンス区分	②モトクロス	③トライアル	⑤スノーモービル	①ドラッグレース	②エンデューロ	⑥ピットクルー	Lライセンス	写真 ①写真の裏に必ず名前を記入する事 ②写真の枚数 MFJ控貼る+種目数 (写真不要)
	①ジュニア ③国内B級 ④国内A級 ⑤国際B級 ⑥国際A級	①ジュニア ③国内B級 ④国内A級 ⑤国際B級 ⑥国際A級	①ジュニア ③B級 ④A級	⑧B級 ⑨A級	⑧エンデューロ	①ピットクルー (16歳以上であれば取得できます)  (運転免許を受けている人は種類とNoを記入して下さい)	Lライセンス(9歳以上) ※運転免許又は講習会修了証必要。 (写真不要)	

※申し込み方法は申込書・料金・写真をMFJに現金書留で送って下さい。又はお近くのスポーツ協力店へ申し込んで下さい。

またMFJでは、郵便振替・MFJ-GCカードでの自動引き落としも受付けております。

(申込書・写真・郵便振替の場合は払込受領書を郵送して下さい)

※ライセンスの有効期間は交付された日から、当該ライセンスに表示された年の12月31日までです。

MFJ-GCカードでライセンス料自動引き落とし希望の方はカードNoを記入し署名願います。	MFJ-GC会員No	3 5 8 2 - 9							
	会員署名								

スポーツ協力店 (MFJ指定のスポーツ協力店のゴム印を押して下さい)	領収印	MFJスポーツ協力店	県支部	M. F. J.
		月 日 受付	月 日 受付	
	申込料金	受領した金額	受領した金額	
		円	円	円

※(申込者は記入しないでください)

ライセンス申込書送付先

財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F

☎ 03-3865-8441 郵便振替口座 東京 0-250597

MFJ 記入欄	発行
------------	----



**BRIDGESTONE**

ワインディングロードで冴えるスポーツタイプ

**BT-725  
RADIAL**

**MSBELT SPORT**  
Rear

コーナーを制する、  
ハイグリップ特性。

SPレースで威力を発揮するレースタイプ

**BT-80S  
RADIAL** **NEW**

**MSBELT**  
Rear

## BT-80S RADIAL、堂々のデビュー。

ドライ戦闘力を大いに高めた、NEWスプリンター。それが、BATTLAX BT-80S RADIALだ。いまや、グリップの高さだけでは、サーキットでの勝利を語れなくなっている。そこで、グリップの高さはもちろん“グリップの持続性”に着目して独自に研究開発。勝利へのライディングを可能にするハイパフォーマンスラジアルが誕生した。しかも、レースのタイプ、使用条件等に合わせてSOFTとENDURANCEのツースペックを用意。BATTLAXならではのレースキャリアが活きる全身SPレース仕様、堂々のデビューだ。

**BATTLAX**  
from BRIDGESTONE MOTORSPORT

'93 TZ250 ¥1,750,000(消費税別)



〈TZ250世界No.1の販売実績〉

'93ニューマシン好評発売中!

■営業内容

- 新車、中古レーサー販売
- レーシングタイヤ  
(DUNLOP, YOKOHAMA)  
割引特典+サポート有り
- レーシングオイル(BP)販売
- レーシングプラグ(NGK)販売
- レーシングチェーン(D.I.D)販売
- オリジナルパーツ多数有り  
(TZスクリーン¥10,000、フロントスタンド  
¥8,500、アルミステップ¥2,800etc)  
その他、レースに必要なパーツはなん  
でもご相談下さい。

中古レーサー好評販売中!

プロの目で選りすぐり、仕上げたら極上中古レーサーをぜひ、あなたも!

- ▶'92TZ250——¥1,000,000～  
スベアパーツ新車時の40%以上、  
スベアホイール等は価格応談。
- ▶'91TZ250——¥550,000～
- ▶'90TZ250——¥350,000～
- YZ125、250その他各種有ります。レーサーの買  
替えは、ぜひ当店へ。



KISS R.T. & スポーツライダー  
'93シーズンもより活発に活動します。



'93 YZ250 ¥545,000  
(消費税別)

'93 YZ125 ¥465,000  
(消費税別)

# '93シーズンもより進化する

'93シーズンも、より進化する

数多くのトップライダーを育てたモータースポーツクラブ、  
スポーツライダーは、'91年新しい組織として生まれ変わ  
り、昨年は全日本ロードレース選手権を中心に、スーパ  
ーカップ、関東選手権はもちろん、各耐久レースにもチャ  
レンジしました。そして、今年はもっと話題を集めるため  
にも盛り上げてみせます。毎年新しいことにチャレンジ  
する『SPORTS RIDER』です。

■クラブメンバー募集

数多くのトップライダー(鈴木忠男、金谷秀夫、東福寺  
保雄、平忠彦、等)を育てたモータースポーツクラブ・ス  
ポーツライダーは、共に闘うライダーを幅広く募集して  
います。実戦を通して蓄積されたノウハウを少しでも多  
くのライダーに伝えたい。そして共にモータースポーツ  
の素晴らしさと、勝利の感動を分かちあいたい。そんな熱  
い想いで君たちの参加を待っています。経験の有無、カ  
テゴリー(ロード、モトクロス、ミニバイク等)は問いませ  
ん。どうぞふるって参加して下さい。

スポーツライダーは...



...の各企業に応援頂いています。

# SPORTS RIDER

■スポーツライダー/横浜本部: 〒241 横浜市旭区東希望ヶ丘188 ☎045-363-5112 ■姉妹店: YSE 横浜旭 (野口モータース)

# ROAD RACE

ロードレース

## ▼細則1 ロードレース競技細則

1. 適用の範囲	44
2. ロードレース	44
3. レース出場車両	44
4. 合図旗および合図	44
5. 参加資格	45
6. 出場申し込み	45
7. 参加受理	46
8. ゼッケン・ナンバー	46
9. ライダーの装備	46
10. 出場受付け	47
11. 出場車両の変更	47
12. 車両および装備の検査	47
13. 公式予選(オフィシャルプラクティス)	48
14. 決勝レース出場台数	49
15. スタート方法	49
16. スタートにおける反則	51
17. "ウエット" および "ドライ" レース	52
18. レース中の行為	52
19. 停車指示	54
20. レースの停止	55
21. 中断されたレースの再スタート	55
22. リタイヤ(棄権)	56
23. レース終了	56
24. 優勝者、入賞順位、完走者および得点	56
25. レース終了後の車両保管と再検査	57
26. レースおよび大会の延期・中止等	57
27. 抗議	57
28. 違反に対する罰則	57
29. 本規則の解釈	57
30. 本規則の施行	57

## ▼細則2 '93全日本選手権大会特別規則

1. 公 示	58
2. 開催種目と競技会の日程	58
3. 追加のクラス	58

4. コース	58
5. 大会審査委員会	58
6. 参加定員	59
7. 出場およびMFJ共済会掛金	59
8. ピット要員	59
9. スポーツ走行	59
10. レース当日の練習走行	59
11. ゼッケンナンバー	59
12. 車両の変更	59
13. 公式予選	59
14. タイムキーピングシステム	60
15. スタートグリッド	60
16. レース距離	60
17. 賞および得点	60
18. 主催者の権限	60
19. 本規則の施行	60
'93全日本ロードレース選手権開催日程	61

## ▼細則3 スーパーカップ選手権大会特別規則

1. 公 示	62
2. 開催種目と競技会の日程	62
3. 追加のクラス	62
4. 選手権	62
5. コース	62
6. 大会審査委員会	63
7. 参加定員	63
8. 出場料およびMFJ共済会掛金	63
9. ピット要員	63
10. ゼッケンナンバー	63
11. 車両の変更	64
12. 公式予選	64
13. タイムキーピングシステム	64
14. スタートグリッド	64
15. 賞および得点	64
16. 主催者の権限	65
17. 本規則の施行	65
'93スーパーカップ選手権開催日程	65

# ロードレース 競技規則

## 1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のロードレース競技会に適用される（世界選手権を除く）。

## 2 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットで行われるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。スプリントレースと耐久レースに区別される。

耐久レースの詳細については特別規則による。

スプリントレースの定義：①レースの総走行距離200km以下もしくは走行時間2時間以下

②個人競技

耐久レースの定義：①レースの総走行距離200kmを越えるものもしくは走行時間2時間を越えるもの。

②2人もしくは3人の交代で行われる。

## 3 レース出場車両

- 1) 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 2) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。
- 3) Tカーは全日本選手権およびスーパーカップ選手権のみ認められる。

## 4 合図旗および合図

- 1) 公式練習、予選および決勝レース中は、下記の合図旗が使用される。

### (1) 寸法

- ・シグナル用旗 60×80cm (最小限)
- ・赤旗 60×100cm

### (2) コントロールラインで使用される旗

- ・シグナルまたは国旗……レース・スタート
- ・白黒チェッカー旗……レース終了
- ・赤旗……レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さをもってそれぞれのピットに復帰。赤旗はサーキットを閉鎖する場合にも用いられる。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……示されたナンバーを付け

ているモーターサイクルのライダーは次のラップでピット停止。

(3) 各コーナーポストで使用される旗

- ・黄旗……危険！
- 静止……追い越し禁止。
- 振る……減速・停止準備・追い越し禁止。
- ・赤色ストライプ付き黄旗……コース表面滑りやすい。
- ・赤旗……レース停止。コントロールライン上で赤旗が出されたらすぐに提示する。
- ・緑旗……コースクリア。
- ・白旗……コース上に徐行している介入車両あり。
- 静止……1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり。
- 振る……直前に徐行中の介入車両あり。
- ・青旗……追い越しシグナル。1台またはそれ以上の高速マシンが貴方を追い越そうとしている。
- 静止……間もなく追い越される。
- 振る……追い越される寸前。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーはピット停止。

2) ライトによるシグナル

スタートの際、国旗の代わりに、ライトによるシグナルを使うことができる。

- ・黄色燈の点滅1、2回 黄旗と同意味。
- ・緑色燈 緑旗と同意味。
- ・赤色燈 赤旗と同意味、競技監督および監視ポストで使用。

ライトによるシグナルは、スタート時と特に夜間に行われるレースに使用されなければならない。

## 5 参加資格

1) エントラントおよびライダー

エントラントおよびライダーは、1993年度版MFJ国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(26頁)に合致していなければならない。

## 6 出場申し込み

1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。

2) 出場申し込み手続き

- (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
- (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に申し込み書を提出しなければならない。
- (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り日当日の消印のあるものまでが有効となる。
- (4) 電話による申し込みおよび締切り日以後の申し込みはいっさい受付けない。  
(締切り日以降のエントリー料金返却に際しての郵送料、送金手数料は返却金から差し引かれる)

## 7 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、金額を大会事務局が受理したもののみ、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加申請が拒否された場合のみ出場料、MFJ共済会掛金が返却される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、返却されない)

## 8 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

## 9 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
  - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
  - (2) MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付されている。
  - (3) 競技会の車両検査受け時に、ヘルメット検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
  - (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。
- 2) ライダーの服装
  - (1) レーシングスーツ
    - ① 革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、MFJの公認したものでなければならない。
    - ② MFJが公認したレーシングスーツには、公認マークが貼付されている。
    - ③ 競技会の車両検査受け時にレーシングスーツの検査が行われ、合格しなかった場合は、ライダー本人の安全上使用を禁止する。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならない。

- (2) ブーツ・グローブ
  - 革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、フックなどが外部に突出していないものでなければならない。
- (3) 競技中のライダーは、レーシングスーツの下に肌着を着用しなければならない。

ただし、レーシングスーツに裏地がついている場合は着用しなくてもよい。

## 10 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

## 11 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(29頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

## 12 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。これ以後の検査は競技監督が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車両検査時持込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られ、全日本選手権とスーパーカップ選手権は2台までとする（Tカーは同一メーカーに限る）。
- 5) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 6) 予選を通過した車両全車に対し、音量測定を行う。
- 7) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行う権限を有する。



## 13 公式予選 (オフィシャルプラクティス)

- 1) 公式予選
  - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
  - (2) 公式予選の日程および時間は、特別規則に示される。
  - (3) 公式予選は、タイムトライアル方式とレース方式がある。
- 2) 公式予選の内容
  - (1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
  - (2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全チェックがなされた後にスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、また再スタートすることができる。
  - (3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、ベストラップタイムが甚だしく劣る者(タイムがトップの110%に入らない者)はたとえ定員内であってもレース出場資格を与えられない場合がある。
  - (4) 公式予選において測定される各ライダーのベストラップタイムにより、大会特別規則に示されたレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。ベストラップタイムが同じ場合は、セカンドラップタイムによる。
  - (5) 各クラスの公式予選義務周回数は、特別規則に示される。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
  - (6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
  - (7) 予選が複数の組にわかれて行われる場合の予選順位
    - ① 予選結果を総合タイム順によって決定する場合と予選組ごとの順位により決定する場合がある。
    - ② 総合タイム順で決定すると公示されている場合でも、天候の変化等により路面状況に大きな差異が認められると競技監督が判断した場合には各予選組ごとの順位によって決定する。この決定に対する抗議は一切受けつけない。
    - ③ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合のグリッドは各予選組のトップのタイムを比較しその順番で振り分けることとする。
    - ④ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合にグリッド数によって端数が出る場合の優先順序は下記とする。(ウエイティングも同様)
 

例：グリッド数30台、予選4組

      - Ⓐ 予選組上位7台で28台が選抜される。
      - Ⓑ 残り2台を予選組の8位(4位)のなかから決定するには…
        - ・各予選組の1位のタイムと8位のタイムを比較する。
        - ・各予選組8位のものからタイム差の少ない順に2名を選出する
  - (8) 最終的な予選選出方法とスターティンググリッドは大会審査委員会の決定による。
  - (9) 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届け出なければならない。
  - (10) レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがいた場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
  - (11) ウエイティング(繰り上げ出場)の方法



- ① 予選結果発表後1時間以内にウエイティングの願い書を提出する。
- ② 願い書提出者のうち上位3名のは、全装備にてスタート前チェックを済ませてコースインゲートにて待機する。全日本選手権等別途ウォーミングアップ走行が設定されている場合は、これに走行できる。
- ③ スタート前チェック終了時点でリタイヤがない場合は出走は不可となる。

## 14 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は、各サーキットごとに定められ、特別規則に示される。

## 15 スタート方法

- 1) レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく、公式予選の結果によって決定される。
- 2) スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類がある。
  - (1) 押しかけスタート
  - (2) クラッチスタート
  - (3) ルマン式スタート (耐久)
- 3) スタート位置は、すべてのライダーが正規のスタートラインからスタートされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。
- 4) クラッチスタートの場合のスタート手順は以下の通りとする。
  - (1) スタート約30分前  
ライダーは、スタート前チェックを受け、マシンとともにコース外のウエイティングエリアに待機する。
  - (2) スタート15分前 (サイティングラップ)
    - ① ライダーはコースに出て1周のサイティングラップを行う。サイティングラップを開始してから5分間でピットロードの出口を閉鎖する。この5分間はピットロード出口にて1分ごとのカウントダウンとホーンにて示す。
    - ② サイティングラップを走らなかったライダーはサイティングラップを終了したライダーがグリッドについてからオフィシャルの指示に従って定められたグリッドにつくことが出来る。(サイティングラップ完了後からウォーミングアップラップスタート3分前ボードが提示されるまで)
    - ③ サイティングラップを走らなかったライダーもウォーミングアップを回って正規のグリッドに着けることができる。
    - ④ ライダーがサイティングラップから戻ってきたら、オフィシャルがコースサイドでグリッド例を示す番号パネルを表示し、ライダーが自分のグリッドポジションにつくのを補助する。
    - ⑤ 競技監督はレースが“ウェット”か“ドライ”かを判断し、グリッド上のライダー、およびまだピットレーンにいるライダーにボードを表示することによってそのことを伝える。ボードが表示されない場合には、自動的に“ドライ”レースだということになる。
  - (3) 注意事項
    - ① サイティングラップ開始後の車両交換、追加給油は厳禁される。
    - ② 車両の修理は、ピットエリアのみで許可される。
    - ③ タイヤの交換はピットエリア、スターティンググリッドの双方で許可される。
- 5) ウォーミングアップラップスタート5分前

- (1) 5分前ボード：カウントダウン開始
  - (2) 3分前ボード：ライダー、ライダー1名につき2名のメカニックと1名の傘持ち以外の全員がグリッドを離れている事。
  - (3) 1分前ボードとイエローフラッグ：各ライダーごとに1名のメカニック以外の全員がグリッドを離れている事。
  - (4) 30秒前ボードとエンジン始動ボード：メカニックによって補助されたライダーはマシンを押してエンジンを始動する。メカニックはグリッドから退去する。この時ライダーがエンジンをかけられない場合はマシンをコースサイドに移動し、このライダーはエンジンを始動し最後尾からウォーミングアップラップを走る。さらにかからなかった場合マシンをピットレーンまで押してピットからディレイドスタートする。
  - (5) ウォーミングアップラップの時は、ライダーは自分のスターティングポジションをキープしなくてはならない。
- 6) スタート
- (1) グリッドに戻ったライダーは、エンジンをかけたままの状態、自分のグリッドポジションで静止する。
  - (2) もし、マシン等に問題があった場合は、このライダーはすみやかにピットにもどらなければならない。
  - (3) スタートを遅らせることを意図して、ライダーが、グリッドにつくことは禁止される。もし、ライダーが遅れて戻ってきて、既にレッドライトが点灯されている事に気がついたら、このライダーはゆっくりとしたスピードでピットに向かわなければならない。そしてこのライダーは、ピットからディレイドスタート（遅れてスタートすること）する。
  - (4) スタートライン上、コースの中央地点では、赤旗を持った競技役員が、ライダー全員がグリッドに着くのを待つ。さらにこの競技役員は、マーシャルカーが姿を見せるまでそこに残っている。スターターの指示が出たら、この競技役員はコースを離れる。



- (5) 緑旗と赤旗を持った二人目の競技役員がグリッドの最後尾に待機する。
- ① 緑旗を掲示することによって、この競技役員はグリッドの用意ができたことを示し、コースの中央にいる（スタート・ラインのところ）競技役員がスターターの指示に従ってコースから離れる。
- ② 赤旗を掲示することによって、この競技役員は、レース・マネージメント・カーの後ろからやってきたライダーを停止させ、このライダーが緑色灯点灯後にグリッドの最後尾より静止状態からスタートするか、あるいはピットに戻るかをチェックする。
- (6) 列の番号表示ボードを持つスタートマーシャルは、グリッド各列の向かい側に立ち、自分の列のマシンが静止したらただちにボードを下げる。すべてのボードが下げられたら、スターターはグリッドが静止していることを確認して「赤色灯」を点灯する。赤色灯が点灯されてから1秒以上5秒以内に赤色灯に代わって緑色灯が点灯され、レースがスタートする。
- (7) スタートグリッドに戻ってきた時点で、エンジンが止まったり、スタート出来ないライダーがいた場合は……、
- ① ライダーは手を挙げ、さらにこの列を担当するスタートマーシャルがボードを掲げて（あるいは掲げつづけて）、ボードの反対側の黄色面をスターターに向けることによって、この状況を伝える。
- ② スタートグリッドに戻ってきた時にトラブルがあった場合、スターターは、スタートを取り止めるよう判断して下記の手順をとる。
- Ⓐ 赤色灯がまだ点灯されていない場合には、スタートディレイド（スタート延期）のボードがスタートラインにて掲示され、赤旗が掲げられる。
- Ⓑ 赤色灯がすでに点灯されていたら、スターターは「点滅する黄色灯」を点灯し（赤色灯はそのまま）、さらにスタートディレイドのボードがスタートラインで掲げられる。
- ⒶⒷ両方の場合：  
 エンジンは停止されスタートの手順は5分前の所から再開される。この場合レース距離は1周減算される。このような状況で、スタートの手順が1回以上繰り返された場合には、1回ごとに1周ずつ減らされていく。このことはラップカウンターに表示される。
- ③ スタートの合図が出された後に、スタート出来なかった場合のみ競技役員がただちに介入し、エンジンを掛けるためにマシンをコースに沿って押す。もし、数回の試みによってもエンジンが掛らない場合には、競技役員がピットへ運ぶ。
- (8) スタートした集団がピットの出口を通過した後に、ピットレーンで待っているライダーがスタートする（競技役員の手指示にしたがって）。
- ※全日本選手権以外の大会についてはサイティングラップスタートの時間、グリッド列ボードの配列（隔列の場合もある）については上記に合致しない場合がある。この場合各特別規則ならびに公式通知に示される。

## 16 スタートにおける反則

- スタートラインについた車両およびライダーは、スタート用意からスタート合図が出されスタートが終了するまでスタート合図の統制下にある。
- スタート合図が行われる前に自分のスタートポジションから前進した場合は、大会審査委員会の決定により、下記のペナルティが科せられる。
  - 競技結果への1分間の加算。



- (2) 一旦ピットストップを命じる。その場合には、メカニカルトラブルによる黒旗かフライングによるものかを区別するために黒旗と共に提示するブラックボードに「P」の文字を記入する。
- (3) ピットクルーがスタートの規則に従わなかった場合も反則とみなされ、当該ライダーに1分間もしくは失格のペナルティが科せられる。
- (4) ペナルティは、当該ライダーのピット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は一切受け付けられない。

## 17 “ウエット” および “ドライ” レース

- 1) すべてのレースはウエットかドライに分けられる。グリッド上で、ボードが表示される。ボードが表示されない場合にはレースは自動的にドライとなる。この分類の目的は、ライダーにレース中天候状況の変化による影響があることを示すためである。
- 2) ドライレース  
ドライレースと分類されたレースは天候状況が路面状態に影響を及ぼし、ライダーがタイヤ交換を望む可能性があることと競技監督が判断した場合に中断される。
- 3) ウエットレース  
ウエットレースと分類されたレースは、変化して行く状況、またはウエットの状況で通常開始され、天候の理由により中断されることはない。タイヤ交換を望むライダーはレース中ピットに入りタイヤ交換する。
- 4) すべての場合において、最初にレースが天候上の理由により中断された場合、再スタートは自動的に“ウエット”レースとなる。

## 18 レース中の行為

- 1) 走行中の遵守事項は、国内競技規則・第3章〔⑩競技参加者の遵守事項〕(26頁)のほかに次による。
  - (1) ライダーは、指示を伝えるフラッグシグナルに従わなければならない。
  - (2) もしライダーがコースアウトしたら、ライダーは、オフィシャルが指示した場所または、そのライダーが有利にならないような場所からレースに復帰することが出来る。  
 ※この際オフィシャルは下記の補助ができる。
    - ・マシンを起こす補助。
    - ・修理・調整が行われている間マシンを支えている。
    - ・ライダーの再スタートを補助する。
  - (3) リタイヤする場合ライダーは自分のマシンをオフィシャルに指示された安全な

場所に止めなければならない。

- (4) もしライダーがレースからリタイヤを余儀なくされるようなマシントラブルにあった場合、そのライダーは遅いスピードでピットまで戻ろうと試みず、コースアウトしてオフィシャルの指示に従い、安全な場所にマシンを止めなくてはならない。
  - (5) 修復作業のためにゆっくりと戻るライダーは、出来るかぎりピット設置側を走行しなければならない。
  - (6) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。
  - (7) いかなる場合でも、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は罰則が科せられる。
  - (8) レース中（予選中を含む）直線部分では前車を追い越すためあるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは禁止される。
- 2) ピット
- ピットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業を行うことを目的に、ライダーに与えられた区域である。
- 3) ピットイン
- (1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入口手前よりピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確認してピットロードを徐行しなければならない。  
ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。
  - (2) ピットインする車両のライダーは、自己のピットに出来るだけ近いピットロードからピットエリアに入り、出来るだけ自己のピットに近づけて車両を停車させなければならない。
  - (3) ピットインしてピットエリアに入った車両及び当該車両のライダーやピットクルーは、ピットロード及びピットエリアにおいて他の車両の通過を妨げてはならない。
  - (4) ピットインの際、自己のピット前を通り過ぎて停車した車両のライダーは、競技役員の承認を得て、当該車両のライダーおよびピットクルーによって押し戻し、自己のピットにつけることが出来る。
- 4) ピットアウト
- (1) ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。
  - (2) ピットロードに出てコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
  - (3) ピットでエンジンを止めたライダーは、メカニックの補助を受けてマシンを再スタートすることができる。
- 5) ピット作業
- (1) レース中、車両の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によって行わなければならない。給油中は、必ずエンジンを停止しなければならない。
  - (2) ピット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちに清掃しなければならない。
- 6) ピット作業人員

- (1) 大会の格式によって登録できるピットクルーの人数が大会特別規則に示される。
- (2) レース中にピットインした車両に対しての作業は、登録した2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。(全日本選手権は細則3全日本選手権特別規則参照)(58頁)
- (3) ライダーに対するピットクルー(メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー)の合図は、大会競技役員の使用する合図旗にまぎらわしいものであってはならない。また主催者により定められたピット区域またはピットサインエリアのみで合図を送ることができる。
- (4) ピット作業を行う者は、すべてピットクルーライセンス所持者で、大会への参加申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加は一切認められない。ただし参加申請がなされている者の変更は認められる(変更料1,000円)。
- (5) ピットクルーは競技期間中を通じて、すべて大会競技役員の指示に従わなければならない。
- (6) ピットクルーが諸規則に違反した場合の責任は、そのピットクルー担当のライダーに帰属し、罰則が科せられる。

### 19 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じるか、レースから除外することができる。
- 2) 天災、大事故等の不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。



## 20 レースの停止

事故または、天候その他の事情で継続が危険になって、レース停止が必要になった場合、競技監督はスタート・ゴールラインに赤旗を掲げ、同時にすべてのコースポストで赤旗を掲げ、レースが停止されたことを告げるものとする。

天候上の理由に関してレースは1度のみ停止される。

レース停止の決定は競技監督、あるいは競技監督が不可避の理由において欠席している場合には競技監督代理にて出されるものとする。

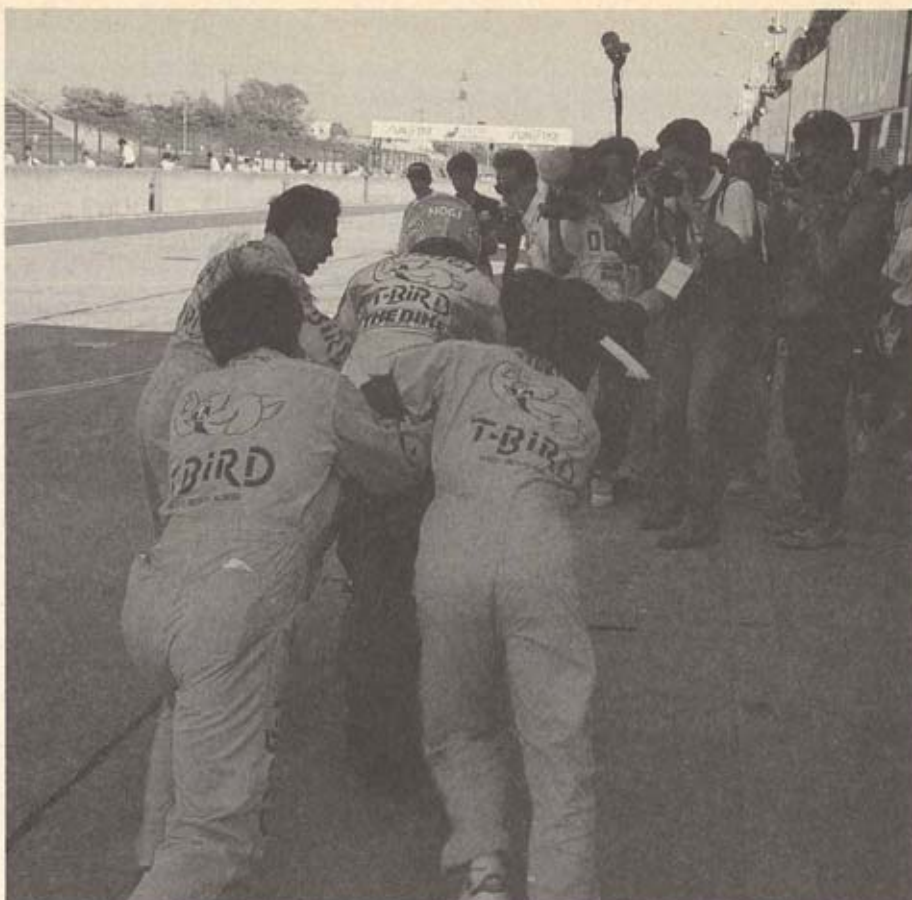
赤旗がスタートラインとすべてのコーナーポストにて掲示されたら、ライダーはただちにスローダウンし、レースの結果が前周終了時点のものであることを認識しピットレーンに戻る。したがって、結果は赤旗が表示される前にライダー全員がフル・ラップを走行していた最後の時点のものとされる。

- 1) 競技結果が2周以下しか走行をしていないことを示すものであった場合  
レースは無効とされ、まったく新しいレースが行われる。もしレースの再スタートが完全に不可能である場合、このレースは中止されたと宣言される。
- 2) 競技結果が3周以上走行したことを示すが、本来のレース距離の75%未満しか完了されていない場合、レースは再スタートされ、2つのレースのラップ数とタイムが合計され、最終結果が決定される。もしレースの再スタートが完全に不可能だと判断された場合、リザルトは有効となり、半分のポイントが与えられる。
- 3) もし、リザルトが本来のレース距離の75%以上であった場合、レースは完了したものとみなされ、ポイントはフルに与えられる。

## 21 中断されたレースの再スタート

レースが再スタートされる場合、再スタートはコース・コンディションが許すかぎり早く行われなくてはならない。ライダーがピットに戻りしだい、競技監督は新たなスタート時刻を発表する。このスタート時刻は状況が許すかぎり最初の赤旗が掲示されてから30分以内に設定される。

- 1) 競技結果が2周以下の場合の再スタートには下記各項が適用される。
  - (1) 全ライダーがスタート出来る。
  - (2) マシンは修理・給油が出来る。
  - (3) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
  - (4) 周回数は原則的にもとのレースと同じとする。
  - (5) グリッドポジションは本来のレースと同じとする。
  - (6) 再スタート出来ないライダーのグリッドはそのまま空席とする。
  - (7) スタートの手順は通常にサイティングラップから始める。
- 2) 競技結果が3周以上75%未満の場合の再スタートには下記各項が適用される。
  - (1) 前回のレースでトップの周回数の75%を走行しているライダーだけが再スタートできる。
  - (2) 第2レースが開始される前に、第1レースの結果が公示されなくてはならない。
  - (3) マシンは修理・給油ができる。
  - (4) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
  - (5) 第2レースの周回数は、本来のレース距離を満たすために必要な周回数とする。  
(前回のレース結果の周回数に基づく)
  - (6) グリッドポジションは第1レースの結果に基づく。
  - (7) レースの最終結果は、二つのレースの周回数を合算し、最大数の周回のライダー



一が優勝者となる。周回数が同数の場合二つのレースのタイムを合計したタイムによって順位が決定される。

## 22 リタイヤ (棄権)

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章〔㊟競技〕(30頁)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の評定によりリタイヤと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイヤする場合、ライダーは車両をレース(または予選)終了まで競技役員の下管理下におかななければならない。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。

## 23 レース終了

各レースの終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時である。

注：原則的にコース1周の距離を1kmにつき1分とする。

## 24 優勝者、入賞順位、完走者および得点

- 1) 優勝者  
優勝者は、規定の周回数を最短時間で完走したライダーである。
- 2) 入賞者および順位の優先順位(耐久レースは特別規則による)  
入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に



決定される。なお、周回数が同じ場合は、ゴールライン通過の順位による。

3) その他の優先順位

周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。

4) 完走者

(1) 優勝者の周回数の75% (少数点以下は切り捨てる) 以上を走行したライダーを完走者とする。

(2) ピットロードでのゴールは、周回数には積算されるがチェッカーを受けたとは認められない

5) 得点

得点は、国内競技規則・第3章 [24公式得点] (31頁) によって与えられる。

## 25 レース終了後の車両保管と再検査

1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなければならない。

2) 上位入賞車両は、音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査を行うことがある。

3) 上位入賞車両は、暫定結果発表後30分間保管される。

4) 出場者は、車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

## 26 レースおよび大会の延期・中止等

1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。

2) レースまたは大会が参加申し込み後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## 27 抗議

1) 抗議は、国内競技規則・第3章 [27抗議] (32頁) による。

2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

## 28 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章 [28違反行為に対する罰則] (32頁) による。

## 29 本規則の解釈

規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

## 30 本規則の施行

本規則は、1993年1月1日より有効となる。

# '93全日本 ロードレース選手権大会 特別規則

## 1 公示

全日本ロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と全日本選手権シリーズを通じて、共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきFIM・MFJ公認の国際格式競技会として開催される。

## 2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。
  - 国際A級 GP125
  - GP250
  - GP500
  - TTF-1
- 2) クラス数  
大会には上記のうちGP125、GP250、TTF-1の3クラスが必ず含まれていなければならない。
- 3) 競技会の日程は巻末に示す。

## 3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されても良い。ただし全日本選手権対象クラスを含めて全体で6クラスを限度とする。また併催クラスを追加する場合下記の条件が満たされなければならない。

- ・パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選時間・決勝レース距離を設定できること。

## 4 コース

コースはMFJが国際公認もしくは準国際公認したコースとする。

## 5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長はMFJロードレース委員会の委員もしくは主催者が指名する1級競技役員でMFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

## 6 参加定員

参加定員は定めない。

## 7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：1クラス	14,000円
MFJ共済会掛け金	1人1口 4,000円
合計	18,000円

## 8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して6名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について3人のピットクルーが作業できる。

## 9 スポーツ走行

- 1) スポーツ走行は各クラス（予選組）ごとに最低下記時間が設定され、MFJライセンスにて走行できる。  
無料のスポーツ走行時間：30分間  
有料のスポーツ走行時間：60分間
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。

## 10 レース当日の練習走行

- 1) レース当日の朝、各クラスごとに最低10分間の練習走行が行われる。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。

## 11 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

## 12 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 公式予選終了後選手間でのマシンの交換はできない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換する事が出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き、通常、Tカーとのマシン交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

## 13 公式予選

- 1) 公式予選は各クラス（予選組）ごとに最低20分間を2回行う。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。

## 14 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

## 15 スターティンググリッド

スターティンググリッドの数、配置は各大会の特別規則に示される。

## 16 レース距離

1) 各クラスの決勝レースの距離を下記のように定める。

GP125	50km～130km
GP250	60km～130km
GP500	70km～150km
TTF-1	70km～200km

2) 天候等やむを得ない理由によって上記の距離から短縮される場合がある。

## 17 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章「公式得点」によって与えられる。ただし、500ccクラスについては参加台数に関係なく完走者すべてに得点が与えられる。
- 3) MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えられるが、全日本選手権の得点が与えられない。(但し下位は繰上げない)
- 4) MFJグランプリ大会については上記の得点に3点が追加される。
- 5) 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定方法(194P)に示される。

## 18 主催者の権限

- 1) 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することが出来る。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することが出来る。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することが出来る。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することが出来る。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

## 19 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1993年1月1日より適用される。

# '93全日本ロードレース選手権開催日程

※併催地方大会がある場合は特別規則に示す。

開催月日	大会名/会場/開催クラス	出場申し込み先	出場申込み期間
3月13日(土) ～ 14日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 サンスターカップ鈴鹿ロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	2月1日(火) ～ 2月11日(日)
3月27日(土) ～ 28日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 MINEインターナショナルロードレース大会 会場：MINEサーキット ☎08375(8)0321	MINEサーキット 〒759-21 山口県美祿市西厚保町 ☎08375(8)0321	2月16日(火) ～ 2月25日(日)
4月24日(土) ～ 25日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 SUGOインターナショナルロードレース大会 会場：スポーツランドSUGO ☎022(483)3111	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127	3月16日(火) ～ 3月25日(日)
5月15日(土) ～ 16日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 筑波インターナショナルロードレース大会 会場：筑波サーキット ☎0296(44)3146	(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル ☎03(3591)6056	4月6日(火) ～ 4月15日(日)
5月29日(土) ～ 30日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 仙台インターナショナルロードレース大会 会場：仙台ハイランドレースウェイ ☎022(395)2120	仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒989-34 仙台市青葉区新川早坂山12 ☎022(395)2120/2123	4月20日(火) ～ 4月29日(日)
6月12日(土) ～ 13日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 サンスターカップインターナショナル鈴鹿200kmロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	5月4日(火) ～ 5月13日(日)
7月3日(土) ～ 4日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 SUGOインターナショナルロードレース大会 会場：スポーツランドSUGO ☎022(483)3111	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127	5月25日(火) ～ 6月3日(日)
8月7日(土) ～ 8日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 FISCOインターナショナルロードレース大会 会場：富士スピードウェイ ☎0550(78)1234	富士スピードウェイ㈱内 全日本RR事務局 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 ☎03(3216)5611	6月29日(火) ～ 7月8日(日)
9月11日(土) ～ 12日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 サンスターカップインターナショナル鈴鹿ロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	8月3日(火) ～ 8月12日(日)
9月25日(土) ～ 26日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦 筑波インターナショナルロードレース大会 会場：筑波サーキット ☎0296(44)3146	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 ☎03(3472)6241	8月17日(火) ～ 8月26日(日)
10月9日(土) ～ 10日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第11戦 SUGOインターナショナルTBCロードレース大会 会場：スポーツランドSUGO ☎022(483)3111	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127	8月31日(火) ～ 9月9日(日)
10月30日(土) ～ 31日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第12戦 WOWOW CUP MFJグランプリインターナショナルロードレース大会 会場：筑波サーキット ☎0296(44)3146	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	9月21日(火) ～ 9月30日(日)

## 世界選手権競技会の開催日程

開催月日	大会名/会場	開催クラス	出場申し込み先
4月17日(土) ～ 18日(日)	世界選手権第3戦 日本グランプリロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット	GP-1 GP-2 GP-3	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111
7月24日(土) ～ 25日(日)	世界耐久選手権第5戦 コカ・コーラ鈴鹿8時間耐久ロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット	TTF-1 スーパーバイク	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111
8月28日(土) ～ 29日(日)	スーパーバイク世界選手権第10戦 SUGO大会 会場：スポーツランドSUGO	スーパーバイク	スポーツランドSUGO 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127

# '93スーパーカップ ロードレース 選手権大会特別規則

## 1 公 示

スーパーカップロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則とスーパーカップロードレース選手権のシリーズを通じ共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式競技会として開催される。

## 2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。  
参加資格：国際A級・国内A級  
クラス： GP125  
          GP250  
          SS250  
          SS400  
          SS750
- 2) 競技会の日程は巻末に示す。

## 3 追加のクラス

スーパーカップロードレース選手権には併催クラスが追加されてもよい。

## 4 選手権

- 1) スーパーカップロードレース選手権は東地区・西地区でそれぞれ5戦を超える場合はシリーズをイースタン・ウエスタンに分けて開催する。
- 2) この基準に達しない場合は一つのシリーズとして開催し、有効ポイント制とする。
- 3) シリーズ全体または種目ごとにおいても最低3戦でシリーズが成立することとする。
- 4) シリーズが東西に分かれた場合、選手はどちらのシリーズにも参加できるがそのシリーズポイントは合算されない。

## 5 コース

コースはMFJ国内公認以上のコースとする。

## 6 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は主催者が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

## 7 参加定員

参加定員は定めない。

## 8 出場料およびMFJ共済会掛け金

出場料：1クラス		14,000円
MFJ共済会掛け金	1人1口	4,000円
	合計	18,000円

## 9 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して4名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について2人のピットクルーが作業出来る。

## 10 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度スーパーカップ選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。(20番まで)
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。





### 11 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 車検終了後の選手間でのマシンの交換はできない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを変更することが出来るがそのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き通常交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

### 12 公式予選

- 1) 公式予選は各クラス（予選組）ごとに最低20分間を1回行う。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。

### 13 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

### 14 スタートグリッド

スタートグリッドの数、配列は各大会の特別規則に示される。



## 15 賞および得点

- 賞の詳細については公式通知に示される。
- 得点は国内競技規則・第3章「公式得点」によって与えられる。
- スーパーカップグランドチャンピオン大会については上記の得点に3点が追加される。
- スーパーカップ選手権のランキングはイースタンシリーズ、ウエスタンシリーズ別々に上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定方法(194P)に示される。
- スーパーカップグランドチャンピオン大会の得点はイースタン・ウエスタンどちらかのランキングに積算出来る。
- 昇格ポイントは国内A級のみの順位によって与えられる。

## 16 主催者の権限

- 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することが出来る。
- 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場健康上の理由による可否を最終的に決定することが出来る。
- 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することが出来る。
- やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

## 17 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1993年1月1日から適用される。

### 1993年度スーパーカップロードレース選手権シリーズ開催日程 (スーパーカップウエスタンシリーズ)

開催日程	大会名	開催クラス					出場申し込み先	出場申し込み期間
		G.P. 125	G.P. 250	S.S. 250	S.S. 400	S.S. 750		
3月21日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第1戦HSR九州大会	○	○	○	○	HSR九州 〒869-12 熊本県菊池郡大津町 大字平川1500 ☎096-293-1370	2月11日(火)～ 2月20日(休)	
4月11日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第2戦T大会	○	○	○	○	T1サーキット 〒701-26 岡山市英田郡英 田町滝宮地内 ☎08678-293-1370	3月2日(火)～ 3月11日(休)	
5月9日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第3戦鈴鹿大会			○	○	テクニカルスポーツ 〒513 三重県鈴鹿市 住吉町6786 ☎0593-78-1455	3月31日(火)～ 4月9日(休)	
6月6日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第4戦MINE大会	○	○	○	○	MINEサーキット 〒759-21 山口県美祿市 西厚保町 ☎08375-8-1370	4月28日(火)～ 5月7日(休)	
7月4日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第5戦SSRFスノ直入大会	○	○	○	○	SSRFスノ直入 〒878-04 大分県直入郡直 入町 ☎0974-75-3191	5月25日(火)～ 6月3日(休)	
8月1日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第6戦HSR九州大会	○	○	○	○	HSR九州 〒869-12 熊本県菊池郡大津町 大字平川1500 ☎096-293-1370	6月22日(火)～ 7月1日(休)	
8月29日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第7戦T大会	○	○	○	○	T1サーキット 〒701-26 岡山市英田郡英 田町滝宮地内 ☎08678-8-3311	7月20日(火)～ 7月29日(休)	
9月12日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第8戦HSR九州大会	○	○	○	○	HSR九州 〒869-12 熊本県菊池郡大津町 大字平川1500 ☎096-293-1370	8月3日(火)～ 8月12日(休)	
10月3日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第9戦鈴鹿大会	○	○	○	○	テクニカルスポーツ 〒513 三重県鈴鹿市 住吉町6786 ☎0593-78-1455	8月24日(火)～ 9月2日(休)	

# '93スーパーカップロードレース選手権大会特別規則 〈スーパーカップイースタンシリーズ〉

開催日程	大会名	開催クラス					出場申し込み先	出場申し込み期間
		G.P. 175	G.P. 250	S.S. 250	S.S. 400	S.S. 750		
3月21日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第1戦筑波大会			○	○		(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	2月11日(火) ～ 2月20日(休)
3月28日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第2戦SUGO大会	○	○				SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	2月18日(火) ～ 2月27日(休)
4月18日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第3戦仙台大会	○	○			○	仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂12 ☎022-395-2120	3月10日(火) ～ 3月19日(休)
5月9日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第4戦エビス大会	○	○	○	○		エビスサーキット 〒964 福島県二本松市沢松倉1 ☎0243-24-2972	3月31日(火) ～ 4月9日(休)
5月9日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第5戦SUGO大会					○	SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	3月31日(火) ～ 4月9日(休)
5月23日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第6戦筑波大会	○	○	○	○		(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	4月14日(火) ～ 4月23日(休)
6月6日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第7戦SUGO大会	○	○	○	○	○	SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	4月28日(火) ～ 5月7日(休)
6月20日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第8戦仙台大会			○	○		仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂12 ☎022-395-2120	5月11日(火) ～ 5月20日(休)
6月27日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第9戦FISCO大会	○	○			○	富士スピードウェイ(株)内スーパーカップ事務局 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 ☎03-3591-6056	5月18日(火) ～ 5月27日(休)
7月11日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第10戦筑波大会		○				(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	6月1日(火) ～ 6月10日(休)
7月18日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第11戦SUGO大会					○	SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	6月8日(火) ～ 6月17日(休)
8月8日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第12戦SUGO大会		○	○		○	SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	6月29日(火) ～ 7月8日(休)
8月8日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第13戦FISCO大会	○					富士スピードウェイ(株)内スーパーカップ事務局 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 ☎03-3216-5611	6月29日(火) ～ 7月8日(休)
8月22日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第14戦エビス大会	○	○	○	○		エビスサーキット 〒964 福島県二本松市沢松倉1 ☎0243-24-2972	7月13日(火) ～ 7月23日(休)
8月29日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第15戦SUGO大会	○				○	SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	7月20日(火) ～ 7月29日(休)
9月5日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第16戦筑波500km大会					○	(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	7月27日(火) ～ 8月5日(休)
9月19日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第17戦HSP大会	○	○	○	○		北海道スピードパーク 〒044 北海道釧路市厚別区安町峠下 ☎0136-23-3880	8月10日(火) ～ 8月19日(休)
10月17日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第18戦仙台大会	○	○	○	○	○	仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂12 ☎022-395-2120	9月7日(火) ～ 9月16日(休)
10月24日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第19戦筑波大会	○					(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	9月14日(火) ～ 9月23日(休)

## グランドチャンピオン大会 (東西対抗)

11月6日 7日	スーパーカップロードレース選手権東西対抗 スーパーカップグランドチャンピオン大会 T1サーキット英田	○	○	○	○	○	T1サーキット英田内スーパーカップGC事務局 〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮地内 ☎08678-8-3311	9月14日 ～ 9月23日
-------------	--	---	---	---	---	---	--	---------------------

※GC大会はイースタン・ウエスタン両方の選手が参加できます。ボーナスポイントが3点加算されます。



L'HUILE DE HAUT NIVEAU.

# MOTUL

# 100% Synthetic

1971年、世界初の自動車エンジン用100%化学合成オイル「300V」の製造を開始して以来、**MOTUL**の足跡は「化学合成(Synthetic)オイル」の歴史そのものでした。そして、だからこそ可能になった、このラインナップ。4ストロークも2ストロークも、さらにプレーキフルード、フォークオイルなどマシン全体の100%化学合成オイルケアをお任せいただけるのは**MOTUL**だけ。「全身Synthetic」を、ぜひ実感してください。



**300V COMPETITION 300V 4T**  
300V = 15W50/4T/50/CC/CCMC/G4/PD7/24/5/955/300V 4T → API - 50/CCMC/G4/1/2/3/200/100%化学合成4ストロークエンジンオイル・コンベクション用。過熱な条件下にも安定した摩耗性能を発揮。



**300V POWER RACING**  
5W20/API - 50/2/2/5/6/200/100%化学合成4ストロークエンジンオイル・コンベクション用。フリクションロスを抑え、小型高回転エンジンに最適。



**800 2T**  
API-TC-TSC3/1/2/3/300/100%化学合成2ストロークエンジンオイル・コンベクション用。混合専用。レース専用に限らず、抜釘の追従機等汎用化性能を誇る。



**600 2T**  
API-TC-TSC3/1/2/3/300/100%化学合成2ストロークエンジンオイル・コンベクション用。一輪用、分装、混合専用。分装用に関与されるカザリンとの混合性は抜群。



**BIO 2T**  
API-TC-TSC3/API-TD-TSC3/1/2/3/400/100%化学合成2ストロークエンジンオイル。分装、混合専用。従来の含まれるオイル成分が廃棄物により自然分解される。環境保護型。



**DEAR 300**  
75W90/API-GLS/MIL-L-1105/D/500cc/3/300/100%化学合成高粘度型キヤホックス及びフィアレンシアルオイル。低温度時の流動性と高温度時の粘着性を実現。



**HYDRAULIC DOT 5**  
250cc/1/800/500cc/2/900/100%化学合成ブレーキフルード。一般/コンベクション専用。最高規格DOT5適合。沸点265℃。



**HYDRAULIC RACING 300 C**  
1/2/3/4/500/100%化学合成ブレーキフルード。コンベクション専用。沸点300℃をクリアする超高性能タイプ。



**FORK OIL 800**  
2.5層ベアラーライト・独立対応型カヤハ、オーリング専用高粘度ライント・独立対応型ショウ管専用/500cc/2/300.独立フォーク専用に関係。タンピング安定性を特徴。



**FORK OIL 30**  
5〜10層ミティアム。15〜20層ベアラー/2輪車空転用。ミティアムとベアラーは混合使用が可能。/500cc/2/300.100%化学合成ならではの優れた耐立ち性を実現。

### ■MOTUL 取り扱い代理店

- 【北海道地区】 株式会社アクト/〒005 札幌市東区北34条東5丁目星友ビル2F ☎011-712-7531
- 【東北地区】 株式会社ピット仙台/〒983 仙台市若林区荒井藤田中興2-2 ☎022-296-9372
- 【関東甲信越地区】 テクノイル・ジャポン株式会社
- 【静岡地区】 株式会社オイルサービス/〒420 静岡市東名5-50-3 ☎0542-82-5550
- 【中部地区】 テクノイル名古屋/〒470-01 愛知県日進町赤池丸根112 ☎052-803-6538
- 【関西中国地区】 株式会社油/〒607 京都市山科区鞍馬寺裏戸河原95-3 ☎075-582-3030
- 【九州地区】 万和商事株式会社/〒816 福岡市博多区博多1-9-25 ☎092-451-2121
- 株式会社 福岡営業所/〒818 福岡県大野城市西宮川13-1 ☎092-503-0000

●モチュール総合カタログをご希望の方は、封書に72頁分の切手を同封し、住所、氏名、年齢、職業、所有車を明記の上、テクノイル・ジャポンへ「MF」欄までお申し込み下さい。

### ■4輪アクセサリショップルート

- プリンプ株式会社/〒606 京都市左京区東鴨町1236 ☎075-721-0254
- プリンプ株式会社/〒106 港区東麻布1-10-13 東麻布アネックス6F ☎03-3555-6231
- プリンプ株式会社/〒405 名古屋市長原区一社3-98ループル602 ☎052-704-1231
- プリンプ株式会社/〒803 仙台市若林区加茂75-2-1000町番ビル507 ☎022-231-5818
- プリンプ株式会社/〒816 福岡市博多区博多1-9-3 博多の職業実践校3F ☎092-571-8030

MOTUL 最新輸入発売元  
テクノイル・ジャポン株式会社

**TECHNOIL Japon K.K.**

〒222 横浜市港北区新横浜1-1-8-505 ☎045-472-8381 FAX. 045-472-8404

# つよ 1320gの剛さと快感

**DIC**  
RACING CONFIDENCE

重さわずか1320g。そしてサーキット  
ユースに耐えられる剛さ。空気抵抗、  
慣性Gに抗うライダーが求める理想  
のヘルメットが、いま形になりました。  
ライダーならわかる1320gの剛さと  
快感！

ヘルメットを素材から考えるDICだ  
から可能な技術なのです。

# RT06



WGP 500 class DIC Contract Rider A. BARRROS



WGP 250 class DIC Contract Rider C. CARDUS

WGP'92シリーズ、C.カルダスに加えCAGIVAのA.パロスもDICをチョイスした。

#### ■素材は、特殊グレードポリエステル樹脂

DICが誇る超軽量ヘルメット素材です。DICではヘルメットに最適な素材を求めて、研究から製造まで全てを自社内でこなっています。だから出来た驚異的な超軽量の1320g (Mサイズ)です。

#### ■帽体は、有機繊維複合FRP積層構造

DIC独自のヘルメット構造です。特殊グレードポリエステル樹脂にガラス繊維と有機繊維をミクロの単位でモールド構成した帽体は、厚みを変えることなく超軽量でありながらプロユース対応の高剛性を実現しました。

#### ■上級モデルゆずりの先進システム

シールドカバーからネジをなくしたダブルロック機構のシールドアタッチメント、2mm厚の超硬シールドの採用と風洞実験を繰り返して決められたアッパー&アンダーベンチレーションシステム。ユーザーが求める機能を、誰もが気軽に購入できる本格派ヘルメットで実現しました。

- 規格：JIS C種/MFJ公認
- サイズ：S(55~56cm)/M(57~58cm)/L(59~60cm)/XL(61~62cm)
- カラー：ブラック/ブルー、ホワイト/ブルー、ホワイト/オレンジ

標準価格 ¥28,000



# 本能を呼び起す!



MFJ公認レーサースーツ  
**スパジオS-15フェスタレーサースーツ**  
 men's: S~LL ¥98,000 02-104  
 men's: 3L ¥113,000 02-105  
 color: フラッシュレッド・ブルー・ブラック

- 強度の強度を誇るスイス製リジーッパーを、フロント(上下両開き)及び手首に使用。(フロントファスナーのみ、1年間無料修理致します)
- 強度と軽さを両立したファスナーを開ける事により、従来のエア抜き合付となります。
- 膝と膝の後面にオペロンニットを使用。運動性・透気性・耐久性共に抜群です。
- 最新型「フェスタアーク」は、軽圧による転写シートを使用。日本のSPA.ZXIOの工事は、リフライシートを任意、修理受付時のアクセントになります。
- 肘と膝のパッドは、圧縮ウレタン・ジェル(衝撃吸収材)・カプラーの3重構造とし、安全性を向上させています。
- 厳選されたレザーを使用し、縫製した製品です。



MFJ公認レーサースーツ  
**スパジオ14Rレーサースーツレーシングタイプ**  
 men's: S-M-L-LL ¥118,000 02-097  
 men's: 3L ¥139,000 02-098  
 color: 白/赤/黒・白/黒・黒/ガンメタ

- 強度の強度を誇るスイス製リジーッパーを、フロント(上下両開き)及び手首に使用。(フロントファスナーのみ、1年間無料修理致します)
- 革地、メティカルマーバス
- 黒/ガンメタは一部スエードを使用
- 厳選されたレザーを使用し、縫製した製品です。

スパジオ14レーサースーツ  
 men's: S-M-L-LL ¥95,000 02-100  
 men's: 3L ¥110,000 02-101  
 color: 白/赤/白/黒・黒/ガンメタ

・改良のため、予告なく商品の仕様及び価格等を変更することがあります。・記載価格に消費税は含まれておりません。・印刷のため、多少色が異なって見える場合があります。

サイズ	身長(cm)	ウエスト
S	160~	~ 76
M	~ 165	~ 78
L	~ 170	~ 82
LL	~ 175	~ 86
3L	~ 180	~ 92

●フルオーダー、カラーオーダー、サマータイプも製作致します。また、修理、クリーニング、ネーム入も致します。納期及び見積りのお問い合わせは本社までご連絡下さい。

## KOMINE

株式会社コミネオートセンター  
 本社：〒111 東京都台東区小島2-29-11  
 Tel. 03(3862)9811(代) Fax. 03(3866)5134(代)

GRAND PRIX MOTOR OIL



# The Professional

elf Racing Fuel & Lubricants

**2cycle Racing**

HTX 575 100%化学合成 混合専用 RS25,RS250専用オイル  
MOTO XT7 100%化学合成 混合、半量専用

**4cycle Racing**

HTX 520 100%化学合成 15W/50  
HTX 533 100%化学合成 15W/60  
HTX 530 100%化学合成 15W/50(75℃以上では使用不可)  
MOTO XT4 100%化学合成 15W/60

**Transmission**

HTX 740 100%化学合成 75W(使用温度に依存)  
MOTO T 15W/75

**Brake Fluid**

L DOT 3  
Freak 350 DOT4

**Others**

MOTO F3, F25 フォーンオイル  
MOTO C チューンオイル  
MOTO A エアフィルトレーション

**Racing Fuel**

MOTO 119 100%タンク容量17.5L用 FM/WR25用  
MOTO 124 100%タンク容量17.5L用 FM/WR25用  
MOTO 166(L16) 100%タンク容量17.5L用 FM/WR25用  
SPECIAL CROSS 110%タンク容量17.5L用 FM/WR25用  
SPECIAL KART 100%タンク容量17.5L用

\*エルフレーシングガソリンはエルフオイルとのコンビネーションで最高の性能を発揮します。ぜひセットでご使用ください。

**●エルフオイル取扱店**

札幌	新デザイン	011-863-5559	宮城	新エヌジーシー	03-3831-1421
新潟	新潟中央部品販売	0256-32-3358	川崎	相互サービスソサエティ	044-951-2800
虎川	新山城	03-3802-5211	富山	R & SPORTS	0764-93-0369
池田	池田カマコンベクションプロダクト	03-3454-3541	愛知	RSヤマダ	0587-66-5186
豊島区	新フォーミュラーサプライ	03-3988-6397	神奈川	キリタニ	078-932-4010
千代田区	新松本商店	03-3256-0641	名古屋	共豊コーポレーション	052-824-7611
大田区	ナイトスポーツ	03-3775-6446	福岡	新アクトオートインターナショナル九州	092-861-6662

**●エルフ・SPLガソリン取扱店**

サンベスト 共石SS  
〒174 東京都板橋区志村3-31-8  
TEL.03(3966)5575  
出光ガソリン 草間給油所  
〒981-15 宮城県角田市角田字町271  
TEL.0224(83)1595  
吉田石油販売鳥羽給油所  
〒612 京都市伏見区下鳥羽16長町36  
TEL.075(60)19221

# unico

総輸入販売元 ユニコ株式会社  
東京都港区六本木7-3-17 TEL.03(3478)2707

# TR 011 IRC New Operation !

for TRIAL COMPETITION use only

## トラクションコントロール



トライアルの静かな、熱い闘い。極限まで研ぎ澄まされた、集中力。そして、マシンとライダーを支える、タイヤの確実なグリップ。すべては、クリーンのために用意された、パフォーマンス。



滑らかな初動グリップ。トライアルセクションでの、静かだが力強いパワーを秘めたグリップ性能の実現。そのために新設計された低反発弾性のコンパウンド。更に、ブロックにサイブを入れることによって、路面を手のひらが包み込むように捕らえ、強力にグリップする働きを持たせたトレッドパターン。そして、断面形状の見直しによりサイド部に丸みを持たせたリアタイヤとオーバル形状を採用したフロント。90°±0°で巻かれたラジアル構造のカーカス…。

TR 011。しなやかに、そして力強く、確実に前進するパワーを、私たちは手にした。

FRONT  
2.75-21 4PR(W/T)

REAR  
4.00R18 4PR(T/L)

**IRC TIRE**  
A DIVISION OF INOAC

井上ゴム工業株式会社 ●営業部/〒450 名古屋市中村区名駅南1-25-17 役員ビル8F Tel.052-581-0701 Fax.052-581-0750 ●広報室/〒104 東京都中央区銀座2-4-14 イノアックビル

私達と、私達のタイヤに対するご意見をおハガキで広報室あてに①お乗りのバイク名②ご使用中のタイヤ(他メーカーでも結構です)③タイヤに対するご意見④ご住所⑤お電話番号⑥ご氏名⑦平令⑧ご職業をご記入の上、ドシンドシお寄せください。待つてます。

チェッカーが見えてきました。



カーボンディスクASSY ¥325,000 カーボンブレーキパッド ¥28,000



AP 1ピストン  
8ピストンキャリパー  
CP3666 ¥340,000



AP 1ピストン  
4ピストンキャリパー  
CP3586 ¥234,000  
CP3569 ¥236,000  
CP3485 ¥250,000



AP 4ピストン  
キャリパー  
CP3369 ¥77,000  
CP3386 ¥77,000  
CP3385 ¥92,000

※全キャリパーブレーキパッド付



AP ロックードブレーキパッド  
日本GPでシュワーツが使用のパッドです。  
NSR250, RC-30, RS250/125, OW-01,  
TZ250, ZXR750, その他 各 ¥5,300



AP ブレーキフルード  
スーパーDOT4 (250ml) ¥1,000  
CP3600-600レーシング ¥3,300



AP マスターシリンダー  
CP3125-2 タンク付 ¥33,000  
CP3125-4 タンク付 ¥33,000  
CP3125-5 タンク付(空用) ¥35,000  
CP3125-6 タンク別体式 ¥36,000  
CP3125-8 タンク別体式 ¥36,000



スクリーン  
クリア スーパーマイクロ  
ブルー  
OW-01 ¥12,000 ¥14,000  
RC-30 ¥12,000 ¥14,000  
GSXR750(86~92) ¥12,000 ¥14,000  
ZXR750 ¥10,000 ¥12,000  
NSR250(88~92) ¥10,000 ¥12,000  
NC-30 ¥10,000 ¥12,000  
CBR400RR ¥10,000 ¥12,000  
TZR250 ¥10,000 ¥12,000  
その他の車種あります。



クイックチャージャーコネクター  
オス ¥48,000 メス ¥41,000



ガソリンワンタッチカバー  
¥3,000



グッドリッジ #2ブレーキホースは、軽量で柔軟な  
PTFE (テフロン)ホースを使用し、フィッティング類  
にはステンレスを使用しています。高圧及び高温に  
耐え、腐食や耐衝撃性にもたいへん優れてい  
ます。

GOOD RIDGE #2 ブレーキホースキット

HONDA	YAMAHA
RC-30 ¥31,000	OW-01 ¥28,500
NC-30 ¥31,000	FZR400RR ¥28,500
NSR250 ¥31,000	TZR250SP ¥28,500
CBR400RR ¥28,500	TZR125 ¥15,600
RS250 ¥31,000	TZ250 ¥31,000
RS125 ¥15,600	TZ50 ¥15,600

SUZUKI	KAWASAKI
GSX-R750(88) ¥31,000	ZXR750 ¥28,500
GSX-R750(91) ¥28,500	ZXR400 ¥28,500
GSX-R400 ¥28,500	GPZ900R(91) ¥28,500
RGV-250Γ ¥28,500	ZEPHYR ¥28,500

その他の車種あります。



GP ヘルメット  
ドリンクKIT  
レース中の水分を補う必需品  
¥11,000

通信販売 価格に消費税3%を加算の上、代金  
引替えまたは現金書留でお申し込み  
下さい。1万円以上は送料無料。

株エージェー  
神奈川県伊勢原市  
伊勢原1-12-28  
TEL.0463-92-3793  
FAX.0463-91-1347







●NR-51  
プロレーシングスーツ  
A白/赤/黒  
B白/ライトブルー/青  
C白/カンタナ  
¥150,000  
国内産高級牛皮使用  
★新開発のプロニーバット  
とプロ-エルホーパッド内装が

NANKAI NRシリーズのレーシングスーツは  
MFJ公認スーツです。

●レース用サイズ

	身長	バスト	ウエスト	ヒップ
S	160~164	90	74	86
M	163~168	92	76	92
L	167~172	96	82	96
LL	170~175	100	86	100
XL	173~178	104	90	104

上記サイズ表示以外に、ワイドサイズのBタイプ  
スリムサイズのYタイプがございます。全国のN.  
S.C.(ナンカイスピードショップチェーン) 加盟店  
で一度御試着ください。

●NR-33  
プロレーシングスーツ  
A白/赤 黒白/青  
C白/黒 白青/白 黒赤  
¥148,000  
国内産高級牛皮使用

喝采、勇者たちの狂詩曲



W・レイニー



W・ガードナー



D・チャンドラー



M・ドゥーハン



●NRG-08  
レーシンググローブ  
A白/赤/黒  
B白/青/ライトブルー  
C白/赤  
D白/赤/青  
¥12,500  
M.L.L.L

●NRG-12  
M-トゥーハンレプリカグローブ  
フロント購入  
¥12,500  
M.L.L.L



●NRB-11  
レーシングブーツ  
A白/赤/黒  
B白/ライトブルー/青  
C白/赤/青  
¥35,000  
24.5cm~27cm  
●NRB-11W,K  
ともに¥37,000



●NRB-10  
レーシングブーツ  
A赤/白/カンタナ  
B青/白/ライトブルー  
C黒/白/赤  
D白/赤  
¥32,000  
24.5~27cm  
●NRB-10W,K  
ともに¥34,000

サイズ25・26・27cmに、ふくらはぎがゆったりしたWタイプ  
少し大きめKタイプ 27.5・28cm



●NRB-8  
レーシングブーツ  
A赤/白/黒  
B青/白/ライトブルー  
C黒/白/赤  
D白/ラントナー/黒光赤  
E黒/カンタナ  
Fライトブルー/白/ライトブルー  
G赤/白/カンタナ  
H赤/白/青  
¥33,000



●プロレーシングバックプロテクター  
A黒/赤 B黒/青 C黒/白 D赤/黒  
¥12,500

MOTORCYCLE TOP LEADER  
NANKAI  
FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE

FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE  
南海部品株式会社

〒530 大阪市北区豊崎南3-6-28 ☎(06)344-1581(代)

# SUZUKA CIRCUIT RACING SCHOOL



'93年度生徒募集

鈴鹿サーキットから  
世界をめざせ!



## 確実なレベルアップをお約束します。

鈴鹿サーキットは、世界に通用する日本人ライダーの育成を目的に、トータルなライディング教育を行う「鈴鹿サーキット・レーシング・スクール(SRS)」を開校。9才～15才を対象とした「SRS・J」と、現役ライダーを対象とした「SRS」の2つのスクールを設置し、実際に活躍中のライダーや経験豊かなインストラクターが、質の高い

教育を実施しています。世界のトップライダーが熱い戦いを繰り広げる鈴鹿サーキットで腕を磨き、心身ともにすばらしいレーシングライダーを目指してみませんか。

●使用コース/フルコース、西ショートコース、南コース、モトクロスコース、ダートトラックコース、その他

## “贅”の時間を過ごす。

鈴鹿サーキットで、食べる、遊ぶ、学ぶ。

### RESORT

鈴鹿サーキットには、緑に囲まれた本格的リゾートホテルをはじめ、ゴルフ練習場やテニスコート、ボウリング場、キャンプ村などのスポーツ・レジャー施設が充実しています。またお食事は、寿司、天ぷら、イタリア料理、四川料理など、本場から招いた調理師の料理が、お好みに合わせて心ゆくまで楽しめます。



ホテルムエズム

### MOTOPIA

広大なスペースに“のりもの”が23種・約650台も揃ったモトピア。小さなお子様がひとりで乗れるものから、カップルで楽しめるものまで、オリジナリティにあふれています。また、冬はアイススケート、夏はプールと季節ごとに楽しさもいろいろ。いつでも、誰もが、心からエンジョイできます。



ロッカーコースター

### SOCIAL

鈴鹿サーキットでは、“交通教育センター”“鈴鹿モーターサイクルスクール”など安全運転教育のための専門施設で、質の高い指導を実施。また、研修ホテルムエツGをはじめ、鈴鹿国際フォーラム、各種ホールなど、教育・研修・文化と多彩な施設が充実しています。



交通教育センター



SUZUKA CIRCUIT

# M

モトクロス

# MOTO CROSS

## ▼細則 4 モトクロス競技細則

1. 適用範囲	76
2. モトクロス	76
3. コースの仕様	76
4. 出場車両	76
5. MFJ公認車両・公認部品	76
6. ライダーの装備	76
7. 公式通知・タイムスケジュール	77
8. 参加定員	77
9. 参加資格	77
10. 出場申し込み	77
11. 参加受理	77
12. 賞及び得点	78
13. ゼッケンナンバー	78
14. ガソリン及びオイル	78
15. ピット及びサインエリア	78
16. 出場受付	78
17. 車両検査	79
18. 音量規制	79
19. ライダーの変更	79
20. 車両の変更	79
21. 部品の変更	79
22. フリープラクティクス及び公式練習	79
23. 公式予選	79
24. スタート台数	80
25. スタート位置の決定方法	80
26. 予選・決勝におけるスタート位置の変更について	80
27. ウォーミングアップ	80
28. レース	80
29. レース中の公式シグナル(合図)	81
30. レースの終了	81
31. 優勝者、入賞者、完走者及び得点	81
32. 入賞車両の検査	81
33. レース及び大会の延期、中止等	82
34. 抗議	82
35. レース中の違反行為に対する罰則	82
36. 本規則の解釈	82
37. 本規則の施行	82

## ▼細則 5 '93全日本選手権大会特別規則

1. 競技開会再日程等	83
2. 運営・実行組織	83
3. 公式通知・タイムスケジュール	83
4. 開催部門・クラス	83
5. 競技内容	84
6. 参加資格	84
7. 出場申し込み	85
8. 出場料及びMFJ共済会掛け金	85
9. 参加受付	85
10. 賞及び得点	85
11. 出場車両	85
12. ゼッケンナンバー	85
13. ライダーの装備	86
14. ガソリン及びオイル	86
15. ピット及びサインエリア	86
16. 出場受理	87
17. 車両検査	87
18. 車両の変更	87
19. 部品の変更	87
20. フリープラクティクス及び公式練習	87
21. 公式予選	87
22. 決勝レース出場資格	87
23. スタート	88
24. レース	89
25. レース中の公式シグナル(合図)	89
26. レースの終了	89
27. 優勝者、入賞者、完走者及び得点	89
28. 入賞車両の検査	89
29. 総合順位決定方法	89
30. レース及び大会の延期、中止等	89
31. 抗議	89
32. レース中の違反行為に対する罰則	89
33. 本規則の解釈	89
34. 本規則の施行	90
'93全日本モトクロス選手権開催日程	90

# モトクロス 競技細則

## 1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内モトクロス競技会に適用される。

## 2 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変するような地形のところで行われるクロス・カントリーレースである。国内競技規則および本細則により管理される。

## 3 コース仕様

コースの長さは1周1km以上、2km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コース等は、別に定めるモトクロス会場に関する規則に準拠し、適切なレーシングコンディションと安全性とが確保されていなければならない。

## 4 出場車両

車両は、国内競技規則・第3章 [⑫出場車両] (28頁) の限度を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

尚、改造されて型式(モデル)が判別できないような車両は競技会に出場することはできない。

## 5 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両及び公認部品は、国内競技規則・第3章 [⑬MFJ公認車両及び公認部品・用品] (28頁) を参照。

## 6 ライダーの装備

### 1) ヘルメット

- (1) ヘルメットは日本工業規格JIS T8133-1982-C種及びJIS-T-8133-2種(JIS-T-8133の1982年8月までの規格)、USA S.I.STANDARD-Z90-1-1970.米国スネル規格1985によって示された検査に合格したか、または、それ以上の性能を有するジェット型かフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなくてはならない。
- (2) MFJの公認したヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、検査に合格しなかったヘル

メットは、MFJの公認したヘルメットであっても当該ライダーの安全上、その使用を禁止される。

- (4) MFJ公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査を受け、公認ヘルメットと判明した時点で、公認シールが貼付される。その際、特別検査料(1,000円)を支払わなければならない。



2) ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用は一切禁止される。枠は柔軟な素材を使用したもので転倒時等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなくてはならない。

3) ライダーの服装

- (1) 服装は、レース中ライダーの身体の安全を確保し、車両の操縦を妨げるものであってはならない。  
(2) 耐火性で溶けない素材の丈夫な生地で自由な動作を妨げない長袖のジャージを着用しなくてはならない。  
(3) 突出部分のない革、または革と同等以上の性能を持つ手袋及びブーツを着用しなければならない。  
(4) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

## 7 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に発送される。

## 8 参加定員

定員は定めない。

## 9 参加資格

参加者及びライダー

参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (26頁参照) に合致していなければならない。

## 10 出場申し込み

- 1) 各部門とも所定の申し込み書に必要な事項をすべて記入の上、出場料及びMFJ共済会掛け金を添えて申し込まなければならない。  
2) 2クラス以上に出場を申し込み場合でも、申込書は1枚でよい。ただし、2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。  
3) 郵送の場合は、現金書留とし、締切日当日の消印のあるものまで有効となる。  
4) 締切日以降の申し込み及び電話・FAX等の申し込みは一切受けつけられない。

## 11 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書及び所定の金額を大会事務局が受理した時点で参加受理書が発送される。  
2) 大会が中止された場合、また参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申込者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない) にのみ出場料、共済会掛け金が返却される。  
3) いったん受理された出場料・共済会掛け金は、上記2)及び細則4の [33レース及

び大会の延期、中止等] (82頁参照) の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。

## 12 賞及び得点

- 1) 賞の詳細は、公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章 [24公式得点] (31頁参照) によって与えられる。

## 13 ゼッケンナンバー

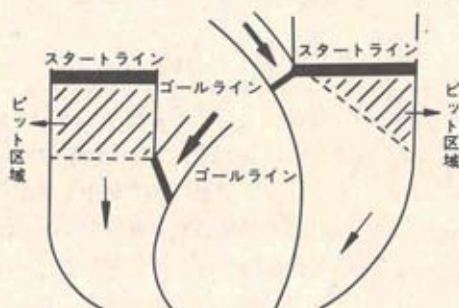
- 1) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(18頁及び85頁参照)
- 2) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 3) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合は、また、間違っただけのゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない
- 4) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面または後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

## 14 ガソリン及びオイル

- 1) ガソリン及びオイルは国内競技規則・第3章 [13燃料及びオイル] (28頁参照) による。
- 2) ガソリンの銘柄及びその詳細が主催者によって指定された場合は、当該指定ガソリンを使用しなければならない。
- 3) ガソリンの運搬については、消防法第16条の規定に従った方法で行わなければならない。

## 15 ピット及びサインエリア

ピット及びサインエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアは、スタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしかえのないコースサイドまたはコース上である。



## 16 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

## 17 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されるタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人又は当該ライダーのメカニックが車両仕様書とともに持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外に行わない。
- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

## 18 音量規制

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

- 10) 音量規制値  
2ストローク・エンジンについてはピストンスピード13m/secで測って99dB/Aまで。4ストローク・エンジンについては11m/secで測って99dB/Aまでとする。レース終了後は2dB/Aの許容誤差が認められる。

## 19 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

## 20 車両の変更

車両の変更は、車検時に提出した車両仕様書の車両と変更が生じた場合、以下の手続きに従って行われる。

破損などやむを得ず出場登録済（車両検査合格済）の車両を変更する必要がある場合は、規定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
- 2) その他については、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、車両変更手数料5,000円を申請書に添付し、提出しなければならない。
- 4) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

## 21 部品の変更

エンジンアッセンブリーの変更は認められない。

## 22 フリープラクティス及び公式練習

ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加しなければならない。

## 23 公式予選

各クラスの出場申し込み台数が、規定の同時出走最多台数（30台）を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選が行われる。

- 1) 公式予選の内容

- (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
- (2) 公式予選の日程は、特別規則に示される。
- (3) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。
- (4) 決勝進出台数は、特別規則に示される。

## 24 スタート台数

原則として30台とする。

## 25 スタート位置の決定方法

スタート位置は、大会特別規則もしくは公式通知に示される。

## 26 予選・決勝におけるスタート位置の変更について

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

## 27 ウォーミングアップ

- 1) エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯に限られる。
- 2) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

## 28 レース

- 1) スタートまでの行動
  - (1) ライダーは、特別規則に定められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
  - (2) ライダーは、スタート前のチェックの後車両とともに指定区域内に待機しなければならない。
- 2) スタート
  - (1) スタートの方法については、原則として各部門ともスターティングマシンを使用したエンジンランニングスタートとする。ただしスターティングマシンを使用しない場合は、必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
  - (2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは、一切考慮されない。
  - (3) スターティングマシンが使用される場合は、車両の位置はスターティングマシンの後方の区域内とする。
  - (4) スタートの合図は、スタート係の合図（国旗等）によって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合は、この限りでない。
  - (5) スタート時にフライングが認められた場合は、スタートライン前方（第1コーナー付近）において赤旗が振られ、スタートをやり直す。ただし、同一ライダーが再びフライングをした場合、当該ライダーは失格となる。
- 3) コースアウト  
ライダーは、走行中、やむを得ず定められたコースを外れ、再びコースに戻る場合には、外れた地点よりコースに侵入しなければならない。



- 4) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内に限定される。
- 5) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、または破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示され、提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

## 29 レース中の公式シグナル (合図)

- 1) 公式シグナル (合図) は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

シグナル	意味
赤旗	全員走行停止
黒旗とゼッケンを記したボード	当該ライダーは走行停止
黄旗 (静止)	危険予告
黄旗 (振動)	徐行、安全確認、追い越し禁止
青旗	警告、ラップされようとしている
緑旗	先に出した合図の解除、コースクリア
白黒チェッカー旗	レース終了

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴールを通過した時点から、残りの周回数を示すボードが提示される。

## 30 レースの終了

レースの終了は、優勝者の完走後、チェッカー旗が振られ、マーシャルが定位置を離れるか、またはマーシャルがコースを一巡することによって示される。

## 31 優勝者、入賞者、完走者及び得点

- 1) 優勝者  
優勝者は、定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーとする。
- 2) 入賞者及び順位の優先順位  
入賞者及び入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。
- 3) その他の順位の優先順序  
周回数の多いものを優先する。同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 4) 完走者
  - (1) 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダーが完走者とする。
  - (2) レース途中でリタイヤしたライダーも完走周回数を完了している場合は、完走者とみなされる。
- 5) 得点
  - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [31頁] によって得点が与えられる。
  - (2) オープンクラスに関しては、自動昇格得点対象外とする。

## 32 入賞車両の検査

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない

車両の当該ライダーは失格となる。

### 33 レース及び大会の延期、中止等

- 1) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースを中止しなければならないと判断した場合に限り、レースを中止することができる。
- 2) すべての大会関係者は、大会審査委員会の決定に従わなければならない。
- 3) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースに決められた周回数（または時間）の3分2を完走しないうちにレースを打ち切った場合、そのレースは無効となる。
- 4) トップ走者が決められた周回数（または時間）の3分の2以上を完走した時点でレースを打ち切った場合、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付けて発表する。
- 5) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返却されるが、他のいかなる損害賠償を主催者に請求することはできない。公式予選終了後の中止については、決勝進出者のみ出場料が返却される。

### 34 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章 [2]抗議 (32頁参照) による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合は、抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に用いた費用は、車検長が算定するものとする。
- 3) 車両の分解検査に立ち合う者は、車検長及び抗議を受けた当事者のみとする。

### 35 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督並びに大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課することができる。

- 1) 失格
  - (1) 故意に走路を妨害した場合。
  - (2) レース中に他の援助を受けた場合。
  - (3) コースを逆走した場合。
  - (4) コース判定により示された合図旗に従わなかった場合。
  - (5) 1度コース外に出て、明らかに自分に有利となる所より再びコースに復帰すると判断された場合、1周減算または失格とする。
  - (6) フライングを2度繰り返した場合。
- 2) 1周減算
  - (1) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。
  - (2) 上記1)失格(5)の場合。

### 36 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

### 37 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効とする。

# '93全日本 モトクロス選手権大会 特別規則

## 1 競技会開催日程等 (90頁参照)

## 2 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

## 3 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に発送される。

## 4 開催部門・クラス

- 1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

部門	国際B級	国際A級
クラス	125cc・250cc	125cc・250cc

- 2) 全日本選手権は原則として国際B級及び国際A級の2部門にて開催されるが、事前に選抜されたものによる2クラスまでのレースを併催することができる。ただし、そのレースは土曜日に開催しなければならない。エキジビションレースは日曜日に全日本選手権クラスに影響しない範囲にて開催することが認められる。
- 3) 国際A級部門は、125ccクラスと250ccクラスを開催し、各クラスの選手指定は下記のとおり行う。
- (1) 125ccクラス
- ① 前年の全日本選手権国際A級125ccクラスにおいて、ランキング16位以下のもの。
  - ② 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて得点を獲得できなかったもの。
  - ③ 国際B級からの昇格者。  
ただし、前年の総合ランキング上位3位のもの、250ccクラスへの移籍申請をすることができる。
- (2) 250ccクラス
- ① 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおける有得点者。
  - ② 125ccクラスからのクラス移籍者。(前年の125ccクラスシリーズランキング15位以内の者)
  - ③ その他、スポーツ委員会が特に認めた者。

## 5 競技内容

- 1) 公式予選  
原則として決勝出場台数(30台)を越えた場合、公式予選が行われ、その公式競技内容は公式通知に示される。
- 2) ラストチャンス  
公式予選にて決勝出場資格を獲得できなかった選手にて行われ、上位2名(1位、2位)が決勝出場資格を獲得することができる。  
ラストチャンス: 5分+2周
- 3) 決勝レース  
国際B級: 25分+2周または左記時間に相当する周回数  
国際A級: 30分+2周または左記時間に相当する周回数

## 6 参加資格

- 1) 参加者及びライダー  
参加者及びライダーは、国内競技細則第3章[9]競技参加者(26頁参照)に合致していなければならない。
- 2) MFJグランプリ大会の参加資格  
国際A級・国際B級の各クラスともフリーエントリーとする。
- 3) 250ccモトクロス世界選手権日本グランプリ大会の参加資格  
1993年8月21日、22日に開催される表記大会の参加資格は下記のとおりとする。  
1993年7月3、4日開催の全日本モトクロス選手権シリーズ第7戦北海道大会までのランキング上位より下記のとおりその出場資格を与える  
  - (1) 国際A級250ccクラスランキング上位12名
  - (2) 国際A級125ccクラスランキング上位3名



- 4) 1993年度パンパシフィックスーパークロス選手権日本代表選手選抜について  
1992年度全日本モトクロス選手権シリーズ国際A級250ccクラスランキング上位1名にその資格を与える。資格を得、出場を認めた選手は、1993年度パンパシフィックスーパークロス選手権全戦に参加しなければならない。(但し、前年度代表選手は除く)

## 7 出場申し込み

- 1) 申し込み場所は、各主催者（申込先）住所とする。（90頁参照）
- 2) 出場申し込み  
モトクロス競技細則 [10] 出場申し込み（77頁参照）

## 8 出場料及びMFJ共済会掛け金

	総 額	内 訳	
		出場料	共済会掛け金
1クラス	10,000円	9,000円	1,000円
2クラス(Wエントリー)	18,000円	17,000円	1,000円

## 9 参加受理

モトクロス競技細則 [11] 参加受理（77頁参照）。

## 10 賞及び得点

- 1) 賞の詳細は、公式通知に示される。
- 2) 全日本選手権ランキングの得点。
  - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [24]公式得点（31頁参照）によって与えられる。
  - (2) MFJグランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。
  - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その得点合計によって決定される。  
その詳細は、全日本選手権ランキング決定基準（194頁参照）に示される。
- 3) 賞及び得点の制限  
国内競技規則・第3章 [24]公式得点（31頁参照）による。

## 11 出場車両

車両は、細則4の [4]出場車両（76頁参照）を遵守しなければならない。

## 12 ゼッケンナンバー

- 1) 国際A級及び国際B級の一部（30番まで）のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割り当てられる。
  - (1) 国際A級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。
    - ① 125ccクラス
      - a. 前年度国際A級125ccクラス年間シリーズランキング16位以下のものによってランキング順に指定する。（有得点者のみ）
      - b. 250ccクラスからの移籍者を前年の年間指定ゼッケン順に指定する。
      - c. 国際B級からの昇格者を、前年の総合ランキング順に指定する。
      - d. 上記以外のライダーは、大会ごとに主催者によって定められる。
    - ② 250ccクラス
      - a. 前年の全日本選手権シリーズランキング順

## '93全日本モトクロス選手権大会特別規則

- b. 125ccクラスからの移籍者を125ccでのシリーズランキング順に追加する。
  - c. その他、特に250ccクラスに指定されたものを追加する。
- (2) 国際B級(30番まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。
- ① 各クラスの成績により各ライダーの代表クラスを決定する。
  - ② 各クラスのランキング順位を比較し、ランキング上位のものを優先する。
  - ③ ランキング順位が同位の場合、そのライダーの代表クラスの上位入賞回数が多いものを優先する。
  - ④ ③で決定できない場合は、代表クラスの排気量の大きい方を優先する。
  - ⑤ ④で決定できない場合は、スポーツ委員会にて最終決定する。
- 2) 上記(1)、(2)に記載されている他のライダーには、大会毎に主催者によってゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。



- 3) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(18頁参照)
- 4) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 5) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
- 6) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面にまたは後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

### 13 ライダーの装備

モトクロス競技細則 [6] ライダーの装備 (76頁参照)。

### 14 ガソリン及びオイル

モトクロス競技細則 [14] ガソリン及びオイル (78頁参照)。

### 15 ピット及びサインエリア

モトクロス競技細則 [15] ピット及びサインエリア (78頁参照)。

## 16 出場受付

モトクロス競技細則 [16] 出場受付 (78頁参照)。

## 17 車両検査

- 1) モトクロス競技細則 [17] 車両検査 (79頁参照)。
- 2) 車両検査持ち込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定し、国際A級部門については制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は一切認められない。

## 18 車両の変更

- 1) モトクロスの競技細則 [20] 車両の変更 (79頁参照)。
- 2) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

## 19 部品の変更

モトクロス競技細則 [21] 部品の変更 (79頁参照)。

## 20 フリープラクティス及び公式練習

- 1) 競技会前日の練習走行は禁止される。
- 2) ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加しなければならない。

## 21 公式予選

- 1) モトクロス競技細則 [23] 公式予選 (79頁参照)。
- 2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は、公式通知またはプログラム等に表示される。
- 3) 公式予選の組分けは、主催者により発表される。

## 22 決勝レース出場資格

- 1) 公式予選通過者 (予選通過人数は各大会による)
- 2) ラストチャンスでの1位、2位
- 3) 250ccクラスのみ1992年度全日本選手権ランキング上位3位のものにシード権が与えられる。

シード権があるもので、公式予選及びラストチャンスにて決勝出場資格を獲得できなかったものに対し、2列目からのスタートが許される。

1993年度シード選手

- ① エディー・ウォーレン
- ② 大河原 功次
- ③ 鈴木 健二

(予告：シード制は1994年から廃止となる。)

### 4) リザーブライダー

ラストチャンスにて2名(3位、4位)の選手は、リザーブライダーとして各決勝レース前のウェイティングエリアに待機し、決勝レース不出場者があった場合、決勝レースへの参加が認められる。

但し、ウェイティングエリアが閉鎖されるまでに不出場者のない場合は、決勝レ



ースへの出場は認められない。

## 23 スタート

### 1) スタートの方法

- (1) 原則として、各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。
- (2) スターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。

### 2) スタートの手順

- (1) ライダーはスタートの10分前までにウェイティングエリアに待機していなければならない。ウェイティングエリアは、ウェイティングエリアから最初のライダーがスターティンググリッドに着くために移動した時点で閉鎖される。
- (2) 出場ライダー全員がスターティンググリッドに着くまでグリーンフラッグが、提示される。
- (3) ライダー全員がスターティンググリッドに着いたことが確認された後、15秒ボードが15秒間提示される。
- (4) 15秒ボードに引き続き5秒ボードが提示される。
- (5) 5秒ボードが提示されて5～10秒以内にスタートとなる。

### 3) スタート台数

原則として30台とする。

### 4) 予選におけるスタート位置の決定方法

スタートの位置は、抽選結果の順位により、自由選択することができる。

### 5) 決勝レースのスタート位置の決定方法

#### 国際B級

スタート位置は、予選順位に基づき決定される。

#### 国際A級

両ヒート（第1、第2ヒートとも）予選時のそれぞれの組のトップ走者のタイムの早い組から交互に上位より順番に選択できる。

### 6) ウォーミングアップ

エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯に限られる。

### 7) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

### 8) 予選・決勝におけるスタート位置の変更について

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更す



ることはできない。

## 24 レース

- 1) レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章 [⑩競技参加者の遵守事項] (26頁参照) による。
- 2) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内とする。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示され、提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

## 25 レース中の公式シグナル (合図)

モトクロス競技細則 [29] レース中の公式シグナル (81頁参照)。

## 26 レースの終了

モトクロス競技細則 [30] レースの終了 (81頁参照)。

## 27 優勝者、入賞者、完走者及び得点

モトクロス競技細則 [31] 優勝者、入賞者、完走者及び得点 (81頁参照)。

## 28 入賞車両の検査

モトクロス競技細則 [32] 入賞車両の検査 (81頁参照)。

## 29 総合順位の設定方法

レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の設定は、以下に記すとおりとする。

- 1) 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。
- 2) 1ヒート、2ヒートの合計得点が同点の場合は、上位入賞者を優先する。
- 3) 上記1)、2)で決定できない場合は、2ヒート目の成績を優先する。

## 30 レース及び大会の延期、中止等

モトクロス競技細則 [33] レース及び大会の延期、中止等 (81頁参照)。

## 31 抗議

モトクロス競技細則 [34] 抗議 (82頁参照)。

## 32 レース中の違反行為に対する罰則

モトクロス競技細則 [35] レース中の違反行為に対する罰則 (82頁参照)。

## 33 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

34 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則・細則4・モトクロス競技細則による。

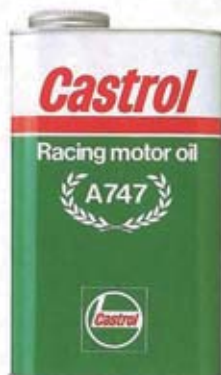
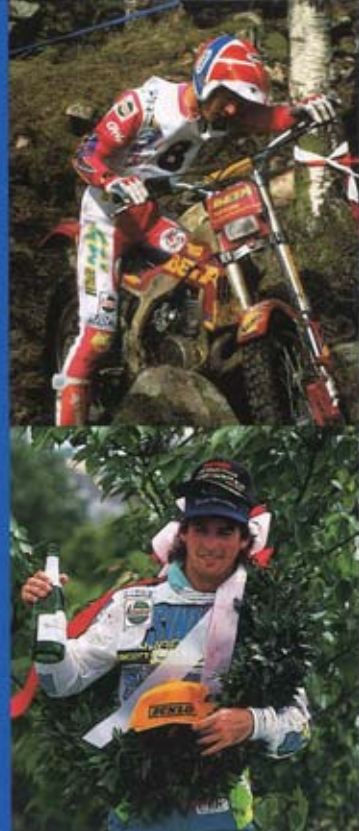
1993年1月1日  
全日本モトクロス選手権  
大会事務局長

'93全日本モトクロス選手権シリーズ(主要イベント含む)開催日程

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間
3月27日(出) ～ 3月28日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第1戦中部大会	多治見コミュニティランド 〒486 愛知県春日井市横徳通8-15-1 ㈱中部ミスターバイク内 ☎0568(84)5251	岐阜県 多治見コミュニティラ ンド	2月16日(火) ～ 2月25日(日)
4月24日(出) ～ 4月25日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第2戦近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会内 ☎06(541)5254	奈良県 名阪スポーツランド	3月16日(火) ～ 3月25日(日)
5月15日(出) ～ 5月16日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第3戦鈴鹿大会	㈱鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキット 〒510-02 三重県鈴鹿市福生町7992 ☎0593(78)1111	三重県 鈴鹿サーキット モトクロスコース	4月6日(火) ～ 4月15日(日)
5月29日(出) ～ 5月30日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第4戦関東大会	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03(3472)6241	長野県 ゴングランド	4月19日(火) ～ 4月28日(日)
6月12日(出) ～ 6月13日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第5戦SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース	5月4日(火) ～ 5月13日(日)
7月3日(出) ～ 7月4日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第6戦北海道大会	MFJ北海道 〒065 北海道札幌市東区羅来3条1-4-3 札幌市地区軽自動車協会内 ☎011(782)1492	北海道 三笠山サーキット	5月25日(火) ～ 6月3日(日)
7月17日(出) ～ 7月18日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第7戦東北大会	MFJ東北 〒983 宮城県仙台市宮城野区居町3-4-9 宮城県二輪車安全普及協会内 ☎022(284)9484	岩手県 藤沢スポーツランド	6月8日(火) ～ 6月17日(日)
8月7日(出) ～ 8月8日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第8戦四国大会	MFJ四国 〒761 香川県高松市西東町536 ㈱ホンダ二輪香川内 ☎0878(82)1182	香川県 瀬戸大橋博跡地	6月29日(火) ～ 7月8日(日)
9月4日(出) ～ 9月5日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第9戦SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース	7月27日(火) ～ 8月5日(日)
9月18日(出) ～ 9月19日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第10戦中国大会	MFJ広島 〒730 広島県広島市中区光南1-4-17 広島県二輪自動車協同組合 ☎082(241)6999	広島県 グリーンパーク引込園	8月10日(火) ～ 8月19日(日)
10月2日(出) ～ 10月3日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第11戦九州大会	MFJ九州 〒861-41 熊本県熊本市近見町2273-1 ㈱ホンダ熊本二輪内 ☎096(355)5075	熊本県 HSR九州	8月24日(火) ～ 9月2日(日)
10月16日(出) ～ 10月17日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第12戦第31回MFJグランプリ大会	多治見コミュニティランド 〒486 愛知県春日井市横徳通8-15-1 ㈱中部ミスターバイク内 ☎0568(84)5251	岐阜県 多治見コミュニティラ ンド	9月7日(火) ～ 9月16日(日)
8月21日(出) ～ 8月22日(日)	世界選手権モトクロス日本GP	㈱鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキット 〒510-02 三重県鈴鹿市福生町7992 ☎0593(78)1111	三重県 鈴鹿サーキット モトクロスコース	大会特別規 則による



# 実力の証明。



WGPからNBまで絶大なる信頼を誇る、サーキットの定番。

**Castrol**  
**A747**

TZ、YZ、KX、RS、CR、  
TLMメーカー指定オイル

2サイクル混合用レース専用オイル  
SAE: 50  
化学合成油・植物油の混合油



神話となった  
レーシングオイルの決定版。

**Castrol**  
**R30**

YZメーカー指定オイル

2サイクル混合用・4サイクルレース専用オイル  
SAE: 30  
植物油



エキスパートの極限の走りに応えるオイル。

**Castrol**  
**New Formula TTS**

TY、KXメーカー指定オイル

トライアル・モトクロス車に特におすすめ。  
公道でも使用できます。  
2サイクル分離・混合両用  
SAE: 30  
化学合成油



モータースポーツ用高性能オイル。

**Castrol**  
**SYNTRON EXTRA**

2サイクルミッションオイルにも最適。  
公道でも使用できます。  
4サイクルレース用オイル  
API: SG-CD  
SAE: 5W-50  
化学合成油



スポーツエンジンに最強最善の  
RS15W-SG。

**Castrol**  
**Neues Formular RS**

モータースポーツ用高性能オイル。2サイクルミッション  
オイルにも最適。公道でも使用できます。  
4サイクルレース用オイル  
API: SG  
SAE: 15W-50  
化学合成油



苛酷なブレーキングを支える  
高沸点レース専用ブレーキフルード。

**Castrol**  
**Racing Brake Fluid**

brembo指定オイル

レース専用ブレーキフルード  
ドライ沸点290°C  
ウェット沸点150°C



カストロール株式会社  
〒102 東京都千代田区麹町3-1 泉屋ビル TEL03(3265)6101(代表)

# 明日への挑戦



## ■SUGO全日本ロードレース開催日程表

開催日	大会名
4月25日(日)	全日本選手権ロードレース
7月4日(日)	全日本選手権ロードレース
10月10日(日)	TBCビッグロードレース

## ■SUGOカーレース開催日程表

開催日	大会名
5月16日(日)	全日本ツーリングカーレース
8月1日(日)	インターフォーミュラ3000レース
9月12日(日)	GV-C・GT500kmレース
11月7日(日)	N1 500km耐久レース
11月3日(日)	500km耐久レース

## ■SUGO選手権開催日程表

開催日	大会名
3月28日(日)	SUGO選手権ロードレース第1戦
5月9日(日)	SUGO選手権ロードレース第2戦
7月18日(日)	SUGO選手権ロードレース第3戦
8月8日(日)	SUGO選手権ロードレース第4戦
9月26日(日)	SUGO選手権ロードレース第5戦
10月24日(日)	SUGO選手権ロードレース第6戦
11月21日(日)	第10回SUGO3H耐久レース

(レース日程は92年12月現在暫定)

## ■ライセンス講習会

	2輪講習会	カート講習会	オフィシャル講習会 (ロード)
第1回	3月14日(日)	3月7日(日)	※3月14日(日)
第2回	3月21日(日)	3月20日(日)	※4月11日(日)
第3回	4月4日(日)	4月11日(日)	※5月23日(日)
第4回	4月18日(日)	5月3日(日)	6月20日(日)
第5回	5月2日(日)	6月20日(日)	7月11日(日)
第6回	5月23日(日)	7月11日(日)	8月22日(日)
第7回	6月20日(日)	8月7日(日)	
第8回	7月11日(日)	8月14日(日)	
第9回	7月25日(日)	9月15日(日)	
第10回	8月15日(日)	10月11日(日)	
第11回	9月5日(日)	11月7日(日)	
第12回	9月19日(日)	12月19日(日)	
第13回	10月31日(日)		
第14回	11月13日(日)		
第15回	12月5日(日)		
第16回	12月12日(日)		

□内は'94年度

※モトクロス  
オフィシャル  
講習会同時開催

### 申込方法

- 必ず電話予約をして下さい。(開催日、1ヶ月前より受付開始)
- 申込用紙に記入の上、申し込み下さい。
- 2輪講習…SUGOスポーツクラブ 0224-83-3127
- ミニバイク、カート講習…0224-83-3111(代)内 785

講習会に必要なもの

### 持参するもの

- 運転免許証、印鑑、筆記用具・承諾書(未成年者のみ)・写真2枚(2.5×3cm)、受講料、保険証
- オフィシャル・写真4枚(2.5×3cm)、申請料
- ※同行に必要なもの(オフィシャル講習会参加者は不要)
- ※実技車両・皮つなぎ・ヘルメット、グローブ、ブーツ

### ※競技役員講習会

ロードレース、モトクロスの競技役員になるための講習会です。

### ※ミニバイク講習会

受講希望の方は、電話で確認下さい。



- テニス(27面) ●冒險ジャルダンフィールドアスレチック
- ゴーカート ●レーシングカート ●ランドカー ●プール
- アーチェリー ●おかしな自転車 ●つり堀
- ガーデンゴルフ ●ローラースケート ●カフェテリア
- オリエンテーリング ●ウォークラリー ●ミニ運動会
- レーシング、カート、モトクロス、トライアル、各コース 他



- ホテル「くぬぎ山荘」49室200名収容
- 会議室・ダイニング・ラウンジ・バー
- 深山亭・バーベキューガーデン 他
- キャンプ場
- 5人用・8人用テント・营火場 他
- オートキャンプ

仙台市郊外・村田町



ランド内休園日:火曜日

宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎(0224)83-3111(代)  
東京営業所/☎(03)3575-4771 仙台営業所/☎(0224)83-4771

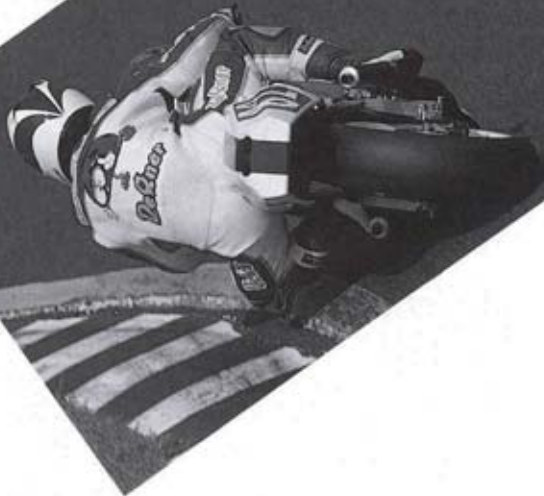


# DeGner

# 革がちがいます。

高強度でしなやかな圧縮革が、あなたを守ります。

MFJ公認  
デグナーオーダースーツ  
納期30日 ローン分割可



## R-1 Racing

フルオーダーサイズ  
(色自由)  
¥150,000  
機能優先の最も  
ベーシックなモデル。



## R-2 Racing

フルオーダーサイズ  
(色自由)  
¥165,000  
R-1をベースにした  
シングルデザイン。



### デザインオーダー

フルオーダーサイズ  
どんなデザインでもあなたのお  
好みどおりに仕上げます。用途、  
ご予算に合わせてお選び下さい。

- 純レース
- R-1パターンを基本としたモデル  
¥177,000+デザイン料
- R-6
- R-6パターンを基本としたモデル  
¥187,000+デザイン料
- ツーリング
- ツーリング専用設計(立体的縫製、  
パッド類などディテールユースに  
geegeeも可)  
¥195,000+デザイン料



## R-6 Racing

フルオーダーサイズ  
(色自由)  
¥185,000  
R-1の基本パターンをさらに  
発展させ、縫製、シヤージ、  
シヤージング形状に最高の  
機能性をプラスしたモデル。



## R-7 Racing

フルオーダーサイズ  
(色自由)  
¥205,000  
斬新なデザインを採用。  
価格はR-6と同仕様。

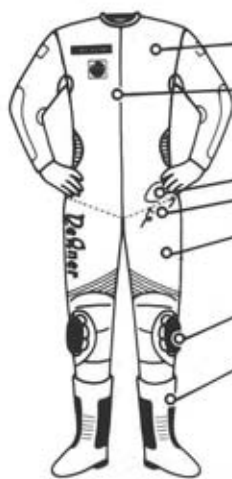
## 無料出張採寸

オーダースーツの大切なポイントは、採寸と、お客様との打ち合せです。デグナーでは、より精度の高いスーツを作成するためにショップや、ご自宅へ出張サービスを行っております。関東・中部・北陸・近畿・北九州地方の方は無料にて出張させて頂きます。他の地方については有料となる場合がありますが、TELにてお気軽にお問い合わせ下さい。業者の方の御注文もお受けいたします。

## スーツメンテナンス価格表

(すべてのメーカーお引き受けします。修理期間は3日~1週間でOK!)

※デグナースーツは下記の価格より割安となります



- ワッペン付(ビニール加工+ワッペン前)  
1,500円(前後につき)十納いほご代
- ファスナー交換
  - ワンピース.....2,000円
  - 上着.....5,000円
  - パンツ.....3,500円
- やぶれ 2,500円
- ほつれ 2,500円
- ネーム入・各種マーク  
シングル.....900円 十納いほご代  
ダブル.....1,100円
- バンクセンサー付(センサー表付)  
17,500円
- ブーツ修理(修理期間7日~10日)  
ファスナー交換(内定).....3,000円  
アホさ(ほつれ).....2,000円  
シヤージ(ほつれ)の直し(両足).....6,000円  
上記に記載されていない修理、修正も可能です。
- サイズ直し  
(サイズ、縫まわり、ウエスト、ヒップ、足まわりの  
サイズ直してありますので、スタッフまでご相談ください)  
(例) ●ウエストサイズ修正  
¥20,000~  
●足・縫まわりサイズ修正1対  
¥10,000~¥20,000

■レーシングスーツクリーニング 受けたまわっております ¥9,000(デグナースーツは¥4,000)



■デグナー・バンクセンサー  
●20ml/箱の容量  
●なるもろく+高品質ウレタン材を使用  
●20回以上の耐久力(当社社)  
¥7,500  
○(送料別)送料、税込みで¥9,000



■オーダーカラーウエストバック  
●縫製、部分ごとの色変更を4色の中  
から選べます。  
●ネーム、ワッペン等の取付も可(別料金)  
¥8,000  
○(送料別)送料、税込みで¥9,000

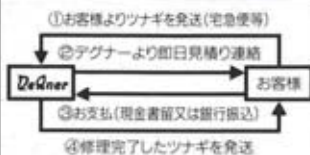


■INW-4 インナースーツ  
(ウインター)  
●SIZE: M-L-L-L  
●スリを狭く、保護性、  
伸縮性に優れている。  
●メッシュスーツの表裏面に設置  
¥13,500

## 通販・修理

遠方の方は通販にて修理受付いた  
します。住所、連絡先、TEL、  
メンテナンス内容、納期を明記し  
て、当社までスーツを送って下さ  
い。即日、見積りいたします。シス  
テムは右記の図のとうりです。

## 通販修理システム(1~4の手順です。)



## '93バンクセンサーサポートシステム開始

※詳しくはデグナー本社までお問い合わせ下さい。

# DeGner

株式会社デグナー本社・ショップ / 京都市山科区川田前橋町1-8  
TEL:075-501-7137 FAX:075-501-7397

〒605 京都市山科区川田前橋町1-8

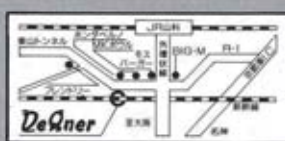
TEL:075-501-7137 FAX:075-501-7397

〒605 京都市山科区川田前橋町1-8

TEL:075-501-7137 FAX:075-501-7397

〒605 京都市山科区川田前橋町1-8

■デグナー製品・メンテナンス取扱店  
●リアルバランス  
群馬県高崎7205-5 Tel: (0263) 70-1646  
●YSP横浜南  
横浜市南区南大谷2-10(YV南大谷) Tel: (043) 741-8123  
●90 BROS(レーザークロス) (九州産業大学前)  
福岡市東区松島台1丁目1-20 Tel: (092) 162-9120  
●PARTS LANDイフサキ  
香川県高松市寺町丁105-24 Tel: (087) 33-1125



営業時間  
平日 11:30~19:30 土・日・祝 11:30~19:30 定休日なし

〒605 京都市山科区川田前橋町1-8

極まるミシュラン、ミシュラン。



世界GPにおける圧倒的な戦績。そのコンペティション・テクノロジーのすべてが投入されて、ミシュラン・ラジアルは生まれてきた。サーキットまでをテリトリーにするTXシリーズ。ストリート・ラジアルの口火を切った59Xシリーズ。そこにいま、よりアグレッシブなオールラウンド性能を誇る89Xシリーズが登場した。ハイパワー・マシンのための並みはずれたグリップ力と高い限界性能。そしてつねにコントロールラブルなハンドリング性能。すべてに高度なトータルパフォーマンスを実現した、GP性能の極み。ミシュランは、あらゆる道を制覇する。



TX11 TX23 A89X M89X A59X M59X

**HI-SPORT Radial TX11**

130/70 ZR16 TL	¥26,500
120/80 ZR16 TL	¥25,300
130/60 ZR17 TL	¥27,900
120/70 ZR17 TL	¥26,200
100/80 ZR17 TL	¥19,600
110/80 ZR17 TL	¥25,400
120/60 R17 55H TL	¥19,800
120/60 ZR17 TL	¥20,800
110/70 ZR17 TL	¥21,300
110/80 ZR18 TL	¥26,000

**HI-SPORT Radial TX23**

160/80 ZR16 TL	¥34,200
180/55 ZR17 TL	¥35,500
150/60 ZR17 TL	¥29,600
160/60 R17 69H TL	¥31,000
160/60 ZR17 TL	¥32,600
130/70 ZR17 TL	¥26,200
150/70 ZR17 TL	¥32,000
140/60 ZR18 TL	¥27,800
160/60 ZR18 TL	¥34,300
150/60 ZR18 TL	¥31,200
150/70 ZR18 TL	¥32,300

**Radial A59X**

130/60 ZR16 TL	¥25,500
120/80 ZR16 TL	¥24,000
120/60 ZR17 TL	¥19,700
130/60 R17 59H TL	¥25,300
130/60 ZR17 TL	¥26,600
110/70 ZR17 TL	¥20,300
120/70 R17 58H TL	¥24,000
120/70 ZR17 TL	¥25,200
110/80 ZR17 TL	¥24,200
120/60 ZR18 TL	¥26,000
110/80 ZR18 TL	¥24,900

**Radial M59X**

160/60 ZR16 TL	¥31,000
160/80 ZR16 TL	¥32,500
180/55 ZR17 TL	¥34,700
160/60 R17 69H TL	¥30,500
160/60 ZR17 TL	¥32,000
170/60 R17 72H TL	¥31,900
170/60 ZR17 TL	¥33,000
140/80 ZR17 TL	¥29,000
140/60 ZR18 TL	¥26,400
160/60 ZR18 TL	¥33,000
150/70 ZR18 TL	¥31,300

**Radial A89X**

★130/60 ZR17 TL	¥26,600
120/70 ZR17 TL	¥25,200

**Radial M89X**

★180/55 ZR17 TL	¥34,700
★170/60 ZR17 TL	¥33,000
150/70 ZR17 TL	¥30,500

★印のサイズは発売予定サイズです。



**THE TIRE  
MICHELIN**

祝！シリーズチャンピオン & 世界GPエントリー決定！！

# ご声援ありがとうございます。

ご声援を送り続けて頂いた皆様に改めて厚くお礼申し上げます。



PLOT契約ライダーの斎藤 明選手はお陰様でIA125classに於いて、シリーズチャンピオンを獲得すると共に念願の世界GPへの参戦が決定致しました。価格を一部変更させて頂く変わりに、ラインナップ全ての即日出荷を目指し、お客様のご要望にお応え出来るよう精進致しますので何卒ご理解の程、宜しくお願い致します。

PLOT社員一同

## '93年式のGP2、GP3クラスフルラインナップ PLOT レース用 FRP価格リスト

車種	フルカウル	シートカウル	3点セット	備考
'91 RS125R	¥32,000	¥16,000	¥56,000	☆販売中！
'92 RS125R	¥32,000	¥16,000	¥56,000	☆販売中！
'93 RS125R	¥32,000	¥16,000	¥56,000	☆5年1月10日販売！
RS125斎藤 SPL	¥38,000	¥20,000	¥66,000	☆販売中！
RS125斎藤 GP SPL	¥38,000	¥20,000	¥66,000	☆12月15日販売！
'90~'91 RS250R	¥40,000	¥23,000	¥72,000	☆販売中！
'92 RS250R	¥40,000	¥23,000	¥72,000	☆販売中！
'93 RS250R	¥40,000	¥23,000	¥72,000	☆5年1月10日販売！
'92 TZ250R	¥40,000	¥23,000	¥72,000	☆販売中！
'93 TZ250R	¥40,000	¥23,000	¥72,000	☆5年1月10日販売！
*'90~ NSR250R	¥40,000	¥23,000	¥72,000	☆5年1月10日販売！
'90~ NSR250R	¥40,000	¥23,000	¥72,000	☆販売中！3分割タイプ
*RS125R用 F.フェンダー			¥14,500	☆販売中！
RS125R用 R.フェンダー			¥ 4,900	☆ショートタイプ販売中！
RS125R用 R.フェンダー			¥ 6,900	☆純正タイプ販売中！

\* RS125R用フロントフェンダーはホワイトパワー製倒立フォーク用です。

\* NSR250Rのフルカウルは2分割、シートはシートラバータイプです。

☆3点セットはフルカウル+シートカウル+スクリーンのセットです。

スクリーンはレモンイエロー、スカイブルー、ライトスモーク、クリアーの中からお選びください。

☆3点セットにはシートラバー、クイックリベット、ズースファスナー、FRP補修キットを付属しています。

### 好評発売中！

クイックリベット

..... 10ヶ入 ¥350

スクリーンをワンタッチで固定出来る、樹脂製のリベットです。勿論、取り外しに工具は不要です。

Dリング付ズースファスナー

..... 1セット ¥500

使い易いDリング付のカウルファスナーです。

FRP補修キット

..... ¥3,800

内容がより充実し、実質値下げをしました。FRP樹脂、FRPマット、FRPクロス、硬化剤、手袋、計量カップ、ハケ、取扱説明書。



世界から選ばれたモノたちを **有限会社 プロト**

〒448 愛知県刈谷市井ヶ谷町9-1 TEL.0566-36-0456 F.AX0566-36-0515

通販・業販、申し込み先

☎0566(36)0456



→ レースがあれば。



SPシーンをリードするスーパースポーツラジアル。

# NEW GETTAR 007A

HIGH PERFORMANCE MC "RADIAL"

勝つためのハイスピード・コーナリング。それは、マシンのバンク時に、いかに高いグリップを得るかにかかっている。GETTAR007A。すでにSPシーンで実績のある、007の戦闘力をさらに高めたニュー・ラジアルだ。新形状のディンプルで、バンク時のトレッド接地面積を増加。コーナリング・グリップを飛躍的に向上させ、ハイスピード・コーナリングを可能にした。また、排水性の向上を目指し、リア・タイヤにセンター・ストレート・グループを追加。WET性能のレベルアップを実現した。一般走行からSPレースまで、常に高いポテンシャルを発揮するハイグリップ・ラジアル、GETTAR007A。新次元の走りを、ここに。

● FRONT ● 110/70R17 54H-120/60R17 55H  
SIZE ● REAR ● 150/60R17 66H-160/60R17 69H  
140/60R17 63H-150/60R18 67H

RACING  
SLICK  
600

HIGH PERFORMANCE MC "RADIALS" FROM MOTORSPORT

# GETTAR



## '93 筑波500kmロードレース大会

筑波の秋を彩るビッグイベントとして今年第2回目を迎える500km耐久レースは、筑波サーキットを242周ラップし、4時間余りの苛酷なレースである。3人組で競われるが、各ライダーの力量は無論のこと、マシンセッティング、ピットワークなど実に多くの要素が絡むため想像以上に難しい。'92年の第1回大会は新進気鋭のライダーから超ベテランの国際A級ライダーが参加し独特な雰囲気の中、予想通り白熱したバトルが展開された。'93年秋、242周後のフィニッシュラインに真っ先に現れるのはどのチームなのか！はたしてどんなドラマが君を待っているのか！

- 大会名：筑波500kmロードレース大会  
スーパーカップイースタンシリーズ第14戦
- 開催日：'93年9月4日(土)公式予戦/100kmレース(敗者復活)  
9月5日(日)500km決勝レース
- 会場：筑波サーキット(2.07km)
- 賞金総額：800万円(決勝グリッド賞別途支給)
- 主催：(財)日本オートスポーツセンター(JASC)
- 開催クラス：SS250 SS400(IA, NA)混走レース
- チーム編成：ライダー2名以上3名以下、メカニック2名、ヘルパー2名、監督1名、サインマン2名
- エントリー受付期間：'93年7月9日より7月29日(消印有効)
- エントリー料金：30,000円(補欠ライダー登録料5,000円、MFJ選手共済費人数×4,000円)
- 公認：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会



## 筑波サーキットライセンスを取得しよう

筑波サーキットを走行するにはライセンスの取得が必要となります。

- 次の2種類のライセンスがあります。
- 一般会員ライセンス：サーキットで講習会を受講して下さい。(講義、体験走行等)  
※同時にMFJ国内C級ライセンスが取得できます。※ファミリー走行が楽しめます。
- スポーツ会員ライセンス：一般会員ライセンス所持者なら諸手続きのみで取得できます。(別途入会金他要)  
※スポーツ走行が楽しめます。
- 特典：サーキットライセンスを取得すると下記のような特典がございます。  
※JASC主催による全日本ロードレース選手権、スーパーカップロードレースなどの御優待券の配布。  
関東ロードレース選手権の女性無料入場券の配布。  
※筑波オリジナルカレンダーの進呈他。

### 講習会日程

1/10	4/4	7/4	10/3
1/17	4/11	7/18	10/10
1/24	4/25	7/25	10/17
2/7	4/29	8/1	11/7
2/14	5/9	8/8	11/14
2/28	5/30	8/29	11/28
3/7	6/6	9/12	12/5
3/14	6/20	9/19	12/12
3/21	6/27	9/23	12/19
3/28			

本部 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目5番8号 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03-3591-6056  
筑波サーキット 〒300-04 茨城県結城郡千代川村村岡 ☎0296-44-3146~7

# トライアル

# TRIAL

## ▼細則 6 トライアル競技細則

1. 適用の範囲	100
2. トライアル	100
3. 出場車両	100
4. 参加資格	100
5. 出場申し込み	100
6. ゼッケンナンバー	100
7. ライダーの装備	101
8. 出場受付	101
9. ライダーおよび車両の変更	102
10. 車両および装備の検査	102
11. 練習	102
12. コース	102
13. セクション	102
14. 競技の進行	103
15. タイムキーピング	103
16. ペナルティ	104
17. ペナルティの定義	104
18. 燃料補給	107
19. 競技の終了	108
20. 車両保管	108
21. 競技結果	108
22. 抗議	108
23. 賞および得点	108
24. 審判員の権限	108
25. 違反に対する罰則	108
26. 本規則の解釈	108
27. 本規則の施行	108

## ▼細則 7 '93全日本トライアル選手権大会特別規則

1. 公 示	109
2. 開催クラス	109
3. 運営実行組織	109
4. 参加資格	109
5. 出場料およびMFJ共済会掛金	109
6. ゼッケンナンバー	110
7. ヘルパーライダー	111
8. 車両検査	111
9. スタート	112
10. 採点カード	112
11. タイムキーピング (タイムコントロール)	112
12. マシンコントロール	112
13. 賞および得点	112
14. 本規則の施行	113
'93全日本選手権開催日程	113

## ▼細則 8 '93全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ特別規則

1. 適用の範囲	114
2. スタジアムトライアル	114
3. 参加資格	114
4. 参加申し込み	114
5. ゼッケンナンバー	115
6. 競技方法	116
7. 車両の整備・補修	116
8. 競技結果	116
9. 抗議	117
10. 賞および特典	117
11. 本規則の施行	118
'93全日本スタジアムトライアル選手権開催日程	118

# トライアル 競技細則

## 1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内トライアル競技会に適用される。

## 2 トライアル

トライアルとは、自然の地形を利用してさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、定められた時間内に走破することで操縦技術の信頼性を試す競技である。大会は1日または2日以上にわたって行われ、採点区間の成績とタイムキーピングによりその結果が表される。

## 3 出場車両

出場車両（以下車両という）は、国内競技規則・第3章〔⑫出場車両〕（28頁）の限度を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車両は出場を認められない。

## 4 参加資格

### 1) ライダー

ライダーは、1993年度版MFJ国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕（26頁）に合致していなければならない。

## 5 出場申し込み

1) 出場申し込みは、大会特別規則の定めるところとする。

2) 出場申し込み手続き

(1) 各部門とも所定の申し込み用紙に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局へ提出しなければならない。

(2) 郵送の場合は、現金書留または主催者の定める方法とし、締切日当日の消印のあるものまでが有効となる。

(3) 電話による申し込み、および締切日以降の申し込みは一切受けつけない。

## 6 ゼッケンナンバー

1) 主催者によってナンバーが割り当てられる。

2) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けで記入しておかななければならない。

- 3) ゼッケンナンバーは車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

## 7 ライダーの装備

### 1) ヘルメット

- (1) ヘルメットは、日本工業規格JIS T8133-1982のA種、および同JIS T8133の1種 (JIS T8133の1982年8月までの規格) 以上のもので、MFJが公認したものでなければならない。
- (2) MFJ公認ヘルメットには、公認マークが貼付されていなければならない。
- (3) MFJ公認ヘルメットで、MFJの公認マークの貼付されていないものについては、特別検査料 (1,000円) を支払い、特別検査を受けなければならない。
- (4) ヘルメットの検査は、競技会の車両検査受付時に行われ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上、使用を禁止される。

### 2) ライダーの服装

- (1) 服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- (2) 手袋、および足首以上を保護する突出部分のないブーツなど革靴、またはゴム長靴を着用しなければならない。

## 8 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は公式通知に示される。
- 2) 出場受付は、定められた時間内に必ずライダー本人がMFJライセンス、参加受理書を提示して当日の出場資格を確認しなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。



## 9 ライダーおよび車両の変更

ライダーの変更は認められない。車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(29頁)に該当する場合で、出場受付時に手数料5,000円を添えて大会事務局へ申請し、競技監督の許可を受けた場合のみ認められる。

## 10 車両および装備の検査

- 1) 装備および車両の検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、競技開始前にパドック内の車両検査場にて行われる。
- 2) ライダーは、タイムスケジュールに示された時間内に、必ず本人が車両を持参して検査を受けなくてはならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた以外は行われない。
- 3) 車両検査への持ち込み車両は、1台に制限される。
- 4) 主催者は、大会期間中必要に応じて随時車両の検査を行うことがある。

## 11 練習

大会当日は、コースおよびセクションのいかなる場所においても練習が禁止される。これに違反したライダーは失格とする。ただし主催者が特別に認めた区域内でのウォーミングアップは認められる。

## 12 コース

コースは、コーステープまたはコースマークにより明確に表示される。コースから外れた場合、ライダーは速やかにコースに戻らなければならない。

## 13 セクション

### 1) セクションの表示

セクションは、次のセクションマーカーおよびテープで表示される。

- |        |    |               |
|--------|----|---------------|
| (1) 入口 | 右側 | 赤地にセクションナンバー  |
|        | 左側 | 青地に“IN”などの表示  |
| (2) 途中 | 右側 | 赤いマーカーまたはテープ  |
|        | 左側 | 青いマーカーまたはテープ  |
| (3) 出口 | 右側 | 赤地にセクションナンバー  |
|        | 左側 | 青地に“OUT”などの表示 |
- (4) テープを使用する場合は、入口および出口に赤と青のマーカーを置く。

### 2) セクションの幅

- (1) セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、マーカーによって制限する場合は1.2m以上とし、テープによって制限する場合は2m以上とする。
- (2) 同じ側のマーカーとマーカーの間を迂回することはできない。
- (3) 採点区間

セクションにおける採点は、前輪の接地面の先端または外側(スピンドル)がセクション入口のマーカーを過ぎた時点から開始され、前輪の接地面の先端または外側(スピンドル)がセクション出口のマーカーを過ぎた時点で終了する。

## 14 競技の進行

- 1) ライダーは、スタートの合図を受けて初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、審判員によって指示された場合、これに従わなくてはならない。
- 3) セクション間の移動はコースマークまたはテープに従い行わなくてはならない。
- 4) ライダーはセクションに入る準備ができ次第、手を上げて審判員に合図しなければならない。
- 5) ライダーは審判員の指示により速やかにセクションに入らなければならない。



- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速やかにセクション外へ車両を移動させなければならない。
- 7) ライダーは、コース上およびセクション内で一切の援助を受けてはならない。ただし工具、スペアパーツの受け渡し、およびセクション内でフルペナルティを受けたライダーはこの限りではない。
- 8)(1) 車両の部品交換は、マーキングされていない物のみ認められる。  
(2) ライダーは、主催者の定める区域内（パドック）であれば他の援助を受けることができる。  
(3) ライダーは、コース上のどこにおいても工具、およびスペアパーツを受け取ることができる。ただし定められた区域（パドック）以外では整備の援助を受けることはできない。  
(4) 競技中事故を起こした場合や、車両の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速やかに競技役員に申し出なければならない。
- 9) 不適当な行為について審判員の指示があった場合、ライダーは審判員の指示に従わなくてはならない。

## 15 タイムキーピング

- 1) ライダーは、原則としてあらかじめ決められた順序により1分間隔でスタートする。ただし同時スタートの場合はこの限りではない。
- 2) 決められたスタート時刻に遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格となる。






## トライアル競技細則

- 3) コース走行時の平均速度は原則として20km/hとする。
- 4) ライダーには全コースを走破するための「持ち時間」が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーは失格となる。
- 5) 全コースを走り終えたライダーは、定められた場所でタイムチェックを受けなければならない。

### 16 ペナルティ

- 1) セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。
    - (1) クリーン……………0点
    - (2) 足つき……………1点~3点減点
    - (3) 失敗……………5点減点
    - (4) 放棄……………10点減点
  - 2) タイムキーピングによるペナルティは、次のとおり課される。
    - (1) 予定されたスタート時間に遅れた場合……………1分につき1点減点、20分以上の遅れは失格
    - (2) ゴールタイムチェックへの遅れ……………失格
  - 3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは、次のとおり課される。
    - (1) 競技役員および審判員に対する不適切な行為……………失格・退場
    - (2) セクションにおいて審判員の指示に従わなかった場合……………10点減点
    - (3) 定められたコースを不適當にカットした場合……………50点減点
    - (4) 定められたコースを逆走した場合……………失格
    - (5) 車検で施されたマーキングが失われた場合……………失格
    - (6) 許可された場所以外で、外部から整備の援助(部品の交換を含む)を受けた場合……………失格
- 注) 上記(3)に関しては、さらにセクション放棄の減点が加算される。

#### トライアルの減点は0-1-2-3-5-10

減点ゼロ おみごと/ クリーンです	減点1 残念、 足つき1回	減点2 残念なり 足つき2回	減点3 足バタバタ 3回以上	減点5 ミスりました 失格です
				

トライアルを放棄すれば減点10

### 17 ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は、次のとおりとする。

#### 1) 足つきの定義

車両が前進しながら身体のどこかの部分、または車両のどこかの部分(フットレスト、エンジンカード、タイヤ、ホイールを除く)が地面に触れた場合、これを足つきという。

また車両の進行を停止することなくライダーのどこかの部分が障害物(立木、壁など)にもたれた場合、足つきが生じたものとみなされる。

また身体の部分で手、足についてはその付け根から先を同一とみなす。従って足つきと同時に漆を接地しても、1回の足つきとみなす。



なお、足つきによるマーカー移動、破損は足つきのみの減点となる。

(1) 1点減点

- ① 足つき1回
- ② 足つき状態でつま先とかかとが交互についている場合
- ③ 片足を軸にして車両を回転させた場合
- ④ 手を立木・壁等についた場合
- ⑤ 身体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修正した場合
- ⑥ コーステープの内側または外側への足つき1回

(2) 2点減点

- ① 足つき2回
- ② 前記1)の1点減点となる行為が2回行われた場合
- ③ 両足同時の足つき

(3) 3点減点

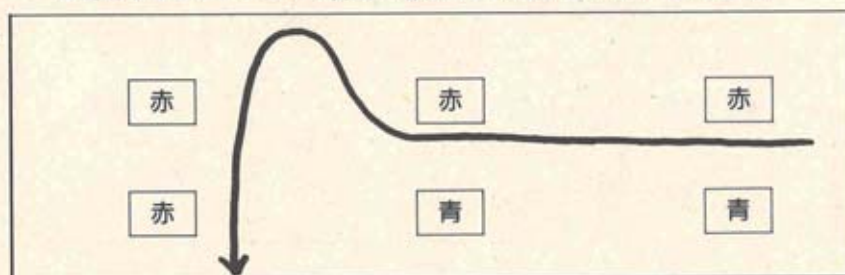
- ① 足つき3回以上
- ② 前記1)の1点減点となる行為が3回以上行われた場合

2) 失敗 (減点5点)

- (1) ライダーが足つきをし、車両が完全に進行方向に進むのをやめてしまった場合
- (2) バック中の足つき
- (3) 登り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤが浮いてタイヤがバックした時
- (4) カードの迂回 (下図Aのようなふくらみ、またはターン)

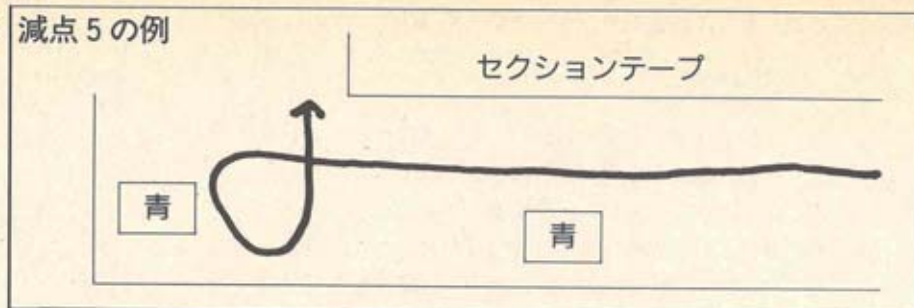
\*ただしセクションテープ併用の場合はこの限りではない (図E参照)

図A



- (5) 車両・ライダーによるテープ切断、たるませ、またはテープを止めているクイなどを移動・破損させた場合
- (6) 車体の右側、または左側に両足が同時に足つきをした場合
- (7) 両足つきの状態で車両がフロントホイールを上<sup>90°</sup>以上傾いた場合
- (8) フロントタイヤまたはリアタイヤがテープの上からテープ外に出て立木、壁、石等に接触した場合
- (9) セクション内でライダー自身の車両がつけたわだち<sup>1</sup>に再び触れたり、踏みついたり、または飛び越えた場合。ただしリバースおよびホップアップの場合は減点の対象にならない (図B参照)

図B 減点5の例

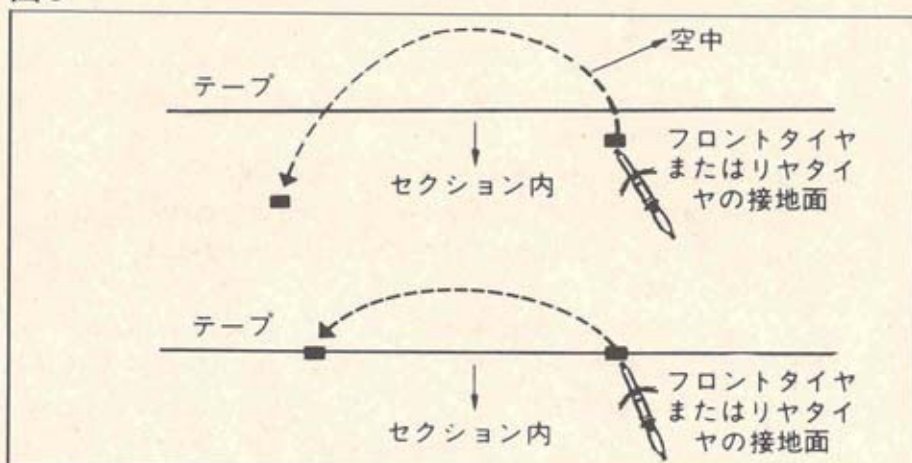


- (10) 車両によるカード移動、カード破損
- (11) 申告エスケープについては、特に審判員の判断により失敗申告とみなされたもののみとする
- 3) 減点の対象とならない行為
  - (1) 接触
 

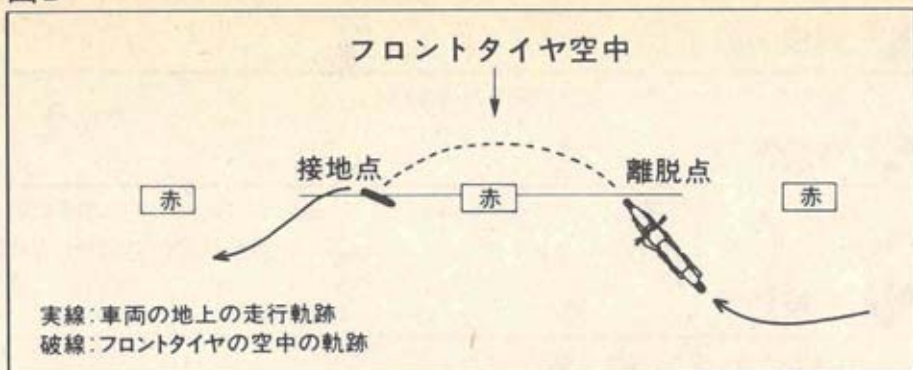
接触とは、ライダーの身体の一部または車両の各部分が立木、壁、石等その他の障害物に触れることをいい、これによって明らかにバランスの修正が行われない限り減点の対象とはならない。

なおマーカー、テープには車両、身体どちらで接触しても接触のみであればペナルティーは課せられない。
  - (2) その他減点の対象とならない例
    - ① テープの上からフローティングターン等によるフロントタイヤ、またはリアタイヤがテープ外に出た場合で、テープ外の立木、壁、石、地面等に触れずにテープ内に戻った場合。(図C参照)
    - ② マーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回については、フロントタイヤの接地面がカードの内側を通れば減点5の対象とはならない(図D参照)。

図C

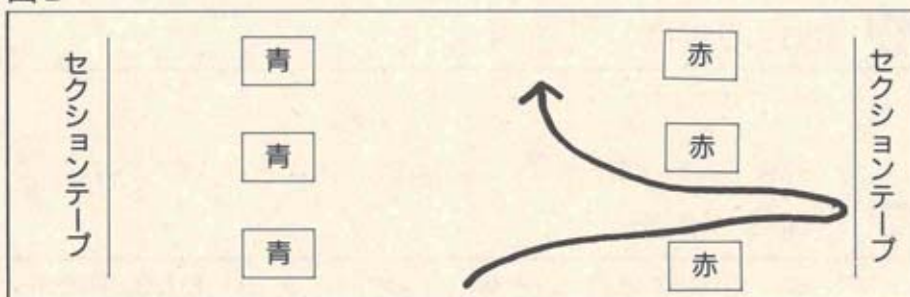


図D



- ③ セクションテープがある場合、マーカーとマーカーを結ぶ直線をはみ出しても、テープより出ない限り減点とはならない (図E参照)。
- ④ V字型の地形でステップがかみ込んで停止をした場合、ステップに足が乗っていれば減点5の対象とはならない。そのステップ上のつま先、足の裏部分が接地しても、意識的なバランス修正がない場合、減点の対象とはならない。
- ⑤ アンダーガードが引っかかりシーソー状態になり、エンジンが停止しても減点5の対象とはならない。なおこの状態から足をつかないでエンジンを始動させて競技の続行もできる。
- ⑥ エンジンが停止して足つきを行った場合でも、車両が前進していれば減点5の対象とはならず、ただの足つきの減点となる。
- ⑦ 足つきの状態で前輪を真横に移動することは前進とみなし、減点5の対象とはならない。

図E



- (3) 減点の対象とならない車両の部分  
車両が停止している状態で、下記の部分が立木、壁、石、地面に触れて重心を支えても減点の対象とはならない。
  - ① フットレスト
  - ② エンジンガード (底部)
  - ③ タイヤ
  - ④ ホイール
- 4) 放棄  
放棄とはセクションを走行しなかった場合を言う。

## 18 燃料補給

- 1) ライダーは、主催者の定める区域内 (パドック等) で燃料補給ができる。
- 2) ライダーは、競技役員らの許可を受ければ、コース上の安全な場所で燃料補給をすることができる。

## 19 競技の終了

バックマーカ―がセクションを閉鎖する場合がある。

## 20 車両保管

公式通知等に車両保管方法について記載のない場合、最終ゴール時に上位入賞車両の検査を行う場合を除き、マシンコントロールでのチェック終了後は車両保管は行わない。

## 21 競技結果

- 1) 総減点数の少ない者から順位を定める。
- 2) 同点者の判定は次の判定基準に従って行う。
  - (1) クリーン数の多い者を上位とする
  - (2) 1点減点の多い者を上位とする
  - (3) 2点減点の多い者を上位とする
  - (4) 3点減点の多い者を上位とする
  - (5) 以上によって決定できない場合は、当該審査委員会により決定される。

## 22 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔27抗議〕(32頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。
- 3) セクション審判員の下したジャッジに対しては、抗議することは一切できない。

## 23 賞および得点

- 1) 入賞は1位～6位とする。
- 2) 得点  
得点は、国内競技規則・第3章〔28公式得点〕(31頁)によって与えられる。

## 24 審判員の権限

審判員は、競技規則に則り担当するセクション内における競技の進行、指揮の権限をもつほか、セクション内における選手の行為を減点の対象とするか否かを審判する、最終的権限を持つものである。

## 25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔29違反行為に対する罰則〕(32頁)による。

## 26 本規則の解釈

本競技細則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

## 27 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

# '93全日本 トライアル選手権大会 特別規則

## 1 公 示

全日本トライアル選手権は、FIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と各大会の特別規則に基づき、MFJ公認の全日本格式競技会として開催される。

## 2 開催クラス

- 1) 全日本選手権の開催クラスは、国際A級部門および国際B級部門とする。
- 2) 競技方法は国際A級部門・国際B級部門ともに個人に与えられた持ち時間とコース上に設定されたセクションの採点によるものとする。なお、各大会のセクション数及び持ち時間は、各主催者からの公式通知により発表される。

## 3 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラム、または公式通知に示される。

## 4 参加資格

- 1) 国際A級部門のエントリーは、フリーエントリーとする。
- 2) 国際B級部門のエントリーもフリーエントリーとするが、申し込み台数が一大会（国際A級・国際B級合計）100台を越えた場合、原則として以下の優先順位で制限する。
  - (1) '92年全日本選手権国際B級部門ポイント獲得者
  - (2) '93年に国際B級に昇格した者で、'92年トライアルGC大会で国内A級部門1位～15位までの者。
  - (3) '92年各地方選手権国際B級部門のポイントランキングで、項目(1)に該当する者を除く上位5名の者。
  - (4) その他の国際B級で、項目(3)の条件に準ずる上位5名以下の者。
- 3) ヘルパーライダーのエントリーは、当該年度有効な国内A級以上のライセンス所持者とする。

## 5 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：国際A級部門	12,000円	(MFJ共済会掛金200円含む)
国際B級部門	12,000円	(MFJ共済会掛金200円含む)
ヘルパーライダー	6,000円	(MFJ共済会掛金200円含む)

参加受理：

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理

## '93全日本トライアル選手権大会特別規則

書、公式通知等が発送される。

- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない。)

### ⑥ ゼッケンナンバー

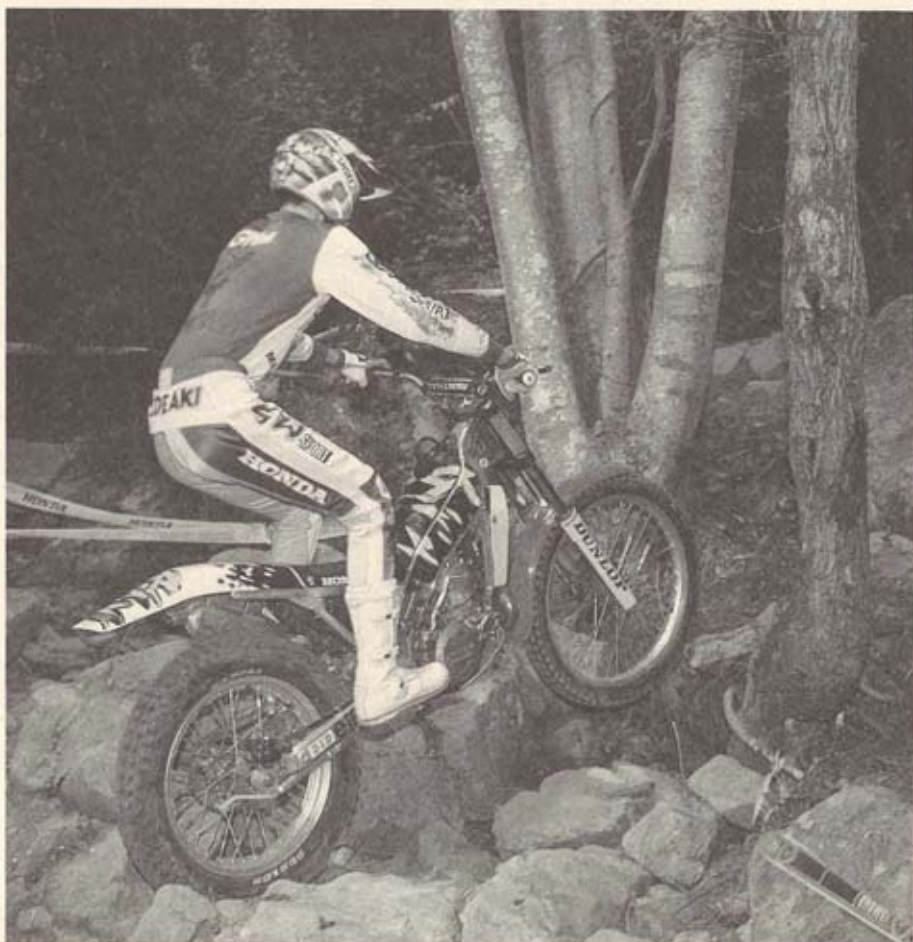
- 1) 主催者がゼッケンナンバープレート、胸ゼッケン等を配布した場合、競技期間中これを取りつけないといけない。
- 2) 全日本選手権ゼッケンナンバー決定基準

#### 国際A級

- (1) 前年度全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- (2) 国際B級部門より昇格した者を、前年度全日本選手権ランキング順により追加する。
- (3) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

#### 国際B級

- (1) 国際A級への昇格者を除く前年度の全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- (2) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。





## 7 ヘルパーライダー

ライダー1名に対し、1名のヘルパーライダーが認められる。ヘルパーライダーの資格、および遵守事項は次のとおりとする。

- 1) ヘルパーライダーは、トライアル国内A級以上のライセンス所持者で、ライダーのエントリー時にヘルパーの申請料を添付し、申し込まなければならない。エントリー締切後の追加、変更は一切認められない。

また大会により、ヘルパーライダーの受付を認めない場合がある。

- 2) 車両はMFJ公認車両とし、車検を受けなければならない。
- 3) 車両のフロントナンバープレートに、選手と同じゼッケンナンバーを表示しなくてはならない。ナンバープレートの地色および数字の色は下記のとおりとする。

国際A級のヘルパー……赤地白文字

国際B級のヘルパー……緑地白文字

- 4) 移動コースは特に指示のない場合ライダーと同一とし、逆走は一切認められない。
- 5) ヘルパーライダーの不正は、当該ライダーに罰則が課される。
- 6) ヘルパーライダーの行ってよい行為（下記以外の行為は認められない）

- (1) コース上でライダーに工具、スペアパーツ、飲料等の受け渡し、及び車両の整備をすることができる。
- (2) ライダーの危険回避のための補助は、難度の高いセクションにおいて当該セクション審判員の指示によってのみ行うことができる。

## 8 車両検査

- 1) 車両検査においてフレームボディ、クランクケース、サイレンサーにマーキングを行う。以上の部品は競技の期間中使われ、競技が終了するまで交換をすることができない。これらの部品を車両検査後、あるいは競技中無断で交換した場合、お

## '93全日本トライアル選手権大会特別規則

よび車検で施されたマーキングを失った場合には失格とされる。

ただしスベアとして車検合格し、マーキングされたサイレンサーは例外とする。

- 2) 車両検査時には全車に対し、音量測定を行う。

### 9 スタート

- 1) 第1戦のスタート順序はゼッケン下位の者からとする。
- 2) 第2戦以降は、前戦までのランキングの下位の者から先にスタートするが、ポイント獲得者以外のゼッケン下位の者から先にスタートする。

### 10 採点カード

- 1) ライダーはスタート時に採点カードを受け取り、各ラップ毎に交換すること。
- 2) セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認すること。
- 3) セクションをトライしてもパンチを受けなくて次のセクションへ入った場合、前セクションはエスケープとみなされる。
- 4) 採点カードの破損等によって採点が確認できない場合、当該セクションはエスケープとみなされる。
- 5) 採点カードを紛失した場合、失格とされる。
- 6) 採点カードはコンピューター処理されるので、折り曲げたりしてはならない。
- 7) 採点カードの交換場所は、大会特別規則または公式通知へ示される。

### 11 タイムキーピング (タイムコントロール)

- 1) ライダーはスタート、ゴールのタイムチェックを受けなくてはならない。
- 2) 公式通知に特に記載のない場合、スタート時のタイムチェックはスタート時に行われ、ゴール時のタイムチェックは最終セクション出口付近にて行われる。
- 3) ゴールに遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格とする。
- 4) ゴールタイムチェックを受けたライダーは、定められたコースに従い10分以内にカード交換場所に戻り、採点カードを係員に提出すること。この時点でゴール完了となる。ゴール完了前に指定されたコース外に出たり、パドックに入ったりしてはならない。

### 12 マシンコントロール

- 1) マシンコントロールでは車両、車両へ施されたマーキング、ゼッケン、服装等の検査が行われる。
- 2) ライダーは各ラップ毎にマシンコントロールでの検査を受けなくてはならない。
- 3) 公式通知に特に記載のない場合、マシンコントロールは、大会本部付近にて行われる。

### 13 賞および得点

- 1) 各大会ごとに国際A級、国際B級の各クラスへベストクリーン賞が与えられる。(クリーン数が同数の場合は、成績が上位のものとする)
- 2) 国際A級、国際B級部門全日本選手権ランキングの得点
  - (1) 得点はMFJ国内競技規則によって与えられる。
  - (2) 日本グランプリトライアル大会については規定の得点にさらに3点が加算される。



(3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。

(4) 詳細は全日本選手権ランキング決定方法（頁）に示される。

## 14 本規則の施行

- 1) 本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則、トライアル競技細則による。

1993年1月1日  
全日本トライアル選手権  
大会事務局長

### '93全日本トライアル選手権シリーズ(主要競技会)開催日程

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間
5月3日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第1戦 関東大会	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03(3472)6241	栃木県 栗山村鬼怒川特設会場	3月24日(火) ～ 4月2日(金)
5月23日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第2戦 九州大会	MFJ九州 〒861-41 熊本県熊本市近見町2273-1 熊本ホンダ二輪九州熊本支店 ☎096(355)5075	佐賀県 フィールド佐賀大和スポーツ場	4月13日(火) ～ 4月22日(水)
7月18日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第3戦 中国大会	MFJ中国 〒700 岡山県岡山市柳町2-10-7 樟代ビル2F ☎0862(22)8625	広島県 ヒバハレレスキー場	6月8日(火) ～ 6月17日(水)
8月1日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第4戦 北海道大会	MFJ札幌 〒065 北海道札幌市東区東雁来3条1-4-3 札幌市地区軽自動車協会内 ☎011(782)1492	北海道 夕張マウントレースイスキーリゾート	6月22日(火) ～ 7月1日(水)
9月26日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第5戦 近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(541)5254	兵庫県 スポーツランド猪名川	8月17日(火) ～ 8月26日(水)
10月10日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第6戦 中部大会	MFJ中部 〒466 愛知県名古屋市中区八事字富士見1603番地 ☎052(833)9676	岐阜県 バイクランド坂内	8月31日(火) ～ 9月9日(水)
10月24日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第7戦 日本グランプリ大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	岩手県 室根山スキー場	9月14日(火) ～ 9月23日(水)

# '93全日本 スタジアムトライアル 選手権大会特別規則

## 1 適用の範囲

以下に示す規則は、国内競技規則とともに、国際格式の大会を除くすべての国内スタジアムトライアル競技会に適用される。

## 2 スタジアムトライアル

スタジアムトライアルとは、主にインドアの会場にさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、これを走破することでライダーの操縦技術の信頼性を試す競技である。

## 3 参加資格

- 1) 国際A級部門のエントリーはフリーエントリーとする。
- 2) 国際B級部門は、主催者が推薦した者のみエントリーすることができる。  
参加台数が予定数を越えた場合は、下記の優先順位にて参加台数を制限する場合がある。
  - (1) 前年度スタジアムトライアルポイント獲得者
  - (2) 前年度全日本選手権ポイント獲得者
  - (3) 本年度国際B級からの昇格者
  - (4) 上記に該当しない者

なお、満20才未満の者は親権者の承諾を必要とする。

## 4 参加申し込み

- 1) 申込先
  - (1) 参加者は所定の申込書に記載事項のすべてを記入の上、出場料、MFJ共済会掛金を添え、申し込み期間内に現金書留で送付すること。(締切日の消印有効)
  - (2) 申込み先  
〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F  
(財)日本モーターサイクルスポーツ協会内  
スタジアムトライアル事務局 TEL 03-3865-8441
- 2) 出場料：国際A級部門 15,000円 (MFJ共済会掛金200円含む)  
国際B級部門 15,000円 (MFJ共済会掛金200円含む)
- 3) 参加受理：
  - (1) 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理書、公式通知等が発送される。

- (2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。
- (3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合のみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない)

## 5 ゼッケンナンバー

1) 主催者がゼッケンナンバープレート、胸ゼッケン等を配布した場合、競技期間中これを取りつけなくてはならない。

2) スタジアムトライアル全日本選手権ゼッケンナンバー決定基準

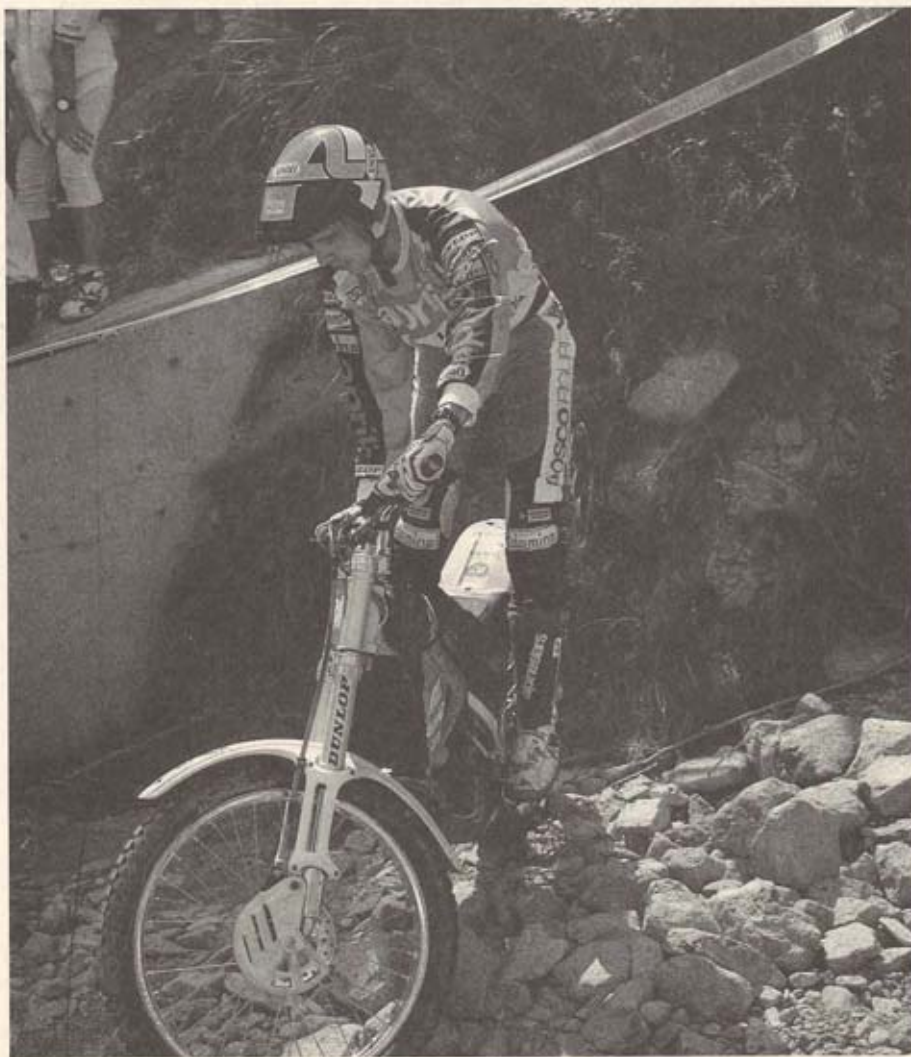
国際A級

(1) 前年度全日本選手権シリーズランキング順により決定する。

(3) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

国際B級

(2) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。



## 6 競技方法

競技方法は、セクションラップ方式とし、各自持ち時間が設定される。持ち時間は公式通知に示される。

- 1) スタート
  - (1) 第1戦のスタート順序はゼッケン下位の者からとし、前年度ランキングポイントを獲得していない者のスタート順は抽選にて決定する。
  - (2) 第2戦以降のスタート順序は前戦までのランキング下位の者からとし、ポイントを獲得していない者のスタート順は抽選にて決定する。
- 2) 予選
  - (1) 参加ライダー全員が、指定されたセクションを1ラップする。
  - (2) 使用セクション、組分け等の詳細は公式通知、ライダーズミーティングにて発表される。
- 3) 準決勝
  - (1) 予選上位9位までの者が準決勝に進出し、指定されたセクションを1ラップする。
  - (2) 組分けは予選結果に基づいて決定され、使用するセクションは公式通知、またはライダーズミーティングにて発表される。
  - (3) セクションのトライ順は、それぞれの組の予選結果下位の者からとする。なお同点者がいた場合ゼッケン下位の者からとする。
- 4) 決勝
  - (1) 準決勝の結果上位3名により、指定されたセクションを1ラップする。
  - (2) 使用するセクションは、公式通知またはライダーズミーティングにて発表される。
  - (3) セクションのトライ順は、準決勝結果の下位の者からとする。なお同点者がいた場合ゼッケン下位の者からとする。

## 7 車両の整備、補修

車両の整備、補修および燃料補給は、主催者が指定した場所でのみ許可される。

## 8 競技結果

順位は下記の方法で決定する。なお、順位は国際A級と国際B級の総合成績とする。

- 1) 優勝者および2位、3位  
決勝進出者の中から決勝、準決勝の総減点数の少ない順に順位を決定する。
- 2) 4位から9位  
準決勝進出者の中から準決勝結果の総減点数の少ない順に順位を決定する。
- 3) 10位以下  
予選における減点数の少ない順に順位を決定する。
- 4) 同点者の判定は、次の順序に従って行う。
  - (1) クリーン数の多い者を上位とする。
  - (2) 1点減点の多い者を上位とする。
  - (3) 2点減点の多い者を上位とする。
  - (4) 3点減点の多い者を上位とする
- (5) 1位から3位までの順位決定において、同点者の判定(1)~(4)で決定できない場合は、決勝結果、準決勝結果の順序により決定する。

- (6) 以上によって決定できない場合は、大会審査委員会の判断により決定する。

## 9 抗議

- 1) 予選、準決勝、決勝を通じ競技結果に対する抗議時間は、暫定結果発表後10分以内とする。
- 2) 抗議は、国内競技規則・第3章〔〇抗議〕( 頁)による。(抗議時間を除く)
- 3) 審判員の下した判定に対する抗議は、一切できない。

## 10 賞および特典

- 1) 各大会ごとに下記の賞典が与えられる。
  - (1) スターティングマネー  
準決勝進出者に対し、スターティングマネーが与えられる。
  - (2) 賞金  
総合順位に従い、賞金が与えられる。
  - (3) オールクリーン賞  
決勝進出者で、予選から決勝まですべてクリーンの場合、オールクリーン賞が与えられる。
- 2) スタジアムトライアル全日本選手権ランキングの得点
  - (1) 得点は国際A級クラスを対象に与えられ、国際B級クラスには与えられない。
  - (2) 得点は予選総出場回数により制限される。(MFJ国内競技規則・第3章〔〇公式得点〕による)
  - (3) 国際B級クラスの選手が得点獲得順位を得た場合その得点は無効とし、国際A級の得点繰り上げは行わない。
  - (4) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
  - (5) 複数の選手が同一の得点を得た場合、下記の順序によりランキングを決定する。
    - ① 上位入賞回数の多い者を上位とする。
    - ② 最終戦の成績の上位の者を上位とする。
    - ③ ゼッケンの上位の者を上位とする。



**11 本規則の施行**

- 1) 本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則トライアル競技細則による。

1993年1月1日  
スタジアムトライアル全日本選手権  
大会事務局長

**'93スタジアムトライアル全日本選手権シリーズ開催日程**

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	開催期間
4月18日 (日)	全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ 第1戦東北大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	宮城県仙台市	3月9日 ～ 3月18日
6月13日 (日)	全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ 第2戦熊本大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	熊本県立体育館	5月4日 ～ 5月14日
8月8日 (日)	全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ 第3戦名古屋大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	愛知県立体育館	6月29日 ～ 7月8日
9月5日 (日)	全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ 第4戦尼崎大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	兵庫県尼崎市 記念公園総合体育館	7月26日 ～ 8月5日

スノーモビル

# SNOW MOBILE

## ▼細則9 スノーモビル競技細則

1. 本規則の適用範囲	120
2. スノーモビルレース	120
3. コースの仕様	120
4. 出場車両	120
5. MFJ公認車両	121
6. ライダーの装備	121
7. 公式通知・タイムスケジュール	121
8. 競技会参加定員	121
9. 競技会参加資格	121
10. 出場申し込み	122
11. 参加受理	122
12. 出場受付	122
13. 車両検査	122
14. ライダーの変更	123
15. 車両の変更	123
16. 公式予選	123
17. レース	123
18. 優勝者、入賞者及び完走	124
19. レースの延期、中止及び打ち切り	125
20. 抗議	125
21. 損害の補償	125
22. 競技規則の違反行為に対する罰則	126

23. 主催者の権限	126
24. 大会審査委員会	126
25. 本規則の解釈	126
26. 本規則の施行	126

## ▼細則10 '93全日本選手権特別規則

1. 全日本選手権対象種目および参加資格	127
2. 全日本選手権カレンダー	127
3. 大会運営実行組織	127
4. 出場申し込み	127
5. 参加受理	127
6. 出場受付	128
7. 車両検査	128
8. 車両の変更	128
9. 公式予選	128
10. レース	128
11. 優勝者、入賞順位および完走	128
12. 賞典	128
13. 損害の補償	128
14. 違反・抗議の裁定	128
15. レースの延期・中止及び打ち切り	128
16. 本規則の解釈	128
17. 本規則の施行	128
附 則	129

# スノーモビル 競技細則

## 1 本規則の適用範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべてのスノーモビル競技会に適用される。

## 2 スノーモビルレース

スノークロスレース、エンデュロレース、オーバルレース、ドラッグレース等、スノーモビルにて行うレースを総称してスノーモビルレースとし、国内競技規則および本細則により管理される。

### 1) レースの区分

- (1) スノークロスレース……雪上不整地の周回レース
- (2) エンデュロレース……雪上耐久レース
- (3) オーバルレース……オーバルトラックの円周コースで競うレース
- (4) ドラッグレース……直線短距離コースで競うレース

## 3 コースの仕様

コースの長さは、1周800m以上2km以下とし、その幅は少なくとも7m以上で、追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コースは、別に規定されるスノーモビル競技会会場に関する規則に準拠し、適切なレースコンディションと安全性とが確保されていなくてはならない。

## 4 出場車両

車両は下記の改造の限度と安全基準を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。尚、改造されて型式(モデル)が判明できない車両は出場することができない。

スノーモビルの車両仕様(172頁)参照。

### 1) 車両の区分

スノーモビルの競技車両は、クラス区分と部門別区分とに分けられる。

#### (1) 車両のクラス区分

車両のクラス区分は、原則として次のように分けられる。

クラス名称	排気量		ゼッケンカラー
	水冷エンジン車両	空冷エンジン車両	
S Jクラス	-	1~125ccまで	赤地に白文字
S 4クラス	1~125ccまで	126~350ccまで	緑地に白文字
S 3クラス	126~350ccまで	351~500ccまで	青地に白文字
S 2クラス	351~500ccまで	501~750ccまで	黄地に黒文字
S 1クラス	オープン	オープン	白地に黒文字



(2) 車両の部門別区分

車両の部門別区分は改造限度によって次のように分けられる。

① スポーツ部門

スポーツ部門はMFJ公認車両で、スポーツ部門改造限度を越えないものとする。

② モディファイ部門

モディファイ部門はMFJ公認車両でモディファイ部門改造限度を越えないものとする。

## 5 MFJ公認車両

MFJ公認車両は、スノーモビルの車両仕様(172頁)参照。

## 6 ライダーの装備

ライダーの服装は、競技中身体の安全を確保し、操縦を妨げるものであってはならない。

- 1) 上記目的を満たすブーツ(足首、つま先を保護できるもの)、防寒服、手袋(革製、5本指)を着用すること。
- 2) ゴーグル、マスクの使用は自由とするが、ゴーグルは鋭い破片になる材質は禁止される。枠は柔軟なもので転倒時に衝撃を受けた場合でも危険でない物とする。
- 3) ヘルメット

ヘルメットは、MFJ公認ヘルメットでなければならない。

- (1) ヘルメットは、日本工業規格JIS-T8133-1982-A種以上及び同JIS-T8133-2種(JIS-T8133の1982年8月までの規格)か、またはそれ以上の性能を有するジェット型カフルフェイス型のものでなければならない。
- (2) MFJの公認したヘルメットには、認証マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、損傷等により検査に合格しなかったヘルメットはMFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上使用を禁止される。
- (4) MFJ公認の認証マークの貼付されていないヘルメットについて、車両検査時に特別検査が行われる。その際、検査料(1,000円)を支払わなければならない。

## 7 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に公示される。

## 8 競技会参加定員

競技会参加定員は定めない。

## 9 競技会参加資格

- 1) スノーモビル競技会に参加する場合、種目ごとに当該年度有効なライセンスを所持していなければならない。

種目	ライセンス
モディファイA級各クラス	SA
モディファイB級各クラス	SB
スポーツ各クラス	SB、SJ、L
フレッシュマン	SJ、L、運
レディース、ジュニア、J4クラス	SJ、L、運
OBレース	SA、SB、L

SA=スノーモビルA級ライセンス  
 SB=スノーモビルB級ライセンス  
 SJ=スノーモビルジュニアライセンス  
 L=MFJ Lライセンス  
 運=運転免許証

## 2) ライセンス取得条件

ライセンス	参加できる競技会	ライセンス取得条件	ライセンス料
S A	全日本選手権 地方選手権 その他公認競技会 承認競技会	1992年度全日本スノーモビル選手権B級の各クラスにおいて1～6位にランクされたもの。ただし、6位選手と獲得点数が同点の選手も、昇格となる。	8,000円
S B	全日本選手権 地方選手権 その他公認競技会 承認競技会	16才以上で運転免許証を所持しているもの。運転免許証を所持していないもので、公認スノーモビルライセンス講習会を受講し、合格したもの。	8,000円
S J	公認・承認競技会	9～15才で講習会終了者	8,000円
L	承認競技会	運転免許証所持者、講習会終了者	3,000円

## 10 出場申し込み

- 各クラスとも所定の出場申し込み書に必要な事項をすべて記入の上、出場料及びMFJ共済会掛け金を添えて申し込まなければならない。
- 2クラス以上に出場を申し込み場合でも、申し込み用紙は一枚でよい。ただし、2クラス出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。
- 郵送の場合は、現金書留とし、締切日当日の消印のあるものまで有効とする。
- 締切日以降の申し込み及び電話・FAX等の申し込みは一切受けつけられない。

## 11 参加受理

- 必要事項を記入した出場申し込み書及び所定の金額を大会事務局が受理した時点で参加受理書が発送される。
- 大会が中止された場合、また、参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申し込み者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない)にのみ出場料、共済会掛け金が返却される。
- いったん受理された出場料・共済会掛け金は上記1)、2)及び細則9[19]のレース及び大会の延期、中止等(125頁)の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様とする。

## 12 出場受付

- 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 定められた時間内に、必ずライダー本人または、当該ライダーのメカニックが、MFJライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- MFJライセンスを提示できない者は、一切出場が認められない。

## 13 車両検査

- 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、車両検査区域内にて行われる。
- 車両検査のための車両は、ライダー本人または当該ライダーのメカニックが持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行わない。

- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

## 14 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

## 15 車両の変更

車両の変更は、エントリー時に出場申し込み用紙に記載した車両と変更が生じた場合に、以下の手続きに従って行われる。

破損などやむを得ず出場登録済（車両検査合格済）の車両を変更する必要がある場合は、規定の書式に従って車両変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して銘柄についての立証の責任は、参加者側にあるものとする。
- 2) その他については、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、車両変更手数料（5,000円）を申請書に添付し、提出しなければならない。
- 4) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

## 16 公式予選

- 1) 公式予選の日程
  - (1) 公式予選のある場合は、原則として各クラス別に行われる。
  - (2) その日程及び時間は公式通知（タイムスケジュール）に示される。
- 2) 公式予選の内容
  - (1) 1つのクラスの出場申し込み台数が20台を越えた場合は、決勝進出者を決定するための公式予選が行われる。尚、決勝進出者は、1クラス20台以内を原則とする。
  - (2) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。
  - (3) 公式予選の有無、周回数、決勝進出回数、その他の詳細は公式通知またはプログラム等に示される。

## 17 レース

- 1) スタート位置  
レースにおけるスタート位置は、主催者の指示による。
- 2) スタートまでの行動
  - (1) ライダーは決められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
  - (2) ライダーはレース直前のチェックの後、車両と共に指定区域内に待機してなければならない。
  - (3) エンジンのウォーミングアップは定められた場所と時間のみに行うことができる。
- 3) スタート
  - (1) スタートの方法については原則としてエンジンランニングスタートとする。
  - (2) スタート位置はすべて正規のスタートラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。
  - (3) スタートの合図は、国旗を振ることによって行われる。

- (4) スタート合図以前にスタートラインを出たものがあつた場合（フライング）、スタートをやり直す。ただし、同一ライダーが2回フライングをするとそのライダーは失格となる。
- (5) ウォーミングアップ以降、エンジン始動の合図がなされた後は、ライダーからサインがあつてもスタート係はこれを考慮しない。
- 4) レース中  
ライダーは走行中下記事項を遵守しなければならない。
- (1) 必要以外にハンドルから手を離したり、危険な姿勢をとってはならない。
- (2) 故意に他のライダーの走行を妨害するような走り方をしてはならない。
- (3) 車両は、それ自身が持つ動力、及びライダーの筋力、または重力等の自然現象以外の方法で走ったり、加速したりしてはならない。
- (4) 他人の援助を一切受けてはならない。他人の援助とは、そのレースに参加しているライダー、担当のメカニック及び業務執行中の競技役員以外の人から車両に触れることをいう。
- (5) 車両にいかなる者も同乗させてはならない。
- (6) ライダーはレース中、酒気を帯びたりまた薬品等（興奮剤、麻薬等）により故意に精神状態をつくろってはならない。
- 5) 走行中、消音器及び排気管が外れた場合、またシュラウドが取れたりした場合は競技役員の指示により当該ライダーに対し黒旗が示され、ピットインし、修理の後競技役員の許可を得た上で再出場が認められる。
- 6) レース中の公式シグナル（合図）  
公式シグナル（合図）は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

シグナル	意味
国旗	スタート
赤旗	全員走行停止
黄旗	危険注意
緑旗	先に出された合図の解除
青旗	警告、ラップされようとしている
黒旗	指定されたライダー走行停止
白黒チェッカー旗	レース終了

- 7) コースアウト  
ライダーは走行中やむを得ず定められたコースを外れた場合、再びコースに戻るには外れた地点より走行し直さなければならない。
- 8) レース終了  
全ライダーがゴールインするか、トップ走者のゴールインから5分経過後に終了とする。

## 18 優勝者・入賞者及び完走

- 1) 優勝者  
優勝者は、規定の周回数を最短時間で完走したライダーである。
- 2) 入賞者及び順位の優先順序
- (1) チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同一周回数の場合は、ゴールラインの通過の順位による。
- (2) 上記以外のライダーについては周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールライン通過の順位による。

### 3) 完走者

- (1) 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダー。
- (2) レース途中でリタイヤ届けを提出したライダーも完走周回数を完了しているライダーは完走者とみなされる。

## 19 レースの延期、中止及び打ち切り

- 1) レースは特別な理由のない限り、打ち切り、または中止されることはない。
- 2) 大会審査委員会が特別な理由によってレースのいずれかを中止しなければならないと判断した時に限り、レースを中止することができる。
- 3) すべての関係者は大会審査委員会の決定に従わなければならない。
- 4) 特にやむを得ない理由によって、トップ走者がそのレースに決められた周回数の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効となる。
- 5) トップ走者が決められた周回数の3分の2以上を完走した時点でレースを打ち切った場合は、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。
- 6) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返却されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。
- 7) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、一切抗議することはできない。

## 20 抗議

- 1) エントラント、ライダー及び当該ライダーのピットクルーのみが抗議申し立てることができる。
- 2) 抗議しようとする時は、定められた手続きによって大会事務局に申し入れしなければならない。  
抗議手続きは、大会事務局に備え付けの抗議書に記載し、1項目につき抗議保証金(10,000円)をそえて大会事務局に提出しなければならない。
- 3) 暫定結果に対する抗議は、暫定結果発表後30分以内に限り受け付けられる。
- 4) 正式の手続きにより提出された抗議書だけが受け付けられ、大会審査委員会において審議される。
- 5) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- 6) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、一切抗議することができない。
- 7) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返却される。

## 21 損害の補償

- 1) 車両の破損
  - (1) 車両及びその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間をのぞく。
  - (2) 車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両が何らかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額としてその所有者に保証する。
- 2) 損傷の責任  
競技開催期間中、又は、その前後に起きた損傷は自らがその責任を負うものとする。

### 3) 競技役員の責任

ライダー及びピットクルー等の競技参加者は、競技役員が一切の損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち競技役員はその職務に最善を尽くすが、仮に競技役員によって起きた参加者、ライダー、ピットクルー及び車両等の損傷に対しても、競技役員は一切の責任のないことをいう。

## 22 競技規則の違反行為に対する罰則

大会中（競技中）における違反行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会並びに競技監督の権限で下記の罰則を科すことができる。

- 1) 注意処分（口頭による注意または注意処分通告書）
- 2) 厳重戒告（戒告通知を受けたものは始末書提出）
- 3) 罰金（1万円以上5万円以下）
- 4) 競技結果に対する1分以内の加算
- 5) 競技結果に対する1分以上の加算または1周以上の減算
- 6) 失格

違反の判定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の軽減や適用は、大会審査委員会の決定を優先するものとする。

罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、MFJスポーツ委員会によってさらに事後の出場停止、資格停止にまでおよびかどうか審査、裁定され、30日以内に通告される。

## 23 主催者の権限

主催者は、必要に応じて随時競技会場内（パドック、ピット等）で、参加者（エントラント、ライダー、ピットクルー）のライセンスの提示を求めることができる。

## 24 大会審査委員会

大会審査委員会は、競技役員規定に基づき、競技会において最高権限を行使することができる。

## 25 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局宛に質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## 26 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。



# 細則 10

## '93全日本 スノーモビル選手権 特別規則

### 1 全日本選手権対象種目および参加資格

1993年度全日本スノーモビル選手権対象種目は下記の6クラスとする。

	クラス名称	資格	出場対象車両	
A・B級	モディファイS4クラス	A・B級ライ センス所持者	水冷-1cc~125cc	空冷-126cc~350cc
	モディファイS3クラス		水冷-126cc~350cc	空冷-351cc~500cc
	モディファイS1クラス		水冷-排気量オープン	空冷-排気量オープン

### 2 全日本選手権カレンダー

開催日	会場	主催者	申し込み先住所
1月24日	新潟県・グリーンピア津南	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 新潟県モーターサイクルスポーツ協会	〒949-63 新潟県南魚沼郡塩沢町大字南田中423 RSS高富屋内事務局 ☎0257-83-2403
2月7日	長野県・斑尾高原スキー場	長野県モーターサイクルスポーツ協会	〒381-22 長野県長野市福里町水鏡1104-1 福里自動車内事務局 ☎0262-85-3211
2月14日	青森県・(財)岩木青少年スポーツセンター	MFJ東北ブロック協議会	〒030-01 青森県八戸校字上林78-55 ヤマハ東北(株)青森(営)内事務局 ☎0177-39-8081
2月21日	北海道・士別つくも水郷公園	MFJ北海道ブロック協議会	〒065 北海道札幌市東区東亜東3条1-4-3 札幌地区軽自動車協会内事務局 ☎011-782-1492
3月7日	北海道・美瑛町滑空場	MFJ北海道ブロック協議会	

### 3 大会運営実行組織

大会運営・実行組織はプログラムまたは公式通知に示される。

### 4 出場申し込み

- 申し込み場所  
申し込み場所は各主催者住所とする。
- 出場申し込み
  - スノーモビル競技細則・10 出場申し込み (122頁参照)。
  - 全日本スノーモビル選手権出場料及び共済会掛け金は下記のとおりとする。  
出場料と共済掛け金

出場料		共済会掛け金
1クラス目	2クラス目	1名1大会当たり
9,500円	5,000円	500円

### 5 参加受理

スノーモビル競技細則・11 参加受理 (122頁参照)。

## 6 出場受付

スノーモビル競技細則・12 出場受付 (122頁参照)。出場車両については付録MFJ公認車両・スノーモビル (210頁) 参照。

## 7 車両検査

スノーモビル競技細則・13 車両検査 (122頁参照)。

## 8 車両の変更

スノーモビル競技細則・15 車両の変更 (123頁参照)。

## 9 公式予選

スノーモビル競技細則・16 公式予選 (123頁参照)。

## 10 レース

スノーモビル競技細則・17 レース (123頁参照)。

## 11 優勝者、入賞者順位および完走

賞者および完走 (124頁参照)。

## 12 賞典

賞典は各大会毎の特別規則または公式通知による。

## 13 損害の補償

スノーモビル競技細則・21 損害の補償 (125頁参照)。

## 14 違反・抗議の裁定

スノーモビル競技細則・22 競技規則の違反行為に対する罰則 (126頁参照)。

## 15 レースの延期・中止及び打ち切り

スノーモビル競技細則・19 レースの延期・中止及び打ち切り (125頁参照)。

## 16 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あてに質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終とする。

## 17 本規則の施行

本規則は各大会の参加申し込み受付開始日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項はスノーモビル競技細則による。



# 附 則

## 1 全日本選手権ランキング規定

1) 全日本選手権対象種目 (A・B級のS1、S3、S4の各クラス) に参加出場するすべてのライダーを対象とする。

2) 得点基準

参加者に与えられる得点は下記に示すとおりとする。

順位	予選出走台数											
	25台以上	22～24	20～21	18～19	16～17	14～15	12～13	10～11	8～9	6～7	5	0～4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9	9					
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									
11位	5	5										
12位	4	4										
13位	3											
14位	2											
15位	1											

3) 全日本選手権ランキングの決定方法

全日本選手権の最終順位決定方法は、有効ポイント制度を導入し、全日本選手権全5戦中3戦の合計ポイントにより決定され、最高得点を獲得したものがチャンピオンとなる。

同点者のある場合は、下記優先順位により順位を決定する。

- (1) 上位入賞回数の多いものを上位とする。
- (2) (1)にて決定できない場合、全日本選手権全5戦のシリーズ獲得ポイントの多いものを優先する。
- (3) 上記にて決定できない場合、前年度の同部門、同クラスのランキング上位者を優先する。
- (4) 上記(2)、(3)にて判定できない場合、MFJスノーモビル委員会およびMFJスポーツ委員会にて審議、決定する。

4) 全日本選手権認定表彰式典

本規則に基づき決定された各クラス上位1位～3位の者は、その栄誉をたたえ毎年末に開催されるMFJ全日本選手権ランキング認定表彰式典にて表彰される。

## 2 ライセンス昇格規定

スノーモビルB級からA級への昇格は次のとおりとする。

1993年度全日本スノーモビル選手権シリーズにおいてB級における全日本選手権対象種目のいずれかのクラスにおいてランキング1位～6位に認定された者。ただし、7位以下のもので6位の者と同ポイントを獲得した者もA級へ昇格となる。

技術規則

# TECHNICAL RULES

MFJ技術規則 .....	133
■基本仕様<ロードレース> .....	136
■基本仕様<モトクロス> .....	141
■基本仕様<トライアル> .....	144
■SPクラスの仕様 .....	148
■SSクラスの仕様 .....	152
■耐久レースの追加仕様 .....	156
■国内ロードレースGPクラスの仕様 .....	157
■国内モトクロスの仕様 .....	160
■国内トライアルの仕様 .....	163
■FIM技術仕様 .....	165
■スノーモビルの仕様 .....	171
■ドラッグレースの仕様 .....	173
■ロードレースジュニアクラスの仕様 .....	178
■ミニバイクの仕様 .....	181

# '93MFJ 技術規則

## 1 「章」

規則は大分類の「章」と分類の「条」で整理されます。

章	大分類項目	種 目			条
		ロードレース	モトクロス	トライアル	
第1章	目的	○	○	○	基本的共通項
第2章	クラス	○	○	○	
第3章	排気量	○	○	○	
第4章	重量	○	○	○	
第5章	公認制度	○	○	○	
第6章	ガソリン、オイル、クーラント	○	○	○	
第7章	ロードレースの基本仕様	○			カテゴリ毎の基本仕様(FIM規則と同じ)
第8章	モトクロスの基本仕様		○		本文の解釈に相違があった場合は、 FIM規則原文の解釈を優先する。
第9章	トライアルの基本仕様			○	
第10章	ロードレースSPクラスの仕様	○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第11章	ロードレースSSクラスの仕様	○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第12章	シングル・ツインレースの仕様		別途定める。		
第13章	ロードレース耐久レースの追加仕様	○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第14章	ロードレースGPクラスの仕様	○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第15章	モトクロスの仕様		○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第16章	トライアルの仕様			○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第17章	スノーモビルの仕様				
第18章	ドラッグレースの仕様				
第19章	ロードレースジュニアクラスの仕様				
第20章	ミニバイクの仕様				
					01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条

## 2 「条」

各「章」で分けられた種目別の規則（第10章～第19章）のなかの各事項のナンバーは統一されています。

条	項 目
01条	クラス区分
02条	出場車両
03条	制限事項（ベース事項に対して）
04条	改造制限
05条	重量
06条	絶対に適合すべき事項
07条	禁止事項
08条	公認手続き・条件
09条	音響規制
10条	互換性
11条	追加仕様（耐久等）

### 3 小分類ナンバー

各「条」に出てくる対象部分には共通の小分類ナンバーが与えられ、制限されていない場合はその項目番は削除されています。

小分類ナンバー	項目	小分類ナンバー	項目
1	エンジンの型式	31	発電機、スパークプラグ、バッテリー
2	シリンダーの数	32	ワイヤーハーネス
3	ピストンストローク	33	予備
4	ケース、シリンダー、シリンダーヘッド、ギヤボックスの材質と形状	34	コントロールワイヤー関係
5	クラッチの型式	35	灯火器
6	エンジン、ミッション内部の動く部品の材質	36	メーター関係
7	4サイクルの圧縮比、バルブの径とリフト量	37	予備
8	2サイクルのポートタイミング、ポートサイズ、圧縮比	38	保安部品関係
9	ケースに対するシリンダー・シリンダーヘッドの位置	39	予備
10	吸排気バルブ、ポート、キャブの数	40	ドライブチェーン
11	クランクケースカバー廻りの材質、形状	41	ファイナルスプロケット
12	シリンダー、シリンダーヘッド関係	42	リヤホイール
13	クランクシャフト、ピストン、リング関係	43	リヤブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
14	カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブ	44	フロントホイール
15	予備	45	フロントブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
16	キャブレター	46	ブレーキペダル
17	フェエルトタンク、フェエルコック、フェエルライン	47	予備
18	エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー	48	タイヤ
19	ラジエター、水ポンプ、キャッチタンク（冷却系）	49	予備
20	予備	50	フレームボディ、ステップ関係含む、カウルステー類
21	予備	51	フロントフォーク
22	クラッチ関係（プライマリーを含む）	52	リヤクッション、リヤフォーク、サスリンクージ
23	ミッションギヤ関係（ドライブスプロケット含む）	53	ハンドル、トップ・ボトムブリッジ、ステアリングダンパー
24	シフト関係、チェンジペダル	54	カウリングとステー
25	スタート装置	55	シートカウル、フェンダー
26	分離給油オイルポンプ関係	56	ワイヤーロック（安全）
27	ブリーザーシステム、エアクリナーボックス	57	オイルクラント
28	予備	58	ガソリン
29	材質	59	調整、仕上げ
30	イグニッションコイル、点火ユニット	60	軽量化
		61	ワイリーバー



# MFJ 技術規則

モーターサイクルとは、ホイールが4つまでで、エンジンによって推進され、ひとり、あるいはそれ以上の人間（そのうちのひとは車両のドライバーとなる）の輸送のためにデザインされたすべての車両を意味している。ホイールは、瞬間的またはある種の例外的な場合を除いて、通常路面に接地していなければならない。

## 第1章 目的

- 1 安全の確保
- 2 平等性を最大限に維持する。
- 3 車両のコスト上昇を極力抑える。

## 第2章 クラス

### 1. ロードレース

#### GPフォーミュラー

50cc		50cc以下
80cc	50ccを越え	80cc以下
125cc	100ccを越え	125cc以下
250cc	175ccを越え	250cc以下
500cc	250ccを越え	500cc以下

#### スポーツプロダクションフォーミュラー

		2st	4st
50cc	50cc以下	○	○
80cc	50ccを越え 80cc以下	○	○
125cc	100ccを越え 125cc以下	○	○
250cc	175ccを越え 250cc以下	○	○
400cc	250ccを越え 400cc以下	—	○
750cc	400ccを越え 750cc以下	—	○

### 2. モトクロス

80cc	50ccを越え	80cc以下
125cc	100ccを越え	125cc以下
250cc	175ccを越え	250cc以下

3. トライアル 排気量区分は定めない
4. エンデューロ 別に定める
5. スノーモビル 別に定める
6. ドラッグレース 別に定める

(参考) ライセンス区分と規則の適用範囲

	ライセンス区分					
	IA	IB	NA	NB	NC	J
ロードレース	IA		NA	NB	NC	J
モトクロス	IA	IB	NA	NB		J
トライアル	IA	IB	NA	NB	J	
	FIM規則に依る		MFJ規則に依る		MFJ規則	

## 第3章 排気量

総排気量はシリンダー容積を測定するのに用いられる幾何学公式に依って計算される。すなわち直径はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

$$\text{公式} \quad \text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数}$$

D=ボア C=ストローク 単位=cm 小数点以下4ケタで切り捨て

測定の際にはボアに $\frac{1}{2}$ mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても排気量が当該クラスのリミットを越える場合、エンジンが冷えた状態で再測定が $\frac{1}{2}$ mmのリミットまで行われる。シリンダーのボアが真円でない場合断面積を測定し、計算することとする。  
 全てのカテゴリーにおいて、スーパーチャージは禁止される。

## 第4章 重量

参加車両は以下に定める最小限重量値を半乾燥重量で満たしていること。バラストによる調整は認められない。ただし重量規制が変更され、新たな規則が実施される初年度に限り、5.0kgを限度として完全に固定されたバラストの使用を認める。

### 1.1) ロードレース

GPフォーミュラ			スポーツプロダクション	
50cc	70kg		50	70kg
80cc	70kg		80	70kg
125cc	70kg		125	100kg
250cc	95kg		250	115kg
500cc	4気筒	130kg	250F	130kg
	3気筒	115kg	400	145kg
	2気筒以下	100kg	750	165kg

### 2) モトクロス

80cc	61kg
125cc	88kg
250cc	98kg

### 3) トライアル 特に定めない

### 4) エンデューロ 特に定めない

### 5) スノーモビル 特に定めない

### 6) ドラッグレース PB179kg他は定めない

## 第5章 公認制度

### 公認制度の必要性

公認車両を種目別改造規定の範囲内で改造を実施する際に、平等性と低コストと安全性を最低限確保するために設定する。

従って平等性を確保するために最低数を設定する。制度設定の主旨に合わないとは判断された場合は、公認されない場合もあり得る。

1. 参加車両は市販レーサーまたは一般生産型車両で、MFJの公認を受けた車両に限定される。

### 2. 完成車公認

公認申請を行うには、下記の条件を満たしていること。

#### 1) 台数

最低台数を満たしていること。

	国産車		輸入車	
	レーサー	市販車	レーサー	市販車
ロードレース	25台	250cc以下 500台 250ccを超える 250台	10台	25台
モトクロス	100台	250cc以下 500台 250ccを超える 250台	10台	25台
トライアル	5台	250cc以下 500台 250ccを超える 250台	5台	25台
スノーモビル	5台	—	5台	25台

#### 2) 種目別付帯条件

スポーツプロダクションの各クラス(SP, SS)については各々の種目別公認条件を満たしていること。

第10章 8条……SP

第11章 8条……SS

### 3. 部品公認

#### 1) 公認範囲

部 品 名	ロードレース			モトクロス	トライアル
	S P	S S	G P	85, 125, 250	
シリンダー		○	○	○	
シリンダーヘッド		○	○	○	
カムシャフト		○			
ミッションギヤー	○	○	○	○	
キャブレター	○	○	○	○	
クラッチ	○	○			
フロントフォーク		○	○	○	
リヤクッション		○	○	○	
リヤフォーク		○	○	○	
タイヤ	○				○

注) 1. ○印は公認時に組み込まれていた部品の追加加工に限定される。またリヤフォーク以外は材料の削除に依る改造に限る。

2. タイヤは一般公道用として製作されたものに限る。

#### 2) 数量

最低数量を満たしていること。

カテゴリー	数 量
ロードレース G P	25個以上
ロードレース S P	50個以上
ロードレース S S	50個以上
モトクロス	50個以上
トライアル	50個以上

#### 3) 制限

公認申請に際しては各々の部品の仕様は各々のカテゴリー、クラスの種目別仕様に合致していること。

#### 4. 公認申請資格

1) 車両及び部品の公認申請を行うことのできる資格者は、MFJの特別会員であるモーターサイクル製造会社または賛助会員であり、かつ当該製品の製造会社、または輸入総代理店でなければならない。申請会社代表者は毎年、車両及び部品の公認申請に関する担当責任者を登録し、その者のみが公認申請を行うことができる。

2) 公認申請書は必要書類を添付し、定例技術委員会の開催される月の20日までに事務局に送付されていなければならない。

#### 5. 公認発効と有効期限

1) 公認審査は技術委員会が行う。

2) 定例技術委員会は原則として毎月第4火曜日に開催される。

3) 審査に合格した車両で、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。

発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付きて公認発効する。

3) 審査に合格した部品で、すでに発売されている部品の場合は会議日から1ヶ月後の同日付きて公認発効する。

発売日が会議日以降の場合は、発売日の1ヶ月後の同日付きて公認発効する。

4) 市販レーサーの場合は会議日または発売日の1ヶ月後の同日付きて発効する。

5) 有効期限は発効年を含み5年間とし、5年目の12月末で失効する。

6) 失効した車両または部品は、再申請することができる。

## 第6章 ガソリン・オイル・クーラント

1. 競技用ガソリンとは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、または各公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンとする。

競技用ガソリンには販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。ただし一般に販売されているスタンダードの潤滑剤および1.5%以下のアルコール（燃料精製中に混入されるものに限る）については認められる。

2. 2サイクル用混合油は、一般に市販されているスタンダード品に限る。いかなるものも添加されてはならない。

3. 水冷エンジン冷却剤は水あるいは水とエチルアルコールの混合物に限られる。

# ロードレース 基本仕様

## 01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトの使用は許可される。

## 03 エキゾーストパイプ

- 1) エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たしてはならない。
- 2) エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差±1°)
- 3) 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出の仕方をしてはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、漏れたオイルの飛散を防ぐためのあらゆる措置が取られなくてはならない。
- 4) エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤ後方の垂直接線の後方に至ってはならない。

## 04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm、80ccを越えるマシンは最低450mmとする。
- 2) グリップは外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離を測定した際に、ハンドルバーの最低幅が保たれるように装着されていなくてはならない。……140頁の図参照
- 3) 露出されたハンドルバーの先端には、固形物質を詰めるか、それがゴムでカバーされていなくてはならない。
- 4) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する最低回転角度は15°以上なくてはならない。……140頁の図参照
- 5) ハンドルバーの位置がどこにあろうとも、ストリームライニングがある場合、フロント・ホイールはストリームライニングに接触しないようになくてはならない。
- 6) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっぱい切った状態で、レバーを含むハンドルバーと燃料タンクとの間隔が最低30mmあるように、ストッパー（ステアリング・ダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 7) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーに折れやすい部分を作らないために慎重に丸みをつけ、その製作には念を入れなくてはならない。
- 8) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

## 05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、いかなる場合においてもその端部は丸くなってはならない。（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）これらの端部は固定されており、レバーと一体構造でなくてはならない。
- 2) ピボット点からボールの先端まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを有し、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合には、フットレストが曲がったり、変形してしまうような場合を含む、いかなる状況においても作動できるようになっていてはならない。



## 06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手でおさえていない時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

## 07 フュエルポンプ

- 1) 電動フュエル・ポンプは、事故の際に自動的に作動するサーキット・カットアウト（回路閉閉器）を介して配線されなくてはならない。

## 08 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式のものであってもよいが、この場合これには自動的に元の位置に戻る装置が設けられ、さらにフットレストの先端には半径が最低8mmの一体構造となったプロテクションが設けられていてはならない。
- 2) もしフットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合には、その先端は半径が最低8mm以上の球状に丸められていてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも100mm以上、上に設けられていてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも前にはなくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作がしやすい位置にはなくてはならない。

## 09 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつの有効な、ホイールと同心的に独立して作動するブレーキが装備されていなくてはならない。

## 10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。この部分において、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイール中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 4) ストリームライニングがある場合には、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの外側の垂直線にまで達している場合には（許容誤差-50mm）、リヤ・マッドガードを装着する必要はない。

## 11 ストリームライニング

- 1) タイヤを除く前輪は、フロントマッドガードに隠れた部分を除き、各サイドからはっきりと見えなくてはならない。
- 2) ストリームライニングのいかなる部分もフロント・ホイール・アクスルから前方50mmのところを通る垂直線の前にあってはならない。ノーマルのマッドガードはストリームライニングとはみなされない。
- 3) ストリームライニングのいかなる部分も、リヤ・ホイール・アクスルを通る垂直線の後部にはなくてはならない。リヤ・ホイールのリムは、この線の後部円周180°に渡ってはっきり見えなくてはならない。モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・タイヤの最後端を垂直線より後方にあってはならない。
- 4) エアfoil、またはスポイラーは、それがフェアリングまたはシートと一体構造になっている場合に限り取りつけることができる。これは、フェアリングの幅を越えてはならない。ハンドルバーの高さをオーバーしてはならない。エッジが尖っている場合には、少なくとも半径8mmの丸みを持たせなくてはならない。
- 5) 後方に向いているストリームライニングのいかなる部分も、その先端は半径3.5mm以上の丸状に丸められていてはならない。
- 6) 通常のライディング・ポジションにおいてライダーは腕の前部を除いて、後方の両側及び上から全体が視認されなくてはならない。ライダーの顔またはヘルメットとストリームライニング（ウインドスクリーン含む）との間の最低スペースは100mmとする。この規則の適用を免れるために透明な材質を使用することは禁止される。
- 7) ライダーシートの後部の高さは最高150mmとする。この高さは、シートの固いベースの最下部から、ライダー後方のフェアリングの最上部までを測った場合のものである。
- 8) ハンドルバーの位置がどこにあっても、ストリームライニングとハンドルバー先端あるいはステア

- リング・システム、およびそれに装着されている装備類との間隔は最低20mmなくてはならない。
- ナンバープレートが固定されている前部の傾斜角度は垂直面から後部へ30°以上あってはならない。
  - モーターサイクルのグラウンド・クリアランスは100mm以下であってはならない。
  - シートまたはその後方にある、いかなる部分の幅も450mm以上あってはならない。

## 12 ホイールとタイヤ

- リムの最低直径は400mmとする。
- リムの最大幅は下記の通りとする。

クラス	最大幅
125	3.5インチ
250	5.5インチ
500	6.25インチ

## 13 ナンバープレート

- ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来なくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 1枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなければならない。他の2枚はモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしなくてはならない。
- 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消して書かれなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることが出来ない。
- ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。
 

GP125	黒地に白文字	SP	黒地に黄文字
GP250	緑地に白文字	SS	紺地に白文字
GP500	黄地に黒文字		

## 14 フュエルタンク及びオイルタンク

- フュエルタンクの最大容量は下記の通りとする。
  - ・ロードレース 32ℓ
  - ・スーパーバイク 24ℓ
  - ・その他スポーツプロダクションは各カテゴリーごとに設定する。
- 燃料はマシンにしっかりと固定された1つのタンク内に入れるものとする。シートタンクおよび補助タンクは禁止される。すべての競技において、給油の為に容易に脱着出来る取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- タンクの容量を減少させる一時的充填物の使用は禁止される。
- タンクに防爆材を完全に充填することが義務づけられる。非金属性のタンクには燃料の入った袋を内側に設けることが勧められる。
- 認証された燃料タンクを持つスポーツ・プロダクション・マシンは、14-4)の条件を免除される。
- オイルキャッチタンク
 

オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手が届く場所に設けられたキャッチタンクに行く。このタンクは競技の前に空にしておく必要はない。

オイル・キャッチタンクの最低サイズは、ギヤーボックス・ブリーザーの場合250ccとし、エンジン・ブリーザーの場合には500ccとすることが望ましい。
- すべてのオイルドレンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。

オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリュウやボルトは、安

全にワイヤーロックされなければならない。

- 8) 燃料タンク・ブリーザー・パイプ  
ノン・リターン・バルブを燃料タンク・ブリーザー・パイプに取り付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた、最低容量250ccのキャッチ・タンクに放出されるようになっていないとしない。
- 9) 燃料およびオイル・フィルター・キャップ  
燃料およびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で漏れないようになっていないとしない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていないとしない。

## 15 音量規制

- 1) 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線後方から45°で排気管と同じ高さとする。  
ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
- 2) ノイズ・テストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドを立てて測定を受けなくてはならない。
- 3) 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられる。車検の後にサイレンサーを変更することは禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 4) ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 5) rpmは、エンジンのストロークに相当するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。  
所定のエンジン回転数 (RPM) = 
$$\frac{30,000 \times \text{ピストン速度 (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$
- 6) 単気筒を越えるエンジンの音量計測は、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 7) 規制値をオーバーしているマシンは、再度計測を受けることができる。
- 8) 検査を受けるモーターサイクルは、エンジンの正確なピストンストローク値をクランクケースのはっきりと見える場所にスタンプしておかなくてはならない。
- 9) ロータリー、バンケルエンジンの場合の測定回転数は、6,000rpmとする。
- 10) 現行の音量規制値  
2ストローク・エンジンについてはピストン速度13m/secで測って105dB/Aまで。4ストローク・エンジンについては11m/secで測って105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。
- 11) 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 12) 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。

## 16 車両の傾斜度

- 1) モーターサイクルは荷重がかからない状態において、タイヤ以外のいかなる部分も地面に触れることなく、垂直線から50°の角度に傾斜することができるものでなくてはならない。

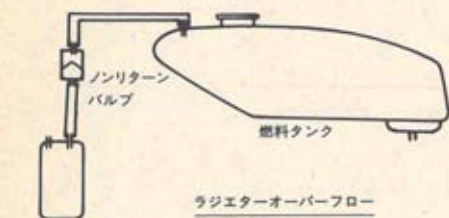
## 17 4サイクルエンジンのブリーザーシステム

- 1) ブリーザー、またはオーバーフロー・パイプが装着される場合、これらは現存する排出口から排出しなくてはならない。(14-6)に基づいて、オリジナルのクローズド・システムは維持されなくてはならない。ブローパイプを直接大気へ排出することは許可されない。
- 2) キャッチタンクに溜ったオイルはエンジンにもどるリターンパイプを取り付けることが望ましい…  
140頁の図参照
- 3) オイルキャッチタンクはアクシデント発生時でも容易に破損したり脱落せず、かつ高温に耐えられる材質であること。

## 18 冷却系のオーバーフロー

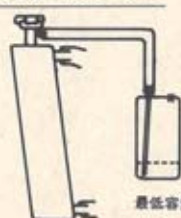
- 1) 水冷式のすべての車両は冷却液オーバーフローパイプを取りつけた場合最低容量250cc以上のキャッチタンクを取り付けること。

燃料タンクブリーザー



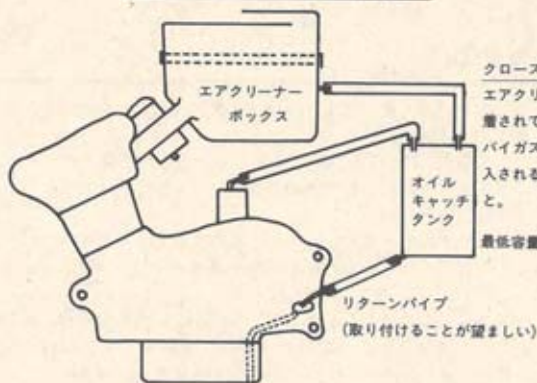
最低容量250cc

ラジエーターオーバーフロー



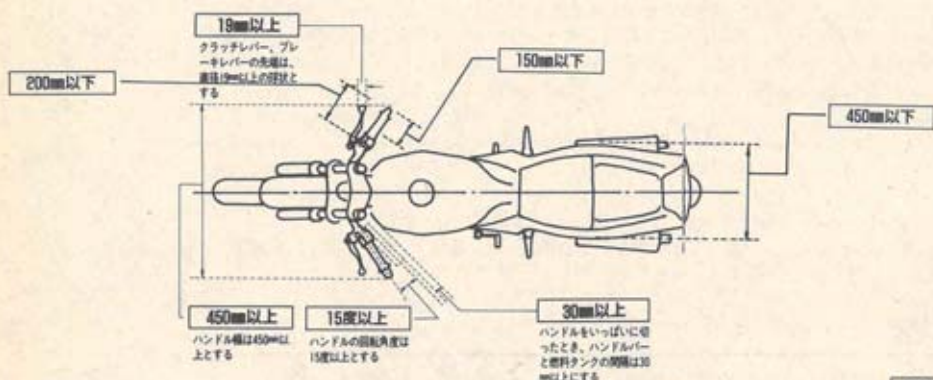
最低容量250cc

4サイクルエンジンのブリーザーシステム

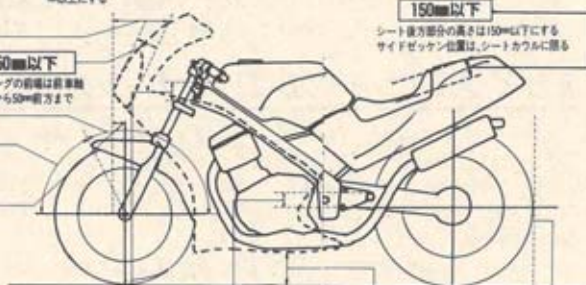


クローズドシステム  
エアクリーナーボックスが設置されていない場合、プロバイガスがキャブレターに吸入されるような措置を施すこと。

最低容量500cc



- 30度以内  
前面のナンバープレートは、垂直に対して30度以内の角度とする
- 50mm以下  
カワリングの前縁は前車輪の垂直から50mm前方まで
- 100度以上
- 45度～60度の間



丸めるφ10mm  
フットレスト、ペダル類の先端は丸められたものとする

100mm以下  
フットレストは、前後車輪の中心を結ぶ線の100mm上方より下側に、また後輪の中心を通る垂直線の前後に取り付けられることが必要

10mm以上  
フェンダーを取りつける場合は、フェンダー幅をタイヤ幅より左右それぞれ10mm以上とする

50度以上  
乗員用の状態で、タイヤを除くどの部分も傾斜することなく50度の傾斜角をもつこと

50mm前方  
カワリング前縁部の形状は、図の形状とする

20mm以上  
フットレストは、前後車輪の中心を結ぶ線の100mm上方より下側に、また後輪の中心を通る垂直線の前後に取り付けられることが必要

100mm以下  
フットレストは、前後車輪の中心を結ぶ線の100mm上方より下側に、また後輪の中心を通る垂直線の前後に取り付けられることが必要

100mm以上  
カワリング下縁と地面には100mm以上の隙間をとる

はみ出し禁止  
いかなる部品もこの垂直線より後方にはみ出さない

## モトクロス 基本仕様

### 01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトの使用は許可される。

### 02 スタート装置

- 1) スタート装置は正常に作動するものが義務づけられる。

### 03 エキゾースト・パイプ

- 1) エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たしてはならない。
- 2) エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差±10°)
- 3) 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出の仕方をしてはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、漏れたオイルの飛散を防ぐためのあらゆる措置が取られなくてはならない。
- 4) エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤ後方の垂直接線の後方に至ってはならない。

### 04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの幅は、600mm以上、850mm以下でなくてはならない。
- 2) 幅の測定はグリップラバーの最外側間で行う……142頁図参照
- 3) グリップの長さは150mmを越えてはならず、ハンドルバーの先端に取りつけられていてはならない。
- 4) 露出されたハンドルバーの先端には、固形物質を詰めるか、それがゴムでカバーされていなければならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する最低回転角度は20°以上でなくてはならない。……142頁図参照
- 6) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーに折れやすい部分を作らないために慎重に丸みをつけ、その製作には念を入れなくてはならない。
- 7) ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉砕材質でなくてはならず、手を入れるための開口部分が常に開いていてはならない。
- 8) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

### 05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボール状の直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、いかなる場合においてもその端部は丸くなっていてはならない。（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）これらの端部は固定されており、レバーと一体構造でなくてはならない。
- 2) ピボット点からボールの端まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを有し、そのレバー自体のピボットにマウントされてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合には、フットレストが曲がり、変形してしまうような場合を含む、いかなる状況においても作動できるようになっていてはならない。

## 06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手でおさえていない時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

## 08 フットレスト

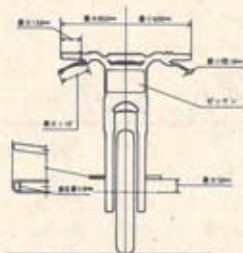
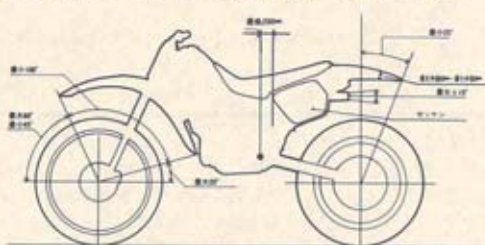
- 1) フットレストは折りたたみ式のものであってもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻す装置が設けられ、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの一体構造となったプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) もしフットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合には、その先端は半径が最低8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも50mmを越えて上に設けられてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線より前にはなくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作がしやすい位置にはなくてはならない。

## 09 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつの有効な、ホイールと同心的に独立して作動するブレーキが装備されていなくてはならない。

## 10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードはホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線とその垂直線に25°の角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部の後方に及んでいなくてはならない。
- 4) マッドガードの端部は半径最低8mm以上、60mm以下で丸められなくてはならない。
- 5) キャストホイール、または溶接されたホイールが使用される場合には、頑丈なディスクでスポークを覆う形でプロテクションが施されなくてはならない。



## 11 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングの装着は禁止される。

## 12 ホイールとタイヤ

- 1) ホイールとタイヤに制限はないが、スクープまたはパドル・タイヤ（横断面に連続したリップを持つ）あるいは高さが19.5mm以上のラグ（耳）を持つタイヤの使用は禁止される。
- 2) タイヤ表面に後から滑り止めスパイク、特殊チェーン等の装置を取りつけることは禁止される。

## 13 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) 一枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなくてはならない。ナンバープレートには数字の間に穴を開けてもよいが、いかなる場合においても、数字自体に穴を開けてはならない。
- 4) サイド・ナンバープレートは、リヤホイール・スピンドルを通る水平線より上に設けられ、ナンバ

ープレートの先端はライダーのフットレスト後方200mmのところを通る垂直線より後方に位置してはならない。ナンバー・プレートは、はっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしてはならない。

- 5) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 6) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消しで書かれなければならない。数字の最低寸法は下記の通りとする。

数字の高さ	140mm	ストローク幅	25mm
数字の幅	80mm	数字間のスペース	15mm

- 7) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 8) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 9) すべてのナンバープレートの周囲には、最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることが出来ない。
- 10) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

ジュニア……白地に赤文字	国内B級……白地に黒文字
国内A級……黄地に黒文字	国際B級……紺地に白文字
国際A級(125cc)……黒地に白文字	国際A級(250cc)……緑地に白文字

## 15 音量規制

- 1) 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後方500mmで、かつ中心線から45°で排気管と同じ高さとする。ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
- 2) ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルのないマシンについては、スタンドを立てて測定を受けなくてはならない。
- 3) 規制値に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられる。車検終了後サイレンサーを変更する事は禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 4) ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 5) rpmは、エンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数 (RPM)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$



- 6) 単気筒をこえるエンジンの音量計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 7) 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 8) 検査を受けるモーターサイクルは、エンジンの正確なピストンストローク値をクランクケースのはっきり見える場所にスタンプしておかなくてはならない。
- 10) 音量規制値  
2ストローク・エンジンについてはピストンスピード13m/secで測って100dB/Aまで、4ストローク・エンジンについては11m/secで測って100dB/Aまでとする。レース終了後は2dB/Aの許容誤差が認められる。 ※モトクロス競技細則④音量規制 [79頁] 参照
- 11) 周辺の音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 12) 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。

# トライアル 基本仕様

## 01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。チタニウム合金ナットとボルトの使用は許可される。

## 02 スタート装置

- 1) スタート装置は正常に作動するものが義務づけられる。

## 03 エキゾースト・パイプ

- 1) エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たしてはならない。
- 2) エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差±10°)
- 3) エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤ後方の垂直接線の後方に至ってはならない。

## 04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの幅は、600mm以上、850mm以下でなくてはならない。
- 2) 幅の測定はグリップラバーの最外側間で行う……146頁図参照
- 3) グリップの長さは150mmを越えてはならず、ハンドルバーの先端に取りつけられてはならない。
- 4) 露出されたハンドルバーの先端には、固形物質を詰めるか、それがゴムでカバーされていなければならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する最低回転角度は20°以上でなくてはならない。……146頁図参照
- 6) ハンドルを左右いっばいに切った時ライダーの指を挟まないように、ハンドルとタンクの間30mm以上のすきまを確保するように、ストッパーを取りつけなくてはならない。
- 7) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーに折れやすい部分を作らないために慎重に丸みをつけ、その製作には念を入れなくてはならない。
- 8) ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉砕材質でなくてはならず、手を入れるための開口部分が常に開いてはならない。
- 9) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

## 05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、いかなる場合においてもその端部は丸くなってはならない。（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）これらの端部は固定されており、レバーと一体構造でなくてはならない。
- 2) ピボット点からボールの端まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを有し、そのレバー自体のピボットにマウントされてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合には、フットレストが曲がり、変形してしまうような場合を含む、いかなる状況においても作動できるようになってはならない。



## 06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手でおさえしていない時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

## 08 フットレスト

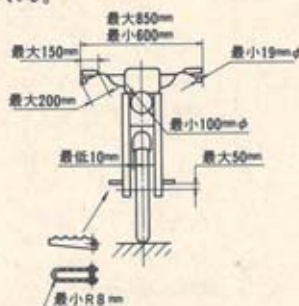
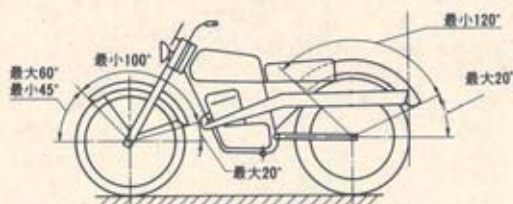
- 1) フットレストは折りたたみ式のものであってもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻す装置が設けられ、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの一体構造となったプロテクションが設けられていてはならない。
- 2) もしフットレストが折りたたみ式でない場合及びゴムのカバーを装着していない場合にはその先端は半径が最低8mm以上の球状に丸められていてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線（モーターサイクルに通常の荷重がかかった状態で）よりも50mmを越えて上に設けられていてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線より前になってはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作がしやすい位置になってはならない。

## 09 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつの有効な、ホイールと同心的に独立して作動するブレーキが装備されていなくてはならない。

## 10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していないてはならない。
- 2) フロント・マッドガードはホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしてなくてはならない。マッドガードの先端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水辺線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしてなくてはならない。リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線とその垂直線に25°の角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部の後方に及んでいてはならない。
- 4) インドアトライアル又はアーリーナトライアルのような公道を使用しない競技会では、リヤ・マッドガードの寸法はモトクロスの場合の寸法と同様とすることが許可される。

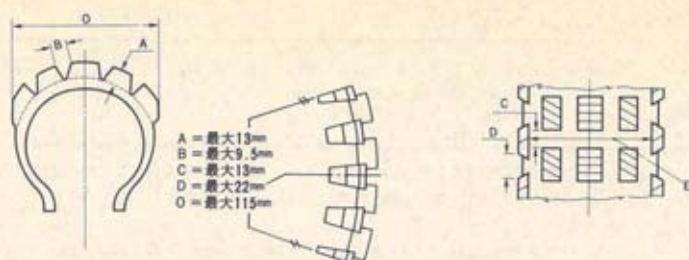


## 11 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングの装着は禁止されている。

## 12 ホイール、タイヤ

- 1) ホイールに正常に装着された状態でタイヤの全幅は、115mmを越えてはならない。
- 2) トレッドの深さ (A) はトレッド面から直角に測った場合、13mmを越えてはならない。同一円周のブロックはすべて同じ深さでなくてはならない。(図参照)
- 3) ブロック間のトレッドの幅は、タイヤ幅方向 (B) で9.5mm、円周方向 (C) で13mmを越えてはならない。
- 4) ショルダーブロック (D) 間のトレッド幅は、22mmを越えてはならない。
- 5) トレッド横幅 (E) は、タイヤウォールに直角に測った場合、ブロックで中断されていない限り、タイヤ全幅に及んでいなければならない。
- 6) すべてのトレッドブロック (ショルダーブロックを除く) は、タイヤの軸に対し直角そして平行な長方形でなければならない。(タイヤは、図に適合し、逆回転させても同じ外観でなければならない。)
- 7) タイヤは一般の購入者が入手できるマニファクチャラーの商品カタログ、またはタイヤ仕様リストに掲載されているものでなくてはならない。
- 8) これらのタイヤは、荷重、スピードコードに関してヨーロッパ・タイヤ・リム技術機構 (ETRTO) の定める条件に適合し、最低45Mの使用等級のものでなければならない。



## 15 音量規制

- 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線後方から45°で排気管と同じ高さとする。ただし高さが200mm以下である場合45°上方の点で行う。
- ノイズテストの際、ギヤボックスにニュートラルのないマシンについては、スタンドを立てて測定を受けなくてはならない。
- 規制値に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられる。車検終了後サイレンサーを変更する事は禁止される。但し同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達したときに行うものとする。
- rpmは、エンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数 (RPM)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$

30	31	32	33	34	35	36	37	38
6,500	6,290	6,094	5,909	5,735	5,571	5,417	5,270	5,132
39	40	41	42	43	44	45	46	47
5,000	4,875	4,756	4,643	4,535	4,432	4,333	4,239	4,149
48	49	50	51	52	53	54	55	56
4,062	3,980	3,900	3,824	3,750	3,679	3,611	3,545	3,482
57	58	59	60	61	62	63	64	65
3,421	3,362	3,305	3,250	3,197	3,145	3,095	3,046	3,000
66	67	68	69	70	71	72	73	74
2,955	2,910	2,868	2,826	2,786	2,746	2,708	2,671	2,635
75	76	77	78	79	80	81	82	83
2,600	2,566	2,532	2,500	2,468	2,438	2,407	2,378	2,349
84	85	86	87	88	89	90	91	92
2,321	2,294	2,267	2,241	2,216	2,191	2,167	2,143	2,120
93	94	95	96	97	98	99	100	
2,097	2,074	2,053	2,031	2,010	1,990	1,970	1,950	

上段：ピストンストローク (mm)  
下段：測定回転数 (RPM)

- 単気筒をこえるエンジンの計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 検査を受けるモーターサイクルは、エンジンの正確なピストンストローク値をクランクケースのはっきり見える場所にスタンプしておかなくてはならない。
- 音量規制値  
トライアルはピストンスピード6.5m/secで測って87dB/Aまでとする。レース終了後は1dB/Aの許容誤差が認められる。
- 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。

## 19 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- モーターサイクル及びその装置類は、特別規則 (SR) に記載されない限り、その車両が登録されている国の法的条件に適合していなくてはならない。

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

## 10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リ

ヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線とその垂直線に25°の角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部の後方に及んでいてはならない。

## 13 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は175mm×150mmとする。
- 2) ナンバープレートは1枚を車両の前面に見やすいよう前向きに取り付けなくてはならない。
- 3) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線。「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 4) 数字および地色に蛍光色は一切認められない。
- 5) 判読しづらい文字等は車検長に依りレース参加の許可を得ることが出来ない。
- 6) 国際A級及び国際B級部門についてはプレート部にライダーの名前を記入するものとする。

## 19 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) 灯火器のレンズの処理または取りはずし、保安部品(バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずしが義務づけられる。



# 第10章

## SPクラスの仕様

(国内B級以下)

— 吸入系の制限に対する処置 —

SP・SSクラスともにキャブレターの口径規制が実施され、1993年1月1日からは規則に合致するように処置をすることが義務付けられる。

### 01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
400	250を越え400以下	×	○	4	6
250	125を越え250以下	○	×	2	6
250F	125を越え250以下	×	○	4	6
125	80を越え125以下	○	○	1	6
80	50を越え80以下	○	○	1	6
50	50以下	○	○	1	6

### 02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの、又はSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両のホイールリムの最大幅は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鑄造及び形状
- 5) クラッチの構造(但しディスクの材質とスプリングは除く) - 04.22)参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクル車のシリンダー、ピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 11) クランクケースカバー類の材質・鑄造および形状
- 12) シリンダー(2サイクル)、シリンダーヘッド(4サイクル)のポートの形状、寸法
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー
- 16)(1) キャブレター(但し公認キャブレターの使用は可。04.16)。(4)および08.3)。(1)参照
- (2) マニホールドタイプのフュエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限り認められる。
- 17) フュエルタンク(給油口及びフュエルコックを除く)
- 22) プライマリーギヤ
- 23) ミッション04.23)参照
- 27)(1) 予告事項: '94年1月1日よりエアクリナーボックスの仕様の変更は禁止される。  
予告事項: '94年1月1日より4サイクルエンジンのオリジナルのブリーザーシステムの部品の仕様の変更は禁止される。

- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 (但しパッド材質とブレーキホースを除く)
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 (但しパッド材質とブレーキホースを除く)
- 50) フレームボディ
- 51) フロントフォーク
- 52)(1) リヤフォーク
- (2) リヤサスペンション、サスペンションのシステム
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ
- 54) ストリームライニングの外観形状

## 04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様 (第7章) には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
- (2) エアーファンネルの取り付け又は寸法の変更 (キャブ本体は除く)
- (3) リストリクターの取り付け  
リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
- (4) 公認キャブレターの使用 (マグネシウム等高価素材のものは公認されない)
- 17)(1) フュエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
- (2) フュエルパイプ、フュエルコックの変更
- 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更 (但し音量規定に適合していること)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 23) ミッションギヤのレシオ (但し公認部品に限られる)
- 27) エアクリーナーボックスの改造又は取り外し  
予告事項、'94年1月1日よりエアクリーナーボックスの改造または取りはずしは禁止される。
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 48) タイヤは変更出来るがMFJ公認SP用タイヤに限られる。ウエット時はレーシングレインの使用が認められる
- 50) フレームボディの不要なステー類のカット (但しフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと)
- 51)(1) フロントサスペンションのスプリングの変更
- (2) フロントフォークの剛性アップの為にスタビライザーの取り付け
- 52) リヤサスペンションのスプリングの変更
- 54) カウリングの材質 (但しカーボン、ケブラー等の高価素材を除く)
- 55)(1) シートカウルの形状・材質 (但しカーボン、ケブラー等の高価素材を除く)
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。  
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること (メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)  
仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう (ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンバー等)
- 60)(1) 不要なステー類 (シートレールの一部含む) のカット
- (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加

## 05 重量

SPクラスの最低重量は下記のとおりとする (半乾燥重量)。

クラス	最低重量
400	145kg
250	115kg
250F	130kg
125	100kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下
125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストラクターによって口径を調整しなければならない。
- 17)(1) フューエルタンクの給油口を改造した場合、ワンウェイバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク (250cc以上) の取り付け。
- (2) 電動式フューエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフューエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc)
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け (容量は4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上)。
- (2) 4サイクルエンジンのキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること (図参照)
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない)。
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品 (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類) の取り外し。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用 (チタン合金、ケブラー、カーボン強化繊維等の高価な材料)。  
(93年からカーボンサイレンサーも完全禁止となる)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーをつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入出来るか、各サーキットのスタンドで購入出来るレースガス又はアブガスに限る。

## 08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。  
\*最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効する。
- 3) 車両は以下の条件に適合している事
- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下
125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

(2) ホイールリム最大幅

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

(3) 01条のクラス区分に適合していること（排気量内にあること）。

4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

## 09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。

レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

注意事項：93年1月1日より規制値は99dB/Aとなった。

## 10 互換性

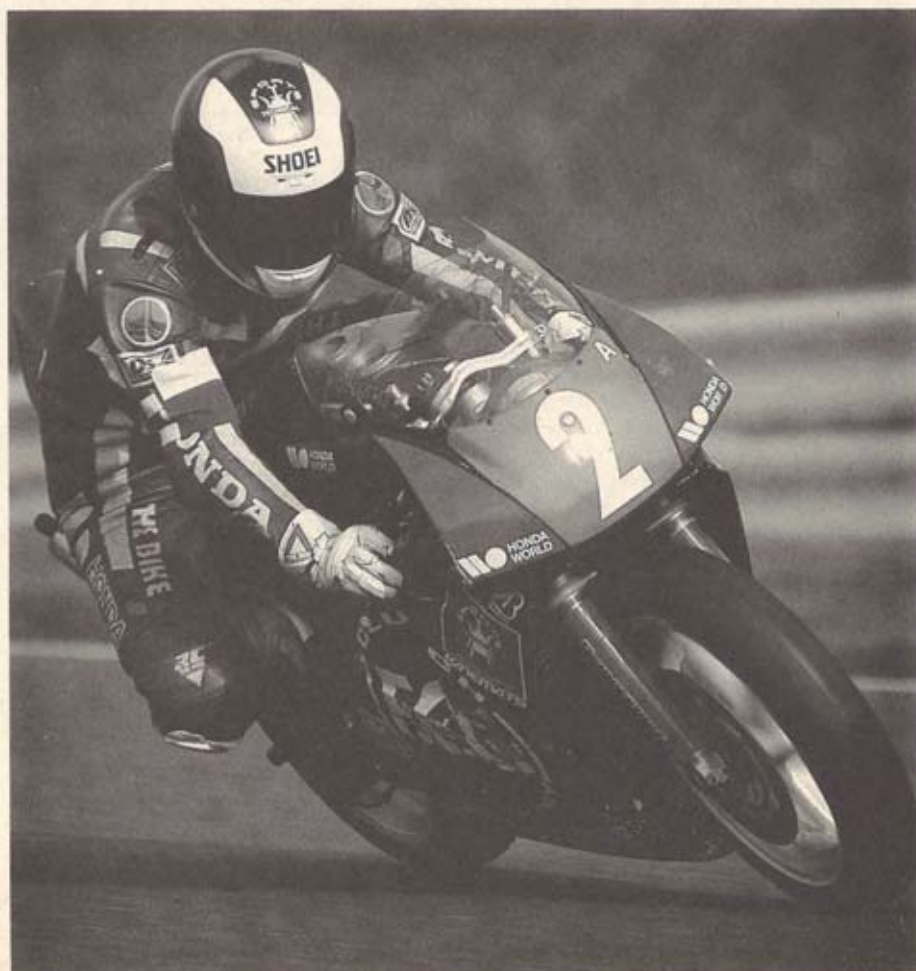
フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にある場合は、一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種の打刻型式に基づき判断される。)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組み合わせは禁止される)



# 第11章

## SSクラスの仕様

(国際A級・国内A級)

— 吸収系の制限に対する処置 —

SP・SSクラスともにキャブレターの口径規制が実施され、1993年からは規則に合致するように処理をすることが義務付けられる。

### 01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限定速段数
750	400を越え750以下	×	○	4	6
400	250を越え400以下	×	○	4	6
250	125を越え250以下	○	×	2	6

### 02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの。又はSP/SS用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両のリム幅(最大限リム幅)は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	5.25インチ
750以下	3.5インチ	6.25インチ

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない。

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状
- 5) クラッチ構造(但しディスクの材質とスプリングは除く)-04.22)参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4サイクル車のバルブの径
- 8) 2サイクル車の一次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造及び形状
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー
- 16)(1) キャブレター(但し公認キャブレターの使用は可。08.3).(1)参照)
- (2) SS750のキャブレターは車両公認時のものに限る。
- (3) マニホールドタイプのフュエルインジェクションは公認車両に装備されているもの限り認められる。
- 17) フュエルタンク(給油口及びフュエルコックを除く)
- 22) プライマリーギヤ
- 27)(1) 予告事項: '94年1月1日よりエアクリーナーボックスの変更、取りはずしは禁止される。
- (2) 予告事項: '94年1月1日より4サイクルエンジンのオリジナルのブリーザーシステムの部品の仕様の変更は禁止される。
- 50) フレームボディ
- 52)(1) リヤフォーク
- (2) リヤサスペンションのシステム
- 54) ストリームライニングの外観形状



## 04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様（第7章）に適合していることを条件とする

- 7) 4サイクルのシリンダーヘッドの面削に依る圧縮比の変更（但し燃焼室形状は変更出来ない）
- 8(1) 2サイクルのシリンダーへの追加加工（切削に限る）に依るポートタイミングとポートエリアの変更。
- (2) 2サイクルのシリンダーヘッドの面削による圧縮比の変更（但し燃焼室形状は変更できない）
- 10) 4サイクルのシリンダーヘッドのポートの追加加工（切削に限る）による拡大。
- 12) 4サイクルのシリンダーヘッドのガスケット面の面削。
- 14) カムシャフトは追加加工（切削に限る）に依るバルブリフト量、タイミングの変更。
- 16(1) キャブレターのセッティング（取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲）
- (2) エアファンネルの取り付け又は寸法の変更（キャブ本体は除く）。
- (3) リストリクターの取り付け  
リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
- (4) 公認キャブの使用（マグネシウム等の高価素材のものは公認されない）
- 17(1) フューエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
- (2) フューエルパイプ、フューエルコックの変更
- 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更（但し音量規定に適合している事）
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 23) ミッションギヤのレシオ（但し公認部品に限られる）
- 27) エアークリーナーボックスの仕様の変更
- 予告事項：'84年1月1日よりエアークリーナーボックスはオリジナルをベースとした改造に限定して許可される。
- 42(2) リヤホイールは交換出来るが、最大限リム幅は下記のとおりとする。
- 43) リヤブレーキ関係は改造・変更出来る。
- 44(1) フロントホイールは交換出来るが最大限リム幅は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	5.25インチ
750以下	3.5インチ	6.25インチ

- 45) フロントブレーキ関係の改造変更
- 50(1) フレームボディの補強
- (2) 不要なステー類の取り外し 但しフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと。
- 51(1) フロントサスペンションユニットの交換（但し公認部品に限る）限る。
- (2) フロントフォークの剛性アップのためのスタビライザーの取り付け
- 52(1) リヤフォークの補強
- (2) リヤサスペンションユニットの交換（但し公認部品に限る）
- (3) リヤサスペンションスプリングの変更。
- 54) カウリングの材質（但しカーボン、ケブラー等の高価素材を除く）。
- 55(1) シートカウルの形状・材質（但しケブラー、カーボン等の高価素材を除く）。
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。  
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の交差内で意図的に選定すること（メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等）。  
仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業を言う（ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンバッションチャンバー等）。
- 60(1) 不要なステー類（シートレールの一部含む）のカット
- (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加

## 05 重量

SSクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

クラス	最低重量
750	165kg以上
400	145kg以上
250	115kg以上

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃焼とみなす。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 16) (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下

注) キャブレターサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストラクターによって口径を調整しなければならない。
- 17) (1) フェエルトンクの給油口を改造した場合、ワンウェイバルブ付きオーバーフローパイプとキャッチタンク (250cc以上) を取り付けなければならない。
- (2) 電動式フェエルトンクを装備している場合は、転倒の際にただちにフェエルトンクが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)。
- 27) (1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上)。
- (2) 4サイクル車のキャッチタンクからのブローバイガスは、エンジンに再吸入させること (図参照)。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に取り付けなくてはならない)。
- 36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
- 38) 保安部品 (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類) の取り外し。
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用 (チタン合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)。

(カーボンサイレンサーは1993年より完全に禁止される)

- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入出来るか、各サーキットのスタンドで購入出来るレースガス又はアブガスに限る。

## 08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確になっていること。  
\*最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効、発売日が会議日以降の場合は発売日から2ヶ月後に公認発効される。

- 3) 車両は以下の条件に適合している事

- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下

注) キャブレターサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリムの最大幅

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	5.25インチ
750以下	3.5インチ	6.25インチ

- (3) 01条のクラス区分に適合していること (排気量内にあること)。
- 4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

## 09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。  
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。  
注意事項：93年1月1日より規制値は99dB/Aとなった。

## 10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内においては一切の追加加工なしで、単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種種の打刻型式に基づき判断される)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組み合わせは禁止される)



## 耐久レースの追加仕様

(各クラス)

### 01 クラス区分

一般生産型車両をベースとした下記カテゴリーで行われる。(SBとTT-F1はFIM規則とする。)  
SP SS

### 02 出場車両

- 1) 一般生産型車両でMFJが公認し、参加しようとする各クラスの仕様に適合していること。
- 2) ロードレースの基本仕様に合致していること。
- 3) 耐久用の仕様を満たしていること。

### 05 重量

それぞれの定められた最低重量に3kgを加えることとする。

### 11 耐久仕様

- 1) 車両は公認された状態の、確実に作動するスタート装置を備えていること。
- 17)(1) フュエルタンクは給油口を改造することは認められるが、位置は変えられない。
- (2) 給油口は最大直径62.5mmとし、2ヶ所取り付けが許可される。
- (3) タンク容量は以下の通りとする。
 

SS750	24ℓ以下
SS400・SP400	18ℓ以下
SS250・SP250	18ℓ以下
SP250F	15ℓ以下

 各クラスとも最大限容量を増やすための改造は認められるが、サイドからの外観上は変えられない。
- (4) 燃料は、マシンにしっかりと固定されたひとつのタンク内に入れられるものとする。シートタンク、および補助タンクは禁止される。すべての競技において給油のために簡単に脱着できる取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 31)(1) レースが夜間にかかる場合は公認された発電・充電装置を備えていること。これらはレース期間中に正常に作動するものであること。
- (2) 灯火器はヘッドライトとテールライト、ストップランプは正常に作動すること。またエキストラのライトを追加することは認められる。
- 42) ホイール交換を容易にするための改造は、各々のクラスの改造範囲でなければならない。
- 43) ブレーキ廻りのメンテナンス性向上のための改造は、各々のクラスの改造範囲内でなければならない。
- 49) ジャッキアップのための装置は一部をマシンに取りつけてもよいが、ストリームランニングから外側にあってはならず、レース期間中確実に固定されていること。これらはマシンの重量に含まれるものとする。

# 第14章

## 国内ロードレース GPクラスの仕様

(国内B級以下)

### 01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限定速段数
50	～50以下	1	6
80	50を越え 80以下	1	6
125	100を越え 125以下	1	6
250	175を越え 250以下	2	6

### 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様（第7章）に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のリム幅（最大限リム幅）は下記のとおりとする。

クラス	最大幅
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) (1) クランクケース
- (2) 市販レーサーのシリンダー、シリンダーヘッド (10条参照)
- 10) バルブ、ポート、キャブの数
- 16) キャブレター (10条参照)
- 23) 市販レーサーのミッションギヤ (10条参照)
- 29) 特殊な高価な材質の使用……………チタン合金等
- 50) (1) 市販レーサーのフレームボディ
- (2) 一般市販車のフレームボディ (但し不要なステー類のカットと補強を除く)
- 51) 市販レーサーのフロントフォーク (10条参照)
- 52) 市販レーサーのリアフォーク及びサスペンションとリンク (10条参照)

### 04 公認車両に対して下記事項の変更出来るが、ロードレース基本仕様（第7章）に適合していることを条件とする

- 12) (1) シリンダーの切削によるポートタイミングとポートエリアの変更。
- (2) シリンダーヘッドの切削に依る圧縮比、燃焼室の形状変更。
- 16) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)。
- 50) フレームボディの補強 (一般生産型車両に限る)。
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更。
- 52) リアフォークの補強とリアサスペンションのスプリングの変更。
- 60) フレームボディとリアフォークを除き軽量化のための改造は出来るが、最低重量以上であること。

## 05 重量

- 1) GPクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

クラス	最低重量
50	70kg
80	70kg
125	70kg
250	95kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。  
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。  
ダミーウエイトによる調整は認められない。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

- 17) (1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ワンウェイバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク（250cc以上）の取り付け。  
(2) 電動式フュエルポンプを装備している場合は転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け（250cc以上）。
- 27) (1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け（4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザーは250cc以上）。  
(2) 4サイクル車のキャッチタンクからのブローパイプガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に）。
- 36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし。
- 56) すべてのオイルドレンボルト及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金）
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入できるか、各サーキットのスタンドで購入できるレースガス又はアブガスに限る。

## 08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。  
\*最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きで公認発効する。発売日が会議日以降の場合は発売日2ヶ月後の同日付きで公認発効とする。但し市販レーサーは各々1ヶ月後とする。
- 3) 車両は以下の条件に適合していること。

- (1) 最大限リム幅

クラス	最大幅
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

- (2) 01条のクラス区分内にあること

## 09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し105dB/A以下のこと。  
2サイクルは13m/s、4サイクルは11m/sのピストンスピードとする。  
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

## 10 互換性

1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にある場合は一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互の交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種種の打刻型式に基づき判断される)

2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが出来る。

- (1) ミッションアッセンブリーまたは単品
  - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
  - (3) リヤサスペンションユニットおよびリンク関係
  - (4) リヤフォーク
  - (5) キャブレター
  - (6) シリンダー
  - (7) シリンダーヘッド
- 3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。
- (1) ミッションギヤ
  - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは部品
  - (3) リヤサスペンションユニット、アッセンブリーまたは部品
  - (4) リヤフォーク
  - (5) キャブレター
  - (6) シリンダー
  - (7) シリンダーヘッド

注) 部品公認申請条件を満たしていること。



# 第15章

## 国内モトクロスの仕様

(国際B級、国内A級、国内B級)

### 01 クラス区分

クラス	排気量	最大限気筒数	最大限変速段数
80	~80以下	1	6
125	100を越え125以下	1	6
250	175を越え250以下	1	6

\*ジュニアクラスは80cc以下に限定される。

### 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様(第8章)に示されているすべての条件に適合していること。

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式。
- 2) シリンダーの数。
- 3) ピストンストローク。
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鑄造及び形状。
- 10) 吸排気系のバルブ、ポート及びキャブの数。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 16) キャブレター。
- 19) 冷却方式の変更。
- 23) ミッションギヤ。
- 50) フレームボディー。
- 51) フロントフォーク。
- 52) リヤフォーク、リヤサスペンションユニット及びサスリンケージ。

### 04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする

- 5) クラッチの構造。
- 11) クランクケースカバーの材質、形状。
- 13) クランクシャフト(但しストローク変更は不可)、ピストン、リング。
- 16) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)。
- 17) フューエルタンク、フューエルコック、フューエルライン。
- 18) エキゾースト系(但し音量規定に適合していること)。
- 19) 冷却系(但し方式の変更は不可)。
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更(但し方式の変更は不可)。
- 41) ファイナルレシオ。
- 42) リヤホイールの変更。
- 43) リヤブレーキ関係の変更。
- 44) フロントホイールの変更。
- 45) フロントブレーキの変更。
- 48) タイヤの変更。
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更。
- 52) リヤサスペンションのスプリングの変更。
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で



意図的に選定すること。(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各 부품の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンバー等)

## 05 重量

- 1) 各クラスの最低車両重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80	61kg
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。  
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。  
ダミーウェイトによる調整は認められない。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない)。  
36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし。  
38) 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずし。  
56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材質の使用。(チタニウム合金)  
42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金素材部品の使用。  
44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金素材部品の使用。  
58) ガソリンは通常のスタンドで購入できるか、各サーキットのスタンドで購入できるレースガス又はアブガスに限る。

## 08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー又は、一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	10台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効する。ただし市販レーサーは各々1ヶ月後とする。

## 09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し99dB/A以下のこと。2サイクルは13m/s、4サイクルは11m/sのピストンスピードとする。  
レース終了後は、2dB/Aの誤差値が認められる。

## 10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式が同一モデル内にあっては、一切の追加加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。  
2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが認められる。  
(1) ミッションアッセンブリーまたは単品  
(2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品  
(3) リヤサスペンションユニットまたはリンク関係  
(4) リヤフォークアッセンブリーまたは単品  
(5) キャブレター  
(6) シリンダーコンプリート  
(7) シリンダーヘッドコンプリート  
3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。  
(1) ミッションギヤセットまたは単品  
(2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品  
(3) リヤサスペンションユニットアッセンブリーまたは単品  
(4) リヤフォークコンプリート  
(5) キャブレター

- (6) シリンダーコンプリート  
 (7) シリンダーヘッドコンプリート  
 注) 部品公認申請条件を満たしていること。

## 第15章 補則 ジュニア部門の仕様

### 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。  
 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様(第8章)に示されているすべての条件に適合していること。

### 03 公認車両に対し、下記04条以外の改造、変更は認められない

### 04 公認車両に対し、下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする

- 24) チェンジベダル  
 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更。(但し方式の変更は不可)  
 34) ポジション変更目的のコントロールワイヤーの変更  
 40) ドライブチェーン  
 41) ファイナルレシオ  
 46) プレーキベダル  
 48) タイヤの変更  
 50) ステップ類  
 53) ハンドル及びその付属品  
 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。  
 調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)  
 仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンバー等)



## 第16章

# 国内トライアルの仕様

(国内A級、国内B級、ジュニア)

### 01 クラス区分

排気量によるクラス区分は特に設定しない。

### 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びトリアル基本仕様(第9章)に示されているすべての条件に適合していること。

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鑄造及び形状
- 10) 吸排気系のバルブ、ポート及びキャブの数
- 42) リヤホイールスピンドルの材質の変更
- 44) フロントホイールスピンドルの材質の変更

### 04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、トリアル基本仕様(第9章)に適合していることを条件とする

- 48) タイヤは変更できるが、MFJ公認トリアルタイヤに限られる。タイヤにはチェーン、スパイクを装備する等、改造を加えてはならない。
- 50) フレームボディーの改造
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。  
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)  
仕上げとは、各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンバー等)

### 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 23) カウンターシャフトスプロケットには、指を挟まないようなカバーを取りつけること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け。
- 36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし。
- 38) 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずし。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へは、ゆるみ、脱落等によるオイル漏れをおこさないような処置を施すこと。

### 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材質の使用。(チタニウム合金)
- 58) 燃料は、一般市販ガソリン(民間航空機用の市販ガソリンでも可)でなければならない。  
燃料やオイルにはオクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤を加えてはならない。

## 08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー、又は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	5台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効とする。但し市販レーサーに限り、各々1ヶ月後とする。

## 09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し87dB/A以下のこと。6.5m/sのピストンスピードとする。  
レース終了後は、1dB/Aの誤差値が認められる。

## 10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式が同一モデル内にあっては、一切の追加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。



# FIM 技術仕様

## ロードレース

以下のクラスはFIM技術仕様にて開催される。

国際A級/国内A級：GPフォーミュラクラス

国際A級：TT-F1クラス

国際A級：スーパーバイククラス

以下の種目別仕様とMFJ技術規則第7章ロードレース基本仕様に合致していることとする。種目別仕様と基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は種目別仕様を優先する。

## FIM規則01章 GPフォーミュラの技術仕様

### 01 クラス区分

カテゴリー	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
GP 125	80を越え125以下	1	6
GP 250	175を越え250以下	2	6
GP 500	350を越え500以下	4	6

注) 国内競技会においては当分の間、500ccクラスの排気量区分を「250を越え500以下」とする。

- 1) エンジンのシリンダー数は、燃焼室の数で決定される。
- 2) もし燃焼室が分けられている場合、それらは総吸気ポートエリアの最低50%にあたる通路によって連結されていなければならない。

### 02 出場車両

- 1) 車両の選択に制限はない。
- 2) 車両はMFJ技術仕様第7章ロードレース基本仕様に示されるすべての条件に適合していなければならない。

### 05 重量

GPクラスの最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
125	70kg
250	95kg
500	130kg (4気筒)、115kg (3気筒)、100kg (1~2気筒)

\*半乾燥重量は走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

### 12 ホイールリム幅

各クラスのリヤホイール幅の制限は下記とする。

クラス	最大幅
125	3.5インチ
250	5.5インチ
500	6.25インチ

## 13 ナンバープレート

各クラスに下記の色が指定される。

- 125 黒地に白文字
- 250 緑地に白文字
- 500 黄地に黒文字

## ロードレース・スポーツプロダクションフォーミュラ (TTフォーミュラ・スーパーバイク)

スポーツ・プロダクション用のモーターサイクルは、現在量産されているモーターサイクルで、ハイ・パフォーマンス・マシンを入手することを希望する一般の人々が購入できるものとする。スポーツ・プロダクション・レース用に認可されるモーターサイクルは、カタログに載っているスタンダードの量産モデルで、過去5年以内に生産され、公道で一般的に使用されるために販売され、ライト類を完全に装備したものである。

モーターサイクルはすべての点で、1968年度のウィーン協定に基づくものとし、これはマシンを生産する国がこの協定に調印していない場合でも同じとする。

これらの規則は、下記の目的で設定された。

- 外観上できるかぎり量産車に近づける (TTフォーミュラは例外とする)。
- チューナーに自由を与えたと同時に、コスト的に制限する要素を設ける。
- 通常の市販ルートを通じて、充分な量のイクイップメント (装備) が入手できるレーシング・クラスを設ける。
- アフターマーケット・サプライヤー (供給者) に興味を抱かせる。
- スピードと馬力を安全なレベルに保てるようにする。
- ヴァンケル2:3は許可されない。

すべてのモーターサイクルは、すべての点において、本規則に明記されているロードレースの必要条件をすべて満たしてはならない。

論議が生じた場合には「スポーツ・プロダクション」仕様に優先権がある。

スポーツ・プロダクション用のモーターサイクルは、全て認証を受けなくてはならない (事項61.08参照)。スポーツ・プロダクション用のモーターサイクルは、カテゴリーI、グループA1に属するものでなくてはならない。

## スーパーバイクの技術仕様 (FIM規則01章60条)

### 01 クラス区分

	4ストローク	気筒数
スーパーバイク	400を越え 750以下	3または4
	550を越え1000以下	2

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー (ライナー及びスリーブ含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質と鑄造 (キャスト) ング。シリンダーは当該クラスの排気量上限内であればライナー、スリーブの修理ができる。オリジナルの素材と表面処理は保持されなくてはならない。
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き。
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数。(事項59.04.5にも注意)
- 11) 燃料が直接燃焼室にインジェクトされる真のフュエル・インジェクションは認可されない。マニホールド・タイプ、フュエル・インジェクションは、それが認可されたモデルに採用されているプロダクション (量産) ・ユニットであることを条件に認可される。
- 13) キャブレター、またはその他の吸気装置 (インジェクター) はシリンダーヘッドフランジからキャブレター (インジェクター) の反対側までのサイズ、タイプ、取りはずし可能なジェットの数、およびエンジン製造業者のパーツナンバーが、寸法を記入したインダクション・トラクトの図とともに認可書類にリストアップされてはならない。キャブレターボディ、インジェクターボディ、あるいはバタフライバルブ内のインダクショントラクトの改造または研磨は許可されない。
- 15) フレーム (ステアリング・ヘッドからリヤのシート・サポーターまで) とその構造材質。ガゼット (補強板) またはチューブを追加することはできるが、本来存在するガゼット、またはチューブを取り外してはならない。(事項01.26に参照)
- 16) オリジナルのリヤ・スイングアーム・システム (ダブル、またはシングル)、及びサスペンション・

リンケージ・システムは維持されなくてはならない。

- 54) ストリームライニング、フェアリング、およびシートに隣接するリヤ・パーツは認可されたデザインに適合しなくてはならない。

## 04 公認車両に対し下記事項の変更ができる

(これは明確化の目的のためであり、このリストに載っていない他のパーツも変更あるいは交換されてよい)

- 1) ボアはシリンダーのパタンを変更しなければ増大されても良いが、ただしこの増大によってそのクラスのリミットを越えてはならない。
- 2) シリンダー、シリンダー・ヘッド、クランクケースおよびギヤ・ボックス・シェルにおいては、材質は溶接または機械作業によってのみ追加されたり削除されたりすることができる。ストック・パーツの研磨および軽量化は許可される (事項59.03.13にも注意)。
- 3) エンジン内部の動くパーツ、ギヤボックスおよびクラッチ・パーツは改造されても交換されてもよい。
- 4) ギヤ・レシオ。ギヤの仕様。6速までに制限されたギヤ段数、スプロケット。
- 5) エキゾースト・パイプ、サイレンサーとその外形。
- 6) フットレストの位置を変更してもよいが、これはリヤ・ホイールの手前に設けられなくてはならない。
- 7) モーターサイクルにはどのようなタイプのハンドルバーを装着しても良い。
- 8) フロント・フォークは全体的あるいは部分的に交換可能だが、認可されたモデルのそれと同じタイプ (リーディング・リンク、テレスコピック等) でなくてはならない。
- 9) リヤ・ショック・アブソーバーは変更、または取り付け位置を変えても良い。ただし、それと同等のシステムが採用されなくてはならない。すなわち、デュアル・ショックか、モノ・ショックかということ。スイングアームは改造されても交換されてもよい。(事項59.03.16も参照)。
- 10) 燃料タンクは、外から見えるならば外観上は認可されたモデルのそれと同じでなくてはならない。オリジナルのタンクを変更して、最大容量を達成することは許可される。  
燃料タンク・ベンチレーション・パイプには燃料が流出するのを防ぐデバイスが設けられなくてはならない。タンクの両側の間にあるクロス・オーバー・ラインは許可される (最大内径10mm)。プラクティス中に使われたのと同じサイズの燃料タンクが、大会期間中使われなくてはならない。
- 11) オリジナルのオイル・クーラーは、マシンの外観を変更しない範囲において変更および追加が認められる。
- 12) 16インチ以下のホイール・リムの使用は認められない。鑄造、鑄型、リベット・タイプのホイール、または軽合金リムが認められる。
- 13) マッドガード (フェンダー) は、外観上オリジナルと同じでなくてはならないが、ホイールとタイヤのサイズ変更に合わせて位置を変えることが許可される。追加のマッドガードをスイングアームに取り付けることができる。
- 14) ストリームライニング、燃料タンク、フェアリングおよびリヤ・シートに隣接したリヤ・パーツの材質は変更されても良い。
- 15) シートは改造されても交換されてもよい。
- 16) キック・レバー、ペダル、スターター・クランク・ギヤ、およびスターター・シャフトを含む電動、あるいはマニュアルのスタート・システムは取り外し可能。ただし、耐久の場合は例外とする。
- 17) エアクリーター・エレメント、ツールボックスとライセンスプレートブラケットは取り外すことができる。エアクリーター・ボックスは改造できる (レース用の特別なデザインは認められる)。クローズドブリーザーシステムは保持されなくてはならない。直接大気へ排気することは厳禁される。
- 18) 確動圧を含むオイル・ラインは、もし変更されるならばスチール製の構造で、型鉄で曲げた、またはネジ山式のコネクターを持ってはなくてはならない。
- 19) ステアリング・ダンパーは追加されても良いが、装着方法は正当な方法に従ったものとする。既存のステアリング・ストップが適切でない場合、金属製のステアリング・ストップをフレームに取り付けることができる。いかなる場合においても、ダンパーはステアリング・ロック・リミティング・デバイスとしての役目を果たしてはならない。最低ステアリング・ロックは15°とする (事項01.33にも注意)。
- 20) キャブレッター・ジェット、スロットル・バルブ、およびニードル (バタフライではない) のサイズ。

## 05 車重

液冷モーターサイクルの場合、燃料なしの状態でも重量測定するが、測定の前に水がラジエーターに追加されてもよい。ラジエーターに水を追加するのみでレース後、指定の車重に適合しなくてはならない。(事項01.19にも注意)。

排気量区分	気筒数	最低重量
400ccを越え 750cc以下	4 気筒	165kg
550ccを越え 1000cc以下	2 気筒	140kg

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) モーターサイクルには、始動しているエンジンを停止することのできる機能的なイグニッション・キル・スイッチ、またはボタンが、ハンドル・バーの右あるいは左に設けられていなくてはならない（グリップを握って届く位置になくなくてはならない）。
- 2) セーフティ・バー、センターおよびサイド・スタンドは取り外されなくてはならない（固定されたブラケットはそのままでも良い）。
- 3) すべてのドレーン・プラグは、ワイヤー・ロックされなくてはならない。外部のオイル・フィルター・スクリュウおよびボルトでオイルキャビティに進入するものは、すべて安全にワイヤー・ロックされていなくてはならない。
- 4) ブリーザー、またはオーバーフロー・パイプが装備される場合、これらは現存する排出口から排出しなくてはならない（事項57.02に基づいて）。オリジナルのクローズド・システムは維持されなくてはならない。直接大気へ排気することは許可されない。
- 5) オイル・クーラーはリヤのマッドガード（フェンダー）の上、又はそれよりも上に設けられてはならない。
- 6) ヘッドライト、テールライト、およびウインカーは取り外されなくてはならない。

## 08 認証の手順

認証の手順についてはFIM規則参照。

# TTフォーミュラの技術仕様 (FIM規則01章60条)

TTフォーミュラ用モーターサイクルのエンジンは、現在量産されているモーターサイクル、ハイ・パフォーマンス・マシンを入手することを希望する一般の人々が購入できるものとする。スーパーバイク用に認可されたモーターサイクルは、追加の認可を受けずにTT-F1用に使用、または改造できる。

エンジンは、各排気量リミットを越えることが15%まで許可される。ただし、この場合ボアを縮小して、その競技会のクラス・リミット内に納めることを条件とする。

## 01 フォーミュラTTのクラス

	2ストローク	4ストローク	最大気筒数
TT-F1	250を越え500以下	400を越え 750以下	4
		550を越え1000以下	2

\*1992年より4サイクル過給型はみとめられなくなった。

## 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数、吸排気バルブの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー、シリンダー・ヘッド、クランクケースおよびギヤ・ボックス・シェルの材質とキャスティング（鋳造）。
- 9) クランクケースと関連したシリンダーおよびシリンダー・ヘッドの位置。
- 10) バルブ数および2ストローク・エンジンにおけるポート数（すなわちキャブレターの数）を含む吸排気システム。（事項60.04.5にも注意）。
- 11) 燃焼室に直接燃料が噴射される真のフュエル・インジェクションは許可されない。マニフォールド・タイプのフュエル・インジェクションは許可される。

## 04 公認車両に対し下記事項の変更ができる

- 1) シリンダーのパターンを変更することなく、ボアを拡大することができる。ただし、この拡大によって、当該マシンが本来登録されているクラスのリミットを越えるようなことがあってはならない。規定されていないモーターサイクルの部分に関しては、完全な選択の自由が与えられる。
- 4) 6速に限定されるギヤ数は、ギヤボックス・シェルに変更が加えられないということを条件に変更できる。
- 5) エキゾースト・パイプおよびサイレンサーの最大ノイズ・レベルはロードレースの規定通りとする。



## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) モーターサイクルには、始動しているエンジンを停止することのできる機能的なイグニッション・キル・スイッチ、またはボタンが、ハンドル・バーの右あるいは左に設けられていなくてはならない。(グリップを握って届く位置になくてはならない)。
- 2) セーフティバー、センター及びサイド・スタンドは取り外されなくてはならない。(固定されたブラケットはそのままでも良い)。
- 3) すべてのドレーン・プラグは、ワイヤー・ロックされなくてはならない。外部のオイル・フィルター・スクリーンおよびボルトでキャビティに進入するものは、すべて安全にワイヤー・ロックされなくてはならない。
- 4) オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手がとどく場所に設けられ、競技開始前に空にすることが義務づけられたオイルキャッチタンクに行われなければならない。オイルキャッチタンクの最低サイズはギヤボックスブリーザーパイプの場合には250ccとし、エンジンブリーザーパイプの場合には500ccとすることが望ましい。オリジナルのクロズドシステムは保持されていなくてはならない。大気への直接放出は厳禁される。
- 5) オイルクーラーはリヤ・マッドガードの上、または上方に設置されてはならない。

## 耐久の追加仕様

- 1) 本来すべてのモーターサイクルには、正常に作動する電装類が完全に装備されなくてはならない。フロントのヘッドライトを追加することが許可される。
- 2) ライト点灯が要請されるレースにおいては、モーターサイクルに二つの別個のリヤ・ライトと、作動するジェネレーター (最低出力100W) を装備することが義務づけられる。電装類を追加することが許可される。
- 3) さらに、後続ライダーの視認性を上げるために、モーターサイクルのリヤに、最低面積40cm<sup>2</sup>の赤い反射面が設けられなくてはならない。
- 4) すべてのモーターサイクルにはスタート装置が設けられていなくてはならない。
- 5) オイルクーラーはリヤ・マッドガードの上、または上方に設置されてはならない。

# モトクロス

国際A級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ基本仕様第8条モトクロス基本仕様と合致していることとする。FIM技術仕様とMFJ基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は、FIM技術仕様を優先する。

## FIM規則01章 モトクロス技術仕様

### 01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数
125	100を越え125以下	1
250	175を越え250以下	-

### 02 出場車両

- 1) 出場の車両に制限はない
- 2) 車両はMFJ技術規則第8章モトクロス基本仕様と示される、すべての条件に適合していなければならない。

### 05 重量

車両の最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料をみなす。

**06** 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

---

- 1) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着しなければならない。チェーンガードは、いかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけていなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードが取り付けられていなければならない。

**07** いかなる場合も禁止される事項

---

- 1) ストリームライニング（カウル）の装着は禁止される。
- 2) 使用するタイヤのタイプに制限はないが、タイヤの表面に滑り止めスパイク、特殊チェーン等を取りつけることは禁止される。

## トライアル

国際A級・国際B級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ技術規則第9条トライアル基本仕様と適合していることとする。FIM規則とMFJ規則が相違する場合は、FIM技術規則を優先する。

## FIM規則01章 トライアル技術仕様

**01** クラス区分

---

国際A級  
国際B級

\*車両の排気量によるクラス区分は設定されない。

**06** 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

---

カウンターシャフト・スプロケットには安全ガードが取り付けられていなければならない。

# スノーモビル 車両仕様

## 1 車両の改造の限度

競技の公平及び安全を確保するため次のように制限する。

### 1) スポーツ部門

車両は一般生産型のMFJ公認車両で次に示された改造のみ認められる。

#### (1) 変更してもよい部品

- A 点火プラグ
- B スキー（スプリングを含み公認型式のものに限る）
- C サスペンション・スプリング（公認型式のものに限る）
- D ドライブチェーンとスプロケット
- E Vベルト
- F キャブレター内の各ジェット類

#### (2) 取り外さなければならない部品

- A ライト類及びガラス類（ただし、レンズ及びライト類の飛散防止を施せば良い）
- B バックミラー
- C ウィンドシールド
- D キャリア類

#### (3) 取り外してもよいもの

- A 車両番号標版（ブラケットごと）
- B バッテリー
- C セルモーター・セル用ギヤ
- D アシスタント・グリップ
- E ヘッドライトボディー（ただし、ライト及びライトボディーを外した場合の穴は完全にふさがなければならない）

### 2) モディファイ部門

車両は一般生産型スノーモビルでMFJ公認車両でなければならない。機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量もしくは形状の変更、パーツの交換を行う場合は下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならないが、補強は行ってもよい。しかし形状の変更は認められない。

(2) 異なった機種エンジンのエンジン・アッセンブリー、フレームの組み合わせは認めない。ただし、同型式、同機種、同排気量のものに限り認める。

#### (3) エンジン

- A クランクケース本体、クランクシャフト・アッセンブリーは公認車両のものに限る。
- B ポアの拡大は最大0.5mmとし、出場クラスの変更はできない。

#### (4) ステアリング

- A ステアリングの基本構造は、公認型式のものでなければならない。
- B 補強は認められるが、変形は認められない。
- C ステアリングパッドを取りつけなければならない。
- D スキースタンスの変更は認められない。  
（スタンスとは、スキーの中心と中心との距離）
- E ハンドルはMFJ公認型式（二輪を含む）のものとの交換は認められるが、変形は認められない。しかし、ハンドル幅の減少は認められる。
- F ハンドルは公認、未公認の区別のつかないもの使用は認められない。

#### (5) 音量

音量は下記の条件を満たしていなければならない。

- A 車両には有効かつ外見で判断しうる市販の消音器が装着されていなければならない。なお排気管（排気方向）の向きは、雪面に向けて垂直（真下）でなければならない。
- B 音量は、FIM測定方式で104db/A（ただし、パワーベルトを直結してある場合は、最大120db/Aとなる）以内でなければならない。104db/Aを上回る車両の出場は一切認められない。

## 2 車両の安全基準

スノーモビルレースに出場する車両は、次の安全基準を満たしていなければならない。

- 1) エンジン自動停止装置
  - (1) ライダーが走行中車両から離れた場合にエンジンが自動的に停止する装置を装着していなければならない。
  - (2) 自動停止装置はレース全区間（公式練習、パドック走行も含む）で有効に働く状態でなければならない。
  - (3) 本基準に違反したライダーは、失格とする。
- 2) 排気管及び消音器
  - (1) 車両は規定の音量規制値を満たしていなければならない。
  - (2) 排気消音器はボディー側面より突出してはならない。
  - (3) 排気管は、シュラウドまたは車体内部に収められていること。
- 3) スノーフラップ
 

トラック最後端より後ろに有効なものを必ず装着し、公認時の形状を維持すること。
- 4) スロットル
 

手を離したら確実にまたスムーズに戻らなければならない。
- 5) ドライブガード
 

ドライブガードは、公認車両のものとし、取り外してはならない。
- 6) シュラウド
  - (1) シュラウドを外してはならない。
  - (2) レース中に外れるものであってはならない。
  - (3) モディファイ部門のみのシュラウド基準
    - A シュラウド付属パーツ、ルーバー類は取り外してもよい。ただし、エンジン回転部分、排気管部分が露出またはその部分に触れる恐れのあるものであってはならない。
    - B 新たに通風孔を設けた場合は4mm以下の網目構造か、同等以下のルーバー構造とする。
    - C シュラウド・アッセンブリーの強度は、車両公認時と同等か、それ以上でなければならない。
    - D 新たに通風孔を設けたものや、改造したシュラウドで、強度が不足するものは必ず補強しなければならない。
- 7) スキー
  - (1) 先端に弓形ガードを装着するなど安全を十分に確保しなければならない。
  - (2) スキーランナーは丸棒状で、鋭利な形状であってはならない。又、スキー側面を十分にカバーする措置が施されていないといけない。
  - (3) スキー側面は、R形状に丸められていなければならない。
  - (4) スキースキンの取り付けは認められるが、車両公認時のスキーランナーが取り付けられていなければならない。
- 8) トラック（キャタピラ）
  - (1) 本体はゴム製でなければならない。
  - (2) 如何なるものも取り付けてはならない。
  - (3) 他機種のトラックを取り付けることはできない。
  - (4) トラックを逆付けすることはできない。
- 9) ブレーキレバー及びスロットルレバー
  - (1) ブレーキレバーの末端は安全上丸められていなければならない。
  - (2) スロットルレバーは、その先端が安全上丸められていなければならない。
- 10) ブレーキ
 

必ず有効なブレーキ機能を備えていなければならない。
- 11) 取り外さなければならないもの
  - (1) ライト類及びガラス類（ただし、飛散防止を施せば良い）
  - (2) キャリア類
  - (3) ウィンドシールド



# ドラッグレースの仕様

## ドラッグレースの基本仕様

### 01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトの使用は許可される。

### 02 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプはリヤホイールの後ろに伸びてはならない。またライダー、燃料タンク、およびタイヤから離れて放出されるようにする。フレキシブル・パイプは許可されない。

### 04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm、80ccを越えるマシンは最低450mmとする。
- 2) グリップは外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離を測定した際に、ハンドルバーの最低幅が保たれるように装着されていなくてはならない。
- 3) 露出されたハンドルバーの先端には、固形物質を詰めるか、それがゴムでカバーされていなければならない。
- 4) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する最低回転角度は15°以上でなくてはならない。
- 5) ハンドルバーの位置がどこにあろうとも、ストリームライニングがある場合、フロント・ホイールはストリームライニングに接触しないようにしなくてはならない。
- 6) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっばいに切った状態で、レバーを含むハンドルバーと燃料タンクとの間隔が最低30mmあるように、ストッパー（ステアリング・ダンパー以外のもの）を取り付けなくてはならない。
- 7) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーに折れやすい部分を作らないために慎重に丸みをつけ、その制作には念を入れなくてはならない。
- 8) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

### 05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、いかなる場合においてもその端部は丸くなっていてはならない。（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）これらの端部は固定されており、レバーと一体構造でなくてはならない。
- 2) ピボット点からボールの先端まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを有し、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合には、フットレストが曲がったり、変形してしまうような場合を含む、いかなる状況においても作動できるようになっていないといけない。

### 06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手でおさえていない時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

## 07 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式のものであってもよいが、この場合これには自動的に元の位置に戻す装置が設けられ、さらにフットレストの先端には半径最低8mmの一体構造となったプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) もしフットレストが折りたたみ式でない場合、及びまたはゴムのカバーを装着していない場合には、その先端は球状半径最低8mm以上で丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線（モーターサイクルに通常の過重がかかった状態で）よりも100mm以上、上に設けられていなくてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも前になくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作が行いやすい位置になくてはならない。

## 08 ホイール

モーターサイクルにはフロントにモーターサイクル用に製造されたホイールを装備していなければならない。リヤ・ホイールリムの幅はリヤ・タイヤの接地面よりも50mm以上狭くなければならない。

## 09 タイヤおよびチューブ

タイヤはスリック・タイプまたはトレッドの深さが最低2mmのものとする。トップスピードが200km/hを越えるモーターサイクルの場合、フロント・タイヤは最低“V”レートあるいはロードレース・タイプとする。リヤ・タイヤのチューブは天然ゴム製のレーシングタイプとする。

## 10 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつの有効な、ホイールと同心的に独立して作動するブレーキが装備されていなくてはならない。
- 2) ディスクブレーキの最低直径は175mm、ドラムブレーキの最低直径は150mmとする。500cc以上のモーターサイクルはフロントにディスクブレーキを装備していなければならない。シングルディスクは最低250mm×5mm、ダブルディスクは最低220mm×5mmとする。

## 11 フロントフォーク

フロントフォークは油圧タイプとする。フォーク・チューブはトップ・フォーク・クラウンより30mm以上突出してはならない。最低ストロークは、50mmとする。フォークがボトムした状態で、ホイール以外のいかなる部分も路面に接地してはならない。

トップ・フォーク・チューブの最低直径は：

350ccを越え750cc以下	28mm
750ccを越え	32mm

## 12 最低地上高

ライダーがポジションにつき、正当な空気圧で、フォークが完全に圧縮された状態での最低地上高は50mmとする。垂直位置からモーターサイクルを左右に12°づつ傾けることが可能でなければならない。これはホイール以外のいかなる部分も路面に接地しない状態で達成されなければならない。

## 13 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。この部分において、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は120°を越えてはならない。
- 4) ストリームライニングがある場合には、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの外側の垂直接線にまで達している場合には（許容誤差-50mm）、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

## 14 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングは、ライダーがストリームライニングのパーツを取り外さないでマシンに乗り降り出来るようにできていなければならない。また、ライダーがモーターサイクルを操作するのを妨げてはならない。

## 15 シート

シートはライダーに安全なライディング・ポジションを提供するように作られ、危険なほど不快であってはならない。

## 16 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来なくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) 1枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなければならない。他の2枚はモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなければならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしてはならない。但し、サイドゼッケンはワイリーバーが付いている車両はワイリーバーに付けることが望ましい。
- 4) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 5) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に地の色同様につや消して書かれなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 6) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線
- 7) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなければならない。
- 8) すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることが出来ない。
- 9) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。  
PB (プロストックバイク) 黄地に黒文字  
SB (ストックバイク) 白地に黒文字  
SS (スーパースプリント) 黒地に白文字

## 17 ウイリーバー

ウィリーバーの装着が強く勧められる。

## 18 プロテクティブ・カバー

すべてオープン・トランスミッションにはカバーが設けられ、回転するパーツとの接触が保護される。機械式駆動のコンプレッサーには“ポップ・オフ・バルブ”、インターク・マニフォールドへのゴム製コネクション、または爆発を防ぐための他のデバイスが設けられていなければならない。

## 19 フュエルタンク及びオイルタンク

- 1) 燃料タンクはフレームに安全に固定されていなければならない
- 2) すべてのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 3) 燃料およびオイル・フィルター・キャップ  
燃料およびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で濡れないようになっていなくてはならない。さらにこれはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

## 20 燃料システム

すべてのモーターサイクルには、機械的な燃料シャットオフ・バルブが装着されていないなければならない。ポンプによって駆動されるフュエル・インジェクション・システムにはエアロクイップまたは同様のハイプレッシャー・チューブがもうけられていなければならない。イグニッションによって停止できないエンジンの場合、すぐに作動する燃料シャット・オフ・バルブがもうけられていなければならない。これはライダーが両手でハンドルバーを握った状態で操作できなければならない。また、これは、ライダーがモーターサイクルを降りた時にエンジンへの燃料の供給を止めるような構造になっていなければならない。ライダーへのコネクションはリヤ・ホイールが路面に接地する前に作動しなければならない。

## 21 キャブレターとフュエル・インジェクション

キャブレターとフュエル・インジェクター・インレットは、バックファイヤーが生じた際に、ライダーが怪我をしないような位置に置かれるか、覆われていなければならない。フュエル・インジェクションには、デュアル・ケーブルのポジティブ・リターン・スロットル（または2本のリターン・スプリング）が必要とされる。

## 22 キル・スイッチ

モーターサイクルには、ライダーがモーターサイクルのコントロールを失った時に、エンジンへのすべての電源をカットする電気式接触が装備されていないなければならない。これはエンジン始動時には常にライダーにコネクトされていないなければならない。

## 23 オイル・キャッチ・タンク

- 1) オイル・ブリーザー・パイプが装着されている場合、排出口はキャッチ・タンクに放出するようになっていなければならない。下記の物も安全なようにワイヤー・ロックされていないなければならない。リヤ・スプロケット、フロント・アクスル、リヤ・アクスル、ブレーキ・キャリパーのピン、ブレーキ・ディスク、フットブレーキのマスターシリンダー。
- 2) オイルキャッチタンクはアクシデント発生時でも容易に破損したり脱落せず、かつ高温に耐えられる材質であること。
- 3) キャッチタンクに溜まったオイルはエンジンにもどるリターンパイプを取り付けることが望ましい。……ロードレース基本仕様の図（141頁）参照。

## 24 チェーン

チェーンはマスターリンクのないクローズド・タイプとする。またはマスターリンクがある場合には安全にワイヤーロックされなくてはならない。

# PB(プロストックバイク)クラスの車両規則 (A級・B級)

## 01 クラス区分

定義：このクラスはストックの外観（メーカーが一般用に販売したモーターサイクルをドラッグレース用に改造）でガソリンを燃焼するモーターサイクル用のクラスである。

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速数
プロストックバイク(PB)	無制限	○	○	6	6段

## 02 出場車両

- 1) 車両は（市販レーサーを除く）一般生産型車両とする。

## 03 車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数

## 04 下記部品は各項の制限内で改造出来る（ドラッグレースの基本仕様）に合致すること

- 42)(2) リヤホイールは交換出来るが下記制限内とする。



- 最低直径 15インチ 最大直径 18インチ
- 44)(1) フロントホイールは交換出来るが下記制限内とする。  
最低直径 16インチ 最大直径 19インチ
- 50)(1) フレームボディ  
修正・変更は認められる。但しキャスト角は最大で40°、シート高は最低50cm
- 51)(1) フロントサスペンション  
フロントサスペンションユニットは交換出来る。ただしサスペンションストロークは最低35mm。
- 54) カウリング  
(1) オートバイ用として生産されていなければならない。生産モデルの外見と同じ形をしていなければならない。他のモデルと混じってはならない。  
(2) パーツの変更は認められるが生産時の形状を維持しなければならない。カウルの両側にブランド名が入っていること。  
(3) カウルの下部はエキゾーストパイプのクリアランスのために修正及び取り除いてもよい。  
(4) カウルの外側にエアインテークホースの取り付けは認められない。
- 55) シート・シートカウル  
改造変更出来るがライダーが後ろに滑るのを防ぐステップがついていることが望ましい。

## 05 重量

PBクラスの最低重量は下記とする（半乾燥重量）

最低重量 179kg以上

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

## 06 車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 17) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け（4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上）
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し
- 40) チェーンガード  
リヤアクスルを越えてチェーンの上部をカバーすること。
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。
- 61) ウィリーバーの取り付け  
フロントアクセルセンターからウィリーバーアクセルセンターまでは最大3,300mm以内である事。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 23) シフトは手動またはエアシフターとし、コンピューターによるシフトチェンジは禁止する。
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) 燃料はガソリンとし、アルコール燃料は禁止する。

# ロードレース ジュニアクラスの仕様

(国内B級以下)

## 01 クラス区分

カテゴリー	クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
S P (スーパープロダクション)	50	～50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6
G P	50	～50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6

## 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。または一般生産型車両をベースとしたSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) ホイールリム直径が16インチ以上で、80cc以下の二輪車。

## 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、取りはずしをいう)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー (スリーブ及びライナーを含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質、鋳造および形状
- 5) クラッチの構造
- 6) エンジン内部の部品の材質及び寸法形状
- 7) 4サイクルエンジンのバルブの径、バルブのリフト量、バルブタイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクルエンジンのシリンダー、ピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブの数、ポートの数、キャブレターの数
- 11) クランクケースカバー類の材質、鋳造、及び形状
- 12) 2サイクルのシリンダー、4サイクルのシリンダーヘッドのポートの寸法、形状
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストンの材質、寸法、形状
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリーの材質、形状、寸法
- 16) キャブレター
- 17) フュエルタンク
- 22) プライマリーギヤのレシオ、及び寸法形状
- 23) ミッションギヤのレシオ、及び寸法形状
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 (マスターシリンダー、キャリパー、ディスク)
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 (マスターシリンダー、キャリパー、ディスク)
- 48) タイヤ
- 50) フレームボディ
- 51) フロントフォーク
- 52) リヤフォーク、リヤクッション、リヤクッションリンケージ
- 53) ステアリングシステム、トップ、ボトムブリッジ
- 54) ストリームライニングの形状

## 04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様（第7章）に適合していることを条件とする

- 16) キャブレターのセッティング、(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲) エアファンネルの取り付け、または寸法の変更。(キャブ本体を除く)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 25) スタート装置の取り外し
- 27) エアクリーナーボックスの改造
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 50) フートレストを含むブラケット、ペダル類の改造、変更
- 51) フロントサスペンションセッティングのためのオイル交換、セット荷重調整
- 53) ステアリングダンパーの取り付け
- 54) カウリングの材質 (但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 55) シートカウルの形状、材質 (但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 59) すべての部品についての調整・仕上げは自由である。
- 60) 不要なステー類のカットは可 (但し軽量化目的の材料カットは除く)

## 05 重量

クラス	最低限重量
S P	50 77kg
	80 79kg
G P	50 77kg
	80 79kg

最低限重量は半乾燥重量とする。

半乾燥重量とは走行可能状態からガソリンを抜いた値とする。

分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

- 16) (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
50 (S P, G P)	直径18mm相当以下
80 (S P, G P)	直径28mm相当以下

- (2) 規制を越えるキャブレター装着車は公認キャブで、かつ規制値以下のキャブレターに交換すること

- 17) 電動式フェュエルポンプを装着している車両は、転倒時に自動的に停止する装置を備えていること。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)
- 27) (1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザー250cc以上)
  - (2) 4サイクル車のキャッチタンクからのブローパイプはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置にとりつけなくてはならない)。
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類)。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧カライン部品へのワイヤーロック。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用 (チタン合金、ケブラー、カーボン強化繊維等の高価な材料)
  - (93年からカーボンサイレンサーも完全禁止)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 48) タイヤへの追加加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしての使用。
- 58) 通常のスタンドで購入出来るか、各サーキットのスタンドで購入出来るレースガス又はアブガス以外のガソリンの使用。

08 MFJへの公認手続、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	25台	10台

\*SPコンプリート車は、ベースとなる車両が公認を取得していること。台数の制限はない。

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付きで公認発行する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付きで公認発行とする。但し市販レーサー、SPコンプリート車は各々1ヵ月後とする。
- 3) 申請する車両は以下の仕様と適合していることを条件とする。

- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
50(S P、G P)	直径18mm相当以下
80(S P、G P)	直径28mm相当以下

注) キャブレターのサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリムのサイズ  
直径は16インチ以上であること。

クラス	最大幅フロント	最大幅フロント
50(S P、G P)	2.15インチ	2.75インチ
80(S P、G P)	2.15インチ	2.75インチ

- (3) タイヤはメーカーのラインで装着されている50/80ccクラスの一般公道用タイヤで、上記リムサイズに適合しているもの。
- (4) 01条のクラス区分内にあること。

09 音量規定

- FIM方式で測定し99dB/A以下であること。  
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。  
注意事項：93年1月1日より規制値は99dB/Aとなった。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあつては一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められるが、'93年1月1日以降の公認車両同士に限られる。

- 注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。  
(コンプリートマシンのベース機構の打刻型式に基づき判断される。)



# 第20章

## ミニバイクの 車両規則

### 01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大排気筒数	最大限定速度
N 5 (スクーター50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S 5 (スポーツバイク50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S 8 (スポーツバイク80cc一部改造)	50ccを越え80cc以下	○	○	1	6

### 02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの。

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式。
- 2) シリンダーの数。
- 3) ピストンストローク。
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鑄造及び形状。
- 5) クラッチの構造(但しディスクの材質とスプリングは除く)-04.22参照。
- 6) エンジン内部の部品の材質。
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比。
- 8) 2サイクル車のシリンダーピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比。
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き。
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数。
- 11) クランクケースカバー類の材質・鑄造および、形状。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン。
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー。
- 16) キャブレター(メインジェットのみ変更可)。
- 17) フュエルタンク。
- 22) プライマリーギヤ。
- 23) ミッション。
- 27) ブリーザーシステム。
- 42) リヤホイール。
- 43) リヤブレーキ関係。
- 44) フロントホイール。
- 45) フロントブレーキ関係。
- 50) フレームボディ。
- 51) フロントフォーク。
- 52)(1) リヤフォーク。
- (2) リヤサスペンション。
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ。
- 54) ストリームライニング。

### 04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第7章)には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのメインジェットの変更は可。
- (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加が出来る。
- 30) イグニッションコイル、点火ユニット、リミッターの改造・変更は可。

- 31) プラグの変更は可
- 36) スピードメーターの取りはずしは可
- 40) チューンの変更は可
- 41) スプロケットの変更は可
- 48) タイヤ  
一般市販され通常ルートで購入出来るもののみ交換は可。ただし、スリックタイヤ（インターミディエイト含む）および摩耗限度を越えたタイヤの使用は禁止。

**06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる**

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に）
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

**07 いかなる場合も禁止される事項**

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金、カーボン強化繊維等の高価な材料）
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 48) タイヤへの追加加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入出来るか各サーキットのスタンドで購入出来るレースガス又はアブガスに限る。

**08 MFJへの公認手続き・条件**

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

		国産車	輸入車
一般生産型車両	250cc以下	500台	25台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付けて公認発行。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付けて公認発行する。

**09 音量規定**

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。  
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。  
注意事項：93年1月1日より規制値は99dB/Aとなった。

**10 互換性**

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあつては一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。  
'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。  
(93年1月1日以降の公認車両同志に限られる)



付 録

# SUPPLEMENT

- ▼ドラッグレース競技細則 .....184
- ▼全日本選手権特別規則 .....187
- ▼MFJライセンス昇格・降格に関する規則 191
- ▼MFJ共済会制度 .....195
- ▼MFJ公認車両・部品・用品 .....196
- ▼全国公認サーキット .....211
- ▼歴代チャンピオン .....214

# ドラッグレース 競技細則

## 1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のドラッグレース競技会に適用される（世界選手権を除く）

## 2 ドラッグレース

完全にクローズドされたサーキットで行われる。2台の車両がE.T.（直線の区間タイム）を競う。シグナルによるスタートとし、先にゴールラインを通過した者が勝者となる。また、単にE.T.（直線の区間タイム）だけを競う競技もある。国内競技規則および細則により運営、管理される。

## 3 レース出場車両

- 1) 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 2) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。

## 4 参加資格

- 1) エントラント及びライダー  
エントラント及びライダーは、1993年度版MFJ国内競技規則第3章（⑨競技参加者）に合致していなければならない。

## 5 出場申込

- 1) 出場申込場所は、大会特別規則の定めるところとする。
- 2) 出場申込手続き
  - (1) 各部門とも所定の申込書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
  - (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に、申し込み書を提出しなければならない。
  - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締め切り当日の消印のあるもの迄が有効となる。
  - (4) 電話による申込及び締め切り日以降の申込は一切受けない。

## 6 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される（申込者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない）。

## 7 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けて記入しておかななければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 4) 最初に決められたゼッケン・ナンバーは、年度末まで変更できない。



## 8 ライダーの装備

- ヘルメット
  - ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
  - MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付される。
  - 競技会の車両検査受付時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
  - MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受けなければならない。
- ライダーの服装
  - レーシングスーツ
    - 皮もしくは、同等の素材であること。MFJ公認スーツが望ましい。スーツはワンピースデザインもしくはウエストでつながるジッパータイプ。
  - ブーツ・グローブ  
ブーツはくるぶしが完全に覆われるもので、皮製、サイドボタンタイプ。  
グローブは、手を覆うサイドボタンタイプ。
  - 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならない。

## 9 出場受付

- 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

## 10 出場車両の変更

- 車両の変更は国内競技規則・第3章(⑩ライダーおよび車両の変更)による。
- 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

## 11 車両および装備の検査

- 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 車両検査の車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済ませなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 車両検査持ち込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られる。
- 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

## 12 公式予選

- 公式予選
  - 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
  - 公式予選日の日程および時間は、特別規則書に示される。
  - 公式予選はタイムトライアル方式とする。
  - 全ての競技車は、セルフスタートし、セルフステージしなければならない。
  - 公式予選で同タイムが出た場合は、トップスピードの記録が良い方が予選順位が上位となる。
- 公式予選の内容
  - レースに出場する全てのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
  - 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
  - 最終的な予選選出方法は、大会審査委員会の決定による。
- 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届けなければならない。

- 4) レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがあった場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある。(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
- 5) ラダー (トーナメント方式)
  - (1) トーナメント  
予選タイムでラダーポジションが決められる。1度ラダーベアリングが決まった場合は、主催者が必要としない限り変更はできない。16台分のラダー時に14台しか参加していない場合は、14台分のラダーを使用する。
  - (2) タイムトライアル  
タイムトライアルによるクラスの場合は最大で、3ヒートまでとする。

## 13 決勝レース出場台数

- 1) 決勝レース出場台数は、特別規則に示される。

## 14 スタート方法及びレース (スターティングシステム別紙)

- 1) スタート方法
  - (1) スタンディングスタートとしスタンディングシステムは、プロスタートとストックスタートがある。スタート方法は特別規則および公式通知によって発表する。
  - 2) スターティングシステム
    - (1) プロスタート  
クリスマスツリーの3黄色、全ての黄色ライトは同時に作動(点灯)し、グリーンライトまでのディレイ(間隔)は、0.4秒。
    - (2) スtockスタート  
クリスマスツリー、3黄色のカウントダウンを利用し黄色ライトとライトのディレイは、0.5秒。
  - 3) レース
    - (1) 予選によりラダーポジションを決定し、先にゴールラインを通過した者が次のラダーへ進む。最大で4ヒート行う。タイムトライアルによるレースの場合は、E.T.の速い者を上位とする。同タイムの場合は、トップスピードによって決定される。更にトップスピードが同一の場合は前のヒートE.T.によって決定される。
    - (2) パーンアウト  
レースのパーンアウトは指定された場所により制限する。競技者がパーンアウト時に壊れて後ろにさがれない、もしくは後ろに押せない場合、コース上でUターンをしスタートラインに戻ることは禁止。パーンアウト時にセンターラインを越えることは失格ではない。パーンアウト時に車両に触れることは禁止。スタートラインを越えるパーンアウトは禁止。  
パーンアウト規制は、スタート審判員の判断による。
    - (3) ステージング (スタート準備、および方法)
      - ① コースインした時点でレーススタートの準備ができていなければならない。
      - ② 競技車は、セルフスタートし、セルフステージしなければならない。  
この規則は1台で走行する場合も同じでブッシュスタートや、ブッシュステージは禁止。  
車両のエンジン動力で行うこと。
      - ③ ライダーがステージングライン(スタートライン)と競技車の位置を確かめるために機械や電子装置を使用してはいけない。競技車の位置を確かめるためには肉眼のみ認める。
      - ④ スタートするためにはステージライト、プレステージライトの両方が点灯していなければならない。スタート前にステージラインを越えた場合は失格となる。但し競技の最終ヒートの場合、両者がステージラインを越えた場合のみ再スタートとなる。
      - ⑤ ステージングする場合、両者ともステージビームに前進するまえにプレステージライトを作動させなくてはならない。ステージングのために適度な時間が与えられる。タイムリミットは、スタート審判員の判断とする。
      - ⑥ スタート審判員の指示通りステージしない場合は失格となる場合がある。
      - ⑦ ステージを完了し、スタート審判員のゴーサインがでた後にステージし直すのは禁止する。
      - ⑧ スタートシステムが作動する前に、スタートラインを越えた場合と、スタート審判員に指示された者はそのヒートのタイムは無効となる。
    - (4) シングルラン  
ライダーが1台で走る場合、ステージしスタートシグナルを受けた時点で勝者とみなされる。シングルランで競技車がレーン判断のため、センターラインを越えた場合のタイムは無効となる。

## 15 コース選択

- 1) コースの選択は、コースイン順に競技役員の指示に従って行われる。
- 2) トーナメントの場合は、前のヒートのタイムの良い方(予選含む)に選択権がある。

## 16 勝者の判定

- 1) タイムトライアル  
2台ずつ同時にスタートし2回～3回のE.T. (区間タイム) のベストタイムによって順位付けされる。
- 2) トーナメント  
2台同時にスタートし先にゴールラインを越えた者が勝者となる。タイムの発表は、E.T.のみとする。
- 3) E.T. (区間タイム) は、SS1/4マイル (402.33m) によって競われる。
- 4) グリーンランプ点灯後5秒以内にスタートしない者は当該ヒート無効とする。
- 5) スタート後1分を経過してゴールラインを通過できない車両は当該ヒート無効とする。

## 17 計 時

- 1) 計時はスタートからフィニッシュまでの所要時間を1/1000秒単位まで計測を行い、それを切り捨てとし1/100秒出発表する。
- 2) 競技会の計測は、原則として光電管装置を使用してその計測値を記録する。計測装置の故障、事故等の場合は、ストップウォッチにて1/10秒まで計測する。

## 18 失 格

- 1) 競技役員は、正当な条件に従ってバーンアウト規定の改定について選択権を有する。
- 2) 競技車両はバーンアウト上で故障した場合、車両を後退させることができない場合、コース上を旋回してスタートラインまで戻ることは許されない。
- 3) コース上に記されたラインを越えた場合は失格。ラインを越えるとは、タイヤの1部でもラインの塗装を越えた場合、ガードレール、バリヤ、あるいはその他の設備、(スタートシグナル、タイム計測設備、パイロン等)
- 4) 対戦相手との接触を避けるため、意図してラインを越えた場合は、失格にはならない。
- 5) 競技役員の見許なしにコースを逆走することは認められない。
- 6) パドック内、ゴール後のリターンロードでは、最低速度を維持しなければならない。これに違反した者は失格となる。

## 19 リタイヤ (棄権) と停止

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章 (⑨競技) による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。

## 20 優勝者、入賞者順位、賞典の制限

- 1) トーナメントの場合  
16台の場合最大4ヒート行い、決勝ヒート (第4ヒート) で勝者となったものが優勝者となり、第4ヒートの敗者が2位、3位は、第3ヒートの敗者がE.T.の良い者。以下これに準ずる。  
出走台数が16台以下であってもこれに準じ、32台の場合は最大5ヒートとなる。
- 2) タイムトライアルの場合  
2回～3回のタイムトライアルの1番良いタイムをマークした者が優勝者となり、以下これに準ずる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者を上位とする。
- 3) 賞典および制限は、各大会の特別規則に記載される。

## 21 レース終了後の車両保管と再車検

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の見導に従って車両保管区域へ入らなくてはならない場合がある。
- 2) エンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再車検を行うことがある。
- 3) 出場者は、必要に応じて車両保管を行うことがある。

## 22 レースの成立

各クラスの参加者が全員1回のランを終了していれば (予選を含む) その時点で競技は成立する。その場合の順位決定は、E.T. (区間タイム) によって速いものから順位づけされる。

クラスの全車とはタイムテーブルに記載されている時間内に走行した者、また競技役員の見導によりコースインを完了した者を言う。この場合抗議は一切受けられない。

## 23 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申込後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## 24 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔27抗議〕(32頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

## 25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔28違反行為に対する罰則〕(32頁)による。

## 26 本規則の解釈

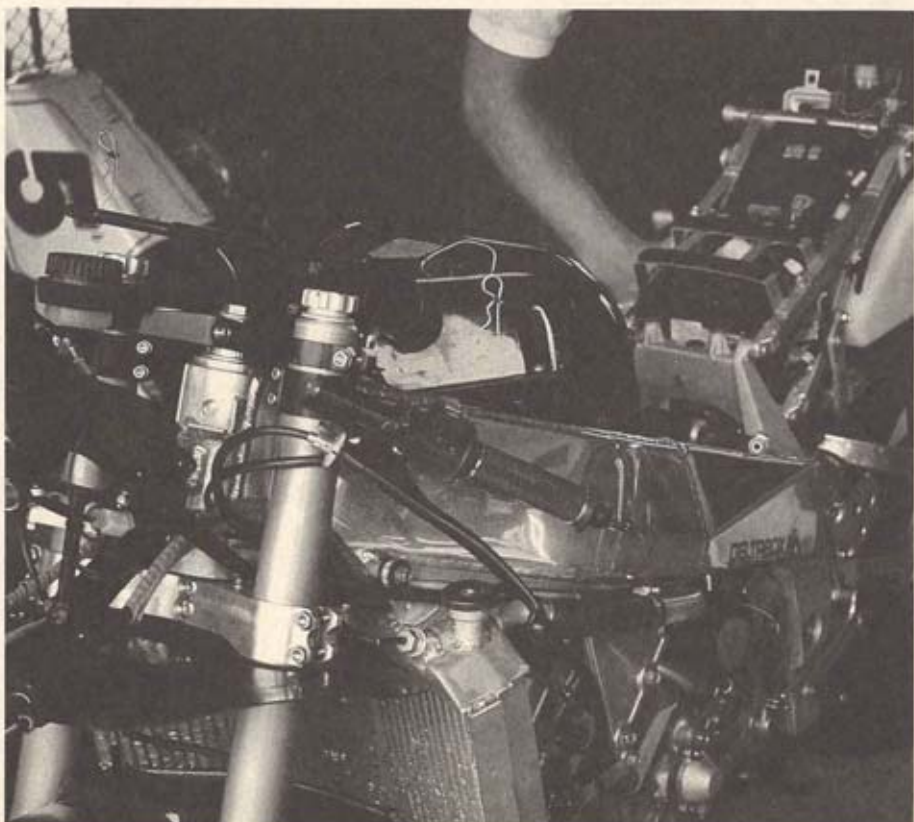
本特別規則および競技に関する疑義は事務局宛に質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

## 27 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

# 附 則

1. 本規則は、1993年1月1日から施行する。



# '93全日本 ドラッグレース選手権 特別規則

## 1 公 示

全日本ドラッグレース選手権は、FIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式として開催される。

## 2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。  
ドラッグレースライセンスA級 プロストックバイク (PB)
- 2) 競技会の日程は巻末に示す。
- 3) ドラッグレースA級所持者であっても全日本選手権に出場するためには、一定の制限が設けられる場合がある。

## 3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されてもよい。但し下記の条件が満たされなければならない。パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選・決勝レースを設定できること。

## 4 コース

コースはMFJが国内公認したコースとする。

## 5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は、MFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時まで会場に到着しない場合は次席の者がこれにあたる。

## 6 参加定員

制限が設けられる場合がある。

## 7 出場料およびMFJ共済掛金

出場料：1クラス	35,000円
MFJ共済掛金 1人1口	2,000円
JDRA共済掛金	3,000円
合計	40,000円

## 8 ビット要員

- 1) 1ライダーに対して3名のビットクルーが認められる。いずれもビットクルーライセンスが必要である。エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。

## 9 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。(93年度は、92年度地方選手権実績による)
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

## 10 公式予選

- 1) 公式予選は、タイムトライアル方式により最低1回行う。

## 11 決勝レース

- 1) 16台によるトーナメント（勝ち抜き方式）によって行われる。また参加台数によって32台のトーナメントを行う場合がある。

## 12 コース選択

- 1) コース選択は、経過タイムにより決定する。予選のE.T.（直線の区間タイム）の速い方が第1ヒートのレーン選択ができる。続くヒートでは、前回のヒートの速い方がレーン選択ができる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者が優先される。

## 13 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。  
 2) 得点は国内競技規則第3章「24. 公式得点」によって与えられる。  
 (1) 大会を通じてベストタイム（予選を含む）をマークしたライダーに2ポイント追加される。  
 (2) 最終戦は、上記ポイントに2ポイント追加される。  
 3) MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えるが、全日本選手権の得点が与えられない。（但し下位の繰り上げは行わない）  
 4) 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。

## 14 主催者の権限

- 1) 参加申込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。  
 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し競技出場の上での理由による可否を最終的に決定することができる。  
 3) 競技番号の指定、あるいはピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。  
 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの指名登録又は変更について許可することができる。  
 5) すべての参加者、ライダーピット要員およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

## 15 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

### 1993年度 全日本ドラッグレース選手権シリーズカレンダー

開催日	大会名	出場申込先	開催場所	出場申し込み期間
5月5日	全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第1戦FISCO大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	富士スピードウェイ	3月20日   4月5日
5月30日	全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第2戦MINE大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	MINEサーキット	4月20日   4月30日
8月1日	全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第3戦FISCO大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	富士スピードウェイ	6月22日   7月2日
8月29日	全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第4戦仙台大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	仙台ハイランドレースウェイ	7月19日   7月29日
9月19日	全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第5戦MINE大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	MINEサーキット	8月10日   8月19日
10月3日	全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第6戦仙台大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	仙台ハイランドレースウェイ	8月24日   9月3日
11月13、14日	全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第7戦FISCO大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	富士スピードウェイ	10月5日   10月14日



- 2) 国内B級から国内A級
- (1) 対象クラス  
GP125、GP250、SP250、SP400
- (2) 昇格基準  
地方選手権において下記得点を得たもの。  
北海道(HSP選手権、サホロ選手権、十勝選手権の合計).....60  
SUGO選手権.....20  
仙台選手権.....20  
エビス選手権.....30  
関東選手権(筑波、富士、那須).....20  
間瀬選手権.....30  
鈴鹿選手権.....20  
中山選手権.....30  
MINE選手権.....20  
T.I.選手権.....30  
四国選手権(阿讃).....50  
九州選手権(スガ直入、オートボリス、HSR九州).....30  
※上記選手権以外の公認大会の昇格対象種目は「4、②その他の公認競技会」の得点が与えられる。
- 3) 国内A級から国際A級
- (1) 対象クラス  
GP125、GP250、SS250、SS400、SS750
- (2) 昇格ポイントの算定  
各レースの結果から国際A級を除き、国内A級のみの結果により昇格ポイントを算定する。(但し完走者のみ)
- (3) スーパーカップ選手権各クラスごとの得点合計(イースタン・ウエスタンに拘らず)で30ポイント以上の成績を上げたもので'93年12月31日までにMFJに申請したもの。(申請用紙はMFJより送付される)  
昇格を希望しない者は申請を出さなければ国内A級にとどまることが出来る。
- (4) 地方選手権以上の各クラスごとの得点合計で50ポイント(スーパーカップの得点も含まれていることが条件)以上獲得し'93年12月31日までにMFJに申請した者(申請用紙はMFJより送付される)

## 6 モトクロス・ライセンスの昇格

- 1) ジュニア部門から国内B級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
- (1) 公認競技会において各地方で下記に示す得点以上を得た者(複数のブロックにまたがる得点の合計はしない)。注:得点は格式にかかわらず細則11の4自動昇格に必要な得点(191頁)に順ずる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	20	20	20	20	20	20	20	20

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 2) 国内B級部門から国内A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
- (1) 公認競技会において各地方で下記の得点を得た者(複数のブロックにまたがる得点の合計はしない)。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	40	40	30	30	30	40	40	30

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 3) 国内A級部門から国際B級への昇格の対象者は、次のとおりとする。
- (1) 公認競技会において各地方で、下記の得点以上を得た者。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	80	85	50	50	50	60	100	50

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 4) 国際B級部門から国際A級への昇格の対象者は、次のとおりとする。
- (1) 全日本選手権ランキングで、各クラス1位から15位にランクされた者。



- (2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

## 7 トライアル・ライセンスの昇格

- 1) ジュニア部門から国内A級部門への昇格の対象者は次のとおりとする。
- (1) ジュニア部門は国内B級部門との混走が認められ、国内B級とジュニア部門の参加者が合計10名以上の公認競技会において下記成績を得た者。
- ① 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が29名以下の公認競技会で総合優勝した者（国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ）。
- ② 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が30名以上の公認競技会で総合優勝者および2位の者（国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ）。
- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 2) 国内B級部門から国内A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
- (1) 国内B級部門参加者10名以上の公認競技会において下記の成績をおさめた者。
- ① 国内B級部門で参加者29名以下の公認競技会において国内B級部門での優勝者（次の大会より国内A級部門で出場すること）。
- ② 国内B級部門で参加者30名以上の公認競技会において、国内B級部門での優勝者および2位の2名の者（次の大会より国内A級部門で出場すること）。
- ※(1)(2)においてジュニア部門と混走の場合、成績は総合成績とし、人数の繰り上げは認められない。
- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会およびブロック承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 3) 国内A級部門から国際B級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
- (1) 各ブロックごとの地方選手権（10月31日まで）において、下記的人数で得点上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
人数	3	5	15	10	10	6	5	7

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 4) 国内B級部門から国際A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
- (1) 全日本選手権ランキングで、1位から5位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。
- (2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

## 8 ドラッグレースライセンスの昇格

- 1) ドラッグレースB級部門からドラッグレースA級部門への昇格。
- (1) 対象クラス：ストックバイク
- (2) 昇格基準：地方選手権において20ポイント以上の得点を得たもの。

## 9 自動降格の基準

- 1) ライセンスの更新がなされなかった場合は、その期間によって下表によりライセンス等級が自動降格される。

●自動降格基準表

未更新期間	モトクロス・トライアル				ロードレース		
	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際A級
1年	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際A級
2年	//	//	//	//	//	//	//
3年	//	国内B級	国内A級	//	//	国内B級	//
4年	//	//	国内B級	国際B級	//	//	国内A級
5年	//	//	//	//	//	//	//
6年以上	//	//	//	国内A級	//	//	//

※ロードレースについては5年以上の未更新期間のある場合は、MFJ公認サーキットの走行証明が必要。

## 10 特別昇格およびその手続き

- 1) 昇格基準と同等とみなされる成績を得た者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。
- 2) 前項の申請は、特別昇格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着されることを要し、それ以外の申請は受理されない。
- 3) 申請は所定の申請書に必要事項を記入し、所属する県支部およびブロックの承認を得て、MFJ事務局に申請するものとする。  
なお、所定の申請書は、県協会またはMFJ事務局に用意されており、請求に応じて送配布される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えて県協会に提出すること。
- 5) 特別昇格についての最終決定はMFJスポーツ委員会の審査結果による。

## 11 特別降格およびその手続き

- 1) MFJ競技ライセンス資格の降格を希望する者は次の手続きによって申請し、MFJスポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格することができる。
- 2) 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着されることを要する。申請者の用紙は、県協会又はMFJ事務局に準備され、それに必要事項を記入し申請料3,000円を添えて県協会およびブロックの承認・経由して、MFJ事務局に申請する。
- 3) 降格承認後は降格が認められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。
- 4) 特別降格についての最終的な決定は、MFJスポーツ委員会の審査結果による。  
※特別降格申請は、原則的にそのライセンス区分にて1年間経過し、得点の得られなかった者のみとする。

## 12 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則としてMFJスポーツ委員会において次の競技会から再昇格することを決定する。再昇格された者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ事務局に返納しなければならない。

- 1) ロードレース
  - (1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
  - (2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 2) モトクロス
  - (1) 国際B級部門から国内A級部門に降格した場合は、スポーツ常任委員会にて審議し、承認された者。
  - (2) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において、1回優勝した者。
  - (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 3) トライアル
  - (1) 国際B級部門に降格した場合、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
  - (2) 国内A級部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。
  - (3) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において6位以内に入賞した者。
  - (4) その他MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

## 附 則

本規則は、1993年1月1日から施行する。

## 全日本選手権ランキング決定基準

- 1) 全日本選手権ランキング順位づけ決定方法  
全日本選手権ランキングの順位づけは次の方法により決定される。
  - (1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の大なるものから順位を決定する。ただし、40点未満のものはチャンピオンとはせず、ランキング2位とする。
  - (2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多い者が上位となる。
  - (3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
  - (4) 上記3)で決定できない場合、MFJスポーツ委員会において最終決定する。

# MFJ共済会制度

種 目	MFJ共済会掛金 (1名1大会)	共済会見舞金支払額		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払額	
ロ ー ド レ ー ス SP、SS、GP、TT、SB、ノーマル車、シングル・ツイン、クラシック、S50、S80等のロードレース	4,000円	MFJ共済会見舞金 1,000万円 (MFJが契約した傷害保険含む)	MFJ共済会見舞金 A 通院実日数(ギブス等の固定期間および通勤、通学、就業が不可能として診断された日数含む)×1,000円 B 入院実日数×1,500円 C 診断書作成補助金 5,000円	○MFJ共済会見舞金請求書 (様式9) ○完治したときの医師の診断書 (様式10) 死亡、後遺症の場合は、上記、様式9のほかに傷害保険請求用紙(三井海上)等の各種書類が必要となります。
サ イ ド カ ー (パッセンジャー分含む)				
ミ ニ ロ ー ド レ ー ス (GP50、GP80、SP50、SP80に限る)	2,000円			
ド ラ ッ グ レ ー ス	2,000円			
モ ト ク ロ ス (市販車、レーサー125cc以上)	1,000円			
ミ ニ モ ト ク ロ ス (80cc以下)	500円			
ト ラ イ ア ル	200円			
ミ ニ バ イ ク レ ー ス	500円			
エ ン デ ュ ー ロ	500円			
ジ ム カ ー ナ	500円			
ス ノ ー モ ビ ル	500円			
ツ ー リ ン グ ・ ラ リ ー	500円			
ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	1,000円			
モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	500円			
トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含む)	200円			
スノーモビルライセンス講習会	500円			
ミニバイク講習会	500円			
ロードレース競技役員講習会	200円			
モトクロス競技役員講習会	200円			
トライアル競技役員講習会	200円			
ピ ッ ト ク ル ー	年間 500円 (ライセンス料に含まれる)			

☆競技役員、講師の共済会見舞金は別に定めるMFJ共済会制度による。

☆見舞金の支払われる期間は、受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数分となります。

☆見舞金の請求期限は、受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。

☆見舞金の支払われる適用範囲は、公認または承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行われた競技中、または公式練習中に発生した事故とする(※サーキットが行う特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)。

☆同一大会で二種目以上出場する場合は、掛金の高い種目が適用されます。

☆上記共済会は治療費が支払われませんので各自の健康保険証で治療を受けて下さい。

☆死亡、後遺症見舞金を受ける場合は、入院見舞金および診断書作成補助金は受けられません。

☆死亡見舞金の請求者は、法定相続人に限られます。

## 共済会見舞金請求の手続きは...

### 1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

### 2. 大会主催者からMFJ共済会見舞金請求書(様式9)と診断書書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者またはMFJに、MFJ共

済会見舞金請求書(様式9)とMFJ指定の診断書書式(様式10)を請求してください。

### 3. 請求先は主催事務局

請求書中の必要な事項を自分で記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼してください。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が主催者事務局長宛に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヵ月以内に指定口座に振り込まれます。



## MFJ公認車両

■本田技研工業(株) 〒150 東京都港区青山2-1-1 ☎03-3423-1111

一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
NSR80	HC06	HC04E	79	49.5×41.4	'88. 1. 6							
NSR250R	MC18	MC16E	249	54.0×54.5	'88. 2. 16	○	○		○			
CBR400RR	NC23	NC23E	399	55.0×42.0	'88. 2. 16	○	○					
BROS PRODUCTtwo	NC25	NC25E	398	69.0×62.0	'88. 2. 16	○	○					
BROS PRODUCTone	RC31	RC31E	647	79.0×66.0	'88. 2. 16		○	○				
NSS50F AERO	A-AC08	AC08E	49	39.0×41.4	'88. 3. 9	○			○			
NSR250R SP	MC18	MC16E	249	54.0×54.5	'88. 5. 13	○						
MONKEY RT	A-AB22	AB22E	49	39.0×41.4	'88. 5. 13							
CBR250R	MC19	MC14E	249	48.5×33.8	'88. 6. 16	○						
VT2250	MC15	MC15E	249	60.0×44.1	'88. 8. 3	○						
VT250SPADA	HC20	MC15E	249	60.0×44.1	'88.12. 8	○						
VFR400R	NC30	NC13E	399	55.0×42.0	'89. 1. 20	○	○					
NSR250R	MC18	MC16E	249	54.0×54.5	'89. 2. 8	○	○		○			
NSS50F	A-AC08	AC08E	49	39.0×41.4	'89. 3. 15	○			○			
NSR250R SP	MC18	MC16E	249	54.0×54.5	'89. 4. 5	○	○		○			
CB-I	NC27	NC23E	399	55.0×42.0	'89. 4. 5	○	○					
NSR50	A-AC10		49	39.0×41.4	'89. 7. 12							
NSR80	HC06		79	49.5×41.4	'89. 7. 12							
NSR250R	MC21	MC16E	249	54.0×54.5	'90. 3. 7	○	○		○			
VFR400R	NC30	NC13E	399	55.0×42.0	'90. 3. 7	○	○					
NSS50F	A-AC08	AC08E	49	39.0×41.4	'90. 4. 6	○			○			
VFR750F	RC36	RC35E	748	70.0×48.6	'90. 4. 15		○	○				
CBR250RR	NC22	MC14E	249	48.5×33.8	'90. 4. 19	○						
CBR400RR	NC90	MC23E	399	55.0×42.0	'90. 4. 19	○	○					
NSR250R SP	MC21	MC16E	249	54.0×54.5	'90. 5. 2	○	○		○			
NSR250R	MC21	MC16E	249	54.0×54.5	'91. 7. 4	○	○		○			
CB400 SUPER FOUR	NC31	NC23E	399	55.0×42.0	'92. 7. 12	○	○					
CBR600F	PC25	PC25E	599	65.0×45.2	'92.11. 8	○	○					

一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
XLR BAJA	MD22	MD17E	249	73.0×59.5	'88. 1. 6					○		○
AX-I	MD21	MD21E	249	70.0×64.8	'88. 1. 6					○		○
CRM50	A.AD10	AC08E	49	39.0×41.4	'88. 4. 13					○		○
CRM80	HD11	HD08E	79	49.5×41.4	'88. 4. 13					○		○
NX125	JD09	JD09E	124	56.5×49.5	'88. 4. 13					○		○
TLM220R	MD23	MD23E	216	69.0×58.0	'88. 4. 11						○	
AFRICA TWIN	RD03	RC31E	647	79.0×66.0	'88. 8. 3					○		○
XLR250R	MD22	MD17E	249	73.0×59.5	'89. 3. 15					○		○
CRM250R	MD24	MD24E	246	66.0×72.0	'89. 5. 10					○		○
XLR250R	MD22	MD17E	249	73.0×59.5	'91. 2. 17					○		○

■(株)ホンダレーシング 〒352 埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎0484-77-9538

スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
'88RS250R	RS250RF	NF5	249	54.0×54.5	'88. 1. 6				○			
'89RS250R	RS250RF	NF5	249	54.0×54.5	'88.12. 8				○			
'89RS125R	RS125RF	NF4	124	54.0×54.5	'89. 1. 21				○			
'90RS125R	RS125RF	NF4	124	54.0×54.0	'89.12. 6				○			
'90RS250R	RS250RF	NF5	249	54.0×54.0	'89.12. 6				○			
'90NSR250RK	NH3F	NH3E	249	54.0×54.5	'90. 3. 7				○			
'91RS250R	RS250RF	NF5	249	54.0×54.5	'90.12. 1				○			
'91RS125R	RS125RF	NF4	124	54.0×54.5	'90. 2. 1				○			
'92RS250R	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'91.12. 1				○			
'92RS125R	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'92. 2. 1				○			
'93RS250R	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'92.12. 1				○			
'93RS125R	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'93. 1. 1				○			

スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
CR125R	JED1	JE01E	124.8	54.0×54.5	'88. 9. 2					○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'88. 9. 2					○		
CR125R	JED1	JE01E	124.8	54.0×54.5	'89.11. 9					○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'89.11. 9					○		
XR100R	HE03	HE03E	99.2	53.0×45.0	'90. 2. 7					○		○
XR250R	ME06	ME06E	249	73.0×59.5	'90. 2. 7					○		○
CR125R	JED1	JE01E	124.8	54.0×54.5	'90. 9. 22					○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'90. 9. 22					○		

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#A Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
XR200R	ME05	ME05E	195	65.5×57.8	'91. 2. 17						○	○
CR80R	HE04	ME04E	79.4	46.0×47.8	'91. 9. 10						○	
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'91. 9. 10						○	
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'91. 9. 10						○	
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'92. 9. 20						○	
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'92. 9. 20						○	

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#A Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
RTL50S	NT9	NT9	49	39.0×41.4	'88. 11. 4							○
*88TLM250R	F8F	F8F	249	74.0×58.0	'88. 1. 6							○
*88RTL250S	NNO	NNO	249	70.0×64.9	'88. 1. 6							○
*89TLM250R	F8F	F8F	249	74.0×58.0	'88. 11. 3							○
*89RTL250S	NNO	NNO	249	70.0×64.9	'88. 12. 8							○
TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'90. 2. 7							○
*91TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'90. 11. 1							○
*92TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'91. 11. 1							○
TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'92. 11. 1							○

■ヤマハ発動機 〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-32-1150

一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#A Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
TZR125	2UT	2RM	124	56.4×50.0	'88. 3. 9	○				○		
TZR250	2XT	1KT	249	56.4×50.0	'88. 3. 9	○	○			○		
XV250	3DM	3DM	248	49.0×66.0	'88. 3. 9	○						
FZR400	3EN	1WG	399	56.0×40.5	'88. 4. 13	○	○					
YSR50	2UE	2AL	49	40.0×39.7	'88. 4. 13							
YSR80	3CE	2GX	79	49.0×42.0	'88. 5. 13							
FZR250	3HX	1HX	249	48.0×34.5	'88. 5. 13	○						
SRX400	3HU	5Y7	399	47.0×67.2	'88. 9. 2	○	○					
SRX600	3GV	1JK	608	96.0×48.0	'88. 9. 2			○	○			
SR400C	3HT	2H6	399	87.0×67.2	'88. 9. 2	○	○					
SR500C	3GW	2J2	499	87.0×84.0	'88. 9. 2			○	○			
RZ250R	3HM	29L	247	54.0×54.0	'88. 9. 2	○	○			○		
TZR250	3MA	3MA	249	56.0×50.7	'89. 2. 8	○	○			○		
FZR250R	3LN	1HX	249	48.0×34.5	'89. 2. 8	○						
FZR400R	3EN	1WG	399	56.0×40.5	'89. 3. 15	○	○					
FZR750R	3FY	3FG	749	72.0×46.0	'89. 3. 15			○	○			
TZR125	3TY	2RM	124	56.4×50.5	'90. 1. 3	○				○		
FZR400RR	3TJ	1WG	399	56.0×40.5	'90. 1. 3	○	○					
FZR400RR SP	3TJ	1WG	399	56.0×40.5	'90. 2. 7	○	○					
TZR50	3TU	3TU	49	40.0×39.7	'90. 3. 7	○				○		
FZR250R	3LN	1HX	249	48.0×34.5	'90. 3. 7	○						
TZR250	3MA	3MA	249	56.0×50.7	'90. 3. 7	○	○			○		
TZR250SP	3MA	3MA	249	56.0×50.7	'90. 3. 7	○	○			○		
SRX400	3VN	5Y7	399	87.0×67.2	'90. 4. 6	○	○					
SRX600	3SX	1JX	608	96.0×84.0	'90. 4. 6			○	○			
SRX250	3WP	3WP	249	73.0×59.6	'90. 5. 4	○						
R1-Z	3XC	3XC	249.7	56.4×50.5	'90. 7. 5	○	○			○		
FZX750	3XP	3XF	199	66.8×57.0	'90. 7. 12			○	○			
TZR250	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'91. 4. 1	○	○			○		
TZR250SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'91. 3. 25	○	○			○		
FZX250	3YX	3YX	249	48.0×34.5	'91. 4. 5	○						
XJ400S	4BP	4BP	398	47.7×55.7	'91. 8. 2	○	○					
TZR250SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92. 2. 20	○	○			○		
TZR50	3TU	3TU	49	40.0×39.7	'92. 4. 10	○				○		
TZR250R	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92. 4. 8	○	○					
TDM850	4EP	4EP	849	89.5×67.5	'92. 6. 7				○			
TZR250RS	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92. 7. 5							

●一般市販車(オフロード)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#A Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
TDR250	2YK	1KT	249	56.4×50.5	'88. 3. 9	○	○			○		○
TDR50	3FY		49	40.0×39.7	'88. 9. 2					○		○
TDR80	3GA		79	49.0×42.0	'88. 10. 13					○		○
DT200R	3ET	3ET	195	66.0×57.0	'89. 5. 10					○		○
XT225	3RW	1KH	223	70.0×58.0	'89. 8. 8					○		○
DT200WR	3XP		199	66.8×87.0	'91. 2. 12					○		○
DT125R	3FW	3FW	124	56.4×50.0	'91. 6. 8					○		○
XT400E	4DW	5Y7	399	87.0×67.2	'91. 9. 6							○
XT225	1KH	1KH	223	70.0×58.0	'92. 7. 16							
XT400E	4DW	5Y7	399	87.0×67.2	'92. 11. 1							

## ●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
TZ250	3AK	3AK	249	56.0×50.7	'88. 2.16				○			
TZ250	3LC	3LC	249	56.0×50.7	'89. 1.21				○			
TZ250	3TC	3TC	249	56.0×50.7	'90. 1. 3				○			
TZ50	3XM	3XM	49	40.0×39.7	'90. 2. 7				○			
TZ250	3YT	4DP	249	56.0×50.7	'91. 1.20				○			
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'92. 1.20				○			
TZ50	3XM	3XM	49	40.0×39.7	'92. 4. 1	○						
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'92.12.24				○			

## ●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
YZ250	3JEI	3JEI	246	68.0×68.8	'88. 9. 2							○
YZ125	3JDI	3JD	124	56.0×50.7	'88. 9. 2							○
YZ80	3ML	3MC	79.1	47.0×45.6	'89.10. 4							○
YZ250	3XK	3XK	249	68.0×68.8	'90. 9.20							○
YZ125	3XJ	3XJ	124	56.0×50.7	'90. 9.20							○
YZ125	4DB	4DB	124	56.0×50.7	'91. 9.20							○
YZ250	4DA	4DA	249	68.0×68.8	'92. 9.20							○
WR250Z	4DC	4DC	249	68.0×68.8	'92. 2.14							○
YZ250	4EW	4EW	249	68.0×68.8	'92. 9.27							○
YZ80	4GT	4GT	79	46.0×47.8	'92.11.13							○
YZ125	4EX	4EX	124	56.0×50.7	'92.11.13							○

## ●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
TY250R	4AJ		246	68.0×68.0	'90.11. 6							○

## ■スズキ株式会社 432 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

## ●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
RGV250I	VJ21A	J205	249	56.0×50.6	'88. 4.13	○	○		○			
GSX-R400	GK73A	K707	398	56.0×40.4	'88. 4.13	○	○					
GSX-R750	GR77C	R710	748	73.0×44.7	'88. 4.13	○		○				
GSX-400F	CA74A	K708	398	56.0×40.4	'88. 7. 9	○	○					
TV250(ウルフ)	VJ21A	J205	249.2	56.0×50.6	'88. 8. 3	○	○			○		
GSX-R250R	GJ73A	J704	248	49.0×33.0	'89. 2. 8	○						
GSX-R250R SP	GJ73A	J704	248	49.0×33.0	'89. 2. 8	○						
RGV250I	VJ21A	J205	249.2	56.0×50.6	'89. 2. 8	○	○		○			
RGV250I SP	VJ21A	J205	249.2	56.0×50.6	'89. 2. 8	○	○		○			
GSX400R	GK73A	K707	398	56.0×40.4	'89. 2. 8	○	○					
GSX400R SP	GK73A	K707	398	56.0×40.4	'89. 2. 8	○	○					
GSX-R750R	GR79C	R715	749	70.0×48.7	'89. 5.10	○		○				
RGV250I SP	VJ22A	J206	249.2	56.0×50.6	'90. 2. 6	○	○		○			
GSX-R400R	GK76A	K709	398	56.0×40.4	'90. 3. 6	○	○					
GSX-R400R SP	GK76A	K709	398	56.0×40.4	'90. 3. 6	○	○					
GSX-R750	GR7AC	K719	740	70.0×48.7	'90. 3. 7	○		○				
RGV250I	VJ22A	J206	279.2	56.0×50.6	'90. 4. 6	○	○		○			
RGV250I SP II (M)	VJ22A	J206	279.2	56.0×50.6	'90. 4. 6	○	○		○			
GSX-R400 SP(M)	GK76A	K709	398	56.0×50.6	'91. 2.20	○	○					
GSX-R750	GR7AC	R719	749	56.0×40.4	'91. 2.20	○		○				
RGV250I	VJ22A	J206	249	70.0×48.7	'91. 2.20	○	○					
RGV250I SP	VJ22A	J206	249	56.0×50.6	'91. 2.20	○	○					
ウルフ125	NF13A	F116	124	56.0×50.6	'92. 3. 9	○						
RG125I	NF13A	F116	124	56.0×50.6	'92. 3. 9	○						
グース250	NJ46A	J422	249	73.0×59.6	'92. 3.28	○						
グース350	NK42A	K406	348	79.0×71.2	'92. 3. 9	○						
GSX-R750	GR7BC	R722	749.68	70.0×48.7	'92. 3.22	○	○	○				

## ●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
RH250J	SJ11C	J105	249	70.0×64.8	'88. 7. 9						○	○
TS125R	SF15A	F115	124	56.0×56.6	'89. 5.10						○	○
DR250SH	SJ44A		249	73.0×59.6	'90.10. 4						○	○
DR250S	SJ44A		249	73.0×59.6	'90.10. 4						○	○
RA125-2	SJ13A	F105	124	56.0×50.6	'86.11.23						○	○
RA250-2	SJ11C	J105	249	70.0×64.8	'86.11.23						○	○
TS200R	SH12A	H102	195	66.0×57.0	'91. 4.11						○	○
RMX250S	SJ13A	J113	249.6	67.0×70.8	'92. 7.28							

●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
RGV250I <sup>1</sup> SF	EJ2RR	J206	249.2	56.0×50.6	'91. 2. 20	○	○		○			
RGV250I <sup>1</sup> F3	VJ22R	J206		56.0×50.6	'90. 3. 6				○			

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
RM80	RC12A	C114	79.4	46.5×46.8	'88. 9. 2					○		
RM125	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'88. 9. 2					○		
RM250	RJ15A	J110	249.6	67.0×70.8	'88.10.13					○		
RMX250	RJ11A	J111	249.6	67.4×70.8	'89. 5.10					○	○	
RM80XM	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'90. 7.12					○		
RM125M	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'90. 7.12					○		
RM250M	RJ15A	J110	249.6	67.0×70.8	'90. 8.10					○		
DR350L	DK41A	K404	349	79.0×71.2	'90.12. 6					○		
RM80XN	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'91. 8.13					○		
RM125N	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'91. 8.13					○		
RM250N	RJ15A	J110	249.6	67.0×70.8	'91. 8.13					○		
RM80	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'92. 7.15					○		
RM125	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'92. 7.25					○		
RM250	RJ16A	J110	249.6	67.0×70.8	'92. 7.15					○		
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'92. 7.28					○	○	

■川崎重工業株式会社 〒673 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-921-1451

■一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
KR-1	KR250B	KR250BE	249	56.0×50.6	'88. 2.16	○	○					
ZX-4	ZX400G	ZX400GE	398	57.0×39.0	'88. 2.16	○	○					
ZXR750	ZXR750H	ZX750FE	748	68.0×51.5	'89. 1.21			○	○			
ZXR250	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'89. 3.15	○	○					
ZXR250R	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'89. 3.15	○	○					
ZXR400	ZX400H	ZX400HE	398	57.0×39.0	'89. 3.15			○				
ZXR400R	ZX400H	ZX400HE	398	57.0×39.0	'89. 3.15			○				
KR-1S	KR250C	KR250BE	249	56.0×50.6	'89. 4.13	○	○		○			
KR-1R	KR250C	KR250BE	249	56.0×50.6	'89. 4.13	○	○		○			
ZXR250	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'90. 2. 7	○	○					
ZXR250R	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'90. 2. 7	○	○					
ZXR400	ZX400H	ZX400HE	398	57.0×39.0	'90. 2. 7	○	○					
ZXR400R	ZX400H	ZX400HE	398	57.0×39.0	'90. 2. 7	○	○					
ZXR750	ZX750H	ZX750FE	748	68.0×51.5	'90. 2. 7			○	○			
ZEPHYR	ZR750C	ZR750CE	738	66.0×54.0	'90. 9.20	○	○		○			
ZXR400R	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'91. 3. 5	○	○					
ZXR400	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'91. 3.10	○	○					
ZXR250	ZX250C	ZX250CE	249	49.0×33.1	'91. 4. 5	○	○					
ZXR250R	ZX250C	ZX250CE	249	49.0×33.1	'91. 4. 5	○	○					
ZXR750R	ZX750J	ZX750JE	749	91.0×47.3	'91. 4. 5			○	○			
ZEPHYR	ZR400C	ZX400AE	399	55.0×42.0	'91. 4.11	○	○					
ZXR750	ZX750J	ZX750JE	749	91.0×47.3	'91. 4.20			○	○			
XANTHUS	ZR400D	ZX400GE	398	57.0×39.0	'92. 9. 4							

■一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
KS-1	MX050A		49	39.0×41.6	'88. 2.16					○		○
KS-II	MX080A		78	49.0×41.6	'88. 2.16					○		○
KMX200	MX200A	MX200A	191	67.0×54.4	'88. 5.13					○		○
KDX200SR	DX200G	DX200GE	198	66.0×58.0	'89. 1.20					○		○
KDX200SR	DX200G	DX200GE	198	66.0×58.0	'90. 5. 3					○		○
KSR-I	MX050B		49	39.0×41.6	'90. 5. 3					○		○
KSR-II	MX080B		79	47.0×45.8	'90. 5. 3					○		○
KDX125SR	DX125A	DX125AE	124	56.0×50.6	'91. 3.10					○		○
KDX250SR	DX250F	DX250FE	249	67.4×70.0	'91. 4. 5					○		○

## ●スポーツ専用市販車(モトクロスカー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
KX60	KX060B	K X 060B E	60	43.0×41.6	'88. 9. 2						○	
KX80	KX080M	K X 080F E	79	47.0×45.8	'88. 9. 2						○	
KX80-II	KX080P	K X 080F E	79	47.0×45.8	'88. 9. 2						○	
KX125	KX125G	K X 125G E	124	56.0×50.6	'88. 9. 2						○	
KX250	KX250G	K X 250G E	249	67.4×70.0	'88. 9. 2						○	
KDX200R	DX200E	D X 200E E	198	66.0×58.0	'88.10.13						○	○
KDX200R	DX200G	D X 200	198	66.0×58.0	'89. 1.21						○	○
KX60	KX060B	K X 060B E	60	43.0×41.6	'89.10. 4						○	
KX80	KX080M	K X 080F E	79	47.0×45.8	'89.10. 4						○	
KX80-II	KX080P	K X 080F E	79	47.0×45.8	'89.10. 4						○	
KX125	KX125H	K X 125H E	124	56.0×50.6	'89.10. 4						○	
KDX200R	DX200G	K X 250H E	198	66.0×58.0	'90. 2. 7						○	○
KX250	KX250H	KX250HE	249	67.4×70.0	'90. 9.20						○	
KX125	KX125H	KX125HE	124	67.4×70.0	'90. 9.20						○	
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'90. 9.20						○	
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'90. 9.20						○	
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'90. 9.20						○	
KDX250R	DX250D	D X 250D E	249	67.4×70.0	'91. 3. 5						○	○
KX125	KX125J	K X 125JE	124	54.0×50.5	'91. 9.27						○	
KX250	KX250J	K X 250JE	249	66.4×72.0	'91. 9.27						○	
KX80	KX080S	K X 080SE	79	47.0×45.8	'91.10. 3						○	
KX80-II	KX080V	K X 080SE	79	47.0×45.8	'91.10. 3						○	
KX250	KX250J	K X 250JE	249	66.4×72.0	'92. 9. 4						○	
KX125	KX125J	K X 125JE	124	54.0×45.5	'92. 9. 4						○	
KX80	KX080S	K X 080SE	79	47.0×45.8	'92. 9. 4						○	
KX80-II	KX080V	K X 080SE	79	47.0×45.8	'92. 9. 4						○	
KX60	KX060B	K X 060B E	60	43.0×41.6	'92. 9. 4						○	

## ■旺文社バシフィック株式会社 〒162 東京都新宿区横寺町55 ☎03-3266-6035

## ●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
FANTIC FM361	FM361	FM237	124.4	55.2×52.0	'88. 1. 6							○
FANTIC 245	FM363	FM363	212	69.0×56.5	'89. 5.11							○
FANTIC 305	FM364	FM364	249.4	75.0×58.0	'89. 5.11							○
FANTIC 307	FM364	FM364	249.4	75.0×58.0	'90. 3. 6							○
FANTIC 247	FM363	FM363	212	69.0×56.5	'90. 3. 6							○
FANTIC K-ROO	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'91. 7. 4							○
FANTIC 309	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'91. 7. 4							○
FANTIC 249	363	FM363	212	69.0×56.5	'91. 7. 4							○

## ■株式会社ファンティックジャパン 〒240-01 神奈川県三浦郡葉山町長柄512-1 ☎0468-76-2677

## ●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
FANTIC K-ROO	361	FM361	123.7	52.8×56.5	'92. 4. 3							○
FANTIC K-ROO	363	FM363	212	69.0×56.5	'92. 4. 3							○
FANTIC K-ROO	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'92. 4. 3							○

## ■株式会社村山モータース 〒151 東京都渋谷区笹塚2-7-8 ☎03-3378-0181

## ●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
DUCATI	ZDM400R	ZDM400R	398	70.5×51.0	'90. 5. 3	○	○					
DUCATI-750S	ZDM750S	ZDM750LS	748	88.0×61.5	'88.10.13			○	○			
DUCATI-851S1	ZDM851S1	ZDM851W4	851	92.0×64.0	'88.10.13				○			
DUCATI400SSジュニア	ZDM400SS	ZDM400L2	398	70.5×51.0	'90. 5. 3	○	○					
DUCATI906SS	ZDM906SC	ZDM906A2C	904	92.0×68.0	'90. 5. 3				○			
DUCATI906パン	ZDM906PC	ZDM906W2C	904	92.0×68.0	'90. 5. 3				○			
DUCATI851SP	ZDM888S	ZDM888W4	888	94.0×64.0	'91. 7. 4				○			

## ■株式会社カロッツェリアジャパン 〒103 東京都中央区日本橋浜町1-6-8 ☎03-3863-4333

## ●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
Bimota	YB7	Y-B7	399	56.0×40.5	'89. 2.17	○	○					
Bimota YB4corsa	YB4E1		749	68.0×51.8	'89. 5.13				○	○		



## ●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
フサベルMC501	YU7FE5010L		502	92.0×75.5	'90. 9. 7					○		

## ■株式会社 ニシヤマ 〒144 東京都大田区大森北3-13-2 ☎03-3766-4320

## ●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
KTM125MX	502		124	54.0×54.0	'89. 2. 25					○		
KTM250MX	545		246.9	67.5×69.0	'89. 2. 25					○		

## ■株式会社 大沢商会 〒108 東京都港区芝浦4-2-8 ☎03-3455-0125

## ●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
Aprilia climber240	ED-DGM	24GSLC	238.0	70.5×61.0	'89. 2. 25							○
Aprilia TXR250			238.2	70.5×61.0	'89. 2. 25							○
Aprilia CLIMBER240	ED-DGMS25MCM		238	70.5×61.0	'90. 4. 6							○
Aprilia CLIMBER300	ED-DGMS25MCM		276.6	76.0×61.0	'90. 4. 6							○

## ●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
Aprilia climber300	ED-DGM	24GSLC	276.6	76.0×61.0	'89. 2. 25							○

## ■株式会社 ポスコ・モト 〒562 大阪府箕面市外院3-1-6 ☎0727-29-3365

## ●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
Aprilia climber240		ROTAX244	238.2	70.5×61.0	'91. 1. 31							○
Aprilia climber300		ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'91. 1. 31							○
アプリリア クライマー280	HE型	ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'92. 4. 3							○
アプリリア クライマー240	HE型	ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'92. 4. 3							○

## ■株式会社 モリワキエンジニアリング 〒513 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-70-0090

## ●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
MORIWAKI MH80R	MH80RF	HE04E	79.4	46.0×47.8	'92. 2. 25					○		

## ■株式会社 レイズ 〒577 大阪府東大阪市長田西5-81-1 ☎06-746-1010

## ●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
BETA TR34 CAMPIONATO	BETA B4	BETA6300	239.3	72.8×57.5	'89. 5. 10							○
BETA TR-35 REV-RSE	BETA B3	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'90. 3. 7							○
BETA ZERO	BETA B4	BETA6300	239.3	72.8×57.5	'90. 3. 6							○
BETA ZERO	BETA B4	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'92. 3. 4							○
BETA SYNT240	BETA B4	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'92. 8. 7							○
BETA ZERO125	BETA B1	BETA6300	123.6	54.0×54.0	'92. 8. 7							○
BETA Super Trial150	BETA T3	BETA44M	49.86	40.0×39.7	'92. 8. 7							○

## ■株式会社 亜路政 〒154 東京都世田谷区太子堂2-1-3 ☎03-3419-6053

## ●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
GAS-GAS			238.9	71.0×60.0	'90. 3. 7							○
GAS-GAS	VTR GG		237.5	71.0×60.0	'90. 11. 2							○
GAS-GAS DELTA	VTR GG		237.9	71.0×60.0	'91. 9. 6							○
GAS-GAS TRIAL125AG	VTR GC		124.8	56.0×50.0	'92. 4. 3							○
GAS-GAS CONTACTGT-25	VTRG-G		237.9	71.0×60.0	'92. 5. 10							○
GAS-GAS CONTACTGT12	VTRG-G		123.2	56.0×50.0	'92. 11. 6							○
GAS-GAS CONTACTGT16	VTRG-G		141.4	60.0×50.0	'92. 11. 6							○

## ■株式会社 サイクルワールド 〒673 兵庫県神戸市西区森友4-13 ☎078-928-6644

## ●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	FI	GP	MX	TR	ED
MONTESA COTA-311	YDNT02A0MM		237	71.0×60.0	'92. 7. 2							○

## MFJ公認部品

## ●株式会社RC・SUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111

部 品 名	型 式	通用車種	公認発効日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
SRX400クロスミッション	2NY	SRX400	'87. 3. 31	○					
SRX600クロスミッション	2NX	SRX600	'87. 3. 31	○					
FZR400Rリヤサスペンションキット	2TX	FZR400R	'89. 1. 27	○					
FZR400Rフロントフォークキット	2TX	FZR400R	'89. 1. 27	○					
FZR400Rクロスミッションキット	2TK	FZR400R	'89. 1. 27	○					
FZR400Rクロスミッションキット	2TK-RM	FZR400R	'89. 2. 14	○					
FZR400Rリヤサスペンションキット	2TK-RS	FZR400R	'89. 2. 14	○					
FZR400Rフロントフォークキット	2TK-FF	FZR400R	'89. 2. 14	○					
TZ250ミッションレシオ変更キット	3YL-AO	TZ250	'91. 3. 5				○		
FZR750Rクロスミッション	3FY-RM	FZR750R	'92. 4. 3	○					

## ●株式会社エムシー・インターナショナル 〒553 大阪府大阪市福島区玉川2-7-4 ☎06-448-0234

部 品 名	型 式	通用車種	公認発効日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
ホワイトパワーフロントフォーク(倒立)	3612SA/VAP	GP各種	'90. 8. 7				○		
ホワイトパワーリアショック	3548RC/MA	GP各種	'90. 8. 7				○		
ホワイトパワーリザーバタンク別体リアショック	3612SA/CC	GP各種	'91. 3. 31				○		
ホワイトパワーリザーバタンク付リヤショック	4681SA/VAP	モトクロス用	'91. 3. 31					○	
ホワイトパワーリザーバタンク付リヤショック	4681SA/CC	GP各種	'91. 3. 31				○		
ホワイトパワーフロントフォーク(倒立)	4054RC/MA	GP各種	'91. 3. 31				○		

## ●株式会社オーエックスレーシング 〒133 東京都江戸川区北篠崎2-97 ☎03-3679-4266

部 品 名	型 式	通用車種	公認発効日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
TZR125φ30キャブレター	YC-1011	TZR125	'92. 4. 1	○					

## ●株式会社オートリメッサ 〒431-02 静岡県浜松市篠原町21339 ☎0534-48-9851

部 品 名	型 式	通用車種	公認発効日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
リヤショックアブソーバーASSY	SXR63R	GSX-R400R	'89. 2. 14	○					
フロントフォークASSY	SXR63F	GSX-R400R	'89. 2. 14	○					
リヤショックユニット	VJ22	RGV250I <sup>†</sup> GSX-R400R	'90. .	○					
フロントフォーク	VJ22	RGV250I <sup>†</sup> GSX-R400R	'90. .	○					
トランスミッション	17E	GSX-R750WN	'92. 4. 10	○					
リヤクッションASSY	17E	GSX-R750WN	'92. 4. 10	○					
フロントフォークASSY	17E50	GSX-R750W	'92. 6. 12	○					

## ●株式会社カロッツェリアジャパン 〒103 東京都中央区日本橋浜町1-6-8 ☎03-3863-4333

部 品 名	型 式	通用車種	公認発効日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
オーリンズ・ガスショックアブソーバー	YA7100	TZR250	'88. 1. 6	○					
オーリンズ・ガスショックアブソーバー	DV7430	TZR250	'88. 1. 6	○					
オーリンズ・ガスショックアブソーバー	BM4412	K75, K100, モトクロス	'88. 1. 6					○	
オーリンズ・倒立フロントフォーク	USD700FF	GP, SS各車	'89. 1. 20	○			○		
オーリンズ・リヤサスペンション	HO-0060	'90RS125R	'90. 5. 3				○		
オーリンズ・リヤサスペンション	HO-0070	'90RS250R	'90. 5. 3				○		
オーリンズ・リヤサスペンション	YA-0070	'90T2250R	'90. 5. 3				○		
リヤショックアブソーバー	YA-9510	'90TY250	'90. 6. 8						○
オーリンズショックアブソーバー	HO-8063	VFR750R	'92. 6. 5	○					
オーリンズショックアブソーバー	KA-0490	ZXR750	'92. 6. 5	○					
オーリンズショックアブソーバー	KA-2070	ZXR750	'92. 6. 5	○					
オーリンズショックアブソーバー	SU-0031	GSX-R750	'92. 6. 12	○					

## ●株式会社カワサキオートバイ販売株式会社 〒673 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-922-5039

部 品 名	型 式	通用車種	公認発効日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
GPZ400R用フロントフォークキット	ZX-R1	GPZ400R	'86. 7. 9	○					
ZX-4用5速クロスミッションセット	ZX-4	ZX-4	'88. 2. 9	○	○				
KR-1用6速クロスミッションセット	KR-1	KR-1	'88. 2. 9	○	○				
ZX-4用フロントフォークキット	657FF1	ZX-4	'89. 1. 27	○					
ZX-4用リヤショックアブソーバーキット	675RC1	ZX-4	'89. 1. 27	○					
ZX-4用クロスミッションギヤセット	ZX400H	ZX-4	'89. 2. 14	○					
ZX-4用フロントフォークキット	657FF2	ZX-4	'89. 2. 14	○					
KR-1用クロスミッションギヤセット	KR-1	KR-1	'89. 3. 7	○	○				
ZXR400, ZXR400R用キャブレターASSY		ZXR400, ZXR400R	'89. 5. 9	○	○				
ZXR400R用トランスミッション	ZX400L	ZXR400R	'91. 3. 5	○	○				
ZXR400R用リヤショックダンパーASSY	232RC-1	ZXR400R	'92. 1. 5	○					
ZXR750R用トランスミッションセット		ZXR750R	'92. 1. 5	○					

## ●株式会社クルーズ 〒981-15 宮城県角田市字町152番地 ☎0224-62-0671

部 品 名	型 式	通用車種	公認発効日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
キャブレター	PJ38S PAX	RS125, RS250R, TZ250	'92. 2. 4				○		

●株京浜精機製作所 〒211 神奈川県川崎市中原区市坪386 ☎044-411-6381

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	CR536	ロードレース、モトクロス用	'85. 8. 28				○	○	
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	CR538	ロードレース、モトクロス用	'85. 8. 28				○	○	
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJRR34	ロードレース用	'85. 12. 15				○		
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJRR36	ロードレース用	'85. 12. 15				○		
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJRR38	ロードレース用	'85. 12. 15				○		
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJMX34	モトクロス用	'85. 12. 15					○	
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJMX36	モトクロス用	'85. 12. 15					○	
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJMX38	モトクロス用	'85. 12. 15					○	
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PWK39	ロードレース、モトクロス用	'87. 9. 1				○	○	
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PWK35	ロードレース、モトクロス用	'87. 10. 7				○	○	
2/4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PWK28	RR, MX, TR用	'88. 2. 5					○	○
2/4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PWK38	RR, MX, TR用	'88. 10. 1				○	○	○
4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	FLAT-CR28, 31, 32φ	ロードレース用	'90. 3. 7	○	○				
4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	FLAT-CR35, 37, 39φ	ロードレース用	'90. 5. 3				○		

●株日本ビート工業 〒591 大阪府堺市八下町4-102-10 ☎0722-57-7600

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
クロスレシオトランスミッション	ZX400D1	GPZ400R, ZEPHYR	'85. 3. 28				○		
BEETフルパワーカムキット	SS-A	ZXR400	'92. 6. 5				○		

●南バムレーシング 〒110 東京都台東区東4-13-23 ☎03-3831-4265

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
2・4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PWK38S	ロードレース用	'90. 7. 12				○		
2・4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PWK39S	ロードレース用	'90. 7. 12				○		
FLATCR 4 連小型32φ (ホンダNC29用インシュレータセット)	FCR-D(キャブ) CBR400RR(インシュレータ)	CBR400RR	'90. 4. 3	○	○				
FLATCR 4 連小型32φ (ホンダVFR400R用インシュレータセット)	FCR-D(キャブ) FCR32(インシュレータ)	VFR400R	'92. 5. 7	○	○				

●株ホンダレーシング 〒352 埼玉県新座市野火止8-14-4 ☎0484-77-9538

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
トランスミッションセット	NH8	CBR400RR	'88. 2. 9	○	○				
NSR250Rリヤクッション	NH3	NSR250R	'89. 1. 27				○		
NSR250R-Lフロントクッション	NH3	NSR250R	'89. 1. 27				○		
NSR250Rトランスミッションキット	NH3	NSR250R	'89. 2. 14	○	○				
RS125RV, RS125Vシリンダー-COMP		RS125RV, RS125RV1	'89. 6. 13					○	
VFR400Rトランスミッション	NL1	VFR400R	'90. 2. 9	○	○				
VFR400Rリヤクッション	NL1	VFR400R	'90. 2. 9	○	○				
NSR250Rトランスミッション	NH3	NSR250R	'90. 3. 6	○	○			○	
NSR250Rフロントクッション	NH3	NSR250R	'90. 3. 6				○	○	
NSR250Rリヤクッション	NH3	NSR250R	'90. 3. 6				○	○	
VFR400Rトランスミッション	NL1	VFR400R, CBR400RR	'91. 2. 17	○	○				
NSR250Rトランスミッション	NKD	NSR250R	'92. 2. 9	○	○			○	
NSR250RシリンダASSY	NKD	NSR250R	'92. 2. 9				○	○	
VFR750Rリヤクッション	NLO	VFR750R	'92. 3. 4				○	○	
VFR750Rトランスミッションセット	NLO	VFR750R	'92. 3. 4				○	○	
VFR750R R/LフロントフォークASSY	NLO	VFR750R	'92. 3. 4				○	○	
CBR400RRトランスミッションセット	NKB	CBR400RR	'92. 5. 7	○	○				
NSR250RフロントフォークASSY	NF5-661	NSR250R	'92. 6. 5				○		
NSR250RフロントフォークASSY	NF5-711	NSR250R	'92. 6. 5				○		

●株ミクニ 〒101 東京都千代田区外神田6-13-11 ☎03-3833-2736

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
キャブレターキット	TM325S	GSXR400	'92. 8. 7	○	○				

●株モリワキエンジニアリング 〒513 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-70-0090

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
'87NSR250R用リヤサスペンションキット	H07	NSR250R	'89. 4. 11		○				
CBR400R用リヤサスペンションキット	H05	CBR400R	'89. 4. 11		○				
'89RS250Rシリンダー改	NZ250	RS250R	'89. 4. 11					○	
CBR400RR倒立フロントフォーク	MPT	CBR400RR	'90. 4. 13					○	
VFR400R倒立フロントフォーク	MPT	VFR400R	'90. 4. 13	○					
CBR400RRフロントフォークキット	H08F	CBR400RR	'92. 6. 5		○				
CBR400RRリヤサスペンションキット	H08R	CBR400RR	'92. 6. 5		○				

●ヤマハ発動機株 〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
TZ250オプションギヤ	4DP	TZ250	'92. 1. 20					○	
TZ250同軸ミッションギヤ、スプロケット	4DP	TZ250	'92. 1. 20					○	
TZ250同軸ミッションギヤ	4DP	TZ250	'92. 12. 3					○	
TZ250オプションミッションギヤ	4DP	TZ250	'92. 12. 3					○	

## MFJ公認ヘルメット

取得規格/T用=ツーリング用,M用=モトクロス用,TR用=トライアル用,  
R用=ロードレース用,R特選=ロードレース特選  
形状/J=ジェットタイプ,F=フルフェイスタイプ

## ●昭栄化工(株)

〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル ☎03(3502)0301

名 称	取得規格	形状	公認年月
GX-1	SNELL JIS-C・特選	F	'86.3.26
PS-J48	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-J20	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-J51	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-J52	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-R20	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.4.28
RF-#	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.4.28
TR-2	JIS-B・TR用	J	'86.7.2
VJ-1	JIS-C・M用	J	'86.8.5
RF-REAL	SNELL JIS-C・R特選	J	'86.10.13
R-76	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
R-77	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
R-78	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
R-79	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
RF-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
IF-SARRON	SNELL JIS-C・R特選	F	'87.3.4
VJ-201	JIS-C・T用	F	'87.3.31
TJ-72	JIS-C・T用	J	'87.6.31
GX-2	SNELL JIS-C・R特選	J	'87.6.5
GX-2(FAVOR)	SNELL JIS-C・R特選	F	'87.6.5
RFV-TASK5	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
GRV	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VOGUE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RF-TRITONE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-DEGREE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VOGUE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-DEGREE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-TASK5	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-ROBERTS	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-LAWSON	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-GARDNER	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
JET-X	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
RSV	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
VZ	JIS-C・M用	F	'89.6.13
VZ-II	JIS-C・M用	F	'89.6.13
GFV-R	JIS-C・R用	F	'89.9.5
VX-4R	JIS-C・M用	F	'89.11.7
FX-1	JIS-C・R用	J	'90.5.8
RHV	JIS-C・R用	F	'90.9.4
FX-TOURING	JIS-C・M用	J	'91.4.10

## ●(株)アライヘルメット

〒33, 埼玉県大宮市東町2-12 ☎0486(41)3825

名 称	取得規格	形状	公認年月
F-V	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
GIGA	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
ASTRO-R	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
MX-2	JIS-C・M用	J	'89.6.13
RAPIDE-VIII	JIS-C・R用,SNELL M85	F	'90.5.8
RAPIDE-μ	JIS-C・R用,SNELL M85	F	'90.5.8
MX-Enduro	JIS-C・M用,SNELL M85	J	'90.5.8
AT-S	JIS-B・TR用	F	'90.5.8

## ●東京シート(株)

〒351 埼玉県朝霞市栄町3-7-27 ☎0484(62)1121

名 称	取得規格	形状	公認年月
AMI(L05)	JIS-B・TR・T用	J	'86.7.2
R91	JIS-C・R用	F	'86.7.2

AMI(L-06)	JIS-B・TR・T用	J	'87.10.7
AMI(L-07)	JIS-B・TR・T用	J	'87.10.7
AMI(L-08)	JIS-B・TR・T用	J	'87.10.7
RHEOS(R-21)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-92)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-93)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-94)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-95)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-96)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-97)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
SEED(J-23)	JIS-B・TR・T用	J	'87.10.7
Ami	JIS-B・TR・T用	J	'88.1.18
SEED-R22	JISC・R用	F	'88.1.18
SEED-R23	JISC・R用	F	'88.1.18
RHEOS R98	JISC・R用	F	'88.1.18
RHEOS R99	JISC・R用	F	'88.1.18
RHEOS R92LED	JISC・R用	F	'88.7.5
RHEOS RR101	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR102	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR103	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR104	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR301	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR302	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RA101	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS RA102	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS RA103	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS(RC)	JIS-C・R用	F	'91.2.20
Rheos(RD)	JIS-C・R用	F	'92.3.11
Rheos(JB)	JIS-C・M・T用	J	'92.4.17
HONDA Rheos(RC)	SNELL R特選	F	'92.5.13

## ●(株)コミネオートセンター

〒111 東京都台東区小島2-20-11 ☎03(3862)9774

名 称	取得規格	形状	公認年月
KF-RV	JIS-C・R用	F	'86.3.26
KF-RC	JIS-C・R用	F	'86.9.9
ANSWER	SNELL JIS-C・M用	F	'86.9.9
NARVA NC-2	JIS-C・R特選	F	'88.10.5
NARVA CROSS	JIS-C・M用	J	'90.1.9
Spazio	JIS-C・R用	F	'90.4.3
JT	JIS-C・M用	J	'90.4.3

## ●(株)榎東

〒157 東京都世田谷区粕谷1-8-23 ☎03(3484)3121

名 称	取得規格	形状	公認年月
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.6
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.13
AXO SPORT X-49	JIS-C・M用	F	'89.6.13
AXO SPORT RX-1	JIS-C・M用	J	'91.8.20
AXO SPORT RX-2	JIS-C・M用	F	'92.9.25

## ●大日本インキ化学工業(株)

〒103 東京都中央区日本橋3-7-20 ☎03(3272)4511

名 称	取得規格	形状	公認年月
DIC(TY-1)	JIS-C・R用	F	'86.4.30
DIC(DF-1)	JIS-C・R用	F	'86.1.9
DIC(DF-2)	JIS-C・R用	F	'87.3.31
DIC(GP*87)	JIS-C・R用	F	'87.7.7
DIC(K)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(AR)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(ZIO)	JIS-C・R用	F	'87.11.4
SUZUKI(ONE)S50C		F	'81.1.18
DIC-VR	JIS-C・R用	F	'89.12.12
SYDEEN	SNELL JIS-C・R用	F	'89.3.7
DIC-Inc State	JIS-C・M用	J	'89.5.9
DIC-zio-SX	JIS-C・R用	F	'89.7.20
DIC	JIS-C・R用	F	'89.11.7

**●興和精機(株)**

〒105 東京都港区芝1-13-17 ☎03(3453)6011

名 称	取得規格	形 状	公認月日
GRIFFIN(G100TD)	JIS-B・TR、T用	J	'86.10.23
GRIFFIN(GS-520)	JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GX-707)	JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GSS30)	JIS-B・T用	F	'86.11.23
GRIFFIN(GX707)	JIS-C・M用	F	'87.3.4
GRIFFIN(GSS30)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

**●(株)光輪モーター**

〒110 東京都台東区東上野4-26-4 ☎03(3841)4112

名 称	取得規格	形 状	公認月日
AGV(KR2000)	JIS-C・R用	F	'86.1.30

**●ワールド通商(株)**

〒113 東京都文京区本郷1-24-1 本郷MFビル3F ☎03(3818)5451

名 称	取得規格	形 状	公認月日
ポリシエ・デザイン(CP-4)	JIS-C・R用	F	'86.2.25
KIWI(K-16)	JIS-C・R用	F	'86.7.2
KIWI(K-20)	JIS-C・R用	F	'88.1.6

**●(株)モトワールド**

〒110 東京都台東区東4-31-4

名 称	取得規格	形 状	公認月日
ANSWER A-TECH-5		F	'88.8.4

**●(株)谷尾商会**

〒530 大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06(358)0651

名 称	取得規格	形 状	公認月日
NAVA 3A/C	JIS-C・R用	F	'86.4.28
NAVA-8	JIS-C・R用	F	'87.7.7

**●(株)ヤナセ**

〒108 東京都港区芝浦1-6-38

名 称	取得規格	形 状	公認月日
FJ(FJ-01)	JIS-C・R用	F	'86.5.28
FJ(FJ-02)	JIS-C・R用	F	'86.4.28
F-J(FJ-II・インテグ)	JIS-C・R用	F	'87.7.7

**●クノー工業(株)**

〒141 東京都品川区西五反田7-22-17 TOC内 ☎03(3494)3371

名 称	取得規格	形 状	公認月日
EF-2	JIS-C・M用	J	'86.8.5
DELTA	JIS-C・M用	J	'86.8.5
AIGLE	JIS-C・M用	J	'86.8.5
LYNX	JIS-C・M用	J	'86.8.5
SETA(045)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

**●ユニコ(株)**

〒106 東京都港区六本木7-3-17 ☎03(3478)2707

名 称	取得規格	形 状	公認月日
VS-2	JIS-C・R用	F	'86.3.26
NEF(VS-2)	JIS-C・R用	F	'86.12.15
NEF-RO2	JIS-C・R用	F	'88.6.10

**●(株)立花自動車用品**

〒113 東京都江川区本一色3-16-20 ☎03(3653)6278

名 称	取得規格	形 状	公認月日
カスタム ES-2(A型)	JIS-A・T用	J	'92.4.8
カスタム (A型)	JIS-A・T用	J	'92.3.11

**●ヤマ八大船渡製造(株)**

〒022 岩手県大船渡市大船渡町字欠の下向1-1 ☎0192(24)4104

名 称	取得規格	形 状	公認月日
GEORAMA-TS	JIS-C・R用	F	'86.1.30
GEORAMA-RS	JIS-C・R用	F	'86.2.24
FE-X	JIS-C・R用	F	'86.2.24
OE	JIS-C・M用	F	'86.2.24
GEORAMA-GFV		F	'86.3.15
GEORAMA-GFV-R	JIS-C・R用	F	'89.9.5
CFS	JIS-C・R用	F	'89.10.11

YFR	JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV	JIS-C・R用	F	'90.5.8
INPURE(YOA)	JIS-C・R用	F	'91.5.8
YFV(HJ1)	SNELL・R特選	F	'91.7.3
GFV(YOE)	JIS-C・R用	F	'92.6.3
YJ-X(YON)	JIS-C・M用	J	'92.7.8

**●(株)ジャパンプロダクト**

〒113 東京都江川区上一色416-1 ☎03(3655)9055

名 称	取得規格	形 状	公認月日
R120N R2-1	JIS-C・R用	F	'86.7.2

**●(株)RSタイチ**

〒574 大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720(74)3268

名 称	取得規格	形 状	公認月日
JT(ALS-1)	JIS-C・M用	J	'87.9.4
JT(ALS-2)	JIS-C・M用	F	'87.9.4

**●旺文社バシフィック(株)**

〒162 東京都新宿区横寺町55 ☎03(3266)6035

名 称	取得規格	形 状	公認月日
NAVA	JIS-C・T用	セリJ	'86.7.26

**●(株)大都**

〒110 東京都台東区北上野1-7-1 ☎03(3844)8270

名 称	取得規格	形 状	公認月日
BELL(MAG-4)	SNELL JIS-C・M用	J	'86.9.30

**●(株)丸万茂又**

〒530 大阪府大阪市北区西天満6-1-5 ☎06(364)4678

名 称	取得規格	形 状	公認月日
MAC	JIS-C・R用	F	'87.8.5

**●(株)ドルフィン・インターナショナル**

〒193 東京都八王子市散田町5-24-11 ☎0426(65)7843

名 称	取得規格	形 状	公認月日
BELL MOTO5	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.5.9

**●日栄プラスチック(株)**

〒362 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室字志久4429 ☎048(723)0611

名 称	取得規格	形 状	公認月日
DIC(DFX)	SNELL・R特選	F	'91.2.15
Gibson(YX)	JIS-C・M用	F	'92.2.5
DIC(RT35-06)	JIS-C・R用	F	'92.7.8

**●オージケー販売(株)**

〒577 大阪府東大阪市御西ノ町60 ☎06(783)5906

名 称	取得規格	形 状	公認月日
RS-1	JIS-C・R用	F	'91.6.6
RS-1R	JIS-C・R用	F	'92.9.25

**公認レーシングスーツ****●(株)カドヤ**

〒111 東京都台東区西浅草3-29-21 ☎03(3843)2000

名 称	型 式	公認月日
ON THE RACE G2	RP、PX、MM、RD、PT	'90.10.23
NEW CONCEPTER	MDシリーズ(MD1、2は糸)	'90.10.23
KADOYA	OR-SR	'90.10.23
ON THE RACE G2	RP-FS 0020	'91.4.10
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RR-125)	'92.3.11
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RR-07,08)	'92.3.11

●(株)クシタニ

〒435 静岡県浜松市三島町231 ☎0543(56)8611

名 称	型 式	公認月日
KUSHITANI	KR・KRN	'90.10.23
KUSHITANI	KI	'90.10.23
KUSHITANI	K	'91.1.18
KUSHITANI	KV	'91.1.18
KUSHITANI	オーダーメイド	'91.2.6
KUSHITANI	KI-101,102,103	'91.4.10
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KI-X(KI-107X)	'92.11.1
KUSHITANI	KI-XM(KI-106)	'92.11.1

●(株)ルック

〒125 東京都葛飾区亀有4-3-7 ☎03(3604)7800

名 称	型 式	公認月日
SR	SR-01-03	'90.10.23
RS	RS-1-V	'90.10.23
SS	SS-1-III	'90.10.23
Look	(オーダー)	'90.10.23
ラファール3	オーダーメイド	'91.4.10

●(株)RSタイチ

〒574 大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720(74)3268

名 称	型 式	公認月日
Nixeレーシングレザースーツ	NXL	'90.9.29
NIXEレーシングレザースーツ	NXL005,006,007,008,009	'91.9.8
NIXEレーシングレザースーツ	NXL,NXL(オーダー)	'91.1.18
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL001)	'92.10.7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL012,015)	'92.10.7

●(株)アズ・スポーツ

〒158 東京都世田谷区玉川谷1-1-3 ☎03(3709)3750

名 称	型 式	公認月日
Justyal	J-001R-J-023R	'90.10.23
Justyal J-PRO-R	JPR-001R-JPR004R	'90.10.23
A's Racing	AS001SO-AS-007SO	'90.10.23

●株式会社

〒110 東京都台東区北上野1-7-1 ☎03(3844)8270

名 称	型 式	公認月日
THE BIKE	RCシリーズ	'90.10.23
D'S	DRS-3007,3008	'91.5.8
THE BIKE	オーダーメイド	'91.5.8
THE BIKE	FR-10,11,12,13	'91.6.5
THE BIKE	FR-3,5,6,7,8,9	'91.2.6
THE BIKE	GP-3,GP-5	'91.2.6

●(株)光輪モーターズ

〒110 東京都台東区東上野4-26-4 ☎03(3841)4112

名 称	型 式	公認月日
PLICANA	グループC(PT-MS)	'90.10.23
PLICANA	グループA(PT-RXIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループB(PT-NIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループH(PT-ATILS)	'91.2.6
PLICANA	PT-ZEAI	'91.11.5

●(有)セクレテール

〒152 東京都目黒区日黒本町6-21-15 ☎03(3714)0533

名 称	型 式	公認月日
セクレテール	RF,RC,RS,TR,MFR	'90.10.23
セクレテール	(オーダー)	'90.10.23
セクレテール	MFR-912	'92.3.11
セクレテール	RS-26,27	'92.3.11

●株式会社

〒607 京都府京都市山科区川田前畑町1-8 ☎075(501)7137

名 称	型 式	公認月日
ダグナー	R-1	'90.10.23
ダグナー	R-2	'90.10.23
ダグナー	R-6	'90.10.23

●(株)ナカタケ

〒721 広島県福山市港町2-16-22 ☎0849(23)2423

名 称	型 式	公認月日
ナカタケ	NS・ゴーズアップシリーズ	'90.10.23
ナカタケ	NS-R	'91.11.5

●(株)邑輝総研

〒150 東京都渋谷区神宮前6-31-21 ☎03(3409)9305

名 称	型 式	公認月日
Boldor	レーシングワンピース	'90.10.23

●ツナギのコウタ

〒300-35 茨城県結城郡八千代町佐野16 ☎0296(49)0626

名 称	型 式	公認月日
コウタ	(オーダー)	'90.9.29

●(有)ライブラ

〒491 愛知県一宮市大和町西安賀字角出62 ☎0586(44)6451

名 称	型 式	公認月日
ライブラレーシングスーツ	LRS-01	'90.10.23
COSMIC(Libra)	オーダーメイド	'92.1.9

●東京ベルト(株)

〒181 東京都三鷹市下連雀1-13-7 ☎0422(45)2970

名 称	型 式	公認月日
TO BEL	TBシリーズ	'90.10.23

●(有)フォーヘッドインターナショナル

〒271 千葉県松戸市松台50-17 ☎0473(64)6555

名 称	型 式	公認月日
フォーヘッド(FOR HEAD)	(オーダーメイド)	'90.11.17
フォーヘッド(FOR HEAD)	FH-001,002,009	'90.11.17

●(株)レインボー

〒110 東京都台東区北上野1-5-5 ☎03(3843)5606

名 称	型 式	公認月日
レインボー	(オーダーメイドレーシング)	'90.11.17

●(有)アールシーエム

〒661 兵庫県尼崎市武庫の里1-11-1-104 ☎06(431)8066

名 称	型 式	公認月日
Toril	オーダーメイド	'91.5.8
ファルコン	オーダーメイド	'91.5.8
HAL	オーダーメイド	'91.5.8
FALCON	FS	'91.3.12
Toril	TX, TXR	'91.3.12
HAL	01A,02A,03A,05A,06A	'91.5.8
プラスト	オーダーメイド	'91.11.5

●(株)アイアンドエイ

〒660 兵庫県尼崎市大町1-1-15 ☎06(401)1011

名 称	型 式	公認月日
B-LINE	オーダーメイド	'91.5.8

●(株)アダチ

〒462 愛知県名古屋北区丸新町453 ☎052(902)4343

名 称	型 式	公認月日
JRP	オーダーメイド	'91.2.6
MOTO FLASH	オーダーメイド	'91.2.6
RSA	オーダーメイド	'91.2.6
MOTOR KING MICHIO KOSHINO	オーダーメイド	'92.3.11

●(株)アチーブ

〒340 埼玉県草加市谷塚仲町288-1 ☎0489(24)7164

名	称	型	式	公認月日
レーシングスーツ	YONEZO	オーダーメイド		'91.1.8

●(有)エフワン

〒114 東京都北区豊島4-14-2 ☎03(3912)5149

名	称	型	式	公認月日
エフワン		FR-2A,FB,G3A,ZI,ZZ,ホスチムG6		'91.5.8
F-ONE		FR-G2B		'91.2.6

●オリジナルレザーハウスジュベツ

〒434 静岡県浜北市小松4646-9 ☎053(586)6001

名	称	型	式	公認月日
JUBET		オーダーメイド		'91.4.10

●(株)木島

〒123 東京都足立区西新井4-16 ☎03(3897)2167

名	称	型	式	公認月日
KISS		オーダーメイド		'91.4.10
KISS RACING		プロトウン・プロトウ		'91.2.6

●(株)ギャロップ

〒161 東京都新宿区中落合4-2-12 ☎03(3952)8871

名	称	型	式	公認月日
FORZA		FO-404,405,406		'91.2.6
FORZA		オーダーメイド		'91.2.6
R-SPORTS		R-SPORTS02,401,402,403		'91.5.8
FORZA		FO407		'91.10.16
STREET SLIDER		SSシリーズ SS-03		'92.9.5

●(有)後藤商店

〒182 東京都調布市千川町3-12-6 ☎03(3308)8135

名	称	型	式	公認月日
GOTO MD-Performance		MD-1-Ⅷ		'91.1.8
GOTO		オーダーメイド		'91.1.8

●(株)コミネオートセンター

〒111 東京都台東区小島2-20-11 ☎03(3862)9811

名	称	型	式	公認月日
Spazioレーシング		A,S-11		'91.2.6
KOMINE Spazio		オーダーメイド		'91.2.6
Spazio		S-14R		'91.5.8
Spazio		S-B,S-8,S-10,S-14		'91.6.5
Spazio		S-15		'92.1.9

●ジニアス

〒579 大阪府東大阪市寄坊町4-14 ☎0729(87)01695

名	称	型	式	公認月日
ジニアス		SIR-G		'91.2.6

●ステーシラザー

〒133 東京都江戸川区北小岩7-14-10 ☎03(3672)4968

名	称	型	式	公認月日
PRO STAGE		レーシングワンピース		'91.1.18

●ダイナーゼジャパンインク

〒532 大阪府大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル201号 ☎06(852)6582

名	称	型	式	公認月日
ダイナーゼ		T.MENZA,T.MISANO,T.SILVERSTONE		'91.8.7
ダイナーゼ		T.GRAPHICA,T.FRECCA,T.GHILLI TEAM		'91.8.7
ダイナーゼ		T.STORM,T.FCH,T.EDDIE,T.SPUMATA		'92.5.13

●(株)谷尾商会

〒530 大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06(358)0651

名	称	型	式	公認月日
ラビーン		RVX-1-5		'91.1.18

●南海部品(株)

〒530 大阪府大阪市北区曾根崎新地2-6-28 ☎06(344)1581

名	称	型	式	公認月日
ナンカイ		SDシリーズ		'91.2.6
SRシリーズ		SRシリーズ		'91.2.8

ナンカイ		オーダーメイド		'91.6.5
ナンカイ		NR-01R平レブリアスーツ		'91.6.5
ナンカイ		NR-50プロレーシングスーツ		'91.6.5
ナンカイ		NRシリーズ		'91.1.8
ナンカイ		SR-16		'92.5.13
ナンカイ		SR-17		'92.5.13
ナンカイ		NR-51		'92.5.13
ナンカイ		SD8		'92.11.1
ナンカイ		NR-52		'92.11.1

●(有)ハイブ

〒116 東京都荒川区南千住6-59-16 ☎03(3803)6292

名	称	型	式	公認月日
ハイブ		オーダーメイド		'91.3.12

●バギー(株)

〒636-03 奈良県磯城郡川西町梅戸226 ☎07454(3)0177

名	称	型	式	公認月日
バギー、ベルベット BR		オーダーメイド		'91.4.10
バギー、ベルベット BR		A,AP,AR		'91.1.18

●(有)ビッグスター

〒110 東京都台東区北上野1-5-5 ☎03(3487)1480

名	称	型	式	公認月日
ビッグスター		オーダーメイド		'91.4.10

●ファクトリースズキ

〒982 宮城県仙台市太白区郡山穴田東25-1 ☎022(248)5315

名	称	型	式	公認月日
PRIDE ONE		オーダーメイド		'91.9.4

●(有)フジタレーザ

〒502 岐阜県岐阜市福光西2-10-15 ☎0582(33)5620

名	称	型	式	公認月日
フジタレーザ		オーダーメイド		'91.6.5

●ユニバース

〒183 東京都府中市寿町1-1-10 ☎0423(60)6311

名	称	型	式	公認月日
STUFF U		SU1003,5,6,7STAGE		'91.3.12
STUFF U		オーダーメイド		'91.3.12
PROSPEC		RC-1-001,RC-1-002		'91.6.5

●ブレンレザー

〒579 大阪府東大阪市石切町2-4-22 ☎0729(88)2664

名	称	型	式	公認月日
ブレンレザー		オーダーメイド		'91.3.12

●(株)モータースポーツミスターヒロ

〒580 大阪府松原市立部2-499-1 ☎0723(36)1580

名	称	型	式	公認月日
Mr.hiro		オーダーメイド		'91.9.4

●アレス

〒340 埼玉県草加市青柳町7-11-22 ☎0489(31)4319

名	称	型	式	公認月日
アレス		オーダーメイド		'91.2.6

●ヤマハ発動機(株)

〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎05383(2)1111

名	称	型	式	公認月日
YAMAHA YL-Aシリーズ		YL-340,336,337,338		'91.2.6
Takai R		TR-TRL		'90.10.23
PRO SHOP TAKAI		オーダーメイド		
Takai R		TR-TRL		'91.5.8

●ライディングコスチュームT&T

〒651-21 兵庫県神戸市西区池上4-13-8 ☎078(974)8682

名	称	型	式	公認月日
T&T		TS		'91.1.18

## ●レーシングプロショップO.S.F.C

〒954-04 新潟県西蒲原郡西川町新栄町296 ☎0256(88)7441

名 称	型 式	公認月日
レーシングプロショップO.S.F.C	O.S.F.C	'91.2.6

## ●(有)ワンステップライダー

〒452 愛知県名古屋市中区西区赤城町1 ☎052(502)7517

名 称	型 式	公認月日
OSR	YR-07	'90.11.17

## ●パパス

〒116 東京都荒川区南千住2-16-15 高畑ビル1F ☎03(3801)0438

名 称	型 式	公認月日
Papa's	オーダーメイド	'92.1.9

## ●(有)福富洋商会

〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町大字荒川沖1924-1 ☎0298(42)8161

名 称	型 式	公認月日
SURE(シュア)	オーダーメイド	'92.1.9

## ●BCピロータ

〒193 東京都八王子市千代町3-4-21 ☎0426(46)9661

名 称	型 式	公認月日
BC.ピロータ	オーダーメイド	'92.1.9

## ●(株)ブランツ

〒111 東京都台東区駒形1-10-9 村上ビル ☎03(3844)4135

名 称	型 式	公認月日
ハロスギア レーシングスーツ	OP-1 オーダーメイド	'92.1.9

## ●レザーハウスA&amp;M

〒277 千葉県柏市花野井1925 ☎0471(33)1664

名 称	型 式	公認月日
レザースーツA&M	オーダー	

## ●美津濃(株)

〒559 大阪府大阪市住之江区南港北1-12-35 ☎06(614)8124

名 称	型 式	公認月日
MIZUNO	オーダーメイド	'92.3.11

## ●WORK BOX KASAI

〒985 宮城県多賀城市笠神2-1-1 ☎022(366)6879

名 称	型 式	公認月日
[bulit]	オーダーメイド	'92.3.11

## ●ツカサプランニング

〒120 東京都足立区青井3-34-3 ☎03(3801)0438

名 称	型 式	公認月日
HELIO TROPE	HERIO RACING	'92.3.11

## ●(有)レーシングショップアイティーエ

〒982 宮城県仙台市太白区若葉町25-25 ☎022(229)0490

名 称	型 式	公認月日
ITAレーシングスーツ	ITAオーダー	'92.3.11

## ●アトリエワン

〒485 愛知県小牧市外山長田64-1 ☎0468(71)3040

名 称	型 式	公認月日
A-ONE RACING	オーダーメイド	'92.7.8

## MFJ公認タイヤ

## ●井上ゴム工業(株)

〒454 愛知県名古屋市中川区八家町3-28 ☎052(361)8661

タ イ ヤ 名	サ イ ズ	公認月日
TRIAL WINNER	4.00R18, TR-7	'86.3.26
TRIAL WINNER TR-9	4.00R18	'87.7.8
PRO-TECH NS-50F	2.75-174PR, 2.75-184PR, 80/100R16, 80/90R16	
NS-50R	2.75-184PR, 3.00-174PR, 90/90R18, 90/90R17	
PRO-TECH NS-10F	90/90R18, 100/80R17, 100/90R16, 110/70R17, 110/80R17, 110/80R18, 120/70R17, 120/80R16	
NS-10R	110/80R18, 120/80R17, 120/80R18, 130/70R18, 130/90R16, 140/60R18, 140/70R18, 160/60R18	
SPATOLA SPO 1F RADIAL	110/70R17 54H 120/60R17 55H 150/60R17 66H 160/60R17 69H	'92.7.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBE TYPE	2.75-21	'92.10.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBELESS	4.00R18	'92.10.1

## ●日本ミシュランタイヤ(株)

〒113 東京都文京区本郷7-2-1 ☎03(5684)3222

タ イ ヤ 名	サ イ ズ	公認月日
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18 TL	'87.7.8
ラジアルA59X	130/60R16, 120/80R16, 130/60R17(59H, 59Z), 110/70R17, 120/70R17(58, 58Z)	
ラジアルM59X	160/60R16, 160/80R16, 180/55R17, 160/60R17(69H, 69Z), 160/60R18, 150/70R70	
ハイスポートラジアルTX11	120/80R16, 130/60R17, 120/70R17, 100/80R17, 110/80R17, 120/60R17(55H, 55Z), 110/70R17, 110/80R18	
ハイスポートラジアルTX23	160/80R16, 180/55R17, 150/60R17, 160/60R17(69H, 69Z), 130/70R17, 150/70R17	
P2301	12/60R17	
P3104	15/61R17, 18/67R17	
P1201	12/60R17	
P3103	15/61R17, 18/67R17	
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TT	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TL	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18TL	'91.11.1
A59X	120/60R17 55Z	'92.4.3
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18 T/L	'92.5.1



## ●阿部商会(株)

〒101 東京都千代田区神田美土代町3 ☎03(3233)2212

タイヤ名	サイズ	公認月日
ビレゾートリアルタイヤ・MT73ガラトラリアル	2.75-21 MT73	'90.9.7
MP7スポーツレーシング	110/70ZR17, 120/60ZR17, 120/70ZR17, 150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/55ZR17, 140/60ZR18, 170/60ZR18	'91.7.4
MT75レーシング	100/80T16, 100/80T17, 130/70T17, 140/70T17, 130/70T18	'91.7.4

## ●(株)日本ダンロップ

〒651 兵庫県神戸市中央区筒井町1-1-1 ☎078(231)4141

タイヤ名	サイズ	公認月日
K320	2.75-21 4PR	'86.11.23
K320	4.00R18 4PR	'86.11.23
TT500F GP	80/90R16, 90/90R16, 100/90R16, 90/80R17, 100/18R17(52H, 57H, 54H)	
TT50GP	90/90R17, 120/80R17, 140/80R17, 130/70R17, 140/70R17, 100/90R18, 130/70R18	
RIDEEN GPR-30E	110/70R17, 120/70R17, 120/60R17, 100/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 170/60R17, 140/60R18, 150/60R18	
MR677	3.25/4.75R17, 4.00/6.00R18, 2.50/3.00R18, 2.75/3.75R18, 3.25/5.75R17, 3.25/5.75R18, 2.65/3.25R17, 2.85/4.00R17, 3.80/6.00R17, 3.60/6.70R18	
RIDEEN GPR-60F	110/70R175H, 120/60R175H	'91.5.9
RIDEEN GPR-60	150/60R176H, 160/60R176H, 140/60R184H, 150/60R186H	'91.5.9
TT700F GP	100/80-1752H, 110/70-1754H, 100/90-1854H	'91.5.9
TT700GP	130/70-1762H, 140/70-1766H, 120/80-1761H, 130/70-1863H, 130/90-1667H	'91.5.9
TT700F GP	90/90-18, 110/80-17	'92.3.4
TT700 GP	110/80-18, 110/90-18 120/80-18, 140/70-18 150/70-17	'92.3.4
K375F	100/80-17	'92.2.4
K375FG	100/80-17	'92.2.4
K375	120/80-17	'92.2.4
K420GPチューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
K420GPチューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
TT500F GP	100/80-17 52S	'92.6.20
TT500GP	120/80-17 61S	'92.6.20
K420チューブタイプ	2.75-21(45K)	'92.11.6
K420チューブレス	2.75-21(45K)	'92.11.6
K420GPチューブタイプ	2.75-21(45M)	'92.12.3
K420GPチューブレス	2.75-21(45M)	'92.12.3
K420GPチューブタイプ	4.00R18(64M)	'92.12.15
K420GPチューブレス	4.00R18(64M)	'92.12.15

## ●(株)ブリヂストン

〒104 東京都中央区京橋1-10-1 ☎03(3567)0111

タイヤ名	サイズ	公認月日
BATTLAX BT-72FS	110/80R17, 110/70R17, 120/60R17, 120/70R17	
BATTLAX BT-72RS	140/70R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 120/80R18, 140/60R18, 150/60R18, 170/60R17	
BATTLAX BT-09SS	90/90R16, 90/80R17	
BATTLAX BT-70FS	110/70R17, 120/60R17, 120/70R17, 130/60R17, 140/60R17, 140/60R18 150/60R17, 150/60R18 160/60R17, 170/60R17	
MF72	80/595R18, 85/575R17, 110/590R17, 95/600R18, 140/630R18, 120/595R17, 150/600R17	
ME76	105/575R17, 150/635R18, 155/620R17	
BATTLAX BT-50F	120/70ZR17, 130/60ZR17	'91.6.7
BATTLAX BT-50R	170/80ZR17, 180/55ZR17, 160/60ZR18	'91.6.7
ME77	90/55R17	'91.6.1
ME782	105/585R17	'91.6.1
BATTLAX BT-09SS SOFT	90/90-16, 90/80-17 100/80-17	'92.4.20
BATTLAX BT-10SS SOFT	120/80-17, 100/90-18	'92.4.20
BATTLAX BT-80S F RADIAL	110/70R7, 120/70R17 120/60R17	'92.3.20
BATTLAX BT-80S R RADIAL	150/60R17, 160/60R17 150/60R18	'92.3.20
BATTLAX BT-50	120/70ZR17	'92.4.20
ME77	90/570R17	'92.6.10
ME77	105/585R17	'92.6.10
ME77	160/625R17	'92.6.20
ME77	150/635R18	'92.6.20

●横浜ゴム(株)

〒105 東京都港区新橋5-36-11 ☎03(3432)7111

タイヤ名	サイズ	公認月日
F-003A2	80/90R16, 90/90R16, 90/80R17, 90/90R17, 100/90R18	
F-610	80/595R18, 85/570R17, 90/600R18, 100/580R17, 110/600R17, 120/605R17, 135/640R18, 150/600R17, 150/630R18, 180/630R17, 180/655R18	
F-003	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	
F-006	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R18, 170/60R17	
GETTAR F007RR	110/70F1754H, 120/60F1755H	'91. 6. 10
GETTAR R007RR	140/60R1763H, 150/60R1867H	'91. 7. 1
GETTAR R007RR	150/60R1766H, 160/60R1769H	'91. 6. 10
GETTAR F007RR	110/70R17 54H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	120/60R17 55H	'92. 4. 3
GETTAR R007RR	140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	110/70R17 54H 120/60R17 55H	'92. 7. 15
GETTAR F007RR	140/160R17 63H 150/160R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 7. 15



## MFJ公認車両〔スノーモビル〕

クラス		SJクラス	S4クラス	S3クラス	S2クラス	S1クラス
部門 排気量	水冷エンジン	—	~125ccまで	126cc~350ccまで	351cc~500ccまで	オープン
	空冷エンジン	~125ccまで	126~350ccまで	351cc~500ccまで	501cc~750ccまで	オープン
モ デ イ フ ア イ ス ポ ー ツ	SV80(E) SV125E	CS340 (E)	S340 S250 ET250 ET300 ET340 GPX338 EC340 TXL340 S300T S350DX INDY SPORTS INDY-LITE	PZ480 PZ480ED PZ480E PZ480LT PZ480SP PZ480LT S440 SS440 GPX433 INDY-TRAIL CUTLASS-SS TXL-INDY VT480E	S540 EC540 XL540 INDY500 (SP) INDY400 PROWER440 EX570SX EX570LT	EX570 (E) EX570SP INDY650 (RXL) FORMULA-MACHI EL-TIGRE WILD-CAT WILD-CAT700 FORMULA-PLUS VX750 INDY XLT ARCTIC.CAT  +他S4・S3 S2クラス車両

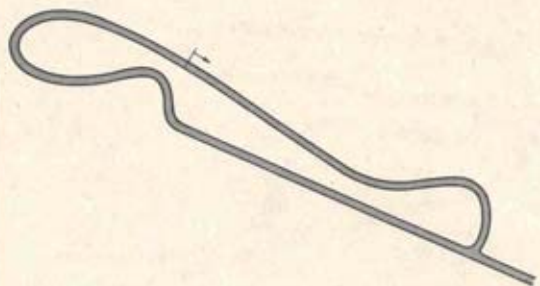
その他の部門別車両区分 ▶ フレッシュマンレース、レディース・ジュニア、OBレースのクラス区分は主催者により定める。

# '93全日本選手権シリーズおよび地方選手権 主要イベント開催サーキット

## ▶HSP (北海道スピードパーク)

〒044 北海道紋別郡網走支庁下155  
☎0136(23)3880

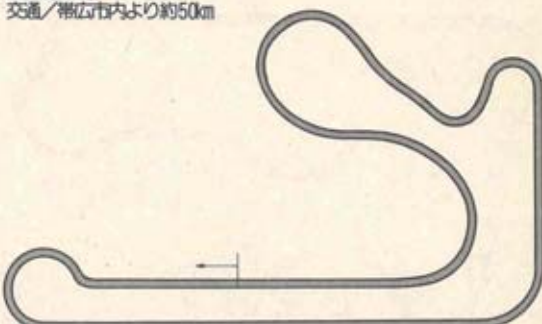
全長距離/1,389.44m  
最大直線長/365m  
ピット数/15箇  
走行路幅員/9~12m  
交通/札幌市内より95km



## ▶サホロスポーツランド

〒081 北海道上川郡新得町字新内西2線  
☎01568(4)5100

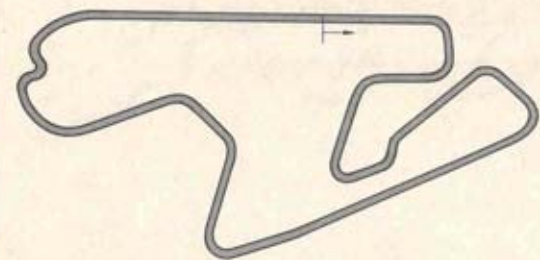
全長距離/1,453.5m  
最大直線長/325m  
ピット数/15箇  
走行路幅員/9~12m  
交通/帯広市内より約50km



## ▶スポーツランドSUGO

〒989-14 宮城県栗田郡村田町菅生  
☎0224(83)3111

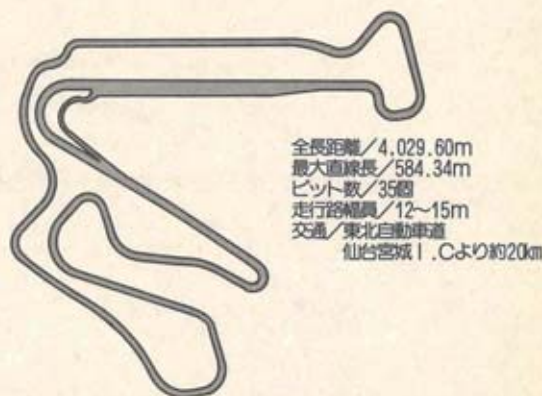
全長距離/3,737.5m  
最大直線長/704.5m  
ピット数/30箇  
走行路幅員/10~12.5m  
交通/東北自動車道・村田。Cより約10km



## ▶仙台ハイランドスピードウェイ

〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂12  
☎022(395)2120

全長距離/4,029.60m  
最大直線長/584.34m  
ピット数/35箇  
走行路幅員/12~15m  
交通/東北自動車道  
仙台宮城。Cより約20km



## ▶日本海間瀬サーキット

〒963-01 新潟県西蒲原郡柏室村間瀬610  
☎0256(85)2201

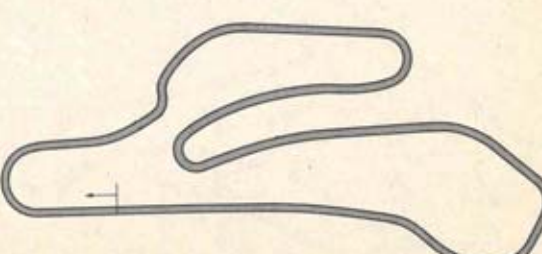
全長距離/2,000m  
ピット数/15箇  
走行路幅員/7~20m  
交通/関越自動車道・新潟東1。Cより約30km



## ▶エビスサーキット

〒964 福島県二本松市沢松倉1  
☎0243(24)2972

全長距離/2,061m  
最大直線長/420m  
ピット数/20箇  
走行路幅員/10~12m  
交通/東北自動車道・二本松1。Cより約20km



▶那須エクスプローラーサーキット

〒325 栃木県黒磯市寺子字坂の上677  
☎0287(63)7300

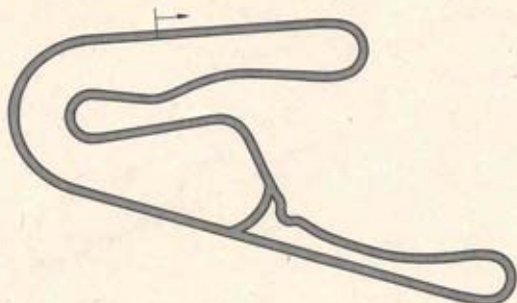


全長距離/1,156m  
最大直線長/360m  
ピット数/12箇所  
走行路幅員/7.5~10m  
交通/東北自動車道・那須I.Cより約10km

▶筑波サーキット

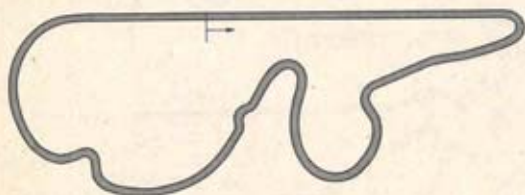
〒300-34 茨城県結城郡千代田村大字村岡  
☎0296(44)3146

全長距離/2,070m  
最大直線長/437.75m  
ピット数/20箇所  
走行路幅員/10~15m  
交通/常磐自動車道・谷和原I.Cより約25km



▶富士スピードウェイ (FISCO)

〒410-13 静岡県駿東郡小山町大倉神  
☎0550(78)1234

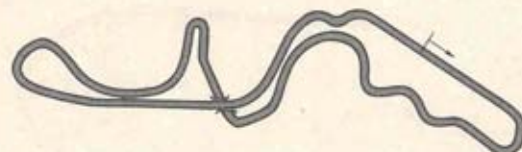


全長距離/4,470m  
最大直線長/1,600m  
ピット数/40箇所  
走行路幅員/12~15m  
交通/東名高速道路・御殿場I.Cより約25km

▶鈴鹿サーキット

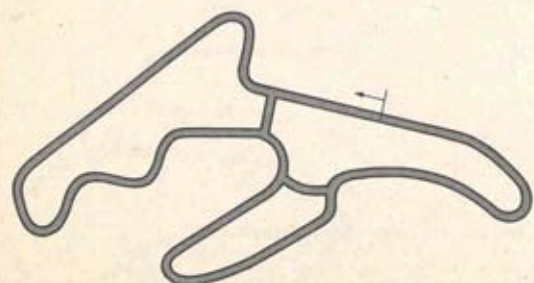
〒510-02 三重県鈴鹿市若生町7992  
☎0593(78)1111

全長距離/5,864.03m  
最大直線長/900m  
ピット数/48箇所  
走行路幅員/9.2~12m  
交通/東名高速道路・鈴鹿I.Cより約13km



▶鈴鹿サーキット南コース

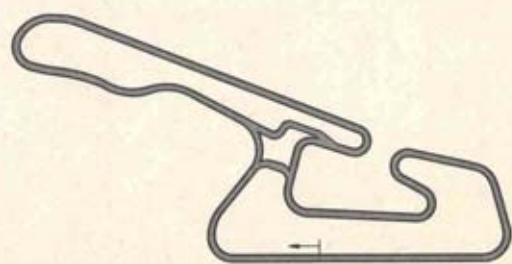
全長距離/1,264m  
最大直線長/190m  
ピット数/20箇所



▶TIサーキット英田

〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮地内  
☎08687(4)3311

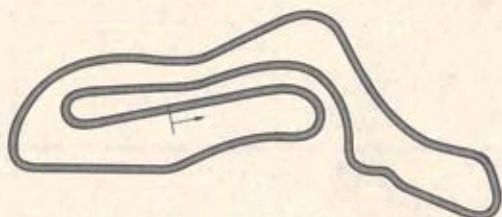
全長距離/3,702m  
ピット数/54箇所  
交通/岡山県より約80km



▶中山サーキット

〒709-04 岡山県和気郡和気町大中山751  
☎0869(93)2333

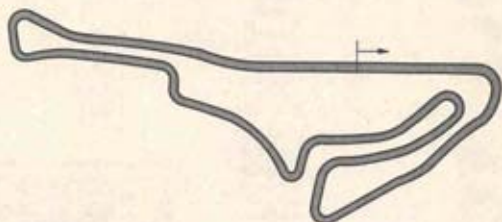
全長距離/2,007m  
最大直線長/250m  
ピット数/56個  
走行路幅員/10~18m  
交通/中国自動車道・美作I.C.より約20km



▶MINEサーキット

〒759-21 山口県美祿市西野保町  
☎08375(8)0321

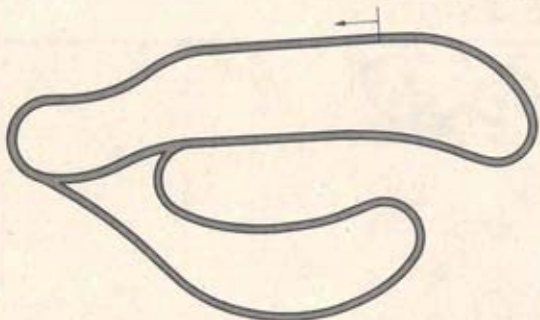
全長距離/3,238.98m  
最大直線長/900m  
ピット数/46個  
走行路幅員/10~15m  
交通/中国自動車道  
小月I.C.より約16km、美祿I.C.より約20km



▶阿讃サーキット

〒771-25 徳島県三好郡三好町大字栗山字滝久保319  
☎0883(79)3705

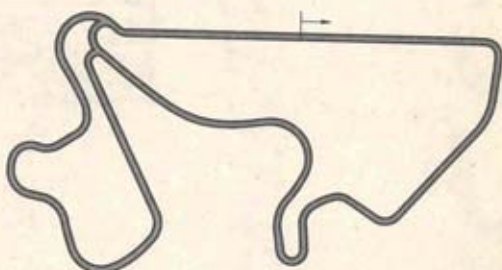
全長距離/905m  
最大直線長/200m  
ピット数/20個  
走行路幅員/8~15m  
交通/徳島市内より約70km



▶AUTO POLIS

〒877-03 大分県日田郡上津江村  
☎0973(55)1111

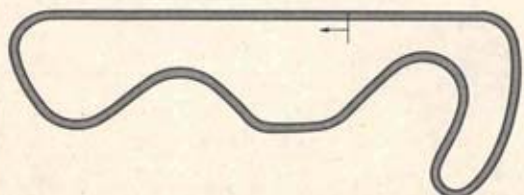
全長距離/4,674m  
最大直線長/190m  
ピット数/40個  
交通/九州自動車道・菊水I.C.より約45km



▶スポーツ&セーフティ  
ライディングフィールド・スバ直入

〒878-04 大分県直入郡直入町  
☎0974(75)3191

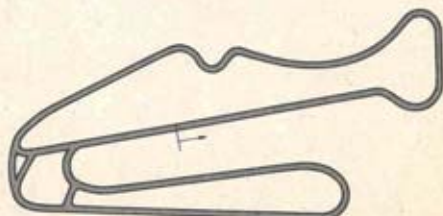
全長距離/1,430m  
最大直線長/420m  
ピット数/24個



▶ホンダ・セーフティ&  
ライディングプラザ九州

〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川1500  
☎096(293)1370

全長距離/2,002m  
最大直線長/350m  
ピット数/30個  
走行路幅員/9~12m  
交通/九州縦貫道路・熊本I.C.より約15km



# 歴代チャンピオンリスト

## '92年度全日本選手権シリーズチャンピオン《国際A級》

### ロードレース500ccクラス チャンピオン

ダリル  
ビーティー  
(初)



Rd.1	3/15	MINE	中止
Rd.2	4/12	筑波	—
Rd.3	4/26	SUGO	1位
Rd.4	5/17	鈴鹿	2位
Rd.5	5/24	筑波	1位
Rd.6	6/21	鈴鹿	3位
Rd.7	7/5	SUGO	3位
Rd.8	8/9	FISCO	1位
Rd.9	9/13	鈴鹿	1位
Rd.10	9/27	仙台	中止
Rd.11	10/11	SUGO	—
Rd.12	11/1	GP	1位
合計			150P

### ロードレース250ccクラス チャンピオン

原田哲也  
(初)



Rd.1	3/15	MINE	中止
Rd.2	4/12	筑波	—
Rd.3	4/26	SUGO	2位
Rd.4	5/17	鈴鹿	1位
Rd.5	5/24	筑波	2位
Rd.6	6/21	鈴鹿	1位
Rd.7	7/5	SUGO	1位
Rd.8	8/9	FISCO	—
Rd.9	9/13	鈴鹿	1位
Rd.10	9/27	仙台	12位
Rd.11	10/11	SUGO	1位
Rd.12	11/1	GP	1位
合計			161P

### ロードレース125ccクラス チャンピオン

斉藤  
明  
(初)



Rd.1	3/15	MINE	2位
Rd.2	4/12	筑波	1位
Rd.3	4/26	SUGO	1位
Rd.4	5/17	鈴鹿	3位
Rd.5	5/24	筑波	3位
Rd.6	6/21	鈴鹿	—
Rd.7	7/5	SUGO	1位
Rd.8	8/9	FISCO	—
Rd.9	9/13	鈴鹿	2位
Rd.10	9/27	仙台	1位
Rd.11	10/11	SUGO	4位
Rd.12	11/1	GP	6位
合計			170P

### ロードレースTT-F1クラス チャンピオン

塚本昭一  
(初)



Rd.1	3/15	MINE	中止
Rd.2	4/12	筑波	8位
Rd.3	4/26	SUGO	1位
Rd.4	5/17	鈴鹿	8位
Rd.5	5/24	筑波	6位
Rd.6	6/21	鈴鹿	—
Rd.7	7/5	SUGO	1位
Rd.8	8/9	FISCO	2位
Rd.9	9/13	鈴鹿	2位
Rd.10	9/27	仙台	3位
Rd.11	10/11	SUGO	1位
Rd.12	11/1	GP	1位
合計			158P

## モトクロス250ccクラス チャンピオン

エディ・  
ウォーレン  
(初)



Rd.1	4/5	関東	—	—
Rd.2	4/19	中部	1位	1位
Rd.3	4/26	近畿	2位	2位
Rd.4	5/10	中国	2位	1位
Rd.5	5/17	鈴鹿	1位	1位
Rd.6	5/31	四国	1位	1位
Rd.7	6/14	SUGO	1位	1位
Rd.8	7/5	北海道	1位	2位
Rd.9	7/19	東北	—	3位
Rd.10	8/2	関東	4位	3位
Rd.11	9/20	中部	8位	—
Rd.12	10/4	GP	7位	7位
合計				343P

## モトクロス125ccクラス チャンピオン

請川  
意次  
(初)



Rd.1	4/5	関東	2位	1位
Rd.2	4/19	中部	1位	3位
Rd.3	4/26	近畿	1位	1位
Rd.4	5/10	中国	1位	3位
Rd.5	5/17	鈴鹿	2位	2位
Rd.6	5/31	四国	—	1位
Rd.7	6/14	SUGO	1位	4位
Rd.8	7/5	北海道	1位	1位
Rd.9	7/19	東北	3位	7位
Rd.10	8/2	関東	1位	1位
Rd.11	9/20	中部	1位	1位
Rd.12	10/4	GP	1位	1位
合計				424P

## トライアル チャンピオン

## スタジアムトライアル チャンピオン

パスカル・  
クトゥリエ  
(初)



Rd.1	4/26	GP	1位
Rd.2	5/24	九州	1位
Rd.3	6/28	関東	1位
Rd.4	7/26	東北	2位
Rd.5	8/23	北海道	1位
Rd.6	9/20	近畿	3位
Rd.7	10/18	中部	2位
合計			132P

### スタジアムトライアル

Rd.1	5/2	東京	3位
Rd.2	6/14	熊本	1位
Rd.3	7/5	尼崎	3位
Rd.4	9/15	名古屋	2位
Rd.5	10/4	東京	4位
合計			80P

## ROAD RACE

●ロードレース部門('68~'92年)

年	部門	クラス	氏名
'68	アマチュア	90cc	角谷新二
		125cc	鈴木聖弘
		250cc	大船俊夫
	ジュニア	90cc	酒井一夫
		125cc	森井茂夫
		250cc	谷口晋哉
セニア	90cc	神谷良明	
	125cc	馬場忠雄	
	250cc	和田正宏	
'69	アマチュア	90cc	野田正彦
		125cc	斉藤茂夫
		250cc	中尾康夫
	ジュニア	90cc	角谷新二
		125cc	高井俊郎
		250cc	尾崎祥二
セニア	90cc	小田豊	
	125cc	隅谷守男	
	250cc	金谷秀夫	
'70	ノービス	90cc	岩道博
		125cc	柴谷正昭
		250cc	小塚法正
	ジュニア	90cc	江崎正二
		125cc	青山雅治
		250cc	糟野光男
セニア	90cc	近藤英二	
	125cc	小田豊	
	250cc	大船俊夫	
'71	ノービス	90cc	平井裕
		125cc	上田公次
		250cc	大橋富夫
	ジュニア	90cc	渡辺富士夫
		125cc	青木辰巳
		250cc	内田隆
セニア	90cc	江崎正	
	125cc	速藤恒雄	
	250cc	中尾康夫	
'72	ノービス	90cc	菅原伸夫
		125cc	坂公平
		250cc	上野真一
	ジュニア	90cc	毛利良一
		125cc	大本十生
		250cc	大本敬
エキスパート ジュニア	125cc	渡辺富士夫	
	250cc	阿部孝夫	
	251cc以上	内田隆	
セニア	125cc	小田豊	
	251cc以上	小田豊	

●ROAD RACE

Table of Road Race results from 1973 to 1980. Columns: Year, Department, Class, Name. Includes categories like No-Bis, Junior, Expert, and Amateur across various classes (90cc, 125cc, 250cc).

●ROAD RACE

Table of Road Race results from 1981 to 1989. Columns: Year, Department, Class, Name. Includes categories like No-Bis, International B, International A, and Junior across various classes (125cc, 250cc, 500cc).

●ROAD RACE

Table of Road Race results from 1990 to 1992. Columns: Year, Department, Class, Name. Includes categories like Domestic A, International A, and Amateur across various classes (SP750, Formula, 125cc, 250cc, 500cc).

MOTOCROSS ●モトクロス部門('68-'92年)

Table of Motocross results from 1968 to 1992. Columns: Year, Department, Class, Name. Includes categories like Amateur, Junior, Senior, and Amateur across various classes (50cc, 90cc, 125cc, 250cc).



## ●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
	ノービス	90cc	薬原 和年
		125cc	薬原 和年
		250cc	斎藤 英夫
'71	ジュニア	90cc	中村 忠
		125cc	杉浦 保治
		250cc	竹沢 正治
	エキスパート	125cc	瀬尾 勝彦
		250cc	瀬尾 勝彦
		250cc	矢島金次郎
	セニア	125cc	上野 広一
		250cc	
		250cc	
	ノービス	90cc	藤 秀信
		125cc	藤 秀信
		250cc	藤 秀信
'72	エキスパート	125cc	小田切信雄
		250cc	池田 勝
		250cc	
	ジュニア	90cc	唐沢栄三郎
		125cc	唐沢栄三郎
		250cc	唐沢栄三郎
	セニア	125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 都良夫
		250cc	
	ノービス	90cc	菅家 惠
		125cc	村上 光則
		250cc	菅家 惠
'73	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
	エキスパート	125cc	岸川 清秀
		250cc	藤 秀信
		250cc	鈴木 都良夫
	セニア	125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	
'74	ジュニア	90cc	谷川 徹二
		125cc	光安 鉄美
		250cc	大貫 広美
	エキスパート	125cc	渡辺 明
		250cc	渡辺 明
		250cc	
	セニア	125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	
'75	ジュニア	90cc	北村 隆賢
		125cc	青山 金助
		250cc	青山 金助
	エキスパート	125cc	東福寺保雄
		250cc	東福寺保雄
		250cc	
	セニア	125cc	杉尾 良文
		250cc	増田 耕次
		250cc	
'76	ジュニア	90cc	月岡 尚人
		125cc	月岡 尚人
		250cc	月岡 尚人
	エキスパート	125cc	光安 鉄美
		250cc	青山 金助
		250cc	
	セニア	125cc	鈴木 都良夫
		250cc	竹沢 正治
		250cc	
'77	ジュニア	90cc	渡辺 義巳
		125cc	小沢 福田
		250cc	福田 正敏
	エキスパート	125cc	佐藤 健二
		250cc	大泉 浩一
		250cc	
	セニア	125cc	瀬尾 勝彦
		250cc	瀬尾 勝彦
		250cc	
'78	ジュニア	90cc	原本 松子
		125cc	庄司 寛
		250cc	シイノトコ
	エキスパート	125cc	佐々木 隆
		250cc	佐々木 隆
		250cc	
	セニア	125cc	瀬尾 勝彦
		250cc	光安 鉄美
		250cc	
'79	ジュニア	90cc	斎藤 武男
		125cc	大久保和親
		250cc	堀口 雅史
	エキスパート	125cc	秋元 春夫
		250cc	原口 衛
		250cc	
	セニア	125cc	光安 鉄美
		250cc	光安 鉄美
		250cc	

## ●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
	ジュニア	125cc	小野沢良一
		250cc	小野沢良一
		250cc	谷川竜太郎
'80	国際B級	125cc	庄司 寛
		250cc	庄司 寛
		250cc	
	国際A級	125cc	東福寺保雄
		250cc	杉尾 良文
		250cc	
	ジュニア	125cc	平山 勝一
		250cc	茶谷 学
		250cc	
'81	国際B級	125cc	岡部 篤史
		250cc	岡部 篤史
		250cc	
	国際A級	125cc	東福寺保雄
		250cc	福本 敏夫
		250cc	
	ジュニア	125cc	ロン・キング
		250cc	馬場 善人
		250cc	
'82	国際B級	125cc	小橋 勝年
		250cc	小橋 勝年
		250cc	
	国際A級	125cc	大関 昌典
		250cc	東福寺保雄
		250cc	
	ジュニア	125cc	天田 淳
		250cc	天田 淳
		250cc	
'83	国際B級	125cc	茶谷 学
		250cc	茶谷 学
		250cc	
	国際A級	125cc	庄司 寛
		250cc	杉尾 良文
		250cc	
	ジュニア	125cc	調所 伸一
		250cc	小栗 伸幸
		250cc	
'84	国際B級	125cc	菅原 義広
		250cc	鷗田 忍
		250cc	
	国際A級	125cc	東福寺保雄
		250cc	スティーブ・マーチン
		250cc	
	ジュニア	125cc	長沼 朝之
		250cc	花田 茂樹
		250cc	
'85	国際B級	125cc	田淵 武
		250cc	川崎 智之
		250cc	
	国際A級	125cc	岡部 篤史
		250cc	スティーブ・マーチン
		250cc	
	ジュニア	125cc	藤本 正勝
		250cc	吉田 泉
		250cc	
'86	国際B級	125cc	花田 茂樹
		250cc	花田 茂樹
		250cc	
	国際A級	125cc	伊田井佐夫
		250cc	東福寺保雄
		250cc	
	ジュニア	125cc	岸田 隆夫
		250cc	橋本 慎二
		250cc	
'87	国際B級	125cc	吉田 和泉
		250cc	石橋 博也
		250cc	
	国際A級	125cc	岡部 篤史
		250cc	東福寺保雄
		250cc	
	ジュニア	125cc	大塚 元和
		250cc	大塚 元和
		250cc	
'88	国際B級	125cc	大塚 忠和
		250cc	大塚 忠和
		250cc	
	国際A級	125cc	岡部 篤史
		250cc	東福寺保雄
		250cc	
	ジュニア	125cc	黒古 尚利
		250cc	黒古 尚利
		250cc	
'89	国際B級	125cc	芹沢大樹
		250cc	榎本 正則
		250cc	
	国際A級	125cc	光安 鉄美
		250cc	岡部 篤史
		250cc	
	ジュニア	125cc	萩島 忠雄
		250cc	萩島 忠雄
		250cc	
'90	国際B級	125cc	元木 龍幸
		250cc	村橋健太郎
		250cc	
	国際A級	125cc	東福寺保雄
		250cc	東福寺保雄
		250cc	
'91	国際B級	125cc	半場 謙吾
		250cc	城田 賢一
		250cc	
	国際A級	125cc	萩島 忠雄
		250cc	宮内 隆行
		250cc	

## ●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
'92	国際B級	125cc	佐々木裕介
		250cc	田沢 豊晃
		250cc	鎌川 意次
	国際A級	125cc	エディ・ウォーレン
	国際A級	250cc	

## TRIAL

●トライアル部門('73~'92年)

年	部門	クラス	氏名
'73	選 抜		木村 治 男
'74	ノービス		伊吹 健 次
			近藤 博 志
'75	ジュニア		蜂 藤 秀 男
			エクスパート
'76	ジュニア		町田 晴一 男
			エクスパート
'77	ジュニア		山本 昌博 也
			エクスパート
'78	ジュニア		山田 民博 志
			エクスパート
'79	ジュニア		佐藤 雄博 一
			国際A級
'80	ジュニア		丸 木 山 一 風
			国際A級
'81	ジュニア		石原 正一 美
			国際A級
'82	国際B級		高山 雅 孝 也
			国際A級
'83	国際B級		和山 弘 行 也
			国際A級
'84	国際B級		米 沢 夫 也
			国際A級
'85	国際B級		泉 本 裕 明 也
			国際A級
'86	国際B級		小林 直 樹 也
			国際A級
'87	国際B級		小 伊 藤 敦 志
			国際A級
'88	国際B級		成 田 匠 志
			国際A級
'89	国際B級		宮 道 昌 浩 匠
			国際A級
'90	国際B級		前 野 繁 志
			国際A級
'91	国際B級		本 多 元 治 博
			国際A級
'92	国際B級		小 川 友 幸
			国際A級

## STADIUM TRIAL

●スタジアムトライアル部門('91~'92年)

年	部門	氏名
'91	国際A級	中川 義博
'92	国際A級	バスカル・クリリエ

# SNOWMOBIL

●スノーモービル部門('78~'92年)

'78	モデファイ340cc モデファイ440cc	円治 章 円治 章
'79	モデファイ340cc モデファイ440cc	高橋 和雄 古川 四郎
'81	モデファイオープン モデファイ540cc モデファイ340cc モデファイ300cc	領毛 信治 本田 勝義 佐々木善之 南雲 静夫
'82	モデファイオープン モデファイ540cc モデファイ340cc モデファイ300cc	高橋 和雄 高橋 和雄 佐野 博 古川 啓八
'83	モデファイオープン モデファイ540cc モデファイ340cc モデファイ300cc	藤本 正勝 中山 忠 中山 忠 佐野 博
'85	モデファイオープン モデファイ540cc モデファイ340cc	高橋 和雄 江口 享二 今野 孝
'86	モデファイオープン モデファイ540cc モデファイ340cc	熊谷 留夫 熊谷 留夫 江口 亨一
'87	モデファイオープン モデファイ540cc モデファイ340cc	松田勇五郎 米田 幸一 松田勇五郎
'88	モデファイオープン モデファイ540cc モデファイ340cc	遠藤 和也 江口 亨一 遠藤 和也
'89	モデファイオープン モデファイ540cc モデファイ340cc	熊谷 留夫 江口 享二 遠藤 和也
'90	モデファイA級S1 モデファイA級S3 モデファイA級S4 モデファイB級S1 モデファイB級S3 モデファイB級S4	江口 享二 熊谷 留夫 江口 亨一 沼倉 照義 羽田野達也 梅沢 文雄
'91	モデファイA級S1 モデファイA級S3 モデファイA級S4 モデファイB級S1 モデファイB級S3 モデファイB級S4	成田 正弘 江口 亨一 大野 勇 内野 令一 梅沢 康二 木村 明則
'92	モデファイA級S1 モデファイA級S3 モデファイA級S4 モデファイB級S1 モデファイB級S3 モデファイB級S4	成田 正弘 上葛 泰隆 高橋 晴彦 山内 康裕 又村 哲哉 八木橋光治



メ531Fトライフル  
アラビヤチャンピオン杯

①RP-L(ラスベス)……高い浸透力と錆取り・防錆効果により固着したボルトやナット、アクセルワイヤーやクラッチワイヤーの潤滑、MXキックペダルの潤滑に最適。標準価格：1,500円

②BC(ブレーキバルブクリーナー)……各部パーツ、ブレーキ、スパークプラグ、キャブレターなどの洗浄。液状ガスケットやネジタイト使用時の脱脂、ホイール周りの汚れ落とし、新品タイヤの皮むきにも効果を発揮。標準価格：1,600円

③CH-G(チェーンガード)……シールドチェーンに最適なスプレー式グリス。高速走行でも飛散しません。標準価格：1,500円

④EC(エンジンコンディショナー)……キャブレターを分解した際の各ジェット類の洗浄に最適。標準価格：1,800円

⑤MC(モロコ/ワンド)……オーバーホール時のミッションのギヤ、4ストロークエンジンのメタル部分、アクスルシャフトやスイングアームピボット、リヤサスペンションのリンクピボットなどにスプレーするだけで潤滑トラブルを防止。標準価格：2,500円

⑥SL(シリコンプレバント)……オフロードマシンのエンジン、ボディー、ファンダなどに走行前に吹き付けておくことで汚れが落ちやすくなる。標準価格：1,500円



⑦THC-A(スレジットコンバント)……エキゾーストのフランジ取付けボルト、ナット、ブレーキキャリパーマウントボルト、スパークプラグのネジ部分、センターロック式のホイールナット部分、ブレーキパッドの裏側など、高温重荷重部に最適なシール性に優れた潤滑スプレー。標準価格：3,000円

⑧SG(シリコングリース)・⑨SGT(シリコングリースチューブ)……ブレーキ装置のピストンやゴムカップ部分、フロントフォークやクランクのオイルシール部分など、水のかかる場所、高温部に幅広い使用が可能。標準価格：3,000円 標準価格：2,300円

⑩GM(ガスケットメイグ)……チャンバージョイントのシール部分、シリンダーヘッドやウォーターポンプ部分、フロントフォークやクランクのオイルシール部分など、泥対策の穴埋めなどに最適。標準価格：3,600円

⑪NT(ネジタイト)……ブレーキディスクローターのネジ部分、シリンダーやシリンダーヘッドのスクットボルト、スプロケットのネジ部分に効果を発揮する強力固着剤。標準価格：3,000円

⑫MG(モログリース)・⑬MPG(マルチバーバググリース)……ステアリング部のベアリング、ホイールベアリング、アクスルシャフト、サスペンションリンクのニードルベアリングに最適な高性能グリース。標準価格：2,500円 標準価格：1,800円

⑭RT(ラジエーターリートメント)……ラジエーターの水量に対して8%前後の割合で使用。オーバーヒートを防ぎ、防錆効果も抜群。標準価格：1,200円

⑮GOYO(商用ワックス)……フロントカウルやアンダーカウル、ヘルメットなどにも使用できるワックス。標準価格：1,000円

## Quality for Performance

### FOR FOUR-STROKE ENGINE



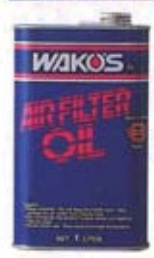
**E430 4CRV**  
(フォーシーアルバイ)  
●100%化学合成オイル  
SAE20W-40 API SG/CD  
標準価格3,800円/1L



**E420 4CR**  
(フォーシーアル)  
●100%化学合成オイル  
SAE15W-50 SAE17.5W-40  
API SG/CD  
標準価格2,800円/1L



**4C**  
(フォーシーター)  
●半化学合成オイル  
E400 (ACT-40)  
SAE10W-40 API SG/CD  
EA10 (ACT-50)  
SAE20W-50 API SG/CD  
標準価格1,900円/1L



**T200 AF**  
(エーエフ)  
●エアフィルターオイル  
標準価格2,200円/1L

### FOR TWO-STROKE ENGINE



**E530 2CRV**  
(ツーシーアルバイ)  
●化学合成、種油油  
(混合専用)  
標準価格4,000円/1L



**E521 2CR**  
(ツーシーアル)  
●100%化学合成オイル  
(混合専用)  
標準価格1,800円/500ml



**E551 V2R**  
(バイターアル)  
●100%化学合成オイル  
(分級・混合両用)  
標準価格1,700円/500ml



**E501 2CT**  
(ツーシーター)  
●100%化学合成オイル  
(分級用)  
標準価格1,900円/1L

# MARVIC

## '93 MODEL RACING WHEEL

### Best of the Wheel

世界中のプライベートチームだけでなく、ワークスマシンなどにも使用されているスポーク構造は超軽量肉抜きタイプです。この形は軽量で剛性も高く、特別な製造技術がないと製作することが出来ません。設計では最新のテクニカルインティグレーションによってマグネシウム研究、行っており工場で最新技術により製造しています。マグネシウムは 金属の中で 最も軽く機械製品に 使用され 特有の重さはアルミニウムの2/3、スチールの1/4で、レースなどでは欠かすことが出来ない材料であり、熟練されたエキスパートでなければ製造することは出来ません。製造後は厳密に検査され破壊テストやX線検査などを通して最も安全で最も軽量の物を選んで出荷されています。

### HONDA RS125R

'90~'93 FRONT *付属パーツ:サイドカラーセット	2.15-17	¥93,000
	2.25-17	¥94,000
	2.50-17	¥95,000
'90~'93 REAR	3.00-17	¥110,000
	3.25-17	¥114,000
	3.50-17	¥116,000



### HONDA RS250R

'90~'93 FRONT	3.50-17	¥138,000
	3.75-17	¥138,000
'90~'92 REAR	5.25-17	¥159,000
	5.50-17	¥164,000
'93 REAR	5.25-17	¥159,000
	5.50-17	¥164,000

### YAMAHA TZ250

'91~'93 FRONT	3.50-17	¥138,000
	3.75-17	¥138,000
'91~'93 REAR	5.25-17	¥159,000
	5.50-17	¥164,000

### RACING WHELL

総販売元株式会社アクティブ 総輸入元 GARUDA INC.



マービックホイールは11月より価格改訂いたしました。

※お買い上げ頂いた方、先着50名にイタリア製マービックパーカープレゼント!!



ACTIVE

株式会社 アクティブ

住所 〒468 名古屋市中区錦三丁目5番地  
電話番号 TEL:0521-801-3811 FAX:0521-801-3808  
OPEN 9:30AM-8:30PM 定休日:日曜日、祭日

#### 業者販売・通信販売歓迎

- 複製、印刷、その他の条件で実物の商品とは多少違って見える事があります。
- 仕様及び価格が予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい。
- 上記各製品は、レース用パーツの為、一般公道での使用は禁じられています。
- 通信販売でのご注文の際は事前に商品の在庫もご確認ください。
- 本誌掲載品の価格には消費税は含まれておりません。

#### SPECIAL PARTS CATALOG

アクティブニューカタログ(52P)が完成致しました。ご希望の方は、切手¥900分を同封の上、左記住所「カタログ希望MFJ」までご請求下さい。



熱きバトルの感動を

今年も

ライバルとの闘い、時間との闘い、そして自分との闘い——。頂点を目指して疾走する姿と熾烈なレーシングシーンは、いつ見てもダイナミックでスピーディだ。私たちは幾度なく、繰り広げられる最高のバトルステージに身を置き、熱きレーサーの想いと走りをお楽しみしたい。



## 走行ライセンスが とりやすくなりました

- ライセンス講習会は毎日開催します。
- ライセンスは取得日より1年間は有効。

**受付時間**  
AM8:30~9:00まで

**費用**  
新規ライセンス発給料22,000円・共済費5,000円  
・合計27,000円

**当日持参するもの**  
運転免許証、印鑑、健康保険証、写真2枚(3cm×2.5cm、無背景、無帽)、筆記用具(万年筆又はボールペン)、ヘルメット、皮手袋、皮つなぎ、ブーツ、2輪車(Na付、レーサー共に可)  
※20才未満の方については、所定の契約書に親権者の署名と、なつ印(実印)を必要とします。

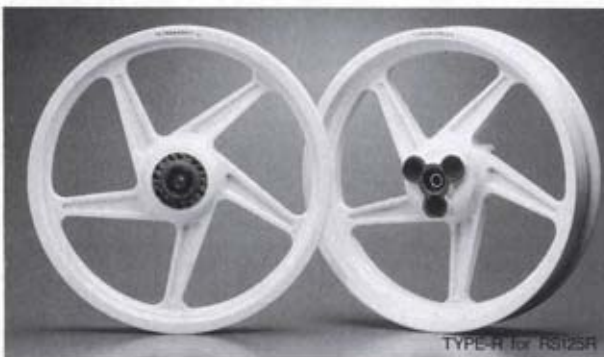
**開催日**  
3月より12月までの間

**申込方法**  
必ず前日まで電話で予約して下さい。  
仙台ハイランドレースウェイ  
☎022-395-2120・2123

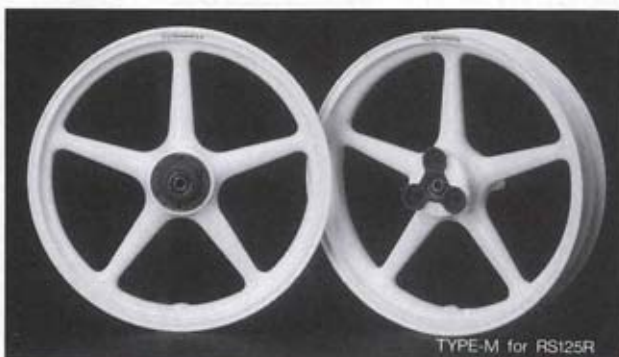


# Tecnomagtesio

## '93 MODEL RACING WHEEL



TYPE-R for RS125R



TYPE-M for RS125R

### GP3: HONDA RS125R

#### TYPE-R (LOW PRESSURE CASTING)

'92シーズンも「WORLD GP」、「全日本選手権 IA125クラス」を始めとする様々なクラスにおいて安定した性能を発揮。'93シーズンにおいてもすぐれた製品精度とコストパフォーマンスを基本にデリバリーしてまいります。

FRONT	MT 2.35-17	¥88,000
	MT 2.50-17	¥88,000
REAR	MT 3.00-17	¥108,000
	MT 3.25-17	¥112,000
	MT 3.50-17	¥112,000

■FRONT WHEEL  
付属パーツ：サイドカラーセット (R)

#### TYPE-M (NEW MODEL WHEEL)

'93シーズンに向け、さらなる高性能を追求したNEW MODELをリリース//  
スポークをモノコック構造 (中空スポーク) とし、ハブ部分等もRS125専用タイプとし大幅な軽量化と高剛性を達成//

FRONT	MT 2.35-17	¥118,000
	MT 2.50-17	¥118,000
REAR	MT 3.25-17	¥142,000
	MT 3.50-17	¥142,000

■FRONT WHEEL  
付属パーツ：サイドカラーセット (R)

### GP2: HONDA RS250R('93)/YAMAHA TZ250

#### TYPE-R (LOW PRESSURE CASTING)

高い信頼性とコストパフォーマンスのTYPE-Rにより優れた製品精度の'93モデルをリリース//

FRONT	MT 3.75-17	¥105,000
	MT 5.50-17	¥125,000

#### TYPE-M (NEW MODEL WHEEL)

年々、激化するGP-2クラスを戦う為により高性能を追求したTYPE-M。  
モノコック (中空スポーク) により軽量化と高剛性を両立。

FRONT	MT 3.50-17	¥122,000
	MT 3.75-17	¥125,000
REAR	MT 5.25-17	¥152,000
	MT 5.50-17	¥155,000

上記以外のSIZE (レイン対応、etc.) 及び'91-'92 RS250R対応ホイールについては、お問い合わせ下さい。

SS class、TT-F1 class 対応ホイールの価格、仕様等につきましては資料を請求いただくか、下記 Technical Shop、又は当社までお問い合わせ下さい。

'93 MODELのPRICE、デリバリー時期、発売予定車種、SIZE、仕様等につきましては当社又は下記 Technical Shopへお問い合わせ頂くか、資料をご請求下さい。

#### Tecnomagtesio Technical Shop

宮城県角田市 株式会社 0224-62-0671  
宮城県仙台市 株式会社 022-246-2619  
宮城県仙台市 TOWNS 022-256-5635  
宮城県名取市 ユム・プロダクト 022-386-2278  
宮城県栗田町 株式会社 (PC SUGO) 0224-83-3111  
栃木県小山市 I-FACTORY 0285-25-0508  
茨城県結城郡 有ワールド 0296-49-3138  
埼玉県川越市 有エンデュランス 0492-22-7770  
千葉県四街道市 レーシングサブライ 0434-23-1180  
東京都江戸川区 株式会社 03-3679-4266  
東京都台東区 HONDA SPORT MOTORUM 03-3831-4265  
東京都東大和市 ハルクラフ 0425-66-3851  
東京都八王子市 29ガレージ 0426-27-5429

東京都新宿区 有城北ホンダオート (Jai) 03-3952-4004  
神奈川県伊勢原市 株式会社 0483-92-3793  
神奈川県横浜市 有モトプロス横浜 045-402-7227  
神奈川県横浜市 オールマン 045-421-8391  
神奈川県横浜市 有ライダーズサロ横浜 045-783-3638  
神奈川県横浜市 クックプロダクト 045-242-1978  
静岡県駿東郡 有ワールドカワフク 0559-87-2480  
岐阜県岐阜市 有ノースウイングJC 0582-94-4421  
愛知県海部郡 ラ・モト-KOHSAKA 05679-5-9991  
愛知県刈谷市 有プロト 0566-36-0456  
愛知県名古屋市中区 有、レーシングプロジェクト 052-802-0117  
愛知県名古屋市中区 バイクジョブカワガフ 052-804-2378  
三重県鈴鹿市 ホンダワールド 0593-78-1455

三重県鈴鹿市 株式会社 0593-78-9101  
三重県上野市 株式会社 エンジニアリング 0585-24-6285  
三重県鈴鹿市 株式会社 エンジン 0593-79-0037  
三重県鈴鹿市 株式会社 0593-79-4010  
大阪府東大阪市 株式会社 パーモンキー 0729-64-3177  
大阪府東大阪市 ベビーフェイス 0721-24-8821  
大阪府平野区 有ベガススポーツ 06-791-2627  
大阪府大東市 株式会社 0720-74-5315  
岡山県赤松郡 NOVA 08695-2-3915  
福岡県北九州市 ホンダショップ ライフ 093-922-8908  
福岡県福岡市 ホンダショップ高武 092-871-8198  
熊本県菊池郡 株式会社 エス・シー 096-293-3505

©Tecnomagtesio Technical Shopでは、Tecnomagtesio Racing Wheelの販売及びテクニカルアドバイサーサービスをTOTALでフォローいたします。

©業者販売につきましては、上記Shop又は当社までお問い合わせ下さい。

©個人 (ライダー) の方のご購入に付きましては、行き付けのShopよりTechnical Shop又は当社へお問い合わせいただくか、直接Technical Shopにお問い合わせ下さい。

現在、「'93 MODEL」の予約を受け付けています。上記 Technical Shopまでどうぞ——

# brembo

Brake systems

## for HONDA RS125R/RS250R, & YAMAHA TZ250

BRAKE CALIPER	
4P キャリパー RACING(PS30/34)※写真	¥85,000/R・L 各
4P キャリパー CASTING-TYPE(PS30/34)	¥49,000/R・L 各
FRONT MASTER CYLINDER	
φ13 RACING MASTER CYLINDER (4P キャリパーシングル対応=RS125R)	¥32,500
φ19 RACING MASTER CYLINDER (4P キャリパーダブル対応=RS250R/TZ250)	¥73,000
FLOATING DISK for RACING (鋳鉄ディスク)	
RS125R/RS250R φ296 (ボルトオン SIZE)	¥54,000/1枚
RS125R/RS250R φ280 (小径ディスク)	¥54,000/1枚
TZ250 φ280 (ボルトオン SIZE)	¥52,000/1枚

○税抜き価格



- BREMBO Brake System '93 MODEL カタログ  
をご請求下さい。  
●上記以外のパーツ(ブラケット、PAD etc)についても詳しい内容を  
掲載しています。  
●様々な組み合わせ使用例が示してあります。
- さらに詳しい使用内容についてはお電話下さい。  
●実戦テスト、使用例に基づいた内容や、予算に応じた組み合わせ等を  
アドバイスさせていただきます。
- SS class/TT-FI class 対応のBREMBO Brake  
Systemについても、お問い合わせ下さい。

FROM

**BSE**

Brake System Engineering Co., Ltd.

株式会社 日本テクノマグネシオ 二輪事業部はBREMBO  
Brake Systemの販売代理店です。

# TRANSTEC

SPROCKET



HONDA RS 125R	
32・33・34・35・36T	¥6,000
37・38・39・40T	¥6,300
41・42・43・44T	¥6,500
HONDA RS250R (～92)	
31・32・33・34T	¥8,500
35・36・37・38T	¥9,200
39・40・41・42・43・44・45・46T	¥9,800
HONDA NSR 250R (90～for SP・SS)	
37・38・39・40・41・42・43・44・45・46T	¥9,800
YAMAHA TZ 250	
34・35・36T	¥8,900
37・38・39T	¥9,200
40・41・42T	¥9,800
YAMAHA TZR 250 (91～for SP・SS)	
35・36T	¥8,900
37・38T	¥9,200
39T	¥9,500

■上記以外の歯数・車種等についてはお問い合わせ下さい。  
TRANSTEC SPROCKETは「ISA」の全面的な協  
力によりプロデュースされます。 ○税抜き価格

◆'93 RS250R 31T～34T ¥8,500/35T～38T ¥9,200/39T～40T ¥9,800

brembo/TRANSTEC 発売元 Tecnomagnesio 日本総発売元

株式会社 日本テクノマグネシオ 二輪事業部

〒488 愛知県尾張旭市東本地ヶ原町三丁目20番地 TEL 0561-52-4500 FAX 0561-52-4454

# GOODRIDGE from England

夢・希望・そして現実

速く走りたという夢。安全に走りたという希望。  
しかし、そこには危険という現実が存在する。  
「GOODRIDGE」は、その問題すべてをいち早く解決して  
いる。  
Enjoy Motor Sports Life これが私たちの夢なのです。

The Goodridge team are dedicated to creating safer, more efficient products. This catalogue represents a selection of the finest hose, fittings and ancillary parts available for all high performance road and competition vehicles.

As suppliers to all the leading F1 teams and manufacturers for over 20 years, we understand the needs of the serious competitor and we are proud of our continuous research and development programme.



Stuart Goodridge  
Managing Director

1971年の会社設立以来、多くのF-1チームや2輪WGPチームを筆頭に世界中のモータースポーツ市場に製品供給を行っている。また、最近ではフェラーリF40/ジャガーXJ220の生産車機能部品の一つとして認定されるに至っている。



## M/C BRAKE HOSE KIT BOX 価格表

(92.9.01現在)

品番	品名	材質	数量	単価	合計
5092-030	バンジョー ストレート	アルミ	8	3,800	30,400
5093-030	バンジョー 20°	''	8	3,800	30,400
8001-030	フィッティング ストレート	''	4	4,000	16,000
8048-030	フィッティング 45°	''	2	6,000	12,000
8091-030	フィッティング 90°	''	2	6,000	12,000
1205-038	オリブ (交換用)	真鍮	10	230	2,300
1206-030	ソケット (交換用)	アルミ	5	1,000	5,000
308-3-310	キャリバーアダプターP1.0	''	4	1,200	4,800
308-3-320	キャリバーアダプターP1.25	''	4	1,200	4,800
44516	銅ワッシャー	銅	50	30	1,500
800-3	ホース 23	ステンレス/テフロン	10m	3,500/m	35,000
992-3-310	バンジョーボルトシングルP1.0	アルミ	4	600	2,400
992-3-320	バンジョーボルトシングルP1.25	''	4	600	2,400
993-3-310	バンジョーボルトダブル P1.0	''	4	700	2,800
993-3-320	バンジョーボルトダブル P1.25	''	4	700	2,800
BN992-3-310	AFバンジョーボルトシングルP1.0	''	2	1,500	3,000
BN992-3-320	AFバンジョーボルトシングルP1.25	''	2	1,500	3,000
BN993-3-310	AFバンジョーボルトダブル P1.0	''	2	1,600	3,200
BN993-3-320	AFバンジョーボルトダブル P1.25	''	2	1,600	3,200
GM100-800-3	取付特許工具 (23専用)		1	8,000	8,000
合計金額					145,000

豪華プラスチックボックスは250X250X40の特注品ですが、Kit Box購入者に限りプレゼントいたします。また、この他にも多種多様のフィッティング類やホースキット完成品等が用意されておりますので、お気軽に御相談下さい。英文カタログも有ります。ご請求下さい。



HALF 有限会社 ハーフ コーポレーション  
〒155 東京都世田谷区北沢5-28-24-301  
Tel 03-3486-0870  
Fax 03-3486-0873  
販売代理店募集  
Gマークが正規品です。類似品にご注意下さい。

**G**  
GOODRIDGE





# MINEサーキット サーキットライセンス講習会

## ■ 申込方法

電話にて予約申込みをしてください。

☎08375-8-0321 (MINEサーキット)

定員:60名

## ■ 受付時間

AM10:00~AM10:30(時間厳守)

## ■ 当日持参するもの

運転免許証・印鑑・写真2枚(30mm×25mm)・筆記用具・バイク(125cc以上の、よく整備された車両)・ヘルメット・皮革製のツナギ・グローブ・ブーツ・ガムテープ・工具・健康保険証・MFJ競技ライセンス(所持者のみ)・未成年者は親権者の承諾書(所定の用紙)及び親権者の印鑑証明書(承諾書は親権者の自筆のこと)

## ■ 費用

35,000円(日・祝祭日は入場料500円要)(消費税含む)  
※MFJロードレース国内C級ライセンスを同時に申請する場合は39,500円と写真4枚)

## ■ 学科講習

午後1時より開始。講習終了後、筆記試験を行なう。(当日の状況により時間変更あり)

## ■ 実技講習

筆記試験合格者に対して実技指導及び実技試験を行なう。(MFJ国内A級ライセンス提示者は実技試験免除)

## ■ その他

- ①実技用バイクはタイヤサイズ14インチ以上で、オンロードバイクは125cc以上。レーサーは80cc以上とする。
- ②S80クラスでタイヤサイズ14インチ未満の車両は、レース前の指定走行時間帯のみ走行可能。

## ■ サーキットライセンス講習会のお問い合わせ先

### MINEサーキット

〒759-21 山口県美祿市西厚保町長尾

☎08375-8-0321

**RUSHITANI**  
Motor Cycling, Karting, Touring & Sports Equipment

# Racing Suits Campaign

クシタニウインター・キャンペーン開催中  
'92.11.1 ~ '93.2.28

KI-107X モニター価格 ¥120,000

① KI-107X 体感キャンペーン  
XのニューデザインKI-107Xの発売を記念して定価¥140,000をモニター価格¥120,000で提供。Xパターンの性能をこの機会にぜひ体感して下さい。

② イージーオーダー・チームモニター・キャンペーン  
チームで5着以上まとめてオーダーすればモニタープライス(既製品と同価格)にて提供。クシタニレーシングスーツならではの安全性、運動性をチームで体感して下さい。

## KI-107X ビクターズスーツ NEW

- Quality: (表) 牛革、ケブラーニット (裏) マーバスメッシュ
- Colors: 黒/パープル フラッシュレッド/青 オリエンタルブルー/黒
- Size: M, L, LL
- Price: ¥140,000 (モニター価格 ¥120,000)
- MFJ公認規格レーサースーツ



イージーオーダーパンフレット完成(無料) お問い合わせは最寄りのクシタニショップ及び取扱店迄。



株式会社クシタニ  
静岡県浜松市三島町231平430  
☎053(44)2251

### JMCA 店舗します、グッドライダー

エクスポローラークラブ会員募集中!  
お問い合わせは、お近くのクシタニショップもしくは、  
エクスポローラークラブ事務局 ☎03-3439-6952まで  
クシタニスタッフ募集中/お問い合わせは、本社総務部まで。  
■クシタニショップでは通信販売も受け付けております。お申し込みは、  
各ショップに在庫状況など直接お問い合わせの上お願い致します。  
■各種クレジット取り扱います。ショップスタッフにお任せ下さい。  
■表記価格には消費税は含まれておりません。

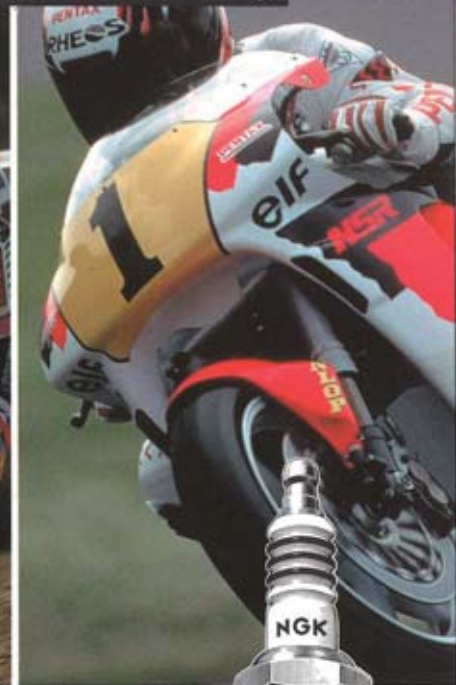
### SHOP LINE-UP

- 徳島店 ☎0196-37-2621
- 徳島店 ☎03-3931-5610
- 名古屋店 ☎052-522-0749
- 神戸店 ☎078-871-7515
- 仙台店 ☎022-239-3603
- 仙台店 ☎03-3479-2261
- 名古屋店 ☎0561-62-9033
- 岐阜店 ☎078-871-7515
- 松山店 ☎0749-22-5184
- 五反田店 ☎03-3754-2252
- 神奈川店 ☎0593-70-0186
- 岡山店 ☎0862-25-8330
- マキドッパ ☎0287-63-7300
- 前中店 ☎0423-69-3599
- 広島店 ☎082-230-0012
- 高崎店 ☎0273-61-2785
- 横浜店 ☎045-312-3020
- 京都店 ☎075-811-5737
- 熊谷店 ☎0485-24-2264
- エイブイ ☎045-904-1711
- 大阪南店 ☎06-541-3501
- 川口店 ☎0482-55-9290
- 甲府店 ☎0463-21-7880
- 津屋川店 ☎0720-35-1991
- 千葉店 ☎043-242-8363
- 浜松店 ☎053-475-0211
- 西松店 ☎053-727-22-4105
- 大分店 ☎0975-43-3261
- 千葉店 ☎03-3636-7681
- 佐鳴台店 ☎053-456-9418
- 横濱店 ☎022-22-3316
- 東京店 ☎03-3944-0278
- 岡崎店 ☎0564-54-1537
- 西宮店 ☎0798-73-6641



# Spark to Win

勝利へ向けて、究極のパワー。



プラチナ  
VXプラグ



ゴールド・パラジウム  
EGVプラグ

火花が閃いた瞬間、眠るマシンに力がみなぎる。レスポンスを捉え、果敢にスピードに挑戦する凄腕。その名はNGK Vシリーズプラグ。Vパワーが加速を制覇する。

NGK **V**シリーズプラグ





# Heat Wave '93

フィールドはいつも熱い。マシンとマシン、人と人、そしてマシンと人が戦いと融合をくりかえす。そこは聖なるフィールドとして在る。ティーバードはモータースポーツのフィールドだけでなく運送物流のフィールドにおいても、つねに熱い挑戦をつづけています。フィールドはちがっても、その熱い情熱は変わりません。そして、そのベースにあるのは熱いハートです。ティーバードはこれからもモータースポーツそして運送物流のフィールドに熱波(Heat Wave)をおくりつづけます。



## T-BIRD

HEARTY DELIVERY NETWORK

株式会社ティーバード

本社/群馬県前橋市西片貝町1-300-5/TEL.0272-34-3270  
営業所/群馬・東京・埼玉

お問い合わせ

ニハハヤクイナ



**0120-288917**